

2021年度版

2021年度入学生向け

学修のてびき

京都精華大学

KYOTO SEIKA UNIVERSITY →

2021

2021年度版

2021年度入学生向け

学修のてびき

京都精華大学

KYOTO SEIKA UNIVERSITY

2021

1 はじめに 005

建学の理念・教育理念	006
教育目標と3つのポリシー	007
沿革	008
学部・研究科の構成	009
年間の流れ	010
ダイバーシティ推進宣言	011

2 学生生活 013

学生生活の基礎知識	014
大学メールアドレス	018
セイカ・ポータル	020
経済的支援	024
学生生活の支援	027
学内のルール	029
緊急事態発生時の対応・事前対策	031
ケガ・体調不良時の対応	032
様々なトラブルを防ぐために	033

3 キャリア支援 035

セイカのキャリア支援	036
------------	-----

4 国際交流 041

セイカの国際交流	042
----------	-----

5 教学 045

授業科目	046
卒業・修了・進級	050
履修登録	051
授業	053
単位修得	056

6 カリキュラム 061

全学共通カリキュラム	062
------------	-----

国際文化学部 070

人文学科	072
グローバルスタディーズ学科	085

メディア表現学部 092

メディア表現学科	094
----------	-----

芸術学部 106

造形学科	108
------	-----

デザイン学部 114

イラスト学科 イラストコース	118
----------------	-----

ビジュアルデザイン学科 123

グラフィックデザインコース／ デジタルクリエイションコース	
----------------------------------	--

プロダクトデザイン学科 128

プロダクトコミュニケーションコース／ ライフクリエイションコース／ファッションコース	
---	--

建築学科 建築コース 137

人間環境デザインプログラム	143
---------------	-----

マンガ学部 152

マンガ学科	156
-------	-----

**カートゥーンコース／ストーリーマンガコース／
新世代マンガコース／
キャラクターデザインコース**

アニメーション学科 アニメーションコース	161
----------------------	-----

7 大学院 167

教育方針	168
------	-----

博士前期課程・修士課程	172
-------------	-----

博士後期課程	182
--------	-----

8 資格課程 187

資格課程の概要	188
---------	-----

教職課程	189
------	-----

博物館学芸員課程	205
----------	-----

図書館司書課程	207
---------	-----

9 諸規程 209

京都精華大学 学則	210
-----------	-----

京都精華大学大学院 学則	215
--------------	-----

京都精華大学 学位規程	218
-------------	-----

京都精華大学 履修規程	220
-------------	-----

京都精華大学 各種試験およびレポート等における 不正行為に関する規程	226
---------------------------------------	-----

京都精華大学大学院 博士前期課程および修士課程 学位審査規則	227
-----------------------------------	-----

京都精華大学大学院 博士後期課程 学位審査規則	228
----------------------------	-----

10 施設 231

キャンパスマップ	232
----------	-----

学内施設	234
------	-----

学外施設	244
------	-----

はじめに

INTRODUCTION >



建学の理念・教育理念

京都精華大学の理念

京都精華大学は、1968年にリベラルな政治学者であった初代学長岡本清一を中心にもったく新しい大学の創造をめざすべく誕生しました。岡本清一は、学長就任の条件として、「教育の基本方針に関する覚書」を提示しました。この覚書には、京都精華大学の建学の理念ともいえる「人間尊重」「自由自治」がうたわれています。

「人間尊重」「自由自治」を基盤とし、新しい人類史の展開に対して責任を負い、世界に尽力する人材の育成を使命としてきた京都精華大学では、学生、教員、職員がすべて人格的に平等であり、全員が大学の創造に参加しています。

● 教育の基本方針に関する覚書

- 京都精華短期大学は、人間を尊重し、人間を大切にすることを、その教育の基本理念とする。この理念は日本国憲法および教育基本法を貫き、世界人権宣言の背骨をなすものである。
- 京都精華短期大学は特定の宗教による教育を行わない。しかし諸宗教の求めてきた真理と、人間に対する誠実と愛の精神は、これを尊重する。
- 学生に対しては、師を敬うことが教えられる。師を敬うことなくして、人格的感化と学問的指導を受けることはできないからである。そして敬師の教育を通じて、父母と隣人に対する敬愛の心を養う。
- 教員の学生に対する愛情責任は、親の子に対するそれが無限であるように、無限でなければならない。職員もまた教員に準じて教室外教育の一斑の責任を負う。
- 学内における学生の自由と自治は尊重され、その精神の涵養がはかられる。従って学生は、学内の秩序と環境の整頓に対して責任を負わなければならない。
- 礼と言葉の紊れが、新しい時代にもかかわらず正され、品位のない態度と言葉とは、学園から除かなければならない。
- かくしてわが京都精華短期大学における教育の一切は、新しい人類史の展開に対して責任を負い、日本と世界に尽くそうとする人間の形成にささげられる。

教育理念

初代学長岡本清一の建学理念は、その時々を担う人々によって新しい理解が加えられ、時には議論の対象となってきました。2003年春、建学理念の継承と再生を図るため、京都精華大学はあらためてその使命と基本理念を明らかにしました。

● 京都精華大学の使命

- 京都精華大学は、人間を尊重し人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって、人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的とする。
- 京都精華大学は、社会に責任を負う自立した人間の形成という目的のために、恒に現実の社会的視点を維持し、広く社会に貢献する活動を行う。
- 京都精華大学は、教員、職員、学生によって一つの有機的社會を構成し、この大学社会における人間的な交流を基礎にして教育を行う。

● 京都精華大学の基本理念

- 京都精華大学は、広く国内外に開かれた教育を行う。人間が国家、宗教、民族の対立を乗り越えて共に生きるためには、その価値観の違いを超えて人間的な信頼関係を創出しなければならず、国家、宗教、民族を超えた人間的な交流の体験が必須である。
- その教育において、特定の宗教・思想による教化を行わない。しかし、歴史を通じて人類が求めてきた普遍的な価値と、人間に対する誠実と愛の精神は、これを尊重する。
- その教育は、共生を目指し、なお自立する人間の形成を目的とするために、現実の人間の問題を扱う学問・芸術の探求に基づき行わなければならない。その知的資源の創造的な編成と運用は、広く国内外に貢献することを旨とすべきではない。
- そのように現実社会に対する建設的批判と貢献を目指す、京都精華大学の教育と研究の活動は、また恒に現実と対峙し社会的視点を維持する大学の経営によって保障されねばならない。
- 京都精華大学は、教員、職員、学生に開かれた大学社会を組織し、この社会を人格的平等主義に基づき運営する。各構成員が自覚的に選択した価値観は、対等にこれを尊重し、特定の価値観の絶対化は、人間の自由を抑圧し個人の自立を妨げるものとして、これを拒否する。
- この大学社会は、構成員の自己啓発と相互の建設的批判によって日々刷新され、新たな教育と研究の土壌を形成する。品位のない態度と言葉は、この大学社会から除かれなければならない。構成員間の身分差別は、本学の理念とは無縁である。
- すべての構成員は、この大学社会の規範に従うことが求められるとともに、新しい大学の創造に参加する権利を有する。

教育目標と3つのポリシー

教育目標（目指すべき人材像）

育成人間像

グローバルな観点から思考し、リベラルアーツに基づいてより良い社会を創る意欲を持ち多様な人々と協働し、世界の様々な課題に対する新しい価値を表現し、提供できる人間

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）				
DP1 知識と理解 knowledge & understanding	DP2 創造的思考と考察 creative thinking & observation	DP3 技術と表現 skills & expression	DP4 視点と協働 diverse perspective & collaboration	DP5 社会への関心と行動 interests & action
広い視野から複眼的に考察するための知識と理解力	新しい文化と価値を発想するための創造的思考力	変化し続ける社会で専門領域の学びを生かすための応用力	地球規模の視点で社会課題に取り組むための協働力	より良い社会を創るための主体的な行動力

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 知識・理解・技能

- 高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している

2 思考・判断・表現

- 身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて思考できる
- 他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる

3 関心・意欲・態度

- 新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学習を継続する意欲がある
- 学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

京都精華大学は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1 教育内容

(1) 全学共通教育科目

全学共通教育科目は、各自の専門性を活かしつつ社会の中で自由な個人として生きる姿勢を培うため、様々な学問領域にわたる科目を配置します。具体的には、表現科目群、グローバル科目群、リベラルアーツ科目群に加え、導入プログラム、マイナー科目群、社会実践力育成プログラム、キャリア科目群から構成しています。

(2) 部専門教育科目

学部専門教育科目は、学部共通科目と学科専門科目から構成されます。ともに、専門分野の基礎から専門的知識・技能や主体的に取り組む態度を修得し、それらを総合的に活用する力を養うため、体系的に科目を配置します。

2 教育方法

- 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。

各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

(2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。

沿革

京都精華大学は、1968年に英語英文科、美術科の2学科をもつ短期大学として開学しました。1979年に美術学部を有する4年制の大学となつてからは、1989年に人文学部の開設、2006年にデザイン学部、マンガ学部の開設、2013年にポピュラーカルチャー学部を開設するなど、学問の領域をつねに広げてきました。2018年には創立50周年を迎え、今後も新たな挑戦を続けていきます。

1968年	4月	京都精華短期大学開学。 美術科・英語英文科を設置。
1973年	4月	美術科デザインコースにマンガクラスを設置。
1979年	4月	京都精華大学開学。美術学部造形学科、美術学部デザイン学科を設置。
1989年	4月	人文学部人文学科を設置。
1991年	4月	京都精華大学大学院を設置(美術研究科造形専攻・デザイン専攻)。
1993年	4月	大学院人文学研究科を設置。
2000年	4月	人文学部に環境社会学科を設置。 芸術学部デザイン学科にビジュアル・コミュニケーションデザイン分野・映像分野・プロダクトコミュニケーション分野を設置。 芸術学部マンガ学科(ストーリーマンガ分野・カートゥーンマンガ分野)を設置。
2003年	4月	人文学部に社会メディア学科・文化表現学科を設置。 大学院芸術研究科に博士後期課程を設置。
2006年	4月	デザイン学部(ビジュアルデザイン学科・プロダクトデザイン学科・建築学科)を設置。 マンガ学部(マンガ学科・マンガプロデュース学科・アニメーション学科)を設置。 芸術学部に素材表現学科・メディア造形学科を設置。
	11月	京都国際マンガミュージアムを開設(京都市との共同事業)。
2009年	4月	人文学部を再編し、総合人文学科を設置。
2010年	4月	大学院芸術研究科を再編し、デザイン研究科デザイン専攻修士課程・建築専攻修士課程およびマンガ研究科マンガ専攻修士課程を設置。
2012年	4月	大学院マンガ研究科に博士後期課程を設置。
2013年	4月	ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科を設置。 ビジュアルデザイン学科を再編し、イラスト学科を設置。 マンガ学科にギャグマンガコース・キャラクターデザインコースを設置。
2017年	4月	芸術学部造形学科・素材表現学科・メディア造形学科を再編し、造形学科を設置。 マンガ学科に新世代マンガコースを設置。
2021年	4月	ポピュラーカルチャー学部と人文学部を再編し、メディア表現学部と国際文化学部を設置。 人間環境デザインプログラムを開設。 プロダクトデザイン学科にファッションコースを設置。

学部・研究科の構成

国際文化学部

人文学科

文学専攻

歴史専攻

社会専攻

日本文学専攻

グローバルスタディーズ学科

グローバル関係専攻

グローバル共生社会専攻

アフリカ・アジア文化専攻

メディア表現学部

メディア表現学科

メディア情報専攻

イメージ表現専攻

音楽表現専攻

芸術学部

造形学科

洋画専攻

日本画専攻

立体造形専攻

陶芸専攻

テキスタイル専攻

版画専攻

映像専攻

デザイン学部

イラスト学科

イラストコース

ビジュアルデザイン学科

グラフィックデザインコース

デジタルクリエイションコース

プロダクトデザイン学科

プロダクトコミュニケーションコース

ライフクリエイションコース

ファッションコース

建築学科

建築コース

マンガ学部

マンガ学科

カートゥーンコース

ストーリーマンガコース

新世代マンガコース

キャラクターデザインコース

アニメーション学科

アニメーションコース

[学部横断プログラム]

人間環境デザインプログラム

大学院

人文学研究科 修士課程

芸術研究科 博士前期課程／博士後期課程

デザイン研究科 修士課程

マンガ研究科 博士前期課程／博士後期課程

年間の流れ

	行事	クォーター制(1Q・2Q・3Q・4Q)	セメスター制(前期・後期)
4月	入学式		
	新入生ガイダンス	新入生1Q・2Q履修登録	新入生前期履修登録
		1Q授業開始	前期授業開始
5月		1Q履修取消	前期履修取消
6月		2Q履修登録変更	
		2Q授業開始	
7月		2Q履修取消	
8月	夏季休暇		
9月	夏季休暇		
	3Q／後期ガイダンス	3Q・4Q履修登録	後期履修登録
10月		3Q授業開始	後期授業開始
		3Q履修取消	後期履修取消
11月	学園祭		
		4Q履修登録変更	
12月		4Q授業開始	
	冬季休業		
1月		4Q履修取消	
2月	卒業・修了展		
	春季休暇		
3月	春季休暇		
	卒業式		
	在学生ガイダンス	在学生1Q・2Q履修登録	在学生前期履修登録

詳細は、「セイカ・ポータル」および大学Webサイトに掲示された「学年暦(大学カレンダー)」で確認してください。

ダイバーシティ推進宣言

京都精華大学とダイバーシティ

京都精華大学は、ダイバーシティという言葉がまだ日本社会に浸透していなかった大学設立時から、様々な差異をもつすべての大学構成員が尊重され人格的に平等であることを、教育の基本として歩んできました。大学を取り巻く社会が世界規模で大きく変わりゆくなかで、2016年にダイバーシティ推進宣言を発表し、その基本となる考え方を改めて表明。そして2018年、ダイバーシティ推進の具体的なコンセプトとともに、学内でのダイバーシティの明確な定義と推進内容について盛り込んだ、新たな宣言文を策定しました。

ダイバーシティ推進コンセプト

『違いとともに成長する』

ダイバーシティ推進宣言2018

京都精華大学は、自由自治を建学理念に掲げ、世界人権宣言にもとづく人間尊重を教育の基本理念とする大学として、学生・教員・職員をはじめとする全構成員が、互いの差異を通じてともに成長してゆく組織を目指します。そのために、本学ではダイバーシティを「多様なバックグラウンドや属性を持つ人々が違いを受容し合い、対等に機会が開かれること」と定義し、これを推進します。

年齢、人種、性別、身体的特徴、性表現など表面的に認識されやすいものから、国籍、宗教、家庭環境、出自、働き方、性自認、性的指向など表面からは認識されにくいものまで、私たちは1人1人異なる属性を複数持っているはずで、誰もが多様な差異がある、という考えに立ち、一部のバックグラウンドや属性を理由にした不自由、差別や排除がないキャンパス環境を、修学・教育・研究・就労の観点から活動方針に沿って着実に整えます。

本学の考えるダイバーシティ推進とは、制度や仕組みの整備のみを指すものではありません。人間の多様性に触れる機会を学内の様々な場面で継続的に設けることで、共生の意識を醸成します。違いを理解しようとするプロセスで生まれる「価値観の変化」や「他者への想像力」こそが新しい発見や思考につながり、構成員全体の創造性を高めると考えるからです。変化し続け不安定さが増す今後の世界において、新しい価値をもたらすことができる大学であるために、ここにダイバーシティのさらなる推進を宣言します。

2018年4月 学長 ウスビ サコ

在学生に向けた具体的な取組み

- 誰でも参加できる、多様性に関する知識や理解を深めるイベントを年内に複数回開催しています。
- 性別違和、通称名使用などの事由による学籍簿の氏名・性別記載変更を認めています。
- 定期健康診断で、性別違和や健康上の事情を抱える人を対象に専用の時間帯を設けています。
- 大学で発行する全ての証明書に性別の記載はありません。
- 誰でも利用できる「みんなのトイレ」を学内24カ所に設置しています。
- 学食のメニューに食肉表示を記載しています。
- 障がいのある学生の学修支援を行っています。

学生生活

CAMPUS LIFE



学生生活の基礎知識

1. 事務局各種窓口案内

学生生活の様々な場面において、事務局の職員がサポートします。各部署の事務取り扱い時間、取り扱い内容は以下の通りです。

事務取り扱い時間（授業期間）

月～金曜日 9:00～18:00	土曜日 9:00～17:30	※授業期間外の事務取り扱い時間は「セイカ・ポータル」に提示します。
------------------	----------------	-----------------------------------

取り扱い内容

窓口	取り扱い内容	場所	連絡先
[学生グループ] 学生支援チーム キャリア支援チーム 障害学生支援室	各種相談(学生生活・進路・海外留学・休退学・復学など)／各種証明書発行(学生証・学割・健康診断書など)／各種紹介(アルバイト・住まい)／奨学金／学生教育研究災害傷害保険／国民年金保険料学生納付特例の申請／拾得・遺失物届／車両一時乗り入れ申請／課外活動(クラブ・サークル活動)／教室・学外施設利用の申請／就職活動支援(求人情報の閲覧、進路就職ガイダンス、企業説明会)／障害学生支援／留学生支援／国際学生寮(修交館)など	本館 1階	学生支援チーム TEL:075-702-5101 キャリア支援チーム TEL:075-702-5130 障害学生支援室 TEL:075-702-5268
[教学グループ] 教務チーム	各種相談(授業・履修・成績など)／各種証明書発行(在学証明書・成績証明書・卒業見込み証明書など)／授業・試験情報／資格課程に関する相談・申請、大学コンソーシアム京都(単位互換)科目申込／転学部・転学科・転コース相談など	本館 1階	TEL:075-702-5119
[学長室グループ]	公開講座／情報館事務等	本館 2階	(※)
[グローバル推進グループ]	国際交流プログラム支援	本館 4階	(※)

(※)2021年2月末時点で調整中です。最新情報は、大学Webサイトで確認してください。

2. 学籍

(1)学籍 学籍とは学校における籍のことです。本学の学籍を有するとは、本学に在籍している学生であることを示しています。

(2)学籍番号 一人ひとりの学生に学籍番号が付与されます。

例

2	2	1	G	0	0	1
入学年度 (2021年度)				個人番号		
学科・コース(右記参照)						

※編入生は221の次に各学科・コース記号が入り、2年次生は21番から3年次生は31番から始まります。大学院はM(修士)またはD(博士)がつきます。

L	人文	W	グローバルスタディーズ	T	メディア表現		
G	造形	F	イラスト	V	グラフィックデザイン	Q	デジタルクリエイション
D	プロダクトコミュニケーション	R	ライフクリエイション				
B	ファッション	A	建築	H	人間環境デザイン		
M	カートゥーン	N	ストーリーマンガ	S	新世代マンガ		
K	キャラクターデザイン	Y	アニメーション				

(3)学生証

学生証は本学の学生である身分を証明するものです。したがって、常に携帯し、確認を求められた場合はただちに提示してください。学内では事務局窓口で各種手続きを行う場合や情報館への入館、各種証明書発行の際などに必要です。また、学外では通学定期券購入や本学が提携する美術館などの文化施設で特別優待を受ける際に提示が求められます。学生証を紛失した場合は速やかに学生支援チームで再発行の申請をしてください。申請方法については、P.16「各種証明書の発行方法」を参照してください。

(4)学籍情報の変更

学生の個人情報、入学試験出願時の情報に基づき、本学のデータベースに登録されています。入学後、個人情報に変更が生じた際は、以下の方法で変更の手続きを行ってください。

①住所・電話番号・学費支弁者・保証人などの変更(帰省先の住所・電話番号を含む)
学生生活支援総合サイト「セイカ・ポータル(※P.20参照)」から手続きを行ってください。

②氏名の変更

学生本人の氏名変更は、学生支援チームで手続きを行ってください。
※性別違和、通称名使用の希望などの事由による氏名・性別表記の記載変更についても、学生支援チームにお問い合わせください。

(5)学籍の異動と学籍に関する諸制度

①休学

休学とは、学生が疾病またはその他の事由により、3カ月以上就学することができない場合、学長の許可を得て、当該学期に大学を休むことです。

【休学を願い出る際の留意点】

- 休学をするためには、休学をしようとしている学期以前の学費が完納されている必要があります。
- 休学期間中の学費は、1クォーター10,000円です。また、休学手続き期限は第1クォーター:3月31日、第2クォーター:6月15日、第3クォーター:9月30日、第4クォーター:12月15日であり、当該期限を過ぎると通常の授業料が発生します(期限日が事務取扱日でない場合は、直前の事務取扱日を期限とします)。
- 休学期間は第1クォーター、第2クォーター、第3クォーター、第4クォーターのうち1クォーター単位で選択できますが、休学期間については学修状況も踏まえ、手続き前に担当教員とよく相談をしてください。なお、特別の理由がある場合は継続して1年(連続で2年まで)を限度に延長することができます。兵役による休学のみ休学期間を連続で3年間まで認めます(証明書類要)。
- 休学期間満了日の2週間前までに「復学願」「休学願」「退学願」のいずれかの提出がない場合は除籍となります。必ず手続きを行ってください。

②復学

復学とは、休学期間の満了に伴い、大学に復帰することです。

③退学

退学とは、学生が疾病、その他の事由によって大学を辞めることです。

④除籍

除籍とは、大学の決定により学生の身分を失うことです。学則に定められている除籍の主な理由は次の通りです。

- 所定の在学年限(最長8年間)を超える場合(ただし、休学期間などを除く)
- 所定の授業料等学費の納付を怠り、その督促を受けてもこれを納付しない場合
- 休学期間の満了に伴い、復学の手続きを行わない場合

⑤再入学

本学を退学した者、または除籍となった者は、退学または除籍の日より2年以内であれば再度入学することができます。再入学考査の結果、大学がこれを許可すれば再度本学の学籍を有することができます。なお、再入学については入学金が免除されます。

休学・復学・退学に関する申請・手続きについて
休学・復学・退学の申請・手続きの詳細については、大学Webサイトを参照してください。また、休学・退学を検討する必要がある場合は、早期に担当教員、または学生支援チームに相談してください。

3. 大学Webサイトでの情報取得について

大学Webサイトにも施設利用や各種申請手続き、奨学金情報など大学生活に関する基本情報を掲載しています。PCとスマートフォンに対応していますので、必要に応じて情報を確認してください。



「京都精華大学 在学生の方」 <https://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/>

4. 通学

通学に際しては、公共交通機関、スクールバス、自転車などを利用してください。自動車による通学は認められません。

(1) 通学定期券を購入するには

公共交通機関の通学定期券を購入する際には、各機関の窓口で学生証の裏面に貼付された「通学証明書」を提示してください。通学証明書は毎年更新が必要です。例年4月に学生支援チームで配布しますので、必ず貼り替えてください。

(2) スクールバス

無料で利用できるスクールバスは、地下鉄「国際会館」駅と大学の間を運行しています。授業がない日曜日・祝日・施設使用禁止日は運行しません。また、大学行事や長期休暇中などは運行ダイヤが変わりますので、その都度、大学Webサイトやバス停で時刻表を確認してください。

(3) 自転車・バイクによる通学

自転車・バイクによる通学に際しては、学内の駐輪場を利用してください。所定の場所以外での駐輪は認められていません。また、盗難を防ぐために自転車・バイクは必ず施錠し、ヘルメットやそのほかの付属品は持ち歩くようにしてください。

(4) 自動車の一時乗り入れ

制作材料・資材の搬入などにより、自動車の乗り入れが必要な場合は、学生支援チームにて「車両一時乗り入れ票」の発行を受け、一時的に駐車することができます。手続きの際には学生証の提示が必要となります。

5. 各種証明書の発行方法

証明書は、本館1階に設置の「証明書自動発行機」にて発行を申し込むことができます。申し込みの際は「学生証」もしくは「セイカ・ポータルユーザーIDとパスワード」が必要となります。
※本学が発行するすべての証明書に性別の記載はありません。

表記	証明書	手数料	発行時期	手続き方法	注意事項
日本語版	在学証明書	200円	即時発行	不要	
	健康診断書	200円	即時発行	不要	学内の定期健康診断を受診した人に対するのみ発行
	成績証明書	200円	即時発行	不要	
	卒業見込証明書	200円	即時発行	不要	卒業年次生のみ発行
	修了見込証明書	200円	即時発行	不要	修了年次生のみ発行
	各種資格取得見込証明書	200円	申込から1週間後		
英語版	在学証明書	500円	申込から1週間後	証明書自動発行機より「納付書」を発行のうえ、教務チーム窓口にて申込	パスポートのコピーが必要となります
	成績証明書	500円	申込から1週間後		パスポートのコピーが必要となります
	卒業見込証明書	500円	申込から1週間後		卒業年次生のみ発行 パスポートのコピーが必要となります
	修了見込証明書	500円	申込から1週間後		卒業年次生のみ発行 パスポートのコピーが必要となります
	学割証	無料	即時発行	不要	有効期間:発行日より3カ月間 発行可能枚数:年間1人あたり10枚まで
	学生証の再発行	1000円	申込から2~3日後	証明書自動発行機より「申込書」を発行のうえ、学生支援チーム窓口にて申込	学生証が手元に無くても 申込書の出力が可能です

6. 学費について

学費納入期日

1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
4月30日	7月31日	10月31日	1月31日

学費の口座自動振替を利用する方は、各月の26日に一括で引き落とされます。学費納入を困難にする経済的事情が発生したときは速やかに身近な教職員や学生支援チームに相談してください。

授業料

学部	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 / マンガ学部 / 人間環境デザインプログラム
1 Q	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
2 Q	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
3 Q	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
4 Q	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
合計	1,086,000円	1,186,000円	1,550,000円	1,579,000円

大学院

		博士前期課程・修士課程		博士後期課程
		実技系 芸術・デザイン・マンガ研究科	理論系 人文学・芸術・デザイン・マンガ研究科	芸術・マンガ研究科
前期	1期	262,500円	187,500円	187,500円
	2期	262,500円	187,500円	187,500円
後期	1期	262,500円	187,500円	187,500円
	2期	262,500円	187,500円	187,500円
合計		1,050,000円	750,000円	750,000円

※学部生・大学院生ともに、初年度のみ入学金200,000円と学費をあわせて納入します。
※本学卒業生・修士課程・博士前期課程・修士課程、博士後期課程の入学金が免除されます。

学費の延納手続きについて

やむを得ない事情により、学費納入期日までに支払いができない場合は、経理チームからの案内を「セイカ・ポータル」で確認し、所定の期間内に延納願を提出してください。延納期日を過ぎても学費が未納であり、督促を受けても学費が納入されない場合は、学費未納による除籍となります。

大学メールアドレス

1. 大学メールアドレス (Gmail) の付与

在学中は、学生一人ひとりに京都精華大学メールアドレス (Gmail、～@stu.kyoto-seika.ac.jp) が付与されます。教員や事務局に連絡する際は、こちらの大学メールアドレスから送信してください。また、この大学メールアドレスは、みなさんに連絡するための情報として教職員で共有しています。大学からの重要なお知らせが届きますので、毎日1回必ず確認してください。

メールアドレスカード

京都精華大学メールアドレスカード
220A000 セイカ タロウ

京都精華大学Webサービス(履修登録等)
ユーザーID: s220a000 パスワード: [パスワード]

京都精華大学メール(Gmail)
ユーザー名: s220a000 パスワード: [パスワード]
メールアドレス: s220a000@stu.kyoto-seika.ac.jp

京都精華大学メール(Gmail)用
「ユーザー名」、「パスワード」
「メールアドレス」

注意

『京都精華大学メールアドレスカード』には、個人の「京都精華大学Webサービス」用のユーザーID・パスワードおよび、「京都精華大学メール(Gmail)」用のメールアドレス・パスワードが記載されています。大変重要な情報ですので、各自で厳重に管理してください。これらが第三者に漏れるとメールを読まれたり、成りすましてメールを使用されたりする危険性があります。万が一、メールアドレスカードを紛失した場合は、すみやかに情報管理窓口(対峰館1館)までご相談ください。

2. 大学メールアドレスの確認方法

(1) パソコンで確認する場合

- ① 任意のWebブラウザでGoogleのトップページにアクセスします。
- ② 画面右上のログインボタンをクリックするとログイン画面が表示されます。
※すでにアカウントを持っている場合には、アイコンから「別のアカウントを追加」をクリックしてください。



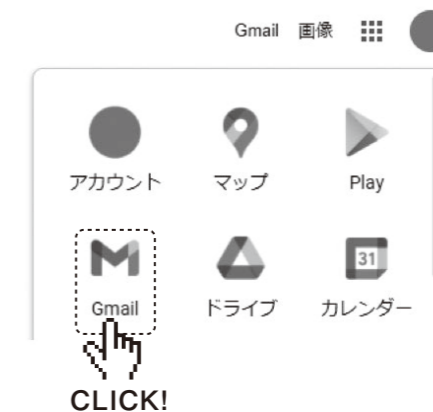
- ③ 以降は画面の案内に従い「京都精華大学メールアドレスカード」に記載されている「京都精華大学メール(Gmail)」の【メールアドレス】と【パスワード】を入力し、【次へ】をクリックします。

以下を入力し **次へ** をクリック

メール:
「京都精華大学メール(Gmail)」のメールアドレス
パスワード:
「京都精華大学メール(Gmail)」のパスワード



- ④ メニューよりGmailをクリックしてください。



(2) スマートフォンおよびタブレットで確認する場合

Webブラウザでパソコン使用時と同様にアクセスするか、無料のメールアプリを活用することをおすすめします。

セイカ・ポータル

1. セイカ・ポータルとは

「セイカ・ポータル」とは、本学学生専用の学生生活支援総合サイトです。履修登録手続きを行うほか、学生生活や授業、進路、就職支援に関する重要な情報が掲載されていますので、必ず1日1回はログインして情報を確認してください。

「セイカ・ポータル」の主な機能は以下のとおりです。

(1) 履修登録・履修取消

履修登録および履修取消の手続きは「セイカ・ポータル」で行います。手続き期間を過ぎると履修登録・取消ができなくなりますので、期間内に忘れず手続きを行ってください。

(2) 時間割の確認

履修登録手続き後、決定した時間割はいつでも「セイカ・ポータル」で確認することができます。履修登録した授業科目と自分の時間割に誤りがないか、必ず履修登録期間後に確認してください。

(3) 成績、単位修得状況の確認

各学期に履修した授業科目の成績、およびその学期までの単位修得状況は、学期末に「セイカ・ポータル」で確認することができます。

(4) 休講・補講・教室変更情報の確認

履修登録を行った授業が休講になった場合の情報、休講になった授業の補講に関する情報を確認できます。また、履修登録を行った授業の教室が何らかの事情により変更になった場合も変更後の教室を「セイカ・ポータル」で確認できます。休講・補講・教室変更の情報はメール（～@stu.kyoto-seika.ac.jpのアドレス）で受け取ることもできます。

(5) 学修ポートフォリオの蓄積

ディプロマ・ポリシーに対応した7種の能力がどれだけ身についているかをレーダーチャート形式で確認できます。その他、これまでの単位修得状況やGPAの推移などを一括して確認できます。

(6) 学びと成長シートの作成

各学期の開始時にアドバイザー教員との面談を実施しています。面談に先立って、卒業後および当該学期の目標を「セイカ・ポータル」より入力します。

(7) その他授業に関する情報の確認

オリエンテーションの案内など授業全体に関わる情報のほか、課題の提出締め切りなど履修登録を行った授業科目に関する情報が確認できます。

(8) 学生生活に関する情報の確認

健康診断や奨学金説明会の案内、施設の利用や各種イベント情報など学生生活に関する情報が「セイカ・ポータル」に掲載されます。

(9) 就職や進路などキャリア関係の情報の確認

キャリアガイダンスや企業説明会、就職試験対策講座の案内など、就職や進路決定に役立つ情報が掲載されます。

(10) アンケートへの回答

「セイカ・キャンパスライフ・アンケート」や「授業評価アンケート」など、アンケートへの回答を「セイカ・ポータル」で行います。

2. 利用上の注意

「セイカ・ポータル」の利用にあたってはいくつかの注意点がありますので、必ず以下に目を通してから利用してください。

(1) 利用環境について

「セイカ・ポータル」は、パソコンおよびスマートフォンやタブレット型端末で利用することができます。



(2) 利用が勧められているブラウザソフトを使ってください

ブラウザソフト（インターネットでホームページなどを閲覧するときに使うソフトウェア）は、Internet Explorer 11、Google Chrome、Safari、Firefox、Microsoft Edge の利用をおすすめしています。それ以外のソフトでは表示位置がずれるなど、うまく機能しないことがあります。

(3) 0:00～6:00の間は「セイカ・ポータル」を利用できません

毎日0:00～6:00の時間帯は、データのバックアップを行いますので、「セイカ・ポータル」を利用することはできません。

(4) 30分間、操作ボタンをクリックしないと、ページの有効期限が切れ、再度ログインが必要となります

履修登録手続き中にページの有効期限が切れると、情報が正しく登録されません。定期的に「チェック」ボタンをクリックするといった対処方法を取ってください。

3. セイカ・ポータルへのログイン

(1) セイカ・ポータルへのアクセス

Internet Explorer 11、Google Chrome、Safari、Firefox、Microsoft Edgeなどのブラウザソフトを立ち上げて、以下のURLにアクセスしてください。ログイン画面が表示されます。

<https://portal.kyoto-seika.ac.jp/>

（サイト上でログイン後にスマホ版とPC版を切替可能です）

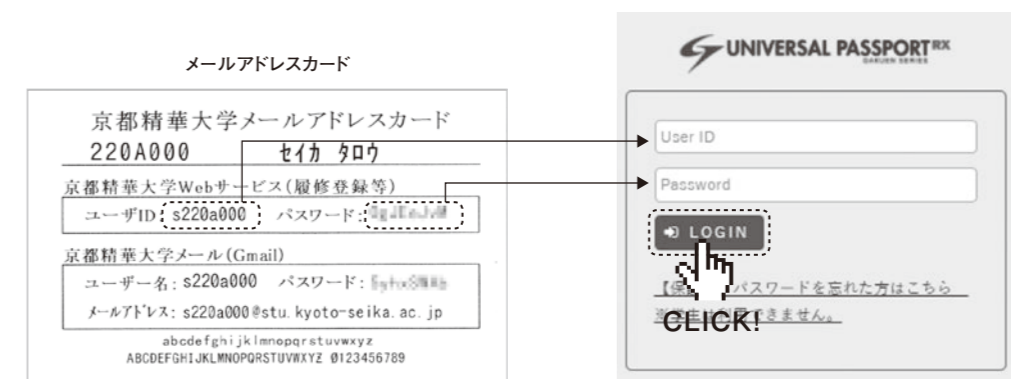


QRコード

(2) セイカ・ポータルへのログイン

入学時に配布された名刺サイズの「メールアドレスカード」に記載されたユーザーIDとパスワードをログイン画面の所定ボックスに入力して、「LOGIN」ボタンをクリックしてください。

※「メールアドレスカード」を紛失した場合は、情報管理窓口で再発行の手続きを行ってください。



(3) スマホ版のログイン後のトップ画面は以下のような構成となっています。

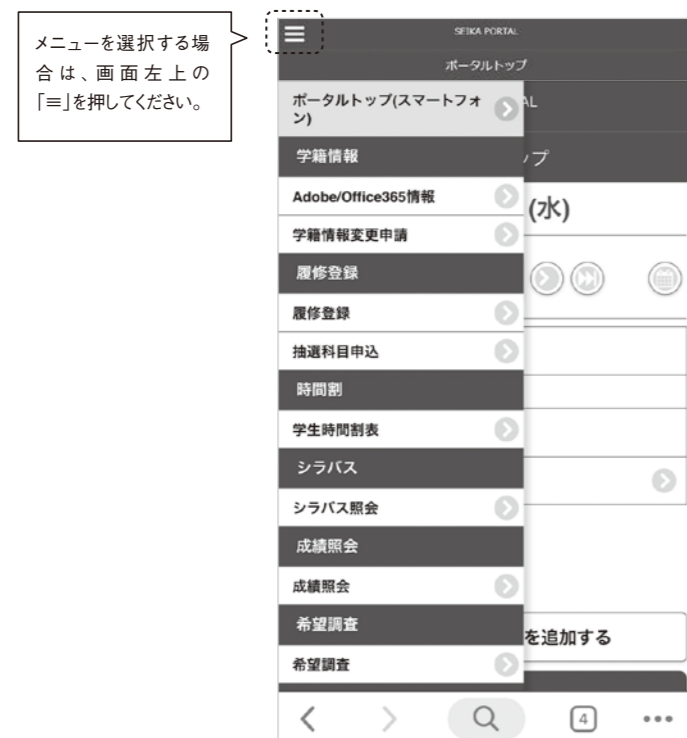


掲示板
休講・補講・教室変更などの授業関連情報や学生生活、キャリア支援などの各種お知らせが届いていることを知らせます。

リンク集
授業評価アンケートなどに回答するためのアンケートシステムのほか、学生生活に必要な各種システムへのリンクがまとめられています。

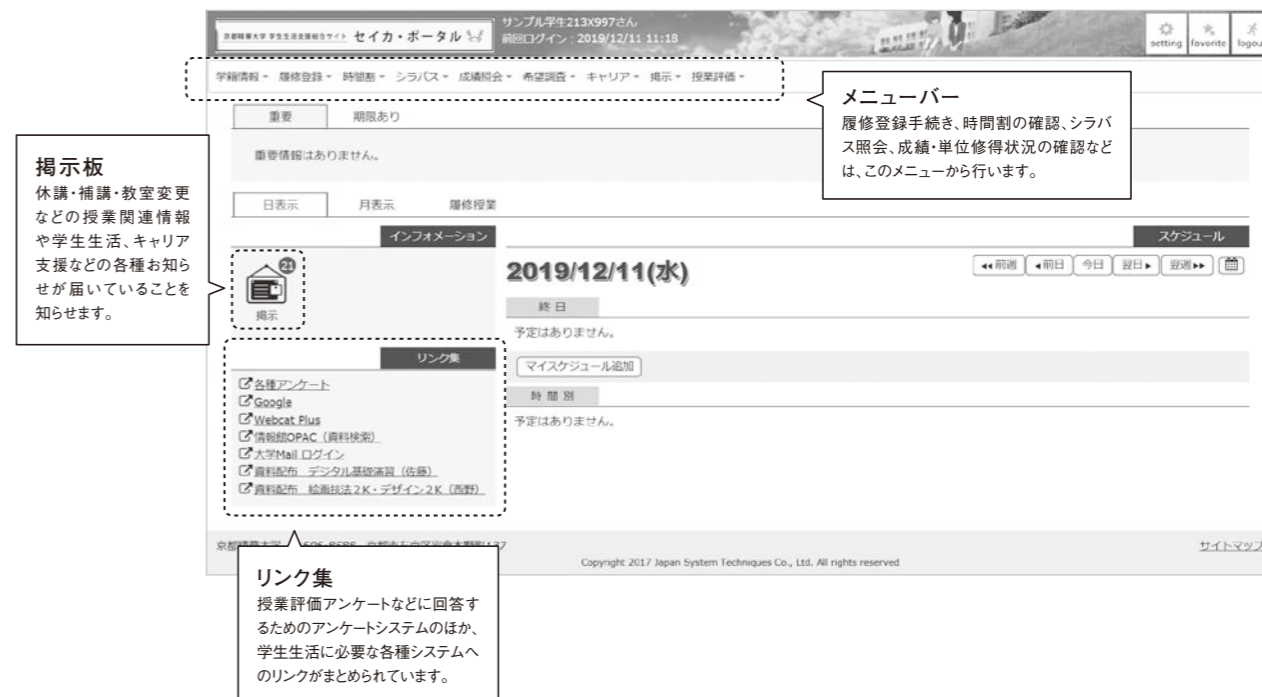
メニューバー
履修登録手続き、時間割の確認、シラバス照会、成績・単位取得状況の確認などは、このメニューから行います。

(メニュー表示画面)



メニューを選択する場合は、画面左上の「≡」を押してください。

(4) PC版のログイン後のトップ画面(以降、トップ画面)は以下のような構成となっています。



掲示板
休講・補講・教室変更などの授業関連情報や学生生活、キャリア支援などの各種お知らせが届いていることを知らせます。

リンク集
授業評価アンケートなどに回答するためのアンケートシステムのほか、学生生活に必要な各種システムへのリンクがまとめられています。

メニューバー
履修登録手続き、時間割の確認、シラバス照会、成績・単位取得状況の確認などは、このメニューから行います。

※ログイン後にスマホ版とPC版の切り替えはできません。一度ログアウトし、再度ログインしてください。

4. セイカ・ポータルのマニュアル提示

各種機能の操作マニュアルは、セイカ・ポータルの掲示板および ? アイコンより確認できます。

(1) 掲示板で確認する

以下の手順で確認してください。

PC版 「掲示板」▶ キーワード検索窓にて「セイカ・ポータル利用マニュアル」と入力 ▶ 「検索」ボタンをクリック

スマホ版 「掲示板」▶ 「検索する」バー右の「+」ボタンをクリック ▶ キーワード検索窓にて「セイカ・ポータル利用マニュアル」と入力 ▶ 「検索」ボタンをクリック

(2) ? マークより確認する

右上にマークが表示されているページは、表示しているページに関連した各機能のマニュアルが掲示されています。履修登録などのマニュアルを掲示していますので必要に応じて確認してください。

経済的支援

1. 奨学金制度

奨学金は減免・給付型と貸与型に大別されます。減免・給付型とは、返済の必要のない奨学金で、貸与型は返済しなければならない奨学金です。また、奨学金には本学が独自に設けている制度と、国やそのほか地方自治体などが設けている制度があります。

(1) 京都精華大学独自の奨学金

奨学金の種類	金額(年間)	対象	採用人数	選考基準(抜粋)	出願・選考方法	時期
成績優秀奨学金 減免	年間授業料の1/4の額	国内学生全学部 留学生全学部	45名 (各学年15名) (国内学生と留学生の合計人数)	学部2~4年生に在籍する学部生のうち、以下のすべてを満たす者 ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:31単位、3年生:62単位、4年生:93単位) ● 前年度GPAが3.0以上の者 ● 対象となる当該年度に休学していない者	【出願】不要 【選考】成績要件を満たす者のうち成績上位者を採用	対象者確認: 5月下旬 審査・選考: 6月中旬 採否通知: 7月上旬
私費外国人留学生学部学費減免 減免	年間授業料の1/4の額	留学生全学部	84名 (各学年28名)	学部2~4年生に在籍する私費外国人留学生のうち、以下のすべてを満たす者 【経済要件】 ● 仕送り(授業料を除く)が平均月額70,000円以下であること ● 家賃(共益費含む)が月額25,000円以下であること ● 在日している扶養者がいる場合、その年収が500万円以下であること 【成績要件】 ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:31単位、3年生:62単位、4年生:93単位) ● 前年度GPAが2.5以上の者 ● 対象となる当該年度に休学していない者	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】家計と成績要件を満たす者のうち成績上位者を採用	要項公表: 4月下旬 申込締切: 5月下旬 審査・選考: 6月中旬 採否通知: 7月上旬
海外プログラム学修奨励奨学金 減免	年間授業料の1/2の額	国内学生全学部 国内学生大学院 留学生全学部 留学生大学院	20名 (国内学生と留学生の合計人数)	● 本学の海外協定校への交換留学および海外プログラム(ショートプログラムは除く)を履修する者 ● 上記の派遣期間が半年間以上の者 ● 前年度GPAが3.0以上の者 ● TOEFL-iTPの得点が550点以上の者 ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:31単位、3年生:62単位、4年生:93単位) ● 対象となる当該年度に休学していない者 ● 過去に本奨学金を受給していない者	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】提出書類(計画書)および面接により選考	セイカポータルにて後日連絡
海外プログラム履修奨励貸与奨学金 貸与/無利子	最大300,000円	国内学生全学部 留学生全学部	不定	● 正課科目として開講する海外プログラムを受講する意志があるにもかかわらず、経済的な理由で履修困難な学生	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】提出書類により選考	セイカポータルにて後日連絡

奨学金の種類	金額(年間)	対象	採用人数	選考基準(抜粋)	出願・選考方法	時期
国内学生大学院学費減免 減免	博士前期・修士課程 年間授業料の1/2の額 博士後期課程 年間授業料の3/4の額	国内学生大学院	博士前期・修士課程 4名 博士後期課程 3名	【経済要件】 本学が定める経済基準(給与収入の方で年収約300万円程度以下)を満たす者 【成績要件】 ■博士前期・修士課程 1年生: 成績要件なし 2年生: ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:16単位) ● 前年度GPAが3.0以上の者 ● 対象となる当該年度に休学していない者 ■博士後期課程 1年生: 成績要件 2・3年生: ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:6単位、3年生:10単位) ● 前年度GPAが3.0以上の者 ● 前年度に研究科において研究計画の進捗状況が良好であると認められた者 ● 対象となる当該年度に休学していない者	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】提出書類と成績により選考	要項公表: 4月下旬 申込締切: 5月下旬 審査・選考: 6月中旬 採否通知: 7月上旬
私費外国人留学生大学院学費減免 減免	博士前期・修士課程 年間授業料の1/2の額 博士後期課程 年間授業料の3/4の額	留学生大学院	博士前期・修士課程 10名 博士後期課程 2名	【経済要件】 ● 仕送り(入学金、学費を除く)が平均月額70,000円以下である者 ● 家賃(共益費含む)が月額25,000円以下である者 ● 在日している扶養者がいる場合、その年収が500万円以下である者 【成績要件】 ■博士前期・修士課程 1年生: 成績要件なし 2年生: ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:16単位) ● 前年度GPAが3.0以上の者 ● 対象となる当該年度に休学していない者 ■博士後期課程 1年生: 成績要件なし 2・3年生: ● 標準的な単位数を前年度までに修得している者(2年生:6単位、3年生:10単位) ● 前年度GPAが3.0以上の者 ● 前年度に研究科において研究計画の進捗状況が良好であると認められた者 ● 対象となる当該年度に休学していない者	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】提出書類と成績により選考	要項公表: 4月下旬 申込締切: 5月下旬 審査・選考: 6月中旬 採否通知: 7月上旬
短期奨学貸付金 貸与/無利子	最大30,000円	国内学生全学部 国内学生大学院 留学生全学部 留学生大学院	不定	● 学生生活維持のために緊急の出費を要する者 ● 貸与から6カ月以内に返還できる者 ※休学中の学生は対象外	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】提出書類により選考	随時
自然災害等の被災者に対する学費減免等救済措置 減免	最大年間授業料の1/2の額	国内学生全学部 国内学生大学院 留学生全学部 留学生大学院	不定	● 災害救助法の適用地域に本人もしくは学費支弁者が居住する者	【出願】申請書類を学生支援チームに提出 【選考】提出書類により選考	随時

※募集時期は変更する可能性があります。「セイカポータル」の掲示を確認してください。

学生生活の支援

(2)日本学生支援機構奨学金

経済的理由によって修学が困難な学生を支援する国の教育事業です。返済不要の給付型奨学金と、卒業後に返還が必要な貸与型奨学金があります。例年4月に申込説明会を実施しますので、希望者は「セイカ・ポータル」を確認し、必ず出席するようにしてください。なお、給付型奨学金の採用者は授業料等減免も同時に受けることができます(高等教育の修学支援新制度)。

	奨学金の種類	金額(月額を以下から選択)	対象	利用実績 (2020年9月時点)	選考基準(成績)
学部	第一種 貸与(無利子)	20,000～40,000円、最高月額 54,000円 (自宅通学・1万円単位で選択) 20,000～50,000円、最高月額 64,000円 (自宅外通学・1万円単位で選択) ※最高月額を選択するためには一定の家計基準を満たす必要があります	経済的理由により修学が困難で、人物・学業が優秀な学生 日本人 全学部	341人 (在学生の10.4%が利用)	●高校での評定平均が3.5以上
	第二種 貸与(有利子)	20,000円～120,000円 (1万円単位で選択)	経済的理由により修学に困難がある学生 日本人 全学部	692人 (在学生の21.1%が利用)	●学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込があると認められること
	修学支援新制度 (給付奨学金+授業料減免) 給付	【給付奨学金】 12,800円～42,500円(自宅通学) 25,300円～75,800円(自宅外通学) ※家計により定められます 【授業料等減免】 233,400円～700,000円(授業料) 66,700円～200,000円(入学金) ※家計により定められます	下記のいずれか ●住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生 ●保護者の死亡や解雇、被災などによる家計急変があった学生 日本人 全学部	236人 (在学生の7.2%が利用)	●入試成績上位2分の1以上または学修計画書提出
研究科	第一種 貸与(無利子)	博士前期:50,000円、88,000円 博士後期:80,000円、122,000円	経済的理由により修学が困難で、成績が特に優れる学生 日本人 全研究科	4人 (在学生の2.5%が利用)	●将来、高度の専門性を要する職業等に必要能力を備えて活躍できると認められる人
	第二種 貸与(有利子)	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円、150,000円	経済的理由により修学が困難で、成績が優れる学生 日本人 全研究科	2人 (在学生の1.3%が利用)	●学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込があると認められること

(3)その他

各地方公共団体・民間育英団体が運営する奨学金制度については、学生支援チームにお問い合わせください。

2.学資ローン

民間の金融機関や日本政策金融公庫など国の金融機関が、個人を対象に資金使途を教育関連費用に限定したローン制度を設けています。制度の詳細については、大学Webサイトを参照してください。

3.国民年金学生納付特例制度

現在、日本国内に住むすべての人は20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられています。所得の少ない学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本制度の手続きは学生支援チームで行うことができます。

1.教員に相談するには

本学の専任教員に相談・質問がある場合は、オフィスパワーを利用することができます。オフィスパワーとは、指定された時間帯であれば、教員の研究室を訪れ、授業に関する質問や学生生活に関する相談などを行うことができる制度です。各教員が設けているオフィスパワーの時間帯は、「セイカ・ポータル」もしくは教務チームで確認することができます。

2.学生相談室(カウンセリング・フリールーム)

「気分が落ち込む」「悩みや心理的な不調がある」といったとき、身近に悩みごとや困りごとを相談できる人がいないとき、本館3階にある学生相談室で臨床心理士の資格をもったカウンセラーに相談することができます。また精神科クリニック等を教えてほしいという場合にも、こちらで相談を受け付けています。カウンセリングは予約制ですので、右の2つの方法のどちらかで申し込んでください。

- 1.専用アドレス gakusou2020@kyoto-seika.ac.jp にメールを送信する
- 2.「予約申込票」を記入し、学生相談室前のポストに投函する

※メールには「氏名・学籍番号・学部・学年・相談したいこと・来室可能な曜日と時間帯」を記載してください。
※「予約申込票」は学生相談室前や本館1階の学生支援チーム前などに置いてあります。

また、学生相談室には「フリースペース」があります。「授業の合間にちょっと休みたい」「横になって静かにボーっとしたい」といったときにくつろぎスペースとして利用できますので、気軽にたずねてみてください。開室時間は平日10:30～18:00です。臨時的閉室などは学生相談室前の掲示などで確認してください。

3.なんでも相談窓口

「どこに相談したらいいかわからない」「一度話を聞いてほしい」といったときには体育館3階の「なんでも相談窓口」を利用することができます。授業のこと、生活のこと、人間関係のこと、将来のことなど、皆さんの大学生生活のさまざまな悩みや疑問の解決に向けて、社会福祉士の資格を持ったキャンパスソーシャルワーカーがお手伝いします。また必要に応じて環境調整を行ったり、学内外の相談窓口や支援機関を案内します。予約なしでも相談できますが、予約を取ってもらうこともできます。メールは nandemo@kyoto-seika.ac.jp です。ほかにポータル配信なども随時行っていますので、確認のうえ、気軽に“なんでも”相談してください。

4.ハラスメントに関する相談窓口

ハラスメントとは、言葉や行為により、相手方に不利益や不快感を与え、その尊厳を傷付けることを意味します。本学では、ハラスメントに関する学内相談窓口を設置しています。また、相談者のプライバシー保護を優先し、秘密を厳守します。

- 電話・Eメール相談窓口 ハラスメント相談室
[学生支援チーム] 受付時間 9:00～17:00(月曜日～金曜日)
TEL 075-702-5265 E-mail gsoudan@kyoto-seika.ac.jp
- 手紙による相談窓口
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137番地
京都精華大学 学生支援チームまたは総務チーム
ハラスメント相談室 宛
- [総務チーム] 受付時間 9:00～17:00(月曜日～金曜日)
TEL 075-702-5336 E-mail soudan@kyoto-seika.ac.jp

5.障害学生支援

障害学生支援の窓口として「障害学生支援室」を設置し、障害があるなどの理由により修学上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ、必要に応じた修学支援を行っています。困りごとはあるけれど、必要な支援が具体的に分からない場合も、ぜひ相談してください。また、講義の情報保障(ノートテイク、字幕制作など)について、在学生の学生サポーターが担っています。障害学生支援室では、学生サポーターの募集・養成を随時行っており、「セイカ・ポータル」等で案内しますので、サポート活動に興味のある方はご参加ください。

- 連絡先 TEL 075-702-5268 E-mail shien@kyoto-seika.ac.jp
- 場所 本館1階 学生支援チーム内

6.定期健康診断

春季オリエンテーション期間中に学内で定期健康診断を無料で受診することができます。自身の健康状態の確認のために必ず受診してください。とりわけ教職課程の介護等体験対象者や就職活動を控えた3・4年生は、体験先や企業に健康診断書を提出する必要があります。定期健康診断を受けず、後で健康診断の必要が生じた場合は自費(15,000円程度)で受診することになります。健康診断の日程は学部・学年別に指定されます。ただし、性別違和や健康上の理由などで別日程の受診を希望する人を対象に専用の時間帯を設けていますので、希望者は学生支援チームに相談してください。

7. 動物園・美術館・映画館などの優待

(1) 学生証の提示により無料・優待価格で利用できる施設

京都国立近代美術館／国立国際美術館／京都国立博物館／奈良国立博物館／細見美術館／茶道資料館／
京都市動物園(学生支援チームで無料入場券を配布)／京都国際マンガミュージアム

※詳細は大学Webサイトで確認してください

(2) 京都市キャンパス文化パートナーズ制度

本学は京都市キャンパス文化パートナーズ制度に加入しています。同制度は、京都市が学生に対して文化芸術に対する理解を深める機会を与えるものです。本学の学生は、この制度に登録・入会すると、学生証と会員証の提示により、次の文化施設を利用する場合に優待を受けることができます。文化施設や登録・入会手続(無料)方法などの詳細は、京都市Webサイトで確認してください。

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000111091.html>

元離宮二条城／無鄰菴／京都市京セラ美術館(主催展に限る)／岩倉具視幽棲旧宅／京都市学校歴史博物館／
大谷大学博物館／京都工芸繊維大学美術工芸資料館／京都大学総合博物館／立命館大学国際平和ミュージアム／
龍谷大学龍谷ミュージアム／京都市青少年科学センター／京都伝統産業ふれあい館／京都万華鏡ミュージアム姉小路館／
大西清右衛門美術館／京都紋り工芸館／高台寺掌美術館／島津製作所創業記念資料館／西陣くらしの美術館富田屋／
藤森神社宝物殿／宮井ふろしき・袱紗ギャラリー／霊山歴史館(幕末維新ミュージアム)

8. 無償で利用できるソフトウェア

本学は各種ソフトウェア会社と独自のライセンス契約を結んでいるため、在籍する学生はすべて以下のソフトウェアを無償で使用できます。

- (1) Adobe Creative Cloud 「After Effects」「Illustrator」「InDesign」「Photoshop」など
- (2) Microsoft Office 「Word」「Excel」「PowerPoint」「Access」など

※上記ソフトウェアを利用できるのは、在学期間中に限られます。 ※ソフトウェアの利用に関する詳細は、情報管理窓口(対峰館1階)にお問い合わせください。

9. アルバイトの紹介

大学では学生の皆さんへ安心できるアルバイト情報を提供しています。アルバイトの紹介方法は下記の二通りです。

(1) インターネットを利用したアルバイト情報の閲覧・申込み

利用登録には大学で交付するE-mailアドレスが必要です。アルバイト情報紹介システム <https://www.aines.net/kyoto-seika> から、E-mailアドレスを使用し、登録を行うとIDとパスワードを取得できます。登録後は24時間いつでもアルバイト情報を閲覧することができます。

※大学のE-mailアドレスを取得していない方は、情報管理担当(対峰館1階)にて手続きを行ってください。

(2) 本館前掲示板でのアルバイト情報の閲覧・申込み

学生支援チーム掲示板に学内アルバイトの求人票を掲示しています。紹介を受けたい求人票の番号を学生支援チームへ申し出て「紹介状」を受け取ってください。

※(1)のアルバイト紹介システムとは異なる求人情報を掲示しています。

10. 住まいの紹介

1人暮らしを始めるにあたり、住まいを探す際には、本学が提携している業者の紹介を受けることができます。

株式会社 フラットエージェンシー 北大路駅前店 ☎ 0120-44-0669 営業時間 10:00～18:00 定休日 水曜日(2月～3月は無休)

11. 学外アトリエ「the SITE」

本学が所有するレンタルスペースです。京都市左京区に所有する校舎をリノベーションし、アトリエ・事務所・店舗として貸し出しています。

学外アトリエ「the SITE」 所在地 京都市左京区田中東春菜町30番地3
アクセス 観山電鉄観山本線「元田中」「茶山」駅 徒歩5分 賃料 4.5万円から13万円+消費税(共益費8,000円+消費税)
問い合わせ先 総務チーム TEL 075-702-5131

学内のルール

1. 忘れ物・落とし物の取り扱い

学内で忘れ物・落とし物をした場合、または拾得した場合は、学生支援チームへ届け出てください。持ち主が判明した場合は本人に連絡をします。また、持ち主が分からない拾得物は、3カ月間を限度に保管します。

※キャッシュカードやクレジットカードなどを紛失した場合は、速やかに最寄りの交番へ届け出るとともに、銀行または発行会社に必ず連絡してください。

2. 郵便物の取り扱い

学生個人宛の郵便物や宅配便などは受け付けません。自宅で受け取るよう手配してください。

3. 京都精華大学環境方針

本学では、2018年4月1日にウスビ・サコ学長のもと、以下の環境方針を策定しています。

(1) 基本理念

京都精華大学は「自由自治」を教育理念とし、芸術・文化の教育を通して、あたらしい社会と文化の創造に取り組んでいる。本学は、その活動を基盤として、ひとびとが自然と調和し、自由と平和を享受できる未来の実現をめざす。これは、自然環境、社会環境、生活環境といった人間をとり巻くあらゆる次元での環境において追求されるものである。そのために、大学の教育活動によって、環境に関する意識を醸成するとともに、様々な実践をとり入れて、人類史の展開に尽くそうとする人間の育成をはかる。

(2) 基本方針

- ① 京都精華大学の教員・職員・学生および常駐する委託会社社員を含めた全員が協力し、自然環境と共生した人間を含めた生物にとって健康かつ安全で快適なキャンパス空間の創造につとめる。
- ② 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識を形成し、一人ひとりが責任と自覚を持ち、自発的に行動できる人間の育成につとめる。
- ③ 大学が社会的存在であることをふまえ、学生の社会的成長をうながすための、社会に開かれた教育プログラムを設定し、展開する。
- ④ あらゆる活動において、使用エネルギーの削減、資源の有効利用など、エネルギー効率を高める方策に積極的に取り組み、また環境汚染を予防するための関連法規などを遵守する。

4. 快適なキャンパスライフのためにできること

快適なキャンパスライフを維持するために、本学の構成員として実行してください。

(1) ごみ分別は「義務」です

- ① 日常のごみは、種類別に分別廃棄する
- ② 制作ごみは、朝夕館横の集積場に分別廃棄する
※P.30「京都精華大学ごみ分別表」参照
※正しく分別しないと回収を断られることがあります。
※特に「紙ごみ」と「プラスチックごみ」を「燃えるごみ」に入れるケースが目立ちます。

(2) 限りある資源やエネルギーは大切に

- ① 教室や実習室はこまめに消灯、エアコンや換気扇のスイッチもOFF
- ② 冷房は28℃、暖房は20℃設定にする
- ③ トイレの暖房便座は必ずふたを開める
- ④ 余ったペンキや溶剤類は、流しや水路に流さず、ウエスで拭き取り、「燃えるごみ」に出す
- ⑤ 「プラスチックごみ」、「缶・ペットボトル」、「紙ごみ」はリサイクルのため分別してごみに出す

(3) 安全で快適なキャンパスを作り、守る




- ① 実習室や設備などは整理整頓し、きれいに使う
- ② バイクは専用駐車場にとめる(キャンパス内乗り入れ禁止)
- ③ 自転車は押して歩く(キャンパス内走行禁止)
- ④ 指定喫煙場所以外は禁煙(歩きタバコ、ポイ捨て禁止)
※P.232キャンパスマップ参照
- ⑤ 点字ブロックの上や付近に物を置かない(一時的であってもダメ)

5.ごみの分別について

大学から出すごみは分別することが義務となっています。大学の構成員として、以下の分別表に従ったごみの分別を行ってください。正しく分別しない場合、ごみ回収を断られることがあります。不明な点は下記担当(施設・情報管理チーム 施設管理担当)までご連絡、ご相談ください。

京都精華大学ごみ分別表

適切に分別しましょう
～混ぜればごみ、分ければ資源～

 プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> ●ビニール類 (ビニール紐・PPバンド・梱包材など) ●プラスチック製容器・包装※1 (カップ・キャップ・フィルム・ラベルなどがついたもの) ●発泡スチロール※2 ●スチレンボード※2 ●プラスチック製品 (クリアファイル・ペン・ディスク・ラミネートされたものなど) 	<p>※1: ・飲食物がついた容器は、洗うか汚れをふき取ること ・インク類の空容器は朝夕館の集積場へ</p> <p>※2: ・細かく削ったものは透明ビニール袋にまとめること ・サイズが大きいものは朝夕館の集積場へ</p>
 缶・ペットボトル	<ul style="list-style-type: none"> ●飲料用の缶・ペットボトル 	<p>・飲み残しやごみは入れないこと ・溶剤缶やスプレー缶は朝夕館の集積場へ ・菓子缶などはごみ箱前に置くこと</p> <p>●飲料用ガラスびん</p> <p>専用回収箱へ</p> <p>・溶剤類のびんは朝夕館の集積場へ ・割れたびんは袋に入れごみ箱の前に置くこと</p>
 紙・紙製品	<ul style="list-style-type: none"> ●コピー用紙・メモ用紙 ●ハガキ・チラシ・ポスター ●封筒 ●画用紙 ●包装紙・紙袋・紙箱・紙筒 ●ボール紙・クラフト紙 	<p>次のものはリサイクル不可のため燃えるごみへ</p> <p>紙コップ・紙バック・写真・ビニールコート紙・シール・圧着はがき・和紙・金紙・銀紙・汚れた紙類など</p> <p>古紙回収となるもの</p> <p>ごみ箱の横にまとめて置く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●段ボール ●新聞紙、雑誌、書籍 ●シュレッダーごみ <p>機密書類</p> <p>段ボールに詰め、封をせず施設管理担当まで</p> <p>クリップやファイル、機密性の高いチラシや封筒などは入れないこと</p>
 燃えるごみ	<ul style="list-style-type: none"> ●生ごみ ●わりばし ●紙コップ・紙バック ●合成紙・粘着紙 (写真・光沢紙・粘着シールなど) ●感熱紙 (レシート・カーボン紙など) ●耐油紙 (パラフィン紙・トレーシングペーパーなど) ●汚れた紙類 (使用済みティッシュ類・食品や油で汚れた紙皿やシートなど) ●布 (ウエス・ぞうきん・不織布など) ●その他 (輪ゴム・ガムテープなど) 	<p>汚れたプラスチックは、洗うか汚れを拭き取りプラスチックへ</p> <p>実習室内のごみ箱も「燃えるごみ」と同様です。</p>
<p>ごみ箱に廃棄できないもの 朝夕館の集積場に分別してください</p> <p>朝夕館の搬入は 9:00～16:00 搬入時には必ず用務員さんに声をかけてください</p>		
<p>●廃プラスチック ※上記ごみ箱に入らないサイズの大きいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発泡スチロール ●スタイロフォーム ●樹脂制作物 ●FRP制作物 	<p>●木くず</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パネル ●コンパネ ●看板 	<p>●陶磁器・ガラスくず</p> <p>●石膏くず</p>
<p>●溶剤類の缶・びん</p>	<p>●電化製品・大型ごみに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン ●パソコン・プリンター ●大型ごみ (畳・ソファなど) 	<p>●電池類</p>

【施設・情報管理チーム 施設管理担当】 TEL:075-702-5228

緊急事態発生時の対応・事前対策

1. キャンパス内で火災・地震が発生した際の対応

(1) 火災が発生した(火災を発見した)場合

① 大声で周囲に知らせ、火災報知機を押す。または通報する。

施設・情報管理チーム TEL 075-702-5228
警備棟 TEL 075-722-3729 消防署 TEL 119

② 廊下または実習室内に設置してある消火器や消火栓で初期消火をする。

消火器の使用法

1. 安全栓(黄色いリング)を抜く
2. ホースを外し、火元に向ける
3. レバーを強く握り、放射する(消火器の放射時間は15秒!)
4. 1本で消せない場合は周囲に応援を呼ぶ

③ 初期消火できない場合は、安全な場所へ避難する。

避難にはエレベーターを使わず、必ず階段を使うこと。
煙が発生している場合は、身をかがめて低い姿勢になり、ハンカチで口を覆うなど煙を吸い込まないようにすること。

(2) 地震が発生した場合

① 丈夫な机の下に避難し、衣類やかばんなどで頭を守るなど身の安全を図る。

② 窓や扉を開けるなど出口を確保する。

③ 必ず火を止め、万一出火した場合は初期消火をする。

④ 扉を開けたままにし、負傷者を優先し、安全な場所へ避難する(すぐに外に出ないこと)。

●避難場所はグラウンドです。

※火災予防のため日ごろから消火器や消火栓、防火扉の前には物を置かないでください。

※廊下や階段、非常口は避難経路となるため日ごろから物を置かないよう心がけてください。

2. 災害に備えた対策・基礎知識

(1) 日頃の対策

被害や不安を少しでも軽減するために以下の対策をしておきましょう。

- ① 避難場所の確認(大学付近および自宅周辺など)
- ② 家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認
- ③ 災害用伝言サービスの確認と登録(事前登録が必要な場合があります)
- ④ 帰宅ルートおよび所要時間の確認
- ⑤ 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- ⑥ 大学および友人などへの連絡方法の確認およびリスト整備

(2) 大地震が発生した場合の基礎知識

- ① 倒れやすい物から離れ、落下物から頭を守りましょう。
- ② むやみに動き、屋外に飛び出さないでください。
- ③ 非常口やドアなどを開けて避難口を確保しましょう。
- ④ 避難時は荷物を最小限にし、徒歩で避難しましょう。
- ⑤ 火を扱っている場合は、身の安全を確認した後、火の始末をしてください。
- ⑥ 避難時は、エレベーター、エスカレーターは使用せずに階段を使って避難しましょう。
- ⑦ 震災時には正確な情報収集を心がけてください。
- ⑧ 大学への安否連絡に協力をお願いします。
- ⑨ 災害時は周囲の人と協力して助け合いましょう。
- ⑩ 大学内では教職員の指示に従って行動してください。

(3) 家族への連絡方法

① NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時、電話がつながりにくい状況になったときに、提供されるサービスです。

●伝言の録音方法

- ①「171」へ電話をかけます。ガイダンスが流れます。
- ②「1」をダイヤル。
- ③市外局番+自宅電話番号。

●伝言の再生方法

- ①「171」へ電話をかけます。ガイダンスが流れます。
- ②「2」をダイヤル。
- ③市外局番+被災地の人の電話番号。

※被災地の人も、被災地以外の人も利用方法は同じです。

②携帯各社の災害用伝言板サービス

携帯電話各社でも災害発生時に「災害用伝言板」などのサイトが利用できるようになります。事前登録が必要な場合もありますので、利用方法を確認しておきましょう。

(4) 大学への安否報告

災害が発生した場合、大学は学生の安否確認を行います。災害発生時に登校していない場合は、連絡可能になり次第いずれかの方法で学生支援チームに連絡してください。その際には、学籍番号、氏名、現在の状況を知らせてください。

学生支援チーム TEL 075-702-5101
E-mail gakusei@kyoto-seika.ac.jp

ケガ・体調不良時の対応

1. 学内でのケガ・体調不良

学内でケガをした場合や体調が悪くなった場合は、保健室を利用することができます。保健室には看護師が常駐し、応急手当や健康に関するアドバイスを行っています。

保健室 (本館1階)	開室時間 (授業期間中のみ)	月～金 10:00～17:00(閉室時間11:30～12:30) 土 10:00～14:30(閉室時間11:30～12:30)
----------------------	--------------------------	--

2. 最寄りの医療機関

本学では、以下の医療機関と提携し、学生の保健管理や健康診断を行っています。

丹羽内科医院 (校医)
 京都市左京区岩倉三宅町360(叡山電車「八幡前」駅下車、北へ徒歩5分) TEL 075-781-5221
 診察時間 9:00～12:00、17:00～19:00 休診日 木曜・日曜・祝日・土曜午後 URL <http://www.niwanaika.net>

また、校医以外の最寄りの医療機関については、学生支援チームで紹介していますので、必要に応じて問い合わせてください。

3. 学内で負傷者を発見したら

学内で負傷者を発見したときは、慌てずに周りの人に知らせ、協力して応急手当をすするとともに、教職員に連絡し、指示を仰いでください。緊急時に備え、本学ではAED(自動体外式除細動器)をキャンパスおよび学外施設に設置しています。AEDは、心肺停止者が心室細動状態か否かを自動的に判断し、必要に応じて電気ショックを与える医療機器です。キャンパス内に4カ所、学外施設に3カ所設置しており、誰でも利用できます。

AED設置場所

(1)キャンパス内 ※P.232～233キャンパスマップ参照

①本館1階 ②体育館1階 ③情報館2階 ④警備棟

(2)学外施設

①京都国際マンガミュージアム ②丹後学舎 ③朽木学舎



4. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では、全学生が入学時に「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。講義や実習、課外(クラブ)活動、通学中の事故によるケガの治療、他人にケガをさせたり、器物を破損してしまったときの賠償には、一定条件の下に保険金が支払われます。そのような場合は、速やかに学生支援チームに連絡してください。

●学生教育研究災害傷害保険

国内外における正課中(講義、実習、演習)、学校行事、課外活動(クラブ・サークル、インターンシップ、ボランティア活動)などの教育研究活動中、学内施設利用中、通学中の事故によるケガを治療した場合、一定条件のもとに保険金が支払われます。

●学研災付帯賠償責任保険

国内外における正課中(講義、実習、演習)、学校行事、課外活動(クラブ・サークル、インターンシップ、ボランティア活動)またはその往復において、他人にケガをさせた場合や、他人の器物を破損させた場合、一定条件のもとに保険金が支払われます。

※インターンシップを保険対象とするためには、事前にキャリア支援チームに届出書を提出する必要があります。

様々なトラブルを防ぐために

1. 飲酒・喫煙時の注意 (20歳未満の飲酒・喫煙は違法です)

(1) 飲酒

2010年に発生した学生の飲酒死亡事故以降、学内外を問わず大学施設内では飲酒はできません。(一部時間帯のREATAを除く)

①アルコールハラスメントはやめましょう。イッキ飲み、罰ゲーム、上下関係で飲酒を強要する、その雰囲気をつくる、大量に飲ませて酔いつぶす、酔ってからむなど、すべてがアルコールハラスメントであり、人権侵害です。命を失うケースもあり、傷害などの犯罪に発展する可能性のある極めて悪質かつ危険な行為です。絶対にやめましょう。

②飲酒運転はやめましょう。お酒を飲んで、車・バイク・自転車を運転することは法律で固く禁止されています。また、飲酒運転は本人だけでなく第三者にも迷惑や被害を与える大きな事故につながります。また、お酒を飲んでいる人の運転を制止する立場にありながら止めなかった人も処罰の対象となることがあります。絶対にやめましょう。

(2) 喫煙

すべての人が快適に過ごせるキャンパスづくりのために、キャンパスは指定場所以外全面禁煙です。喫煙の際には、タバコを吸わない人に煙を吸わせることや、不快な思いをさせることがないように、周囲に配慮し、マナーを守ってください。歩きタバコ、吸いがらのポイ捨てはやめましょう。本学における特定屋外喫煙場所はP.232のキャンパスマップに記載されています。

2. 薬物乱用の防止

大麻や覚せい剤、麻薬などの違法薬物を使用することは犯罪です。違法薬物はその乱用だけでなく所持も禁止されており、例えば、大麻所持の場合は5年以下の懲役に処せられます。

特に近年は青少年による大麻事犯が増加傾向にあり、2019年には本学学生6人が大麻取締法違反(所持)の罪で逮捕・起訴されました。インターネット等において「有害性がない」などの誤った情報が氾濫していますが、大麻の乱用は、青少年期に構築される脳・神経系の正常な発達及び成熟に障害を起こす可能性が強く示唆されており、10代の頃から使い始めると依存症になる危険が高まることが報告されています。

違法薬物はただ一度の使用でもあなたの人生を台無しにし、家族や友人などあなたに関わる周囲の人も傷つける恐れがあります。自ら使用しないことが大切ですが、他者から誘われた場合もしっかりと断り、必ず自分を守ってください。もし、あなたの周囲で使用の可能性のある場合はすぐに学生支援チームか教職員へ相談してください。大学に相談することは友人やクラスメイトを裏切る行為だと自身を責めることはありません。薬物乱用を止めないことのほうが、その人の人生を悪化させる恐れがあるからです。

また、「合法ドラッグ」や「合法ハーブ」といった危険ドラッグに関する事故やトラブルも社会問題化しています。身体への影響がなく安全であるかのように誤解されていますが、危険度は麻薬と同じ、またはそれ以上です。

薬物は絶対に買わない、使わない、かかわらないようにして自分を守ってください。

違法薬物に関するメールでの相談窓口 gakusei@kyoto-seika.ac.jp

3. ネット上のマナーおよび個人情報の取り扱いに関する注意

インターネットは、情報の収集や交流など、私たちの生活に欠かせないツールですが、一方で無防備な書き込みによるトラブルやフィッシング詐欺など、多くの社会問題も起きています。インターネット上の発言は、全世界の人に見られる可能性があり、一度書き込んだ内容を完全に削除することはできません。特に近年はSNSをきっかけにした学生間のトラブルが数多く発生しています。鍵やブロックをしても友人などを通じて相手に伝わる場合がありますので、個人情報や他人の人権を傷つける発言など、無防備・無責任な書き込みをしないよう気をつけましょう。また、芸術・表現を学ぶ学生としての自覚を持ち、著作権や肖像権の正しい理解と配慮を心がけましょう。

4. 悪徳商法・悪質団体への注意

路上での「キャッチセールス」や下宿への「訪問販売」で高値で不要な物売りつけられる、「宗教活動」に言葉巧みに誘い込まれる、「街頭アンケート」に答えたために後々までしつこくつきまとわれる、「学生ローン」を借りて元金の何倍もの返済に追われることになるなど、身の回りには様々な危険な誘いがあります。甘い言葉、うまい話にはくれぐれも注意してください。たとえ勧誘やセールスが執拗でも、毅然とした態度で断ることが大切です。万一、トラブルに巻き込まれてしまったときや不審に思ったときはすぐに学生支援チームに相談してください。

「訪問販売」に代表されるような、冷静に判断できないまま契約をしてしまいがち販売方法に対して、「クーリング・オフ制度」が設けられています。具体的には、特定の取引について、契約日を含む8日間以内（「マルチ商法」では20日間以内）であれば解約できる制度です。「クーリング・オフ制度」により商品を解約したい場合は、商品には絶対に手をつけずに、「解約通知」を簡易書留郵便で契約先へ送付してください。また「解約通知」は郵送する前にコピーをとり保管してください。「クーリング・オフ制度」を適用できる取引の詳細については、以下のサイトに掲載されています。

独立行政法人国民生活センター URL <http://www.kokusen.go.jp>

キャリア支援

CAREER SUPPORT >



セイカのキャリア支援

1. セイカのキャリア支援の考え方

「好きや得意を仕事に」を本気で支援

セイカのキャリア支援のコンセプトは「好きや得意を仕事に」です。大学を卒業すれば、基本的には社会に出て毎日多くの時間を仕事に使うこととなります。であれば、好きなことや得意なことにつながっている仕事の方が、より幸せに生きられるはず。それをただの理想ではなく一人ひとりが実現できるよう本気で支援するのが、セイカのキャリア支援です。

卒業後の進路にはいくつかのケースがあります。

学んできた内容を 活かす仕事に就く	専攻とは直結していないが 自分の特徴を活かせる 仕事に就く	自分で仕事をつくる (作家、マンガ家、 イラストレーターなど)
----------------------	-------------------------------------	---------------------------------------

どの進路を選ぶにしても優劣はありません。むしろどうい仕事のかたち、働き方に関心に向くかは、4年間の学生生活の間に大きく変化するものです。専攻分野にとらわれすぎずする必要もありません。専門資格が必須の仕事を除けば、専攻を問わずやってみたい!と思う仕事にいくらか挑戦できる時代です。そして、セイカではどの進路に対してもサポート体制を整えています。窓口対応だけでなく、授業や年間に多数実施するイベント・講座を通して、あらゆる角度からみなさんが自由な進路選択ができるよう支援していきます。

2. 進路を考えたときのヒント

進路選択に必要なのは自分だけの「経験」

どんな仕事のかたちを希望するとしても、仕事を探す際には「自分がどんな人間で何をやってきたか、何をしたいか」を伝えることが必要になります。つまり、進路を考えるには「自分自身の経験をどれだけ掘り下げられるか」が肝心になるのです。自由度の高い大学生時代に、好きなことややってみたいことに思い切り挑戦する経験をひとつでもふたつでも積むことが、大学生活で一番大事なことだと言えるかもしれません。そうした経験を積み重ねていけば、自分の傾向や将来の仕事の方向性が自ずと見えてくるはずですよ。

アンテナを張っていれば、セイカには学部を問わず誰でも参加・挑戦できるチャンスがたくさん転がっています。進路は自分のために自分で選び取るもの。人に流されたり合わせたりするのではなく、少しでも気になるものは積極的に参加してみてください。挑戦も失敗も含め「経験しないと学べないこと」こそが、あなただけの糧になります。

表現の学びは武器になる

「自己アピールできることがない」という相談を受けることがありますが、実は、表現を学ぶセイカの学生は無意識に多くの力を身につけています。「絵画」に取り組んでいるなら観察力や集中力が、「デザイン」ならコンセプトから考える企画力が、「マンガ」なら発想力や忍耐力が、「論文」なら客観性や分析力が…、といった具合に、各学部の日々の学びを通して自然に養われる力があります。

今のあなたは何が好きですか? 何が得意ですか? そして、周囲の人々や世界がどうなるとうれしいですか? 進路・就職のことを考えるとき、まずはこれを自分に問いかけてみてください。

3. 各学年別のステップとやっておくべきこと

進路選択に向けてどんな準備をしていけばいいのかを学年ごとに見ていきましょう。

	各学年別のステップとやっておくべきこと	キャリア支援チームからの一言アドバイス
1年生	1年目は、授業で基礎知識や技術をどんどん吸収するインプットがメインの時期です。興味関心をもったことは積極的に参加、挑戦しておく、それが後々進路を考えるときの資源になります。活動内容は、経過や結果を必ずデータで記録して!	 <p>吸収し基礎を固める時期。 失敗も成長の糧。 自由にどんどん挑戦して みるのが大事。</p> <p>キャリア支援チーム 公式キャラクター「うまび」</p>
2年生	授業課題はもちろん、課外プロジェクト、サークルやアルバイトなど課外活動にも力を入れられる時期。この時期に「〇〇に力を入れてがんばった!」と言える経験をつくっておくことが大事です。PCスキルも苦手分野は克服しておきましょう。	 <p>挑戦を蓄積する時期。 学内外の活動に 幅をもたせ、好きなことに 思い切り打ち込んで。</p>
3年生	進路ガイダンスが始まり、将来と自分について考え向き合う時期。情報収集と自分自身の考えを明確にできるかどうかで明暗を分けます。関心がある業界や仕事があれば積極的にインターンシップに参加するとよいでしょう。	 <p>進路と向き合う時期。 情報収集と自分自身の 考えを言葉にする 時間をつくろう。</p>
4年生	就職希望者は前半から活動が本格化。卒論、卒制と活動が重なってくるので、早めの行動が肝心。作家など就職以外の進路を希望する場合はとくに、活動を継続している環境を在学中にどれだけ整えられるかが大切になります。困ったとき、迷ったときはキャリア支援チームへ相談を!	 <p>活動本格化、 早めの行動が成功のカギ。 相談はどんな些細な ことでもウエルカム!</p>

4. 活用しよう！大学のキャリア支援

本学では、みなさんのキャリアに役立つさまざまなサポートを行っています。目的に合わせて積極的に利用してください。

学生グループ キャリア支援チーム	本館1階
------------------	------

(1) 進路・就職に関する個別相談

進路・就職に関する個別相談を受けられます。就職活動をはじめ進路についての悩みだけでなく、履歴書・エントリーシートの添削や面接指導、ポートフォリオのチェックも可能です。

対応時間 月～金 10:30～17:30（1回30分）
※相談希望日の前日18時までにキャリア支援チームで予約してください。初回は申込不要です。

(2) その他の窓口で受けられるサポート

先輩の作品ポートフォリオ閲覧	クリエイティブ職で内定を決めた先輩のポートフォリオを閲覧できます。ゲーム、アニメーション、広告、グラフィック、プロダクトなど多様な進路に対応したポートフォリオが揃っています。
就職関連書籍の貸し出し	様々な進路や働き方を考えるための書籍、業界や職種の解説本、ポートフォリオ制作の参考書籍、筆記試験対策本などをカウンターで借りられます。
履歴書の購入	大学オリジナルの履歴書を1部30円(封筒付き)で購入できます。
適職診断ゲーム	セイカ生の進路をもとにキャリア独自に制作した適職診断カード「セイカミライカード」を使って、ゲーム感覚で適職診断ができます。自分に向いている仕事がわからず悩んでいる人は一度、窓口まで来てください。

(3) 窓口以外で受けられるサポート

「セイカ・ポータル」、学内メールを通じた情報発信	「セイカ・ポータル」、学内メールを通じてキャリア支援チーム主催の講座・ガイダンスをはじめ、学外のインターンシップ、就職・進路に関するイベントなどについての情報を随時配信しています。必要な情報をしっかりチェックしましょう。
就職活動体験レポート閲覧	卒業生の就職活動体験レポートをキャリア支援サイトで閲覧することができます。
キャリア関連イベントの実施（事前予約制）	さまざまな業界の現場からゲストを招いた業界研究会を、年間通じて数多く実施しています。学部・学年問わず参加できるので、関心があれば早期から知識や理解を深められます。
キャリア支援サイト（3年生以降対象）	大学に届くインターンシップ、求人情報を確認することができます。

5. 一番使える！セイカ生に合わせた各種ガイダンス

本学では1年を通じて、進路選択や就職活動に役立つさまざまな内容の講座やガイダンスを実施しています。とくに進路・就職ガイダンスは参加率の高い人ほど内定率も高いため、積極的に参加しましょう。

(1) すべての就職希望者のための総合支援

就職を目指す学生のために以下のような大学オリジナルの講座・ガイダンスを実施しています。一部、学年を限定したイベントがありますが、希望者は参加できます。詳細は「セイカ・ポータル」で確認してください。

進路・就職ガイダンス	業界や職種の理解、仕事の探し方、履歴書の書き方、面接対策など就職活動に必要な基本的な知識が身につきます。
企業説明会（単独・合同）	人事・採用担当者を大学に招き、会社の紹介や採用スケジュール、求める人物像などを説明してもらいます。このイベントで内定が出るケースが増えています。
内定した先輩との交流イベント	就職が内定した4年生から就職活動の“生”の体験談が聞けます。
筆記試験対策講座	採用試験で実施されることの多い「筆記試験」は、苦手意識をもつセイカ生も多いのでは？頻出問題の解法をわかりやすく解説します。

(2) クリエイティブ系職種を目指す人に特化した支援

ゲームクリエイター、Webデザイナー、グラフィックデザイナーなどクリエイティブ系の職種を目指す学生を対象に以下の講座・ガイダンスを実施しています。

ポートフォリオ対策講座&個別指導	クリエイティブ系の職種で必須の「ポートフォリオ（PR作品集）」。ゲーム業界、広告デザイン業界などで活躍する現役のデザイナーを招き、ポートフォリオ制作のポイントをわかりやすく説明します。また現役クリエイターに直接、アドバイスをもらえる個別の指導・相談も。
ポートフォリオ道場（3年生対象）	3年生の夏季休暇期間中に作品ポートフォリオを完成させ、現役クリエイターを前に、講評をいただくイベントです。早期にポートフォリオを作ることができるため、就活が本格化するまでに余裕をもって動くことができます。参加者の卒業後の進路決定率、実施後の評価が高いイベントです。

(3) 就職以外の進路を目指す人を支援

マンガ家など企業就職以外の働き方を希望する学生のためのサポートプログラムも実施しています。

マンガ講評会	マンガ編集者を大学に招き、マンガ作品を講評・指導してもらいます。夏と冬の年2回開催される合同講評会では、大手出版社を中心に多数の編集部が来学します。
フリーランス、アーティスト スタートアップ志望者向け講座	フリーランスやアーティストとして生計を立てる卒業生や起業家などを中心に招き、活動方法などをお話いただく講座や、公募紹介講座を実施しています。

6. セイカならではの特色あるサポート

本学の学生に合わせてつくられた、セイカ独自の特色あるサポートを紹介します。

① 京都精華大学オリジナルキャリア手帳

無数の卒業生たちの進路を支援してきたキャリア支援チーム。そんなチームスタッフが経験をもとに書き下ろした、進路就職ノウハウ情報つきの手帳を、3年生全員に無料配布しています。必要な基本情報はもちろんセイカ生の興味関心に合わせた内容が盛り込まれており、活動の際に携帯しやすいサイズとデザインになっています。ダイアリー機能もあるので手帳としても活用できます。



② 適職診断ができる『セイカミライカード』

セイカのキャリア科目担当教員がオリジナルで開発・デザイン制作した適職診断ゲーム『セイカミライカード』を使って、いつでも適職診断をすることができます。ゲーム感覚で受けられるので、「どんな仕事があるかわからない」「何が向いているのか知りたい」という人にはうってつけ。友達と一緒にやってみるのも○。進路について考えるときのきっかけとして活用してみてください。



③ 先輩たちの豊富なポートフォリオ

デザイナーなどクリエイティブ職の採用試験で最も大きなウエイトを占める作品審査。そこで提出する自分自身の作品ポートフォリオについて、早めからリアルにイメージをもてるよう、実際に内定先に提出したポートフォリオを毎年先輩たちから集めています。業界、職種も幅広く、これだけ多くのポートフォリオ事例が実物で見られるのはセイカならではの! 学部学年不問、誰でもいつでも自由に閲覧可能です。



☑ キャリアに役立つ科目も要チェック!

カリキュラムのなかにも、キャリアを考えるうえで役立つ科目がたくさんあります。

1. キャリア科目

『コミュニケーション実践演習』『職業研究』『インターンシップ』『ポートフォリオ演習』など、進路選択に直結する科目を目的に合わせて履修しましょう。

2. 汎用性が高いスキルはPC・デジタル関連と語学!

仕事内容や業界を問わずワードなどのPCスキルは必須です。クリエイティブ職であれば、デジタルソフトの操作スキルが必要です。ウェブのスキルも需要UP中。語学力はあって損なし! 苦手部分を早めに授業でスキルアップしておきましょう。

3. 社会、経済、ビジネスへの理解を深める科目

筆記試験や面接時に必要となる時事・ビジネスに関する知識。『現代社会の諸問題』『産業論』などの科目を通して、世界や社会で起こっているトピックスへの理解を深めましょう。

国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE



セイカの国際交流

本学では1968年の開学時より国際交流に力を入れてきました。芸術系の学部がある大学としては全国でもトップクラスの留学生数、協定校数を有するほか、国際交流に関わる充実した制度が整っているため、学内にいながらにして海外の文化を感じることも可能です。しかしながら、皆さん自身が実際に現地へ足を運び、見て、話し、聞いて得られる「経験」に勝るものではありません。学生の間にはぜひ一度は海を渡り、現地の文化に触れ、人と交流することで、自身の世界、可能性を広げてください。

1. 海外での国際交流

1) 交換留学

本学に在籍したまま、海外の協定校で学ぶことができる制度です。本学の規定授業料を納めれば、留学先協定校での授業料は免除されます。また、現地で取得した単位は帰国後に卒業要件単位として認定されるので4年間で卒業が可能です。留学先では正規の学生として扱われ、現地の学生と同等に指導されます。本学の協定校リストには世界トップレベルの大学が名前を連ねています。現地の学生や教員と知り合えるこの機会をぜひ利用してください。

(1) 交換留学時期と学内出願時期

交換留学時期と学内出願時期は次のとおりです。記載のない時期に交換留学へ行くことはできません。

所属	交換留学時期	出願時期(目安)
学部	3年次春出発	前年度の7月下旬
	3年次秋出発	前年度の1月下旬
	4年次春出発	前年度の7月下旬
大学院	2年次春出発	前年度の7月下旬

(2) 交換留学に行くための条件

交換留学の希望者は、所定の出願期間に書類提出を済ませ、学内選考を受けたくうえで、本学による大学推薦を得る必要があります。出願条件は次のとおりです。

- ①参加動機が明確で十分な成績(1クォーターあたり平均8単位以上修得)を有する。
- ②出願時にTOEFL-ITP415点以上(TOEFL-iBT34点以上)のスコアを提出できる。
- ③出願前に所属分野の専任教員と交換留学に関する相談を済ませ承認を得ている。

(3) 早めに準備しておくべきこと

求められてもすぐには準備できないことがいくつかありますので、予めお伝えします。

- ①語学力:前掲のTOEFLスコアの基準をクリアできるように語学力向上に努めてください。
- ②留学費用:欧米圏で80~120万円、アジア圏で30~40万円を目安に資金準備計画を立ててください。

(4) 備考

- この制度を利用できるのは在学中に1回限りです。
- 時期によっては交換留学生を受け入れない協定校もあります。
- 学部生と比較すると大学院生の交換留学先候補は限定されます。
- 学内選考の結果、大学推薦を得られても、留学希望先から受入を断られる場合があります。
- 留学生の受入にあたっては学内出願条件以外の条件を指定する協定校もあります。

2) 海外ショートプログラム

正課科目の授業として取り扱われる短期の海外研修プログラムです。海外ショートプログラムには、次の3種類があります。

(1) 教員引率型(1~2週間)

研修先の事情に通じた本学専任教員が、現地に同伴・引率して直接指導をおこないます。

[過去の実績例] タイ、台湾、イタリア、フィンランド、フランス、マリなど

[費用目安] アジア圏 15万円～、ヨーロッパ圏 25万円～

(2) スタディーツアー参加型(1~4週間)

特色あるテーマに基づき、個人が関心と目的意識をもって主体的にツアーに参加します。

[過去の実績例] ボランティア活動、イタリアものづくり研修、ニューヨークアート研修など

[費用目安] アジア圏 10万円～、欧米圏 30万円～

(3) 語学特化型(2~4週間)

語学を修得するという目的に特化して、決められた生活環境のなかで勉強に励みます。

[過去の実績例] 英語(アメリカ、アイルランド、ニュージーランド、フィリピン)、フランス語、韓国語

[費用目安] 英語研修 28万円～、フランス語研修 55万円、韓国語研修 15万円

長期で行われる交換留学やフィールドワークへのステップとして、また在学中の海外経験として、ぜひ積極的に参加してください。

2. 学内での国際交流

1) グローバルコモンズ

京都精華大学は留学生の比率が高く、学生のバックグラウンドは多彩です。キャンパス内での多文化交流や異文化理解のための共同スペースであるグローバルコモンズでは、英語をはじめとする多彩な言語によるコミュニケーションや講演会、ワークショップなどの国際交流イベントを開催します。語学力に自信がなくても不安に感じることはありません。気軽に国際交流を楽しみましょう。

2) 海外からのビジターとの交流

京都精華大学では、世界各国の教育機関などから、日本語や日本文化の研修、交換留学、視察旅行などを目的としたビジターやゲストを多数受け入れています。ぜひ彼らと交流する機会を見逃さないようにしてください。

重要

交換留学および海外ショートプログラムに関心のある方は、別刷の専用冊子を参照してください。また、国際交流担当部署のスタッフと積極的にコミュニケーションを図り、情報の収集に努めるようにしてください。

教 学

ACADEMIC MATTERS >



授業科目

1. 大学の授業とは

大学では、それぞれの授業のシラバス(授業概要および計画を示したもの)を見て、学びたい授業を自身で選び、自分専用の時間割を作ります。各学部・学科・コース・専攻ごとに体系化された教育内容があり、様々な科目で構成されています。みなさんは自分の所属している学科・コース・専攻のカリキュラムに沿って授業を選ぶことになります。

2. 4学期(クォーター)制

本学では、2021年度以降入学生の科目においては、1年を1Q、2Q、3Q、4Qに分ける4学期(クォーター)制を採用しており、クォーターごとに科目が開講されます。2021年度の学期は右の通りです。

1 Q	2021年4月1日から2021年6月6日
2 Q	2021年6月7日から2021年9月30日
3 Q	2021年10月1日から2021年12月2日
4 Q	2021年12月3日から2022年3月31日

3. 2学期(セメスター)制

本学では、2020年度以前入学生の科目および大学院、資格課程の科目においては、1年を前期と後期に分ける2学期(セメスター)制を採用しており、セメスターごとに科目が開講されます。2021年度の学期は右の通りです。

前期	2021年4月1日から2021年9月30日
後期	2021年10月1日から2022年3月31日

※2021年度以降入学生の一部科目についても、2学期(セメスター)制が運用されることがあります。

4. 開講期間による科目の分類

科目は開講期間によって以下のように分類できます。

(1) 通常授業

クォーター開講科目	1Q、2Q、3Qもしくは4Qの7.5週間、毎週開講される授業 なお、7.5週間とは、通常90分の授業が、8週目の授業のみ45分授業となることを意味します。
セメスター開講科目	前期もしくは後期の15週間、毎週開講される授業
通年授業	1年間(1Qから4Qの合計もしくは前期、後期の合計30週間)、毎週開講される授業

※各年度の授業開講期間および授業日は、「セイカ・ポータル」および大学Webサイトに掲示された学年暦(大学カレンダー)を参照してください。

(2) 集中授業

毎週決まった曜日・時間に開講するのではなく、夏季休暇期間、春季休暇期間中の数日間や、不定期に開講する授業です。開講日程は授業によって異なりますので、各科目のシラバスで確認してください。

5. 履修条件による授業科目の分類

授業科目の中には、卒業するために履修が必須となるものや自由に選択して履修できるものがあります。

(1) 必修科目

卒業要件として、必ず履修してその単位を修得しなければならない科目です。

(2) 選択必修科目

卒業要件として指定された科目群の中から選択して履修し、所定の単位数または科目数を修得しなければならない科目です。

(3) 選択科目

指定された科目群の中から、自身の目的や興味関心に応じて自発的に選択して履修する科目です。

どの科目が「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」に該当するかは、P.61以降の卒業要件表、「科目一覧」で確認してください。

6. 授業形態による科目の分類

科目は授業形態によって、以下の5種類に分類できます。

(1) 講義

担当教員が自身の研究実績や知見に基づき、履修者にテーマに沿った解説をする事を基本的なスタイルとする授業形態です。質問やコメントペーパーなどを活用した双方向授業による場合も多く見られます。

(2) 演習

同じテーマに取り組む比較的少人数の履修者とそれを指導する教員によって成立する授業形態です。あるテーマについて討議をする、グループで1つのプロジェクトの完成を目指して制作に取り組むなど、複数人で課題に取り組む授業形態が多く見られます。

(3) 実習

講義や演習で培った知識、技術を活かし、実際に制作や活動に取り組むような授業形態です。

(4) 学外実習

さまざまな学外の団体等で、それまでの知識や経験を活かし、実際に現地での活動を体験する授業形態です。

(5) 成果評定

卒業論文、卒業研究、卒業制作など学修の成果を評価して単位を認定する科目です。

7. 実務経験を有する教員による科目について

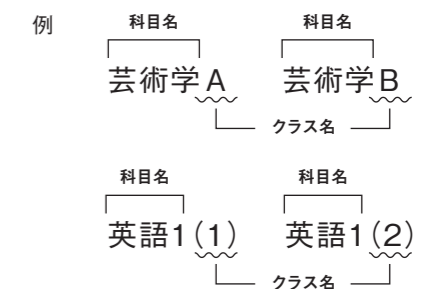
科目の中には、実務経験を有する教員がその経験を活かし担当する科目、学外から多様な企業等で活躍する方々を講師に迎え実施する科目、企業とのコラボレーション授業、インターンシップなど、実践的教育から構成される科目を配置しています。各科目の詳細はシラバスの「実務経験／実践的教育」欄で確認してください。シラバスのキーワード検索で【実務経験／実践的教育】と入力し該当科目を抽出することができます。

8. クラス

クラスとは、教育上の効果を考慮して、受講者を適切な人数のグループに分けたものです。

科目名の後に続く“A”“B”“C”および“(1)”“(2)”“(3)”はクラス名を表します。右の例の場合、AクラスとBクラスの授業、(1)クラスと(2)クラスの授業は、クラスは異なりますが、同じ科目のため、重複して履修することはできません。また、科目によっては、学科やコース・専攻ごとにクラスが決められているものもあります。

なお、この「学修のてびき」カリキュラムページの科目一覧には、クラスが表示されていません。各科目のクラスについては、「セイカ・ポータル」に掲示される「授業科目一覧」を参照してください。



9. シラバス

シラバスとは、各科目について、その内容と計画を解説した概要のことです。科目名、担当教員名、開講期、単位数、科目の目的や到達目標、具体的な授業計画が説明されています。また、成績評価の方法・基準、教科書・参考文献、履修条件などについても書かれています。シラバスをよく読み、科目を履修登録してください。

10. 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、カリキュラム(教育課程)を体系的に理解することを目的に、本学で開講しているすべての科目にコード(番号)を付けたものです。

科目ナンバリングコードは、各科目の対象とする学部・学科・コース、履修可能な年次などを表しています。コードはP.64以降の「科目一覧」およびシラバスの各科目のページに記載されていますので、履修科目の選択の際、何年生から履修できるのか、どのような順序で履修すればよいのかを判断するのに活用してください。

たとえば、全学共通教育科目の表現科目群で、1年生から履修できる講義科目の「美術史」は以下のようなコードが付けられています。

C	e	t	1	1	0	7	1	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ① 開講学部 など
- ② 学問分野 (コース、課程、科目群など)
- ③ 履修開始年次
- ④ 整理番号
- ⑤ クラス番号

科目ナンバリングコード

① 開講学部など	コード	② 学問分野	コード	② 学問分野	コード
国際文化	K	国際文化学部	gl	導入プログラム	ip
メディア表現	T	人文学科	hu	表現科目	et
芸術	A	グローバルスタディーズ学科	gs	グローバル科目	gg
デザイン	D	メディア表現学部メディア表現学科	mc	リベラルアーツ科目	la
マンガ	M	芸術学部造形学科	fa	社会実践力育成プログラム	ps
全学共通	C	デザイン学部	fd	キャリア科目	ca
大学院	G	イラスト学科	il	マイナー科目	mi
		ビジュアルデザイン学科	vd	人文学研究科(M)	MH
		グラフィックデザイン	gd	芸術研究科(M)	MA
		デジタルクリエイション	dc	デザイン研究科(M)	MD
		プロダクトデザイン学科	pd	マンガ研究科(M)	MM
		プロダクトコミュニケーション	pc	大学院共通基盤(M)	MC
		ライフクリエイション	lc	芸術研究科(D)	DA
		ファッション	fs	マンガ研究科(D)	DM
		建築学科	ar	資格(教職)	QT
		人間環境デザイン	he	資格(学芸員)	QM
		マンガ学部	fm	資格(司書)	QL
		マンガ学科	dm	資格(その他)	QA
		カートゥーン	ct	単位認定	ZZ
		ストーリーマンガ	sm		
		新世代マンガ	ng		
		キャラクターデザイン	cd		
		アニメーション学科	an		

③ 履修開始年次	コード
年次不問	0
大学1年次	1
大学2年次	2
大学3年次	3
大学4年次	4
大学院M1年次	5
大学院M2年次	6
大学院D1年次	7
大学院D2年次	8
大学院D3年次	9

11. 単位制度

すべての科目には単位数が設定されています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量(時間)を数で表したもので、「1単位の科目」は「45時間の学修を必要とする内容(自学自習時間を含む)」をもって構成することが標準となっています。

$$1 \text{ 単位} = \text{授業時間} + \text{予習・復習、課題への取り組み} = 45 \text{ 時間}$$

1回の授業は90分ですが、制度上これを2時間の学修時間として計算します。各科目の単位数は、この授業時間と自学自習時間、および1単位あたりの学修量をもとに、次のように計算します。

学期制	授業科目の分類	1週あたりの学修量	1学期あたりの授業週数	1学期あたりの学修量	1単位あたりの学修量	単位数
クォーター制	講義※	授業2時間[実質90分] +自学自習4時間=6時間	7.5週	45時間 (6時間×7.5週)	45時間	1
	外国語／実習／演習	授業4時間[実質180分] +自学自習2時間=6時間	7.5週	45時間 (6時間×7.5週)	45時間	1
セメスター制	講義※	授業2時間[実質90分] +自学自習4時間=6時間	15週	90時間 (6時間×15週)	45時間	2
	外国語／実習／演習	授業2時間[実質90分] +自学自習1時間=3時間	15週	45時間 (3時間×15週)	45時間	1

学修量には、大学の教室で行われる授業だけでなく、予習・復習、課題への取り組み(作品制作、レポート作成等)など自主的な学習が含まれます。自主的な学習の内容については、各科目のシラバス内「授業外学習の指示(予習・復習・課題等)」を参照してください。

※国際文化学部の演習科目および全学共通教育科目の一部演習科目は、講義相当として扱います。

12. 履修登録上限単位数

大学での学修は、授業時間以外にも予習復習といった自学自習の時間も含めて考えられています。学修時間をしっかりと確保するために、本学では以下のとおり、履修登録上限単位数を定めています。

1Q	2Q	3Q	4Q	年間
10単位	10単位	10単位	10単位	40単位

※資格課程専門科目は、履修登録上限単位に含まれません。
 ※前学期に修得できなかった単位分を上乗せして次の学期に履修登録することはできません。
 ※前年度に修得できなかった単位分を上乗せして履修登録することはできません。

卒業・修了・進級

卒業・修了・進級要件とは

(1) 進級要件

「進級要件」とは、次の学年に進級するために必要とされる条件のことです。進級するためには、各学科・コース、各学年に設置・開講されている進級要件科目の単位を修得する必要があります。したがって、進級要件科目の単位を修得できない場合は、次の学年に進級することができません(=「留年」となります)。また、休学をした場合も進級することができず、「留年」となります。

(2) 卒業要件

「卒業要件」とは、所属学部を卒業するために必要とされる条件のことです。以下3点の要件を満たせば、卒業が認定され、「卒業証書」とともに学士の学位が授与されます。

- ① 本学に設置されている学部で4年以上在学すること(編入学生は別に定める)。
※休学の期間は、在学期間には含まれません。
- ② 所属学科・所属コースが定める卒業要件にしたがって、卒業に必要な単位を修得すること。
- ③ 学費等が完納されていること。

● 授与される学位の種類

国際文化学部:学士(文化) / メディア表現学部:学士(メディア表現) /
芸術学部:学士(芸術) / デザイン学部:学士(芸術) / マンガ学部:学士(芸術)

(3) 修了要件

「修了要件」とは、所属大学院研究科を修了するために必要とされる条件のことです。以下3点の要件を満たせば、修了が認定され、「修了証書」とともに修士または博士の学位が授与されます。

- ① 本学に設置されている大学院研究科に
修士・博士前期課程は2年以上、博士後期課程は3年以上在学すること。
※休学の期間は、在学期間には含まれません。
- ② 所属研究科が定める修了要件にしたがって、修了に必要な単位を修得すること。
- ③ 学費等が完納されていること。

● 授与される学位の種類

【博士前期課程・修士課程】
人文学研究科:修士(人文学) / 芸術研究科:修士(芸術) / デザイン研究科:修士(芸術) / マンガ研究科:修士(芸術)
【博士後期課程】
芸術研究科:博士(芸術) / マンガ研究科:博士(芸術)

※各研究科・学部・学科・コースの卒業・修了・進級要件は、それぞれのカリキュラム紹介ページを参照してください。

履修登録

1. 履修登録とは

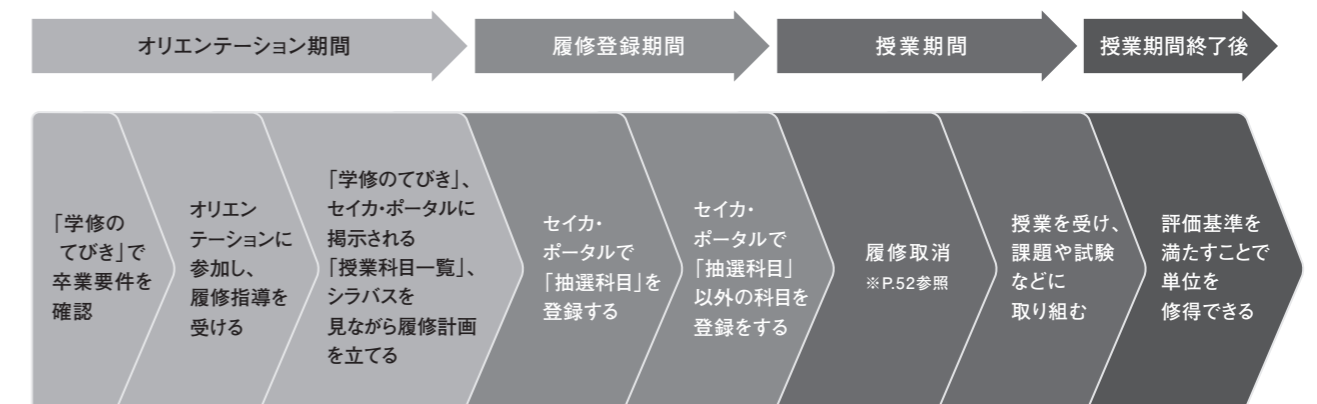
「履修登録」とは、受講し単位を修得しようとする科目を決め、各科目の受講を申請することです。前期後期の各学期初めに履修登録期間(学年暦参照)が定められ、「セイカ・ポータル」により学生自身で登録手続きを行います。科目の登録にあたっては、所属する学部、学科、コース、専攻、学年に指定されている必修科目と卒業・修了要件を確認したうえで、履修できる科目を確認し、シラバスをよく読み、学びたい内容や身に付けたい力を考えるようにしてください。

履修登録の原則

- 同一曜日同一講時に履修できる科目は1科目です。曜日講時が重複する複数の科目を履修登録することはできません。(日程が重複する複数の集中授業も同時に履修登録できません)
- 単位を修得した科目を再度履修することはできません。
- 不合格になった科目は、再度履修登録することができます。
- 1学期に登録できる単位数には上限があり、それ以上は履修登録できません(P.49参照)。
- 各科目には開講最低人数基準が定められており、履修登録学生数が次の人数に満たない場合は、原則として当該科目を開講しません。
講義、語学、実習科目 5人 / 演習科目 3人 ※履修登録の結果、登録した科目が開講されない場合、教務チームより登録した学生に連絡します。

2. 履修登録から単位修得までの流れ

履修登録から単位修得までは以下の手順で進みます。1Q開始前には1Q開講科目・2Q開講科目(前期開講科目を含む)および通年科目を、3Q開始前には3Q開講科目・4Q開講科目(後期開講科目を含む)を履修登録します。集中授業も同様です。なお、2Q・4Q開始前には、履修登録は行いません。



授 業

3. 履修登録手続き

履修登録手続きは、「セイカ・ポータル」で行います。手続きの際は以下の事項に注意してください。

- 各学期開講科目の詳細（科目担当者およびクラス、開講曜日講時など）は、『学修のてびき』のカリキュラムページに記載していません。「セイカ・ポータル」に掲示される「授業科目一覧」を参照してください。
- 登録期間内に手続きを行ってください。期間内に行わないと、その学期の科目の受講資格は認められません。
- 履修登録期間終了後、正しく登録されているかどうか、自身で確認してください。誤った履修登録を放置すると、正しい科目の受講資格が認められず、単位が修得できなくなります。
- 必修科目は進級や卒業に関わるため、必ず履修登録してください。
- 卒業制作など、成果に対して単位を認定する科目も履修登録が必要です。
- 同一科目でクラス指定のある授業科目は、指定されたクラスで履修登録してください。
- 授業期間開始後に、選抜や申込みにより受講生を決定する科目は、個別の指示により別途登録を行う場合があります。

4. 抽選科目

施設設備の状況や学習計画を考慮し、受講できる人数に定員を設けている科目は、抽選によって登録者を決定します。受講を希望する場合は、抽選科目申込期間中に「セイカ・ポータル」による手続きを行ってください。

5. 履修取消

授業の内容や難易度が学生の認識と違っていた場合などに、不合格などの評価によってGPA(P.57参照)が低下することを回避するために、学期途中に履修している科目の登録を取り消すことを認める制度です。履修取消の手続き方法や期間等の詳細は、各学期中に「セイカ・ポータル」でお知らせします。なお、履修を取り消した科目に替えて、別の科目を追加登録することはできません。また、履修取消が認められない場合もあります。

1. 通常授業時間

1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時	6 講時
9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

2. 休講・補講・休校

(1) 休講

病気など授業担当者の都合や、自然災害などに伴い、授業が行われないことを休講といいます。授業が休講になった場合は、「セイカ・ポータル」でお知らせします。また、担当教員から休講の連絡がなく、授業開始時間から30分経過しても授業が開始されないときは休講となる場合があります。

(2) 補講

授業が休講になった場合、授業回数の不足を補うために補講を行います。補講は原則各学期に設けられている「補講日」に行われますが、各科目の具体的な日時、教室については「セイカ・ポータル」でお知らせします。

(3) 休校

気象警報の発令および公共交通機関の運休などの理由により、すべての授業が行われないことを休校といいます。代替の授業日を設ける場合があります。

3. 暴風警報・特別警報・交通機関運休等による休校・休講措置

以下のいずれかに該当する場合、休校・休講措置がとられます。

- (1) 気象庁が発表する気象警報において、「京都府南部」（もしくはその細分区域である「南丹・京丹波」、「京都・亀岡」、「山城中部」、「山城南部」のいずれかの地域）に暴風警報もしくは特別警報が発令されたとき。

注意事項

- 大雨洪水警報は休校・休講要件とはなりませんので注意してください。
- 特別警報の種類は問いません。特別警報は都道府県単位で発令されます。(1)は京都府に特別警報が発令された場合を指しますが、それ以外の地域に特別警報が発令された場合、発令地域にいる学生においては個別に公欠扱いとしますので、通学が可能になった後、教務チームに申し出てください。特別警報が発令された場合、発令地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。

- (2) JR 在来線(米原～神戸)、叡山電鉄(鞍馬線)、京都市営地下鉄、および京阪電鉄(本線)、阪急電鉄(京都線)、近畿日本鉄道(京都線)のいずれかが運休になり、なおかつバスなどの代替手段がないとき。

注意事項

- 交通機関での事故などによる一時的な運転見合わせの際には休校・休講措置をとりません。
- 上記指定以外の交通機関各線の運休は休校・休講要件とはなりません。

- (3) その他の事情により、休校・休講が適切であると学長が判断するとき

教 学

休校・休講の判断基準

- 気象警報、交通機関の運休状況を以下の時刻にて確認し、基準に従い判断してください。
- 気象警報、交通機関の運休状況は、警報解除、運行再開が発報された時刻が基準となります。何時に発報されたかを必ず確認し、基準に従ってください。

① 気象警報			② 交通機関運行の状況		
基準時刻	条件	休校・休講の措置	基準時刻	条件	休校・休講の措置
午前 7時	警報が解除されている	平常授業実施	午前 7時	運行が再開されている	平常授業実施
	警報が解除されていない	午前中休講		運行が再開されていない	午前中休講
午前 9時	警報が解除されている	3講時より平常授業実施	午前 9時	運行が再開されている	3講時より平常授業実施
	警報が解除されていない	終日休校		運行が再開されていない	終日休校

※9:00よりも後に警報発令または運行休止となった場合は、その時点から休校となります。

4. 授業への参加

(1)出席・欠席

授業への出席は、科目に定められた単位を修得するために必要な前提条件の一つです。授業を欠席すると、必要な学修機会を失い、各科目の目的、到達目標を達成できず、単位修得が認められないことがあります。

(2)授業中のマナー

- ①授業中の私語は禁止です。
- ②遅刻はしないでください。やむを得ない事情で遅刻をした場合は、授業の妨げにならないよう静かに教室に入室してください。また、授業担当教員に断りなく途中退室はしないでください。
- ③授業担当教員の指示により、もしくは、授業担当教員の許可を得て授業のために使用する場合を除き、携帯電話・スマートフォン・PC・タブレット端末などの使用を禁止します。授業中は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ④特別な理由がある場合を除き、授業の撮影・録画・録音は原則禁止です。必要な場合は、必ず授業担当教員の許可を得てください。
- ⑤飲食は原則禁止としますが、授業担当教員の指示に従ってください。

5. 学修成果の確認週間

授業の最終週に、1週間の「学修成果の確認週間」を設けます。この期間では、実習・演習科目を中心に授業内に制作した作品の発表や展示、フィールドワーク報告会、研究・論文発表会といった各学期の学修成果のアウトプットを行います。また、講義でも授業内に実施した筆記試験やレポートなど取り組んだ課題に対する科目担当者からの振り返りを行う場合があります。自身の学修の成果を確認し、科目によっては発表などを行うことにより、表現力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力が高まるほか、他者からの評価を受けることで新たな発見を生み、次への学修、研究活動、表現活動につなげていく機会となります。

6. 授業評価アンケート

本学では、学生の意見を取り入れながら授業改善に取り組んでいます。学期ごとに授業評価アンケートを実施しますので、履修している科目に対して責任ある評価と率直な意見を聞かせてください。FD委員会（授業内容および方法の改善を図るための組織）で授業評価アンケートの結果を共有し、本学の教育計画に反映させていただきます。

7. 公欠

授業欠席の理由が、本学の定める事由に該当する場合、公欠（公的な理由がある欠席）が認められる場合があります。公欠の事由に該当する場合は、以下に指定する書類・文書を持参のうえ、教務チームで「公欠届」を提出してください。科目担当者に対しては、手続き完了時に窓口で受け取る「公欠届」のコピーを手渡しして事情を説明してください。 ※集中授業においては、その授業形態の性質により公欠が適用されないことがあります。

(1)忌引

- ①必要となる書類・文書
葬儀案内状
※提出が困難な場合は、保証人による理由書（書式自由）でもかまいません。ただし、保証人の署名・捺印が必要となります。
- ②届出の期限
忌引期間終了後1週間以内
- ③公欠期間
本人と故人との関係に応じて、右記の通りとします。

故人との関係	日数
1親等の血族（父母・子）または配偶者	7日
2親等の直系血族（自分の祖父母・兄弟姉妹）	3日
1親等の姻族（配偶者の父母）	
上記以外の3親等以内の血族（伯父母・叔父母・甥姪）	1日
2親等以内の姻族（配偶者の祖父母・兄弟姉妹）	

(2)通学経路の交通機関が事故などにより不通になった場合

- ①必要となる書類・文書
各種交通機関が発行する遅延・不通などの理由を証明する文書（延着証明書・遅延証明書など）
※延着証明書・遅延証明書は各種交通機関の駅で受け取ることができるほか、交通機関のホームページから入手できる場合もあります。
- ②届出の期限
交通機関が遅延・不通となった日から1週間以内

(3)教育実習・博物館実習・介護等体験

- ①必要となる書類・文書
教育実習・博物館実習・介護等体験の日程がわかる書類（窓口で複写後、返却）
- ②届出の期限
教育実習・博物館実習・介護等体験が終了した日から1週間以内

(4)学校感染症

『学校保健安全法』に定める感染症は以下の通りです。また、公欠期間は『学校保健安全法施行規則』に定められた感染症の出席停止期間に準じます。

学校保健安全法に定める感染症
第一種: エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ）
第二種: インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
第三種: コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第一種の感染症とみなす。

- ①必要となる書類・文書
医師による診断書
- ②届出の期限
完治後1週間以内

(5)裁判員制度による裁判への参加

- ①必要となる書類・文書
裁判所が発行する証明書
- ②届出の期限
裁判所での用務が終了した日から1週間以内

(6)外国人留学生の在留申請等手続き

- ①必要となる書類・文書
・入国管理局の申請受付票コピー
・新たに許可を受けた在留カード（窓口で複写後、返却）
- ②届出の期限
申請手続き日から1週間以内
入国管理局の申請受付票コピーの場合:申請後1週間以内／新たに許可を受けた在留カードの許可年月日提示の場合:許可後1週間以内
- ③公欠期間
申請日(1日)および許可日(1日)

8. 長期欠席になる場合

病気やそのほかのやむを得ない事由により長期間欠席せざるを得ない場合は、すみやかに教務チームと所属学科・コース・専攻の教員に連絡してください。科目担当者から医師による診断書などの証明書の提示が求められる場合があるため、証明書は各自手配しておいてください。何の連絡もなく、長期間の無断欠席が続くと、就学の意思がないものと判断されます。

単位修得

1. 単位を修得するには

科目に定められた単位を修得するには、次の3点に取り組み、各科目において定められた評価基準を満たす必要があります。

- ①その科目の履修登録をしていること。
- ②その科目について、修得に必要な時間数分の授業に出席し、自学自習を行うこと。
- ③その科目の学修の成果を把握するために必要な筆記試験の受験、レポート・作品などの提出を行うこと。

上記②③における学修の成果を「成績」として総合的に評価します。

2. 成績評価基準

成績評価の基準は以下のとおりです。

評価	合 格					不 合 格	
	S	A	B	C	N	F	K
点数	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	認定	59点以下	評価対象外

※成績評価「N」とは
「N」は認定の意味で、本学入学・編入学前に所属していた教育機関で、本学の科目と同等の学修を行ったと判断した場合や、外部の公的機関が実施する試験で一定の基準以上のスコアを取った場合(P.59)、大学コンソーシアム京都の単位互換科目を修得した場合など、本学における単位修得が認められた場合につけられます。

※成績評価「K」とは
「K」は評価対象外という意味です。授業の出席状況や受講態度が悪い、試験を受験しなかった等、担当教員が「受講放棄」と判断した場合につけられます。

3. 各種試験およびレポート等における不正行為 (P.226 規程参照)

成績評価方法として、各種試験を行う場合があります。また、科目によっては、レポート等の提出を求める場合があります。

(1) 各種試験およびレポート等とは

各種試験	学期末試験、追試験、再試験、授業時間内に実施される中間テストや小テスト
レポート等	授業内で指示された課題レポート・課題作品や学期末のレポート試験、卒業論文・卒業制作、修士論文・修士作品、博士論文

(2) 不正行為への処分

不正行為と判定した場合、行為の重大性や悪質性により、当該科目の成績評価を0点とするか、当該学期の全履修科目の成績評価を0点とするか等を決定します。

(3) 「各種試験」における不正行為

各種試験において、不正と判断される行為は以下の通りです。

- ①私語や態度不正を注意しても改めないとき
- ②不正に物品や教科書・ノートの貸し借りをしたとき
- ③許可された以外のものを参照したとき。また、他人のノートのコピーや、コピーを貼りつけたノートを持ち込んだとき
- ④代人受験をしたとき、またはそれをさせたとき
- ⑤答案用紙を他の受験者とすり代えたとき、またはそれに応じたとき
- ⑥他の受験者の答案用紙を見たり解答を聞いたりしたとき、またはそれに応じたとき
- ⑦監督者の指示に従わないとき
- ⑧その他、教務委員会において不正と判断されたとき

(4) 「レポート等」における不正行為

レポート等において、不正と判断される行為は以下の通りです。

- ①他人の著作物を剽窃・流用・コピーしたとき
- ②インターネット上に掲載されている第三者の著作物を、引用元などの記載をせずにそのまま流用したとき
- ③その他、教務委員会において不正と判断されたとき

4. レポート等の提出

レポート等の提出における注意点は、以下の通りです。

- ①提出期限を厳守してください。期限に遅れた場合は、提出を受け付けません。
- ②提出先は、各科目担当教員からの指示に従ってください。

5. 各種試験の受験およびレポート提出ができなかった場合

以下のやむを得ない理由によって、各種試験の受験およびレポート提出ができなかった場合は、担当教員に申し出てください。担当教員が専任教員でないなど、連絡が取れない場合は、欠席後1週間以内に教務チームに相談してください。

理由	必要書類
病気、ケガ	医師の診断書(試験日を含んだ日程が記載されたもの)
交通機関の遅延	交通機関が発行する遅延証明書または事故証明書
忌引(原則として3親等以内)	葬儀案内状または保証人の証明(押印のこと)
就職活動に伴う採用試験 (採否に関わらないセミナーや説明会は除く)	採用試験を行ったことを証明する書類
裁判員制度による裁判への参加	裁判所が発行する証明書
学外実習、教育実習、博物館実習、介護等体験	教務チーム担当者が実習を行ったことを証明する書類
その他	理由を証明できる書類

6. GPA 制度

(1) GPA 制度とは

GPA(Grade Point Average)とは、履修科目の成績の平均を数値で表すもので、修得単位数という学修の“量”だけでなく、“質”(内容)を表す指標であり、学修の成果を総合的に判断するデータとなります。この数値を活用することで、学修の到達度が明確になり、自身の努力目標を具体的に設定できるといった効果が期待できます。

(2) GPAの算出方法

GPAは科目ごとの成績評価に対してグレードポイント(GP)をつけて、全履修登録科目の平均を算出します。成績を4点満点の基準で点数化し(S=4、A=3、B=2、C=1、F=0、K=0)、各科目の単位数を掛け合わせます。

GPAの計算式は以下の通りです。

$$\frac{(Sの単位数合計 \times 4) + (Aの単位数合計 \times 3) + (Bの単位数合計 \times 2) + (Cの単位数合計 \times 1)}{\text{履修登録科目すべての単位数合計 (N、未評価科目、資格課程専門科目を除く)}}$$

※GPAは小数点第4位以下を四捨五入し、小数点第3位までの数値で表します。

(3) 履修取消

授業の内容や難易度が学生の認識と違っていた場合などに、不合格などの評価によってGPAが低下することを回避するために、学期途中で履修している科目の登録を取り消すことを認める制度です。履修取消の手続き方法や期間等の詳細は、各学期中に「セイカ・ポータル」でお知らせします。なお、履修を取り消した科目に替えて、別の科目を追加登録することはできません。また、履修取消が認められない場合もあります。

(4) GPAの運用

入学からの通算GPAは「セイカ・ポータル」で確認することができます。また、算出されたGPAは、海外の教育機関への留学や奨学金の受給などの判定の基礎資料として使われるほか、履修指導などに活用されます。

7. 成績・単位修得状況の確認

(1) 成績、単位修得状況の確認方法

各学期に履修した科目の成績は、以下の時期に「セイカ・ポータル」で確認することができます。その学期までの単位習得状況も「セイカ・ポータル」で確認できますので、次の履修計画を立てるために、必ず確認してください。

クォーター開講科目	1Q:6月中旬	2Q:8月中旬	3Q:12月中旬	4Q:2月下旬
セメスター開講科目	前期:8月中旬		後期:2月下旬	

(2) 成績に関する問い合わせ

各科目の成績について疑問・質問がある場合は、翌学期開始後1カ月以内に担当教員に問い合わせてください。担当教員が専任教員ではない場合、教務チームに備えている「成績質問票」に必要事項を記入し、提出してください。結果は後日、回答します。

(3) 学費支弁者への成績通知

学費支弁者は「セイカ・ポータル」を通じて学生の単位修得状況を確認することができます。

8. 大学コンソーシアム京都単位互換制度

(1) 単位互換制度とは

大学コンソーシアム京都の単位互換制度は、京都地域の大学および短期大学が相互に単位互換協定を締結し、これらの大学に所属する学生が他大学の授業を受講し、修得した単位をその学生が所属する大学の単位として認定できるようにする制度です。約45の加盟大学が提供する特色ある科目を履修することにより、自分の興味関心や視野を広げることができます。本学では、この制度で修得した単位を「大学コンソーシアム認定」として認定(成績評価「N」)します。(ただし、卒業要件単位には含まれません。)

(2) 出願手続

単位互換制度で提供される授業の履修を希望する学生(2年生・3年生のみ)は、前期のオリエンテーション期間中に教務チーム窓口で必要な出願手続を行ってください。

9. 編入学による単位の認定

本学に編入学した場合、他大学等(短期大学等を含む)で修得した単位のうち、2年次編入学生は30単位を上限に、3年次編入学生は62単位を上限に卒業に必要な単位として認定(成績評価「N」)します。ただし、一部の単位が認定されない場合があります。

10. 入学前に修得した単位の認定

下に該当する学生は、他大学、短期大学等で修得した単位を本学で修得した単位として認定することがあります。

- ① 大学、短期大学等を卒業し、1年次から本学に入学した場合
- ② 他大学、短期大学等を中途退学し、1年次から本学に入学した場合

本人の申請に基づき、修得した科目および単位内容を審査したうえで単位認定(成績評価「N」)しますので、希望者は右の書類を揃えて期限までに教務チームへ提出してください。なお認定単位数は、大学コンソーシアム京都単位互換制度、海外留学制度により認定される単位を含んで30単位を上限とします。

提出書類

- ① 出身大学、短期大学、高等専門学校または専修学校の既修得単位を証明する成績証明書または単位修得証明書
- ② 既修得科目のシラバス

提出期限

入学年度の4月20日
(本学の事務取扱日でないときは、直後の事務取扱日)
やむを得ない事由により期限までに書類が提出できない場合は、必ず提出期限までに教務チームへ相談してください。

単位認定の時期

入学年度の5月下旬

11. 外部の資格試験による語学科目単位認定

以下の資格試験によって語学科目の単位認定を行います。

単位認定基準

対象科目	成績基準(スコア/級)		授業科目	認定単位数
英語科目	TOEIC	550点以上	英語1 英語2 英語3 英語4	4単位
	TOEFL(PBT)	480点以上		
	TOEFL(CBT)	157点以上		
	TOEFL(iBT)	54点以上		
	IELTS	5点以上		
	その他の資格試験			
日本語科目	日本語能力試験	N1以上	日本語1 日本語2 日本語3 日本語4	4単位

単位認定の方法

- (1) 以下の①②の書類を教務チームへ提出してください。
 - ① 該当する資格試験の資格または成績証明書類(窓口で複写後、返却)
 - ② 英語または日本語の単位認定申込用紙
- (2) 申請受付後、認定を行います。ただし、受付後、担当教員による面談を行う場合があります。また、1年生の場合には英語または日本語のプレシメントテストのスコアも勘案して決定する場合があります。

※TOEFLにおける「CBT」はコンピューター方式のテスト、「PBT」はペーパー方式のテスト、「iBT」はインターネット方式のテストのことです。

12. 転学部・転学科・転コース制度

この制度は、本学内での転籍を希望する学生が、選考試験に合格すれば、志願する学部、学科、コースの2年次、もしくは3年次に転籍することができるものです。募集を行う学部、学科、コースおよび募集人数は、在籍している学生数などを考慮し、毎年決定します(学部、学科、コースによっては受け入れができないことがあります)。出願手続きや日程、選考に関する詳細については、7月頃に「セイカ・ポータル」に掲示される「転学部・転学科・転コース試験出願要項」を確認してください。

試験の出願資格は以下の通りです。

3年次への転学部・転学科・転コース

本学に在籍している2年次修了者および年度末までに2年次修了見込みの学部生で、62単位以上修得または年度末までに修得見込みの者。

2年次への転学部・転学科・転コース

本学に在籍している1年次修了者および年度末までに1年次修了見込みの学部生で、30単位以上修得または年度末までに修得見込みの者。

科目表の見方

科目ナンバリングコード

各科目の対象とする学部・学科・コース、授業形態、履修可能な年次などを表したコードです。▶詳しくはP.48

科目名

その科目の名称を表しています。

必修/選択

その科目が必修科目か、選択必修科目か、選択科目かを表しています。▶詳しくはP.47

授業形態

授業の形態によって講義、演習、実習、学外実習、成果評定に分類しています。▶詳しくはP.47

単位数

その科目を修得することで得られる単位数を表しています。▶詳しくはP.49、56

配当年次

その科目を履修できる年次を表しています。

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

その科目を修得した時に身につけることができる能力・資質を表しています。

※「学修のてびき」には、クラス名が記載されていません。「セイカ・ポータル」に掲示される「授業科目一覧」を参照してください。

例

科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次	ディプロマ・ポリシーとの関連				
						DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
						知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
Tmc10001	基礎実習1	必修	演習	2	1	●	●		●	●
Tmc10002	基礎実習2	必修	演習	2	1	●	●		●	●
Tmc10003	基礎実習3	必修	演習	2	1	●	●		●	●
Tmc10004	基礎実習4	必修	演習	2	1	●	●		●	●
Tmc20005	基礎実習5	必修	演習	2	2	●	●		●	●
Tmc20006	基礎実習6	必修	演習	2	2	●	●		●	●
Tmc20011	応用実習1	必修	演習	2	2		●	●	●	●
Tmc20012	応用実習2	必修	演習	2	2		●	●	●	●
Tmc30013	応用実習3	必修	演習	2	3		●	●	●	●
Tmc30014	応用実習4	必修	演習	2	3		●	●	●	●
Tmc30021	社会実践実習1	必修	演習	1	3		●		●	●
Tmc30022	社会実践実習2	必修	演習	1	3		●		●	●
Tmc30023	社会実践実習3	必修	演習	1	3		●		●	●
Tmc30024	社会実践実習4	必修	演習	1	3		●		●	●
Tmc30015	応用実習5	必修	演習	2	3		●	●	●	●
Tmc30016	応用実習6	必修	演習	2	3		●	●	●	●
Tmc40031	卒業研究実習1	必修	演習	2	4		●	●	●	●
Tmc40032	卒業研究実習2	必修	演習	2	4		●	●	●	●
Tmc40033	卒業研究実習3	必修	演習	2	4		●	●	●	●
Tmc40041	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●
Tmc40051	卒業展示	必修	演習	2	4		●	●	●	●

カリキュラム



P062 全学共通カリキュラム

P070 国際文化学部

P092 メディア表現学部

PI06 芸術学部

PI14 デザイン学部

PI52 マンガ学部

2021年度以降入学生

全学共通カリキュラム

カリキュラム(教育課程)の構成

2021年度以降入学生のカリキュラム(教育課程)は

5学部1プログラムの全ての学生が履修する「**全学共通教育科目** P.64～」と
学部、学科ごとに編成された「**学部専門教育科目** P.70～」に分けて開設されています。

科目区分			卒業に必要な 科目群ごとの 単位数	取得 単位数	卒業に要する 単位数(計)		
区分	科目群						
全学共通 教育科目 P.64～	必修	導入プログラム	2	24単位 以上	50単位 以上		
		表現科目	8				
		グローバル科目	5				
		リベラルアーツ科目	8				
		キャリア科目	1				
	選択必修	社会実践力育成プログラム	2	12単位 以上			
		マイナー科目	10				
	選択	上記以外の科目	14	14単位 以上			
	学部専門教育科目 P.70～			74		74単位 以上	74単位 以上

1
2
4
単
位
以
上

全学共通教育科目

5学部1プログラムの全ての学生が履修する全学共通教育科目は「導入プログラム」「表現科目」「グローバル科目」「リベラルアーツ科目」「キャリア科目」「社会実践力育成プログラム」「マイナー科目」から構成されています。

これらの科目を通して、グローバルな観点から思考し、リベラルアーツ(深く広い教養と見識)に基づいてより良い社会を創る意欲を持ち、多様な人々と協働し、世界の様々な課題に対する新しい価値を表現し、提供できる人間となる素地を形成することを目指します。

また京都精華大学では4年間の学修を通じて

DP1 広い視野から複眼的に考察するための知識と理解力	知識と理解 knowledge & understanding
DP2 新しい文化と価値を発想するための創造的思考力	創造的思考と考察 creative thinking & observation
DP3 変化し続ける社会で専門領域の学びを生かすための応用力	技術と表現 skills & expression

DP4 地球規模の視点で社会課題に取り組むための協働力	視点と協働 diverse perspective & collaboration
DP5 より良い社会を創るための主体的な行動力	社会への関心と行動 interests & action

の5つの力を培います。全学共通教育科目は科目毎にそのエッセンスが含まれており、これらの力の基盤を築きます。

導入プログラム	入学段階での大学の理念や本学が有する5つの学部の学びについて理解することで、本学の学びの領域や姿勢、目的を理解します。
表現科目	大学での学びに必要な表現技術であるコミュニケーションスキル、リテラシー能力を伸ばすアカデミックスキル、観察力を身につけるためのデッサンなど、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部を置く京都精華大学ならではの形で、技術の習得に取り組む科目があります。必修科目である「コミュニケーションスキル1・2」「アカデミックスキル1～4」は初年次と卒業論文・卒業制作に取り組む前の3年次に履修します。さらに、本学の持つ5つの学部それぞれの表現について専門的な知識を獲得するための科目も設置されています。
グローバル科目	「グローバルな大学」における学びとして、英語、日本語を含めた12言語の語学科目を置くとともに、現代の世界における諸問題を理解するための科目などを置いています。国内学生、日本に関心をもつ留学生双方にとって今後必要なスキルとして、日本語教育に触れる科目も配置しています。
リベラルアーツ科目	哲学、法学、政治学などの大学における学びの基盤となる教養科目に加え、シティズンシップやダイバーシティ、クリエイティブシンキングなどの現代社会において必要となる知識、あるいはデータサイエンス、プログラミング、AIなどの基礎的な素養を身に着けるための科目を配置しています。
キャリア科目	就職活動に本格的に取り組む4年生になるまでに、身に付けておくべき思考、態度などの修得をめざします。また、留学生に向けたキャリア教育の一環として、「日本の企業文化研究」を授業科目として置き、外国人留学生在が日本の企業に就職する際に障害となる日本企業に特有の企業文化の理解ができるように努めます。
社会実践力育成プログラム	短期留学、インターンシップ、協定を交わした複数の大学との合同開催によるワークショップなど、主な学習環境を学外とし、学内外のさまざまな人々とともに学ぶ中で、協働性、社会性を身につけることをめざします。これらの経験を通して学修への動機付けを高め、社会的に自立する経験を体感し、職業生活に必要な能力を育成します。
マイナー科目	各学部における専門科目に加え、現代社会において必要となるさまざまな専門分野を横断的に学修するために置かれた科目です。本学に置かれた5つの学部の分野と、京都と日本の伝統文化、ビジネス、ソーシャルデザイン、アフリカ・アジア、日本語教育から選択して学修します。自身の所属学部を超えて学修の幅を広げることにより、専門知を組み合わせた深いレベルでの学びを目指します。

マイナー科目の履修について

学部マイナー科目

国際文化、メディア表現、芸術、デザイン、マンガ5学部より、概論科目(1科目)、歴史科目(1科目)、リテラシー科目(2科目)、特講科目(2科目)の計6科目が設置されています。自分の学部以外の科目を履修することになりますが、理解度を深める為まずは概論科目から履修を始め、最後に特講科目を履修してください。

特色マイナー科目

現代社会において必要となる、京都と日本の伝統文化、ビジネス・ソーシャルデザイン、アフリカ・アジア、日本語教育の分野の科目を設置しています。

・最初に概論科目を履修してください。
・演習科目には定員を設けます。定員を上回る希望者がいた場合は、概論科目や同一領域の履修状況(成績や取得単位)を基に抽選します。
・演習科目は同一分野の概論科目を履修していないと履修登録できません。

分野	概論科目	演習科目
京都と日本の伝統文化	和の伝統文化論	京都の伝統産業実習
ビジネス・ソーシャルデザイン	ファイナンス論	ソーシャルビジネス演習1 ソーシャルビジネス演習2
アフリカ・アジア	アフリカ・アジア概論	
日本語教育	日本事情理解	日本語教育演習1 日本語教育演習2

全学共通教育科目 科目一覧

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関					
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動	
導入プログラム	Cip10001	フレッシュヤーズ・キャンプ	必修	実習	1	1	●			●	●	
	Cip10003	クリエイティブ・ワークショップ	必修	実習	1	1	●		●		●	
	Cet11001	コミュニケーションスキル1	必修	演習	1	1					●	
表現科目	Cet11002	コミュニケーションスキル2	必修	演習	1	1			●		●	
	Cet11011	アカデミックスキル1	必修	演習	1	1	●				●	
	Cet11012	アカデミックスキル2	必修	演習	1	1	●				●	
	Cet31013	アカデミックスキル3	必修	演習	1	3・4		●			●	
	Cet31014	アカデミックスキル4	必修	演習	1	3・4	●	●	●	●	●	
	Cet11021	デッサン1	必修	実習	1	1	●					
	Cet11022	デッサン2	選択	実習	1	1・2・3・4	●	●				
	Cet11023	デッサン3	選択	実習	1	1・2・3・4	●	●				
	Cet11024	デッサン4	選択	実習	1	1・2・3・4	●	●	●			
	Cet11031	グラフィックデザインソフトスキル	必修	実習	1	1			●			
	Cet11041	芸術学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	Cet11051	美学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●	
	Cet11061	現代美術概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●			
	Cet11071	美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●					
	Cet11081	日本美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●					
	Cet11091	東洋美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●					
	Cet11111	西洋美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●					
	Cet11121	工芸概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	Cet11131	デザイン論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	Cet11141	素材論	選択	講義	2	1・2・3・4	●					
	Cet11151	音楽概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●				●	
	Cet11161	ポピュラー音楽論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	Cet11171	身体表現論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	Cet11181	身体文化演習1	選択	講義	1	1・2・3・4	●				●	
	Cet11182	身体文化演習2	選択	講義	1	1・2・3・4	●				●	
	Cet11191	表現と社会	選択	講義	2	1・2・3・4			●		●	
	Cet11201	表現と倫理	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●	
	Cet11211	表現と知的財産権	選択	講義	2	1・2・3・4	●					
	Cet11221	写真技法	選択	実習	1	1・2・3・4	●					
	グローバル科目	Cgg22001	日本文化概論	必修	講義	1	2	●				
		Cgg12011	英語1	必修	講義	1	1	●	●		●	●
		Cgg12012	英語2	必修	講義	1	1	●	●		●	●
Cgg12013		英語3	必修	講義	1	1	●	●		●	●	
Cgg12014		英語4	必修	講義	1	1	●	●		●	●	

※原則「英語1～4」は国内学生が受講し、「日本語1～4」は留学生が受講する科目です。

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関					
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動	
グローバル科目	Cgg12021	日本語1	必修	講義	1	1	●	●		●	●	
	Cgg12022	日本語2	必修	講義	1	1	●	●		●	●	
	Cgg12023	日本語3	必修	講義	1	1	●	●		●	●	
	Cgg12024	日本語4	必修	講義	1	1	●	●		●	●	
	Cgg22031	Business English	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●	
	Cgg22041	English discussion	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●	
	Cgg22051	Effective presentation	選択	講義	1	2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg22061	English for studying abroad	選択	講義	1	2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12071	中国語1	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12072	中国語2	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12081	韓国語1	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12082	韓国語2	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12091	フランス語1	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12092	フランス語2	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12101	タイ語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12111	ベトナム語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12121	インドネシア語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12131	スワヒリ語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12141	ドイツ語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12151	スペイン語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12161	イタリア語	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●		●	●	
	Cgg12171	サステナビリティと社会	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●	
	Cgg12181	現代社会の諸問題	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●	
	Cgg12191	海外ショートプログラム入門	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●			
	Cgg12201	世界と食	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	Cgg12211	日本語学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●				●	
	Cgg12221	言語学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
	リベラルアーツ科目	Cl13001	自由論	必修	講義	1	1	●	●			●
		Cl13011	シティズンシップとダイバーシティ	必修	講義	1	1	●	●			●
		Cl13021	創造的思考法	必修	演習	1	1	●	●	●		
Cl13031		情報と倫理	必修	講義	1	1	●	●	●			
Cl123041		人権と教育	必修	講義	1	2	●	●	●	●	●	
Cl123051		グローバル化と社会	必修	講義	1	2	●	●				
Cl123061		障害学	選択	講義	2	2・3・4	●	●				
Cl13071		哲学入門	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
Cl13081		政治学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
Cl13091		法学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
Cl13101		日本国憲法	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
Cl13111	物語論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					

※マイナー科目から5科目10単位以上履修すること。

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
リベラルアーツ科目	Cla13121	考古学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cla13131	民俗学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cla13141	情報科学概論	必修	講義	1	1	●		●		
	Cla23151	データサイエンス入門	必修	実習	1	2	●	●			
	Cla13161	統計的思考法	選択	講義	2	1	●	●	●		
	Cla13171	プログラミング1	選択	実習	1	1・2・3・4	●	●	●		
	Cla13172	プログラミング2	選択	実習	1	1・2・3・4	●	●	●		
	Cla23173	プログラミング3	選択	実習	1	2・3・4	●	●	●		
	Cla23174	プログラミング4	選択	実習	1	2・3・4	●	●	●		
	Cla13181	情報テクノロジー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		
	Cla13182	情報テクノロジー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		
	Cla13191	人類と人工知能	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		
	Cla13201	教職コンピュータ入門	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●		
	Cla13211	自然科学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cla13221	科学史	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cla13231	生物学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cla13241	数学的思考法	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		
	Cla13251	行動心理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Cla13261	スポーツ実習1	選択	実習	1	1・2・3・4				●	●
	Cla13262	スポーツ実習2	選択	実習	1	1・2・3・4				●	●
キャリア科目	Cca15001	キャリア1	必修	講義	1	1	●	●			
	Cca25002	キャリア2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Cca35003	キャリア3	選択	講義	1	3・4	●	●	●		●
	Cca15011	職業研究	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cca15021	ベンチャー・ビジネス論	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●	●		●
	Cca15031	スポーツとビジネス	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●			
	Cca15041	表現活動と経済	選択	演習	1	1・2・3・4	●	●			
	Cca15051	クリエイティブの現場	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Cca15061	日本の企業文化研究	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●			
	Cca15071	ポートフォリオ実習1	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		●
Cca15072	ポートフォリオ実習2	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		●	
Cca15081	コミュニケーション実践演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●	●	●	
社会実践力育成プログラム	Cps24011	大学連携プログラム	選択必修	実習	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Cps24021	インターンシップ1	選択必修	実習	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Cps24022	インターンシップ2	選択必修	実習	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Cps14031	海外ショートプログラム	選択必修	実習	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●
	Cps14041	国内ショートプログラム	選択必修	実習	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●
	Cps24051	産学公連携PBLプログラム1	選択必修	実習	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Cps24052	産学公連携PBLプログラム2	選択必修	実習	2	2・3・4	●	●	●	●	●

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
美術	Cmi26081	美術概論1	選択必修	講義	1	2・3・4	●		●		
	Cmi26091	美術史1	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Cmi26101	美術リテラシー1	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26102	美術リテラシー2	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26111	美術特講1	選択必修	講義	2	2・3・4			●		
	Cmi26122	美術特講2	選択必修	講義	2	2・3・4				●	●
デザイン	Cmi26131	デザイン概論1	選択必修	講義	1	2・3・4	●				
	Cmi26141	デザイン史1	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●			
	Cmi26151	デザインリテラシー1	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26162	デザインリテラシー2	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26171	デザイン特講1	選択必修	講義	2	2・3・4			●		
	Cmi26172	デザイン特講2	選択必修	講義	2	2・3・4				●	●
マンガ	Cmi26181	マンガ概論1	選択必修	講義	1	2・3・4	●				
	Cmi26182	マンガ史1	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●			
	Cmi26191	マンガリテラシー1	選択必修	講義	2	2・3・4	●	●			
	Cmi26192	マンガリテラシー2	選択必修	講義	2	2・3・4	●				●
	Cmi26201	マンガ特講1	選択必修	講義	2	2・3・4			●		
	Cmi26202	マンガ特講2	選択必修	講義	2	2・3・4				●	●
メディア表現	Cmi26041	メディア表現概論1	選択必修	講義	1	2・3・4	●				
	Cmi26051	メディア表現史1	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●			
	Cmi26061	メディア表現リテラシー1	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26062	メディア表現リテラシー2	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26071	メディア表現特講1	選択必修	講義	2	2・3・4			●		
	Cmi26072	メディア表現特講2	選択必修	講義	2	2・3・4				●	●
国際文化	Cmi26001	国際文化概論1	選択必修	講義	1	2・3・4	●				
	Cmi26011	国際文化史1	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●			
	Cmi26021	国際文化リテラシー1	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26022	国際文化リテラシー2	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi26031	国際文化特講1	選択必修	講義	2	2・3・4			●		
	Cmi26032	国際文化特講2	選択必修	講義	2	2・3・4				●	●
和の伝統文化	Cmi17011	和の伝統文化論	選択必修	講義	1	1・2・3・4	●				
	Cmi27021	京都のまちづくり	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●			
	Cmi27031	京都の伝統工芸講座1	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi27032	京都の伝統工芸講座2	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●		
	Cmi27041	京都の習俗	選択必修	講義	2	2・3・4			●		
Cmi27051	京都の伝統産業実習	選択必修	実習	2	2・3・4				●	●	

※マイナー科目から5科目10単位以上履修すること。

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5		
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動		
マイナー科目	ソーシャルビジネス	Cmi17061	ファイナンス論	選択必修	講義	1	1・2・3・4	●					
		Cmi27071	マーケティング論	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●				
		Cmi27081	ビジネスモデル論	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●			
		Cmi27091	イノベーション論	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●			
		Cmi37101	ソーシャルビジネス演習1	選択必修	演習	2	3・4			●			
		Cmi37102	ソーシャルビジネス演習2	選択必修	演習	2	3・4				●	●	
	アジアアフリカ	Cmi17111	アフリカ・アジア概論	選択必修	講義	1	1・2・3・4	●					
		Cmi27121	アフリカ・アジア史	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●				
		Cmi27131	アフリカ・アジアリテラシー1	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●			
		Cmi27142	アフリカ・アジアリテラシー2	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●			
		Cmi27151	アフリカ・アジア特講1	選択必修	講義	2	2・3・4			●			
		Cmi27152	アフリカ・アジア特講2	選択必修	講義	2	2・3・4				●	●	
	日本語教育	Cmi17161	日本事情理解	選択必修	講義	1	1・2・3・4	●					
		Cmi27171	言語と心理	選択必修	講義	1	2・3・4	●	●				
		Cmi27181	言語と社会	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●			
		Cmi27191	日本語学	選択必修	講義	2	2・3・4		●	●			
		Cmi37201	日本語教育演習1	選択必修	演習	2	3・4			●			
		Cmi37202	日本語教育演習2	選択必修	演習	2	3・4				●	●	

国際文化学部

人文学科／グローバルスタディーズ学科

ポリシーとカリキュラム構造

教育研究目的

国際文化学部の教育研究目的は、ヒト、モノ、情報が国境を超えて複雑に絡み合う現代社会の多様な課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現に寄与できる人間の育成です。アフリカ・アジアや日本・京都を中心にグローバル／ローカル双方のアプローチから社会課題を理解し、地球規模の視野を持ち、体験的な学修を通して個別のテーマ研究を深めます。卒業時に身につけているべき要素を以下の5つとし、卒業要件を満たせばこれらを身につけたものと認め、学位を授与します。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	自身をとりまく社会と、シティズンシップ及びヒューマニズムに関する基本的な知識と理解がある。	知識と理解 knowledge & understanding
DP2	グローバル化による社会的な事象を、複数の視点やアプローチから考察することができる。	視点と考察 diverse perspective & observation
DP3	グローバルスタディーズ、人文学のいずれかの領域の専門知識を持ち、特定のテーマ研究を深め他者に伝えることができる。	研究と表現 research & expression
DP4	多様な他者との違いを認め、協働して課題解決に取り組むことができる。	他者理解と協働 mutual understanding & collaboration
DP5	より良い社会を創る意欲を持ち、学びを応用して社会の課題解決に自ら取り組むことができる。	社会への関心と行動 interests & action

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

京都精華大学は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

教育内容、教育方法、学修成果の評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門教育科目では、

1年次には、基礎演習を通して基礎的な人文系の研究方法を学びつつ、各学科の基礎講義と学科共通の選択講義を通じて初歩的な理論を理解し、特にグローバルスタディーズ学科では海外短期フィールドワークを体験することによって、グローバル／ローカル双方の視点を獲得させます。

2年次以降は専攻に分かれ、各専門分野の重要な研究に触れるとともに、最新の研究成果を知ることによって、専門的知識を系統立てて習得させます。また、少人数の演習形式の授業を通じて、各専門分野の高度な研究手法・考察能力を体得させます。

3年次前半は国内外のフィールドでの主体的な調査・研究を遂行する必修のプログラムを経験することによって社会の課題を解決するための実践的な力を獲得させます。後半では各専門分野に関する講義を通して学識を深化させるとともに、特に人文学科では各専門領域の基本文献を精読することによって、既存の研究成果に対する批判的な分析能力と総合的な判断能力を習得させます。

最終年次には、グローバル／ローカル双方の視点のもとで、社会課題の解決法を自ら着想できる発想力、それを実践する行動力、その実践の中で他者と積極的に関わろうとする協働力が習得できているかを確認する機会として卒業論文とその内容に関する研究発表を必修とします。これにより、実践的かつ主体的に研究・調査を計画・遂行するとともに、その成果を社会に向けて学術的に表現する技法と作法を養います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

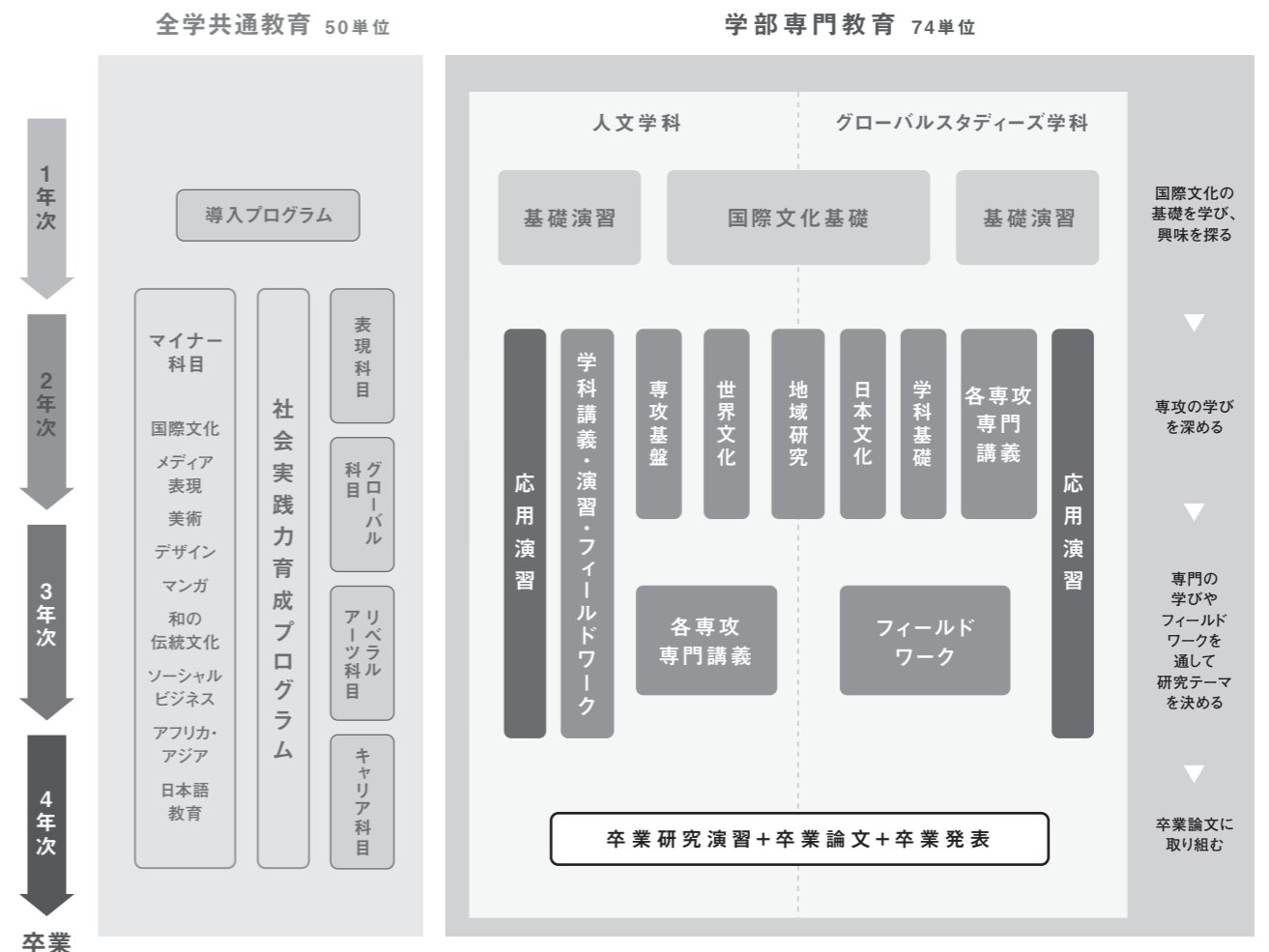
本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

(2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。



人文学科 文学専攻/歴史専攻/社会専攻/日本文化専攻

国際文化学部 人文学科 文学専攻 卒業要件

Table with columns for subject categories (科目区分), required subjects (必修科目), elective subjects (選択必修科目), and elective subjects (選択科目). It lists various subjects like '導入プログラム', '表現科目', 'グローバル科目', 'リベラルアーツ科目', '基礎演習科目', etc., with their respective credits.

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。
進級要件 <1年次から2年次> ●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
卒業要件 <1年次から2年次> ●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。

国際文化学部 人文学科 歴史専攻 卒業要件

Table with columns for subject categories (科目区分), required subjects (必修科目), elective subjects (選択必修科目), and elective subjects (選択科目). It lists various subjects like '導入プログラム', '表現科目', 'グローバル科目', 'リベラルアーツ科目', '基礎演習科目', etc., with their respective credits.

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。
進級要件 【進級要件】(1年次から2年次) ●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。

国際文化学部 人文学科 社会専攻 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目		選択科目	卒業に要する 単位(計)
	進級 要件	科目名称	配当 年次	単 位 数	科目名称	単 位 数	小計	
全学 共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1			50 単位以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1			
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1	24単位	14単位 以上 (※)	
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1			
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1			
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1			
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1			
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1			
		○ デッサン1	1	1Q	1			
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1				
グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1				
	○ 英語1/日本語1	1	1Q	1				
	○ 英語2/日本語2	1	2Q	1				
	○ 英語3/日本語3	1	3Q	1				
リベラルアーツ 科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1				
	○ 自由論	1	3Q	1				
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1				
	○ 創造的思考法	1	3Q	1				
	○ 情報と倫理	1	1Q	1				
	○ 人権と教育	2	1Q	1				
	○ グローバル化と社会	2	2Q	1				
キャリア科目 社会実践力 育成プログラム	○ 情報科学概論	1	2Q	1				
	○ データサイエンス入門	2	1Q	1				
マイナー科目	○ キャリア1	1	1Q	1			2単位 以上	
							10単位 以上	
専門 演習科目	基礎演習科目	○ 基礎演習1	1	1Q	2	34単位		卒業に要する 単位 124 単位以上
		○ 基礎演習2	1	2Q	2			
		○ 基礎演習3	1	3Q	2			
		○ 基礎演習4	1	4Q	2			
		○ 基礎演習5	2	1Q	2			
		○ 基礎演習6	2	2Q	2			
	応用演習科目	○ 応用演習1	2	3Q	2			
		○ 応用演習2	2	4Q	2			
		● 応用演習3	3	1Q	2			
	卒業研究 演習科目	● 応用演習4	3	2Q	2			
● 応用演習5		3	3Q	2				
● 応用演習6		3	4Q	2				
○ 卒業研究演習1		4	1Q	2				
国際文化 基礎科目	○ 卒業研究演習2	4	2Q	2				
	○ 卒業研究演習3	4	3Q	2				
	○ 卒業論文	4	3Q	2				
	○ 卒業発表	4	4Q	2				
学術講義・ 演習科目	○ 国際文化概論1	1	1Q	1	4単位			
	○ 国際文化概論2	1	2Q	1				
	○ 国際文化史1	1	3Q	1				
専攻基礎科目	○ 国際文化史2	1	4Q	1				
	○ 講読演習1	2	4Q	2	10単位			
	● 講読演習2	3	4Q	2				
	● 長期フィールドワーク1	3	1Q	2				
● 長期フィールドワーク2	3	1Q	2					
文学講義科目 歴史講義科目	● 長期フィールドワーク3	3	1Q	2				
	○ 現代社会論	2	1Q	2	6単位			
社会講義科目	○ 社会研究1	2	2Q	2				
	○ 社会研究2	2	3Q	2				
学部専門 教育科目	国際文化 基礎科目	○ 社会学	2			14単位 以上	74 単位以上	
		○ 社会調査法	2					
		○ ジェンダー論	2					
		○ 経済学	2					
	専攻基礎科目	○ NGO論	2					
		○ 人間の安全保障	2					
		○ 市民社会論	2					
		○ 平和学	2					
		○ 先住民族研究	2					
		○ 国際開発論	2					
日本文化講義科目 地域研究科目 世界文化科目							6単位 以上 (※)	

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件 <1年次から2年次/>●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 <2年次から3年次/>●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。●学部専門の1・2年次必修科目の28単位をすべて修得していること。(基礎演習1~6、
 応用演習1・2、国際文化概論1・2、国際文化史1・2、講読演習1、現代社会論、社会研究1・2 合計16科目 28単位)
 <3年次から4年次/>●学部専門3年次必修科目の16単位をすべて修得していること。(応用演習3~6、講読演習2、長期フィールドワーク1~3 合計8科目 16単位)

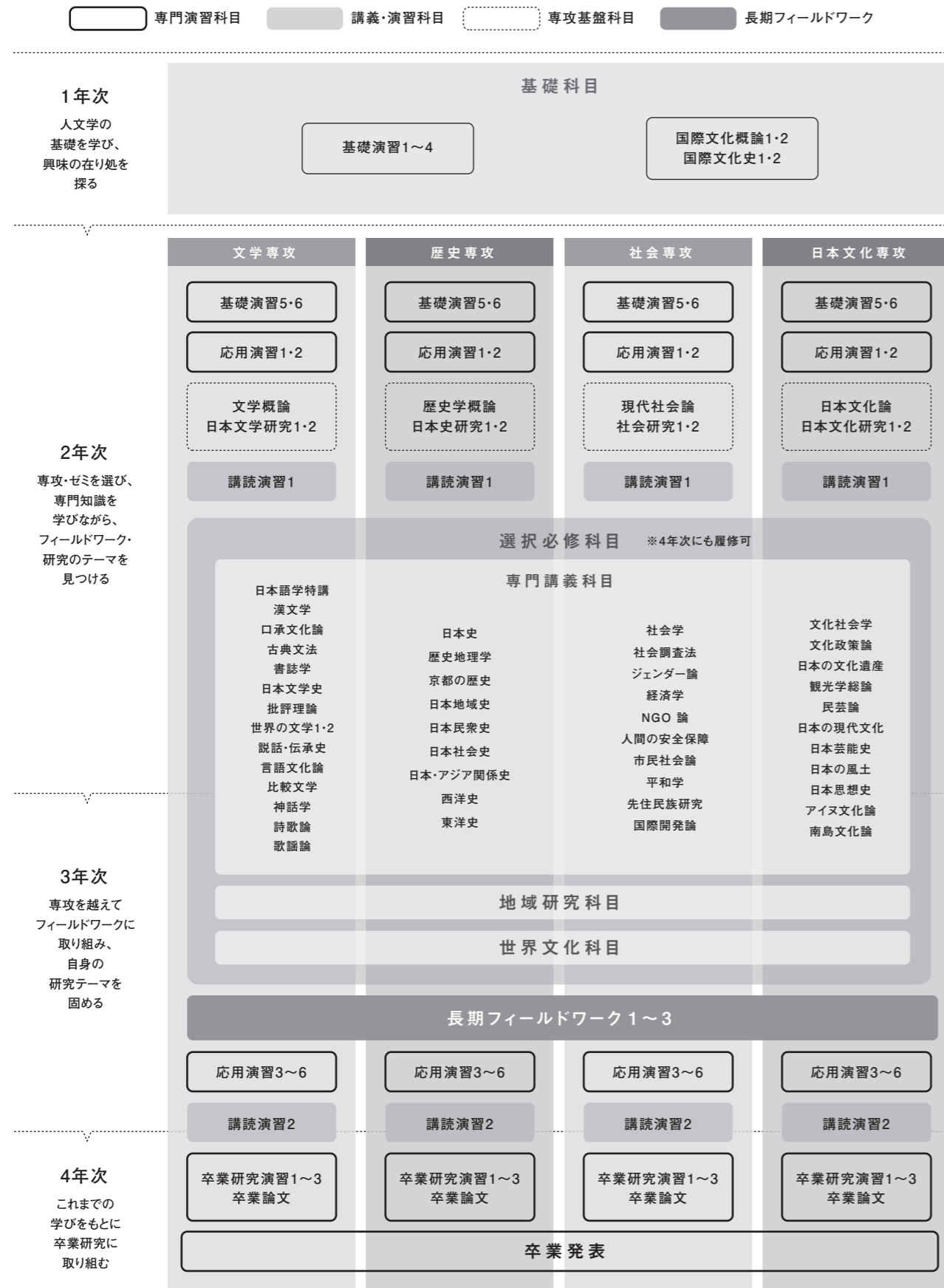
国際文化学部 人文学科 日本文化専攻 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目		選択科目	卒業に要する 単位(計)
	進級 要件	科目名称	配当 年次	単 位 数	科目名称	単 位 数	小計	
全学 共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1			50 単位以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1			
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1	24単位	14単位 以上 (※)	
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1			
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1			
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1			
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1			
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1			
		○ デッサン1	1	1Q	1			
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1				
グローバル科目	日本文化概論	2	3Q	1				
	○ 英語1/日本語1	1	1Q	1				
	○ 英語2/日本語2	1	2Q	1				
	○ 英語3/日本語3	1	3Q	1				
リベラルアーツ 科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1				
	○ 自由論	1	3Q	1				
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1				
	○ 創造的思考法	1	3Q	1				
	○ 情報と倫理	1	1Q	1				
	○ 人権と教育	2	1Q	1				
	○ グローバル化と社会	2	2Q	1				
キャリア科目 社会実践力 育成プログラム	○ 情報科学概論	1	2Q	1				
	○ データサイエンス入門	2	1Q	1				
マイナー科目	○ キャリア1	1	1Q	1			2単位 以上	
							10単位 以上	
専門 演習科目	基礎演習科目	○ 基礎演習1	1	1Q	2	34単位		卒業に要する 単位 124 単位以上
		○ 基礎演習2	1	2Q	2			
		○ 基礎演習3	1	3Q	2			
		○ 基礎演習4	1	4Q	2			
		○ 基礎演習5	2	1Q	2			
		○ 基礎演習6	2	2Q	2			
	応用演習科目	○ 応用演習1	2	3Q	2			
		○ 応用演習2	2	4Q	2			
		● 応用演習3	3	1Q	2			
	卒業研究 演習科目	● 応用演習4	3	2Q	2			
● 応用演習5		3	3Q	2				
● 応用演習6		3	4Q	2				
○ 卒業研究演習1		4	1Q	2				
国際文化 基礎科目	○ 卒業研究演習2	4	2Q	2				
	○ 卒業研究演習3	4	3Q	2				
	○ 卒業論文	4	3Q	2				
	○ 卒業発表	4	4Q	2				
学術講義・ 演習科目	○ 国際文化概論1	1	1Q	1	4単位			
	○ 国際文化概論2	1	2Q	1				
	○ 国際文化史1	1	3Q	1				
専攻基礎科目	○ 国際文化史2	1	4Q	1				
	○ 講読演習1	2	4Q	2	10単位			
	● 講読演習2	3	4Q	2				
	● 長期フィールドワーク1	3	1Q	2				
● 長期フィールドワーク2	3	1Q	2					
文学講義科目 歴史講義科目	● 長期フィールドワーク3	3	1Q	2				
	○ 現代社会論	2	1Q	2	6単位			
社会講義科目	○ 社会研究1	2	2Q	2				
	○ 社会研究2	2	3Q	2				
学部専門 教育科目	国際文化 基礎科目	○ 社会学	2			20単位 以上	74 単位以上	
		○ 社会調査法	2					
		○ ジェンダー論	2					
		○ 経済学	2					
	専攻基礎科目	○ NGO論	2					
		○ 人間の安全保障	2					
		○ 市民社会論	2					
		○ 平和学	2					
		○ 先住民族研究	2					
		○ 国際開発論	2					
日本文化講義科目 地域研究科目 世界文化科目							6単位 以上 (※)	

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件 <1年次から2年次/>●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 <2年次から3年次/>●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。●学部専門の1・2年次必修科目の28単位をすべて修得していること。(基礎演習1~6、
 応用演習1・2、国際文化概論1・2、国際文化史1・2、講読演習1、現代社会論、社会研究1・2 合計16科目 28単位)
 <3年次から4年次/>●学部専門3年次必修科目の16単位をすべて修得していること。(応用演習3~6、講読演習2、長期フィールドワーク1~3 合計8科目 16単位)

国際文化学部 人文学科 カリキュラムマップ



国際文化学部 人文学科 履修モデル

国際文化学部 人文学科 文学専攻
 「日本の古典作品や文化が好きで、将来は図書館司書か出版業に関わる仕事に就きたい学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数				
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計			
全学共通教育科目	導入プログラム	フレッシュアーズ・キャンプ 必修 1 クリエイティブ・ワークショップ 必修 1								2	124		
	表現科目	コミュニケーションスキル1 必修 1 コミュニケーションスキル2 必修 1 アカデミックスキル1 必修 1 アカデミックスキル2 必修 1 デッサン1 必修 1 グラフィックデザインソフトスキル 必修 1 日本美術史 選択 2	表現と知的財産権 選択 2	アカデミックスキル3 必修 1 アカデミックスキル4 必修 1 芸術学 選択 2 西洋美術史 選択 2						16			
		グローバル科目	英語1/日本語1 必修 1 英語2/日本語2 必修 1 英語3/日本語3 必修 1 英語4/日本語4 必修 1	日本文化概論 必修 1								5	
			リベラルアーツ科目	自由論 必修 1 シティズンシップとダイバーシティ 必修 1 創造的思考法 必修 1 情報と倫理 必修 1 情報科学概論 必修 1 プログラミング1 選択 1 プログラミング2 選択 1	グローバル化と社会 必修 1 データサイエンス入門 必修 1 人権と教育 必修 1 行動心理学 選択 2								12
				キャリア科目	キャリア1 必修 1 クリエイティブの現場 選択 2								3
				社会実践力育成プログラム			国内ショートプログラム 選択 2						2
		マイナ教科目		和の伝統文化論 選択 1	京都の伝統工芸講座1 選択 2 京都の伝統工芸講座2 選択 2 京都の伝統産業実習 選択 2 京都の習俗 選択 2 デザイン史1 選択 1								10
	基礎演習科目・応用演習科目・卒業研究演習科目		基礎演習1 必修 2 基礎演習2 必修 2 基礎演習3 必修 2 基礎演習4 必修 2	基礎演習5 必修 2 基礎演習6 必修 2	応用演習3 必修 2 応用演習4 必修 2 応用演習5 必修 2 応用演習6 必修 2	卒業研究演習1 必修 2 卒業研究演習2 必修 2 卒業研究演習3 必修 2 卒業論文 必修 2 卒業発表 必修 2				34			
	国際文化基礎科目		国際文化概論1 必修 1 国際文化概論2 必修 1 国際文化史1 必修 1 国際文化史2 必修 1							4			
	専攻基盤科目			文学概論 必修 2 日本文学研究1 必修 2 日本文学研究2 必修 2						6			
	学科講義・演習科目			講読演習1 必修 2	長期フィールドワーク1 必修 2 長期フィールドワーク2 必修 2 長期フィールドワーク3 必修 2 講読演習2 必修 2					10			
	文学講義科目 歴史講義科目 社会講義科目 日本文化講義科目 地域研究科目 世界文化科目		国際文化特講1 選択 2 書誌学 選択 2 比較文学 選択 2	日本文学史 選択 2 言語文化論 選択 2 詩歌論 選択 2 批評理論 選択 2 日本・アジア関係史 選択 2 地球環境学概論1 選択 2	日本の文化遺産 選択 2				20				

国際文化学部 人文学科 歴史専攻

「武将や刀、美術工芸品が好きで、外国人観光客を対象に史跡を廻る観光案内などの仕事に興味がある学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数		
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	必修	合計	
導入プログラム	フレッシュアーズ・キャンプ	必修 1								2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1									
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	東洋美術史	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1				13	
	コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1					
	アカデミックスキル1	必修 1									
	アカデミックスキル2	必修 1									
	デッサン1	必修 1									
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1									
	写真技法	選択 1									
	工芸概論	選択 2									
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1						9	
	英語2/日本語2	必修 1	中国語1	選択 1							
	英語3/日本語3	必修 1	中国語2	選択 1							
	英語4/日本語4	必修 1	世界と食	選択 2							
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1	考古学	選択 2				12	
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1							
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1							
	情報と倫理	必修 1									
	情報科学概論	必修 1									
キャリア科目	キャリア1	必修 1								2	
	ベンチャー・ビジネス論	選択 1									
社会実践力育成プログラム					インターンシップ1	選択 2				2	
マイナー科目			美術概論1	選択 1	美術史1	選択 1	美術特論1	選択 2			124
			美術特論2	選択 2	美術リテラシー1	選択 2					10
					美術リテラシー2	選択 2					
基礎演習科目・応用演習科目・卒業研究演習科目	基礎演習1	必修 2	基礎演習5	必修 2	応用演習3	必修 2	卒業研究演習1	必修 2		34	
	基礎演習2	必修 2	基礎演習6	必修 2	応用演習4	必修 2	卒業研究演習2	必修 2			
	基礎演習3	必修 2	応用演習1	必修 2	応用演習5	必修 2	卒業研究演習3	必修 2			
	基礎演習4	必修 2	応用演習2	必修 2	応用演習6	必修 2	卒業論文	必修 2			
							卒業発表	必修 2			
国際文化基礎科目	国際文化概論1	必修 1								4	
	国際文化概論2	必修 1									
	国際文化史1	必修 1									
	国際文化史2	必修 1									
専攻基礎科目			歴史学概論	必修 2						6	
			日本史研究1	必修 2							
			日本史研究2	必修 2							
学科講義・演習科目			講読演習1	必修 2	長期フィールドワーク1	必修 2				10	
					長期フィールドワーク2	必修 2					
					長期フィールドワーク3	必修 2					
					講読演習2	必修 2					
文学講義科目 歴史講義科目 社会講義科目 日本文化講義科目 地域研究科目 世界文化科目			京都の歴史	選択 2	東洋史	選択 2				20	
			日本地域史	選択 2	説話・伝承史	選択 2					
			観光学総論	選択 2	日本の文化遺産	選択 2					
			日本・アジア関係史	選択 2	歴史地理学	選択 2					
			日本史	選択 2	日本民衆史	選択 2					

国際文化学部 人文学科 社会専攻

「環境問題に興味があり、将来NPOなどで働きたいと思っている学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数		
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	必修	合計	
導入プログラム	フレッシュアーズ・キャンプ	必修 1								2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1									
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	表現と知的財産権	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1				10	
	コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1					
	アカデミックスキル1	必修 1									
	アカデミックスキル2	必修 1									
	デッサン1	必修 1									
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1						5	
	英語2/日本語2	必修 1									
	英語3/日本語3	必修 1									
	英語4/日本語4	必修 1									
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1	法学	選択 2				15	
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1							
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1							
	情報と倫理	必修 1									
	情報科学概論	必修 1									
キャリア科目	キャリア1	必修 1					スポーツとビジネス	選択 1		3	
	ベンチャー・ビジネス論	選択 1									
社会実践力育成プログラム					産学連携PBLプログラム1	選択 2				2	
マイナー科目	ファイナンス論	選択 1	マーケティング論	選択 1	ソーシャルビジネス演習1	選択 2	メディア表現特講1	選択 2			124
			ビジネスモデル論	選択 2	ソーシャルビジネス演習2	選択 2	京都のまちづくり	選択 1			13
			イノベーション論	選択 2							
基礎演習科目・応用演習科目・卒業研究演習科目	基礎演習1	必修 2	基礎演習5	必修 2	応用演習3	必修 2	卒業研究演習1	必修 2		34	
	基礎演習2	必修 2	基礎演習6	必修 2	応用演習4	必修 2	卒業研究演習2	必修 2			
	基礎演習3	必修 2	応用演習1	必修 2	応用演習5	必修 2	卒業研究演習3	必修 2			
	基礎演習4	必修 2	応用演習2	必修 2	応用演習6	必修 2	卒業論文	必修 2			
						卒業発表	必修 2				
国際文化基礎科目	国際文化概論1	必修 1								4	
	国際文化概論2	必修 1									
	国際文化史1	必修 1									
	国際文化史2	必修 1									
専攻基礎科目			現代社会論	必修 2						6	
			社会研究1	必修 2							
			社会研究2	必修 2							
学科講義・演習科目			講読演習1	必修 2	長期フィールドワーク1	必修 2				10	
					長期フィールドワーク2	必修 2					
					長期フィールドワーク3	必修 2					
					講読演習2	必修 2					
文学講義科目 歴史講義科目 社会講義科目 日本文化講義科目 地域研究科目 世界文化科目			社会調査法	選択 2	市民社会論	選択 2				20	
			平和学	選択 2	グローバル化とメディア	選択 2					
			経済学	選択 2	日本の文化遺産	選択 2					
			ジェンダー論	選択 2	人間の安全保障	選択 2					
			NGO論	選択 2	国際開発論	選択 2					

国際文化学部 人文学科 専門教育科目 科目一覽

国際文化学部 人文学科 日本文化専攻

「伝統からアニメーションまで幅広い「日本文化」に関心があり、表現することに興味を持っている学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	
導入プログラム	フレッシュャーズ・キャンプ	必修 1								2
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	表現と社会	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1				15
	コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1			表現と倫理	選択 2				
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
	デッサン2	選択 1								
グローバル科目	素材論	選択 2								5
	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1						
	英語2/日本語2	必修 1								
	英語3/日本語3	必修 1								
リベラルアーツ科目	英語4/日本語4	必修 1								8
	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1						
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
キャリア科目	情報と倫理	必修 1								3
	情報科学概論	必修 1								
社会実践力育成プログラム	キャリア1	必修 1								2
	クリエイティブの現場	選択 2			海外ショートプログラム	選択 2				
マイナー科目			マンガ概論1	選択 1	デザイン史1	選択 1	メディア表現特講1	選択 2		15
			京都の伝統工芸講座1	選択 1	デザインリテラシー2	選択 2	美術リテラシー2	選択 2		
			京都の伝統工芸講座2	選択 2						
			マンガ史1	選択 2						
基礎演習科目・応用演習科目・卒業研究演習科目			メディア表現リテラシー1	選択 2						34
	基礎演習1	必修 2	基礎演習5	必修 2	応用演習3	必修 2	卒業研究演習1	必修 2		
	基礎演習2	必修 2	基礎演習6	必修 2	応用演習4	必修 2	卒業研究演習2	必修 2		
	基礎演習3	必修 2	基礎演習1	必修 2	応用演習5	必修 2	卒業研究演習3	必修 2		
国際文化基礎科目	基礎演習4	必修 2	応用演習2	必修 2	応用演習6	必修 2	卒業論文	必修 2		4
	国際文化概論1	必修 1					卒業発表	必修 2		
	国際文化概論2	必修 1								
	国際文化史1	必修 1								
専攻基盤科目	国際文化史2	必修 1								6
	日本文化論	必修 2								
	日本文化研究1	必修 2								
学科講義・演習科目	日本文化研究2	必修 2								10
	講読演習1	必修 2	長期フィールドワーク1	必修 2						
			長期フィールドワーク2	必修 2						
			長期フィールドワーク3	必修 2						
文学講義科目 歴史講義科目 社会講義科目 日本文化講義科目 地域研究科目 世界文化科目			講読演習2	必修 2						20
	日本の文化遺産	選択 2	日本の現代文化	選択 2						
	文化政策論	選択 2	比較建築文化論	選択 2						
	日本芸能史	選択 2	グローバル化とメディア	選択 2						
	南島文化論	選択 2	観光学総論	選択 2						
			比較服飾文化論	選択 2						
		書誌学	選択 2							

専門演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
基礎演習科目	Khu10001	基礎演習1	必修	演習	2	1	●	●	●		
	Khu10002	基礎演習2	必修	演習	2	1	●	●	●	●	
	Khu10003	基礎演習3	必修	演習	2	1	●	●	●	●	●
	Khu10004	基礎演習4	必修	演習	2	1	●	●	●	●	●
	Khu20005	基礎演習5	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
	Khu20006	基礎演習6	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
応用演習科目	Khu20011	応用演習1	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
	Khu20012	応用演習2	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
	Khu30013	応用演習3	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Khu30014	応用演習4	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Khu30015	応用演習5	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Khu30016	応用演習6	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
卒業研究演習科目	Khu40031	卒業研究演習1	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Khu40032	卒業研究演習2	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Khu40033	卒業研究演習3	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Khu40041	卒業論文	必修	演習	2	4	●	●	●	●	●
	Khu40051	卒業発表	必修	演習	2	4			●	●	

専門講義・演習科目

※各専攻において、必修および選択必修科目に指定している科目があります。所属専攻の卒業要件表で確認してください。

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
国際文化基礎科目	Kgl11001	国際文化概論1	必修	講義	1	1	●	●			●
	Kgl11002	国際文化概論2	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl11011	国際文化史1	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl11012	国際文化史2	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl11021	国際文化リテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●
	Kgl11022	国際文化リテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●
	Kgl21031	国際文化特講1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl21032	国際文化特講2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
専攻基礎科目	Khu22001	文学概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22011	日本文学研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22012	日本文学研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22021	歴史学概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22031	日本史研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22032	日本史研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22041	現代社会論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22051	社会研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22052	社会研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22061	日本文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
学科講義・演習科目	Khu23001	講読演習1	必修	演習	2	2	●	●	●		●
	Khu33002	講読演習2	必修	演習	2	3	●	●	●		●
	Khu33011	長期フィールドワーク1	必修	演習	2	3	●	●		●	●
	Khu33012	長期フィールドワーク2	必修	演習	2	3	●	●		●	●
	Khu33013	長期フィールドワーク3	必修	演習	2	3	●	●		●	●
	Kgl13001	哲学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13011	倫理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13021	心理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13031	宗教学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23081	書道	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
文学講義科目	Kgl23121	古文書解読	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Kgl23251	社会思想史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23271	自然地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23021	日本語学特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23041	漢文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23051	口承文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
文学講義科目	Kgl23061	古典文法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23071	書誌学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23091	日本文学史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23021	日本語学特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23041	漢文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23051	口承文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23061	古典文法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23071	書誌学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23091	日本文学史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
文学講義科目	Kgl23101	批評理論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23111	世界の文学1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23112	世界の文学2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23031	説話・伝承史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23041	言語文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23051	比較文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23061	神話学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23071	詩歌論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
歴史講義科目	Khu23081	歌謡論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23131	日本史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23141	歴史地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23151	京都の歴史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23161	日本民衆史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23171	日本地域史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23181	日本社会史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23191	日本・アジア関係史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23201	西洋史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23211	東洋史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
社会講義科目	Kgl23221	社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23231	社会調査法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23241	ジェンダー論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23261	経済学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23281	NGO論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23301	人間の安全保障	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23311	市民社会論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23321	平和学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23351	先住民研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23361	国際開発論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
日本文化講義科目	Kgl23371	文化社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23381	文化政策論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23391	日本の文化遺産	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23401	観光学総論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23091	民芸論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23101	日本の現代文化	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23111	日本芸能史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23121	日本の風土	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23131	日本思想史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu23141	アイヌ文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●

グローバルスタディーズ学科

グローバル関係専攻/
グローバル共生社会専攻/
アフリカ・アジア文化専攻

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
地域研究科目	Kgl24411	地域研究入門	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24421	アフリカ地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24422	アフリカ地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24431	アジア地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24432	アジア地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24441	大洋州地域研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24451	アメリカ地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24552	アメリカ地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24561	欧州地域研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24571	世界の宗教	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl24581	アフリカ・アジア関係論	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgl24591	グローバル・ビジネス論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24501	グローバル化とメディア	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23291	地球環境学概論1	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgl33292	地球環境学概論2	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl33293	地球環境学概論3	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
Kgl33331	エイジング研究概論	選択	講義	2	3・4	●	●			●	
Kgl33341	子ども学概論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●	
世界文化科目	Kgl23561	世界文化遺産	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23571	アフリカ美術	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23581	マテリアル・カルチャー概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23591	比較服飾文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23601	比較建築文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23611	民族音楽論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●

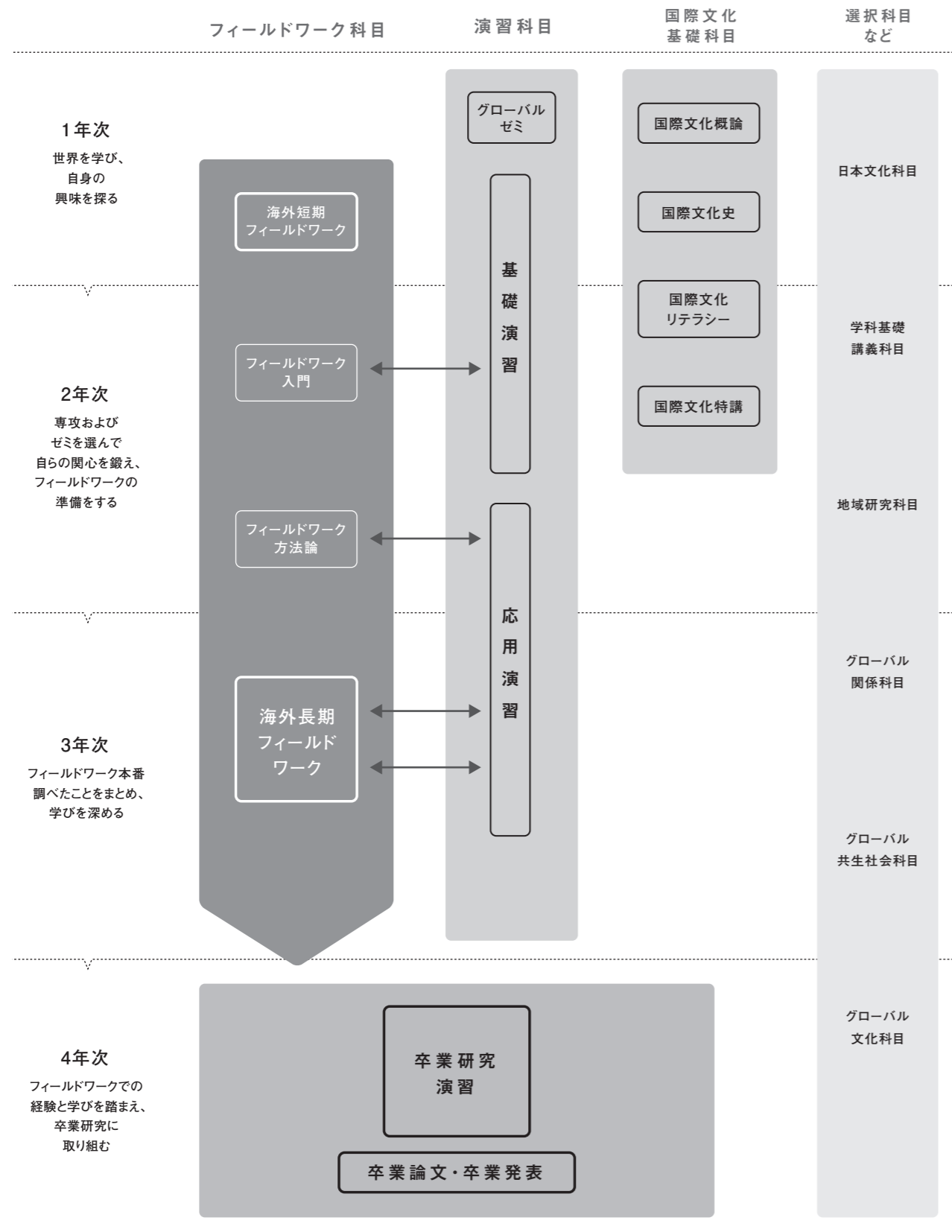
国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目		選択科目		卒業に要する単位(計)
	進級要件	科目名称	配当年次	単位数	科目名称	単位数	小計		
全学共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュヤーズ・キャンプ	1	1Q	1	24単位		14単位以上(※)	50単位以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1				
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1				
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1				
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1				
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1				
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1				
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1				
		○ デッサン1	1	1Q	1				
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1					
	グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1				
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1				
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1				
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1				
リベラルアーツ科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1					
	○ 自由論	1	3Q	1					
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1					
	○ 創造的思考法	1	3Q	1					
	○ 情報と倫理	1	1Q	1					
	○ 人権と教育	2	1Q	1					
キャリア科目	○ グローバル化と社会	2	2Q	1					
	○ 情報科学概論	1	2Q	1					
○ データサイエンス入門	2	1Q	1						
○ キャリア1	1	1Q	1						
社会実践力育成プログラム								2単位以上	
マイナー科目								10単位以上	
専門演習科目	基礎演習科目	○ グローバルゼミ	1	1Q	2	34単位		14単位以上	124単位以上
		○ 海外短期フィールドワーク	1	2Q	2				
		○ 基礎演習1	1	3Q	2				
		○ 基礎演習2	1	4Q	2				
		○ 基礎演習3	2	1Q	2				
	○ 基礎演習4	2	2Q	2					
	応用演習科目	○ 応用演習1	2	3Q	2				
		○ 応用演習2	2	4Q	2				
		○ 応用演習3	3	1Q	2				
		○ 応用演習4	3	2Q	2				
○ 応用演習5		3	3Q	2					
○ 応用演習6		3	4Q	2					
卒業研究演習科目	○ 卒業研究演習1	4	1Q	2					
	○ 卒業研究演習2	4	2Q	2					
	○ 卒業研究演習3	4	3Q	2					
	○ 卒業論文	4	3Q	2					
○ 卒業発表	4	4Q	2						
国際文化基礎科目	○ 国際文化概論1	1	1Q	1	4単位				
	○ 国際文化概論2	1	2Q	1					
	○ 国際文化史1	1	3Q	1					
	○ 国際文化史2	1	4Q	1					
フィールドワーク科目	○ フィールドワーク入門	2	2Q	2	16単位				
	○ フィールドワーク方法論	2	3Q	2					
	○ 海外長期フィールドワーク1	3	1Q	2					
	○ 海外長期フィールドワーク2	3	1Q	2					
	○ 海外長期フィールドワーク3	3	1Q	2					
	○ 海外長期フィールドワーク4	3	2Q	2					
	○ 海外長期フィールドワーク5	3	2Q	2					
○ 海外長期フィールドワーク6	3	2Q	2						
グローバル関係科目	○ グローバル関係概論	2	1Q	2	6単位				
	○ グローバルヒストリー概論	2	2Q	2					
	○ 比較社会学	2	4Q	2					
グローバル共生社会科目	○ グローバル・ビジネス論	2	1Q	2					
	○ グローバル化とメディア	2	2Q	2					
	○ 国際開発論	2	4Q	2					
地域研究科目	○ 地域研究入門	2	1Q	2					
	○ 世界の宗教	2	2Q	2					
	○ アフリカ美術	2	4Q	2					
	○ 学術基礎講義科目								
	○ 日本文化科目								

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位数を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件 (1年次から2年次) ● 1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/○印) ● 全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。● 学部専門の1・2年次必修科目の30単位をすべて修得していること。(グローバルゼミ、海外短期フィールドプログラム、基礎演習1~4、応用演習1~2、国際文化概論1・2、国際文化史1・2、フィールドワーク入門、フィールドワーク方法論、専攻別科目3科目 合計17科目 30単位)
 (3年次から4年次/●印) ● 学部専門3年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(応用実習3~6、海外長期フィールドワーク1~6 合計10科目 20単位)

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 カリキュラムマップ



国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 履修モデル

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科
「五感を使ってフィールドワークを行い、世界を学びたい学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数		
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計	
全学共通教育科目	導入プログラム	フレッシュヤーズ・キャンプ 必修 1								2	
	表現科目	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								8
		コミュニケーションスキル1	必修 1			アカデミックスキル3	必修 1				
		コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1				
		アカデミックスキル1	必修 1								
		アカデミックスキル2	必修 1								
	グローバル科目	デッサン1	必修 1								10
		グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
		英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1	世界と食	選択 2				
		英語2/日本語2	必修 1	言語学	選択 2						
リベラルアーツ科目	英語3/日本語3	必修 1								14	
	英語4/日本語4	必修 1									
	ベトナム語	選択 1									
	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1	統計的思考法	選択 2					
	シチズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1	プログラミング1	選択 1					
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1	プログラミング2	選択 1					
キャリア科目	情報と倫理	必修 1								3	
	情報科学概論	必修 1									
	政治学	選択 2									
社会実践力育成プログラム	キャリア1	必修 1								2	
	コミュニケーション実践演習	選択 1									
マイナー科目	ベンチャービジネス論	選択 1								11	
	アフリカ・アジア概論	選択 1	アフリカ・アジア史	選択 1							
			アフリカ・アジアリテラシー1	選択 2							
			アフリカ・アジアリテラシー2	選択 2							
			和の伝統文化論	選択 1							
基礎演習科目・応用演習科目・卒業研究演習科目			アフリカ・アジア特講1	選択 2						34	
			アフリカ・アジア特講2	選択 2							
	グローバルゼミ	必修 2	基礎演習3	必修 2	応用演習3	必修 2	卒業研究演習1	必修 2			
	海外短期フィールドワーク	必修 2	基礎演習4	必修 2	応用演習4	必修 2	卒業研究演習2	必修 2			
国際文化基礎科目	基礎演習1	必修 2	応用演習1	必修 2	応用演習5	必修 2	卒業研究演習3	必修 2		12	
	基礎演習2	必修 2	応用演習2	必修 2	応用演習6	必修 2	卒業論文	必修 2			
	国際文化概論1	必修 1					国際文化特講1	選択 2			
	国際文化概論2	必修 1					国際文化特講2	選択 2			
	国際文化史1	必修 1									
フィールドワーク科目	国際文化史2	必修 1								20	
	国際文化リテラシー1	選択 2									
	国際文化リテラシー2	選択 2									
			フィールドワーク入門	必修 2	海外長期フィールドワーク1	必修 2					
			フィールドワーク方法論	必修 2	海外長期フィールドワーク2	必修 2					
			Business English/フランス語圏事情理解	選択 1	海外長期フィールドワーク3	必修 2					
地域研究科目・グローバル関係科目・グローバル共生社会科目・グローバル文化科目・学科基礎講義科目・日本文化科目			English discussion/フランス語圏文化理解	選択 1	海外長期フィールドワーク4	必修 2				8	
			English for studying abroad/フランス語圏のメディア	選択 1	海外長期フィールドワーク5	必修 2					
			English for studying abroad/フランス語圏のメディア	選択 1	海外長期フィールドワーク6	必修 2					
			グローバル関係概論/グローバルビジネス論/地域研究入門	必修 2	地球環境学概論1	選択 2					
		グローバルヒストリー概論/グローバル化とメディア/世界の宗教	必修 2								
		比較社会学/国際開発論/アフリカ美術	必修 2								

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 専門教育科目 科目一覧

専門演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
基礎演習科目	Kgs10001	グローバルゼミ	必修	演習	2	1	●	●	●	●	
	Kgs10002	海外短期フィールドワーク	必修	演習	2	1	●	●		●	●
	Kgs10003	基礎演習1	必修	演習	2	1	●	●	●	●	●
	Kgs10004	基礎演習2	必修	演習	2	1	●	●	●	●	●
	Kgs20005	基礎演習3	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
	Kgs20006	基礎演習4	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
応用演習科目	Kgs20011	応用演習1	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
	Kgs20012	応用演習2	必修	演習	2	2	●	●	●	●	●
	Kgs30013	応用演習3	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Kgs30014	応用演習4	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Kgs30015	応用演習5	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Kgs30016	応用演習6	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
卒業研究演習科目	Kgs40031	卒業研究演習1	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Kgs40032	卒業研究演習2	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Kgs40033	卒業研究演習3	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Kgs40041	卒業論文	必修	演習	2	4	●	●	●		
	Kgs40051	卒業発表	必修	演習	2	4			●	●	

専門講義・演習科目

※各専攻において、必修科目に指定している科目があります。卒業要件表で確認してください。

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
国際文化基礎科目	Kgl110010	国際文化概論1	必修	講義	1	1	●	●			●
	Kgl110020	国際文化概論2	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl110110	国際文化史1	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl110120	国際文化史2	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl110210	国際文化リテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●
	Kgl110220	国際文化リテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●
	Kgl210310	国際文化特講1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl210320	国際文化特講2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
フィールドワーク科目	Kgs22011	Business English	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		●
	Kgs22021	English discussion	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22031	Effective presentation	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22041	English for studying abroad	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22051	フランス語圏事情理解	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22061	フランス語圏文化理解	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22071	フランス語圏経済理解	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22081	フランス語圏のメディア	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs22091	フィールドワーク入門	必修	講義	2	2	●	●			●
	Kgs22101	フィールドワーク方法論	必修	講義	2	2	●	●			●
	Kgs32111	海外長期フィールドワーク1	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Kgs32112	海外長期フィールドワーク2	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Kgs32113	海外長期フィールドワーク3	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
	Kgs32114	海外長期フィールドワーク4	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●
Kgs32115	海外長期フィールドワーク5	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●	
Kgs32116	海外長期フィールドワーク6	必修	演習	2	3	●	●	●	●	●	
地域研究科目	Kgl244110	地域研究入門	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs24001	地域研究特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl244210	アフリカ地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl244220	アフリカ地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl244310	アジア地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl244320	アジア地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl244510	アメリカ地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl245520	アメリカ地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl244410	大洋州地域研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl245610	欧州地域研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
グローバル関係科目	Kgs23001	グローバル関係概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23011	グローバル歴史概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23021	グローバル歴史特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs23031	多国籍企業論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs23041	社会運動論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
グローバル関係科目	Kgl245710	世界の宗教	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl245810	アフリカ・アジア関係論	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgs23051	国際政治学	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgs23061	国際社会の法秩序	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgs33071	人口動態論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgs33081	人口政策論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgs23091	比較社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
グローバル共生社会科目	Kgl233510	先住民民族研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23101	ポストコロナル概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233610	国際開発論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23111	マイノリティ研究概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl245910	グローバル・ビジネス論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl245010	グローバル化とメディア	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl333310	エイジング研究概論	選択	講義	2	3・4	●	●			●
	Kgl333410	子ども学概論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl232910	地球環境学概論1	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgl332920	地球環境学概論2	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl332930	地球環境学概論3	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl232810	NGO論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233210	平和学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233110	市民社会論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233010	人間の安全保障	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
グローバル文化科目	Kgl234010	観光学総論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231110	世界の文学1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231120	世界の文学2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl235610	世界文化遺産	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl235710	アフリカ美術	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl235810	マテリアル・カルチャー概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl236110	民族音楽論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl235910	比較服飾文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
Kgl236010	比較建築文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
学科基礎講義科目	Kgl130010	哲学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl130110	倫理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl130210	心理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl232210	社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl232310	社会調査法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl232610	経済学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231010	批評理論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
Kgl232410	ジェンダー論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
学科基礎講義科目	Kgl130310	宗教学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl232510	社会思想史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl232710	自然地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233810	文化政策論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233710	文化社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl232010	西洋史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl232110	東洋史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
日本文化科目	Kgl231310	日本史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231710	日本地域史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231810	日本社会史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231910	日本・アジア関係史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl233910	日本の文化遺産	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231410	歴史地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231510	京都の歴史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl231610	日本民衆史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl230910	日本文学史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl230410	漢文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl230510	口承文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl230710	書誌学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl230610	古典文法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl230810	書道	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Kgl231210	古文書解読	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●

メディア表現学部

メディア表現学科

ポリシーとカリキュラム構造

教育研究目的

メディア表現学部の教育研究目的は、変化し続ける科学技術と社会が抱える課題の解決に表現を通して寄与できる人間の育成です。メディアと情報技術に関する広範な知識と専門的な表現技能を教授し、コンテンツの制作やメディア、プラットフォームの設計によって新しい価値を創造できる力を養います。卒業時に身につけているべき要素を以下の5つとし、卒業要件を満たせばこれらを身につけたものと認め、学位を授与します。

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

DP1	メディアと情報(技術)に関する基本的な知識と理解がある。	知識と理解 knowledge & understanding
DP2	デザイン思考とアート思考を用い、答えがない課題に対し創造的に取り組むことができる。	創造的思考と考察 creative thinking & observation
DP3	メディア表現領域の専門知識と制作技能を身につけている。	技術と表現 skills & expression
DP4	多様な他者との違いを認め、協働して課題解決に取り組むことができる。	他者理解と協働 mutual understanding & collaboration
DP5	より良い社会を創る意欲を持ち、学びを応用して社会の課題解決に自ら取り組むことができる。	社会への関心と行動 interests & action

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

京都精華大学は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

教育内容、教育方法、学修成果の評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門教育科目では、

1年次は、プログラミングやICT、コンピュータネットワークの基礎知識・技法に加えて、対象となる物事の考え方を身につけます。

2年次は、ICTやメディア、コンテンツを活用する力をつけ、企業等でのインターンシップを通して社会の現状を体験します。

3年次は、ICTやメディア、コンテンツを活用する力を磨き、社会課題解決プロジェクト科目を通して実践的に社会実装の方法を学びます。

4年次は、卒業論文・制作により、社会課題やビジネス課題の解決につながるイノベティブな実践を行います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

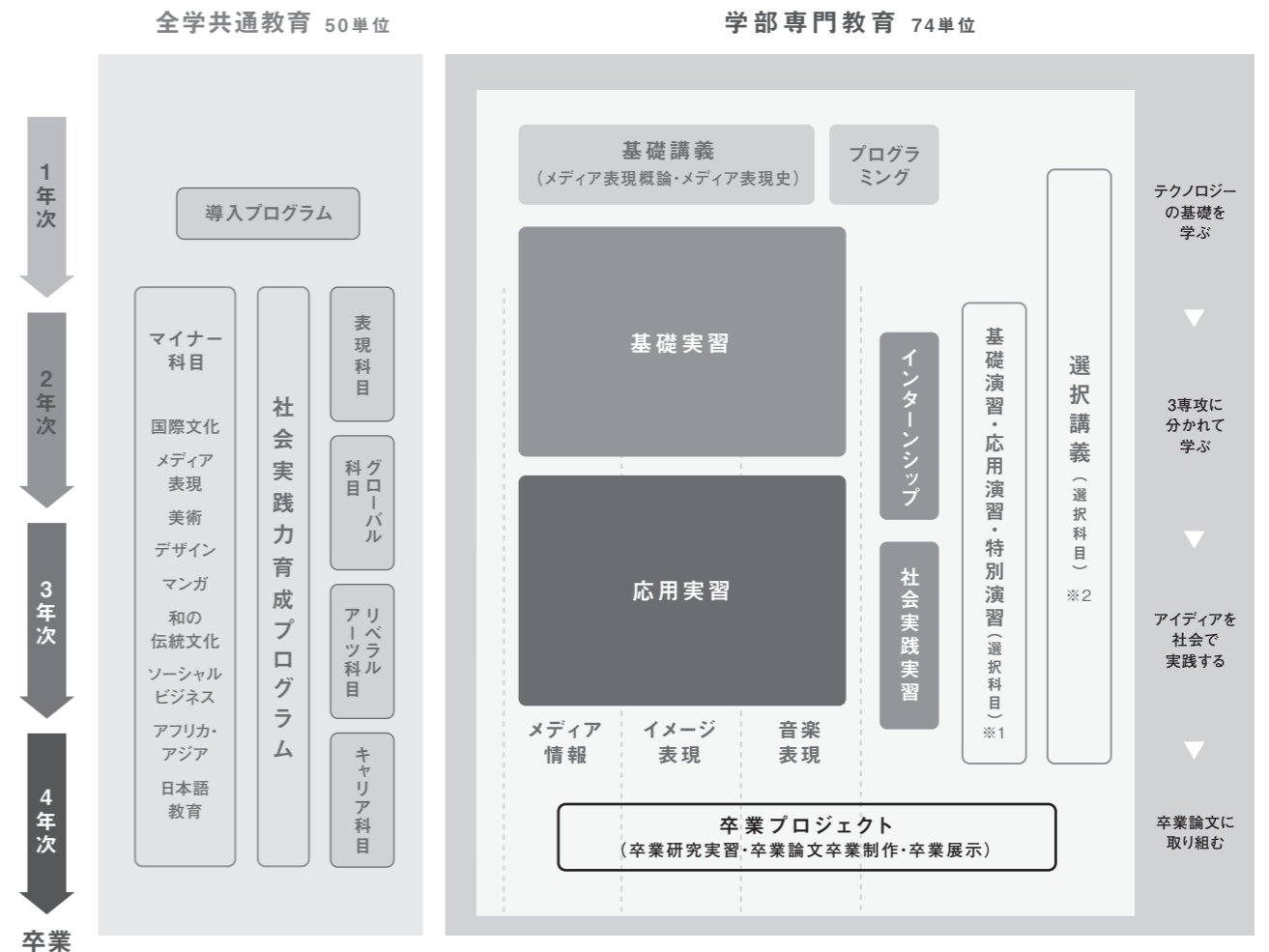
本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

(2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。



※1 3専攻と共通分野の内容を横断的に履修

※2 3専攻の専門分野に関わる講義、メディア表現に関する各論、メディア表現リテラシー、メディア表現特講から履修

メディア表現学科

メディア情報専攻 / イメージ表現専攻 / 音楽表現専攻

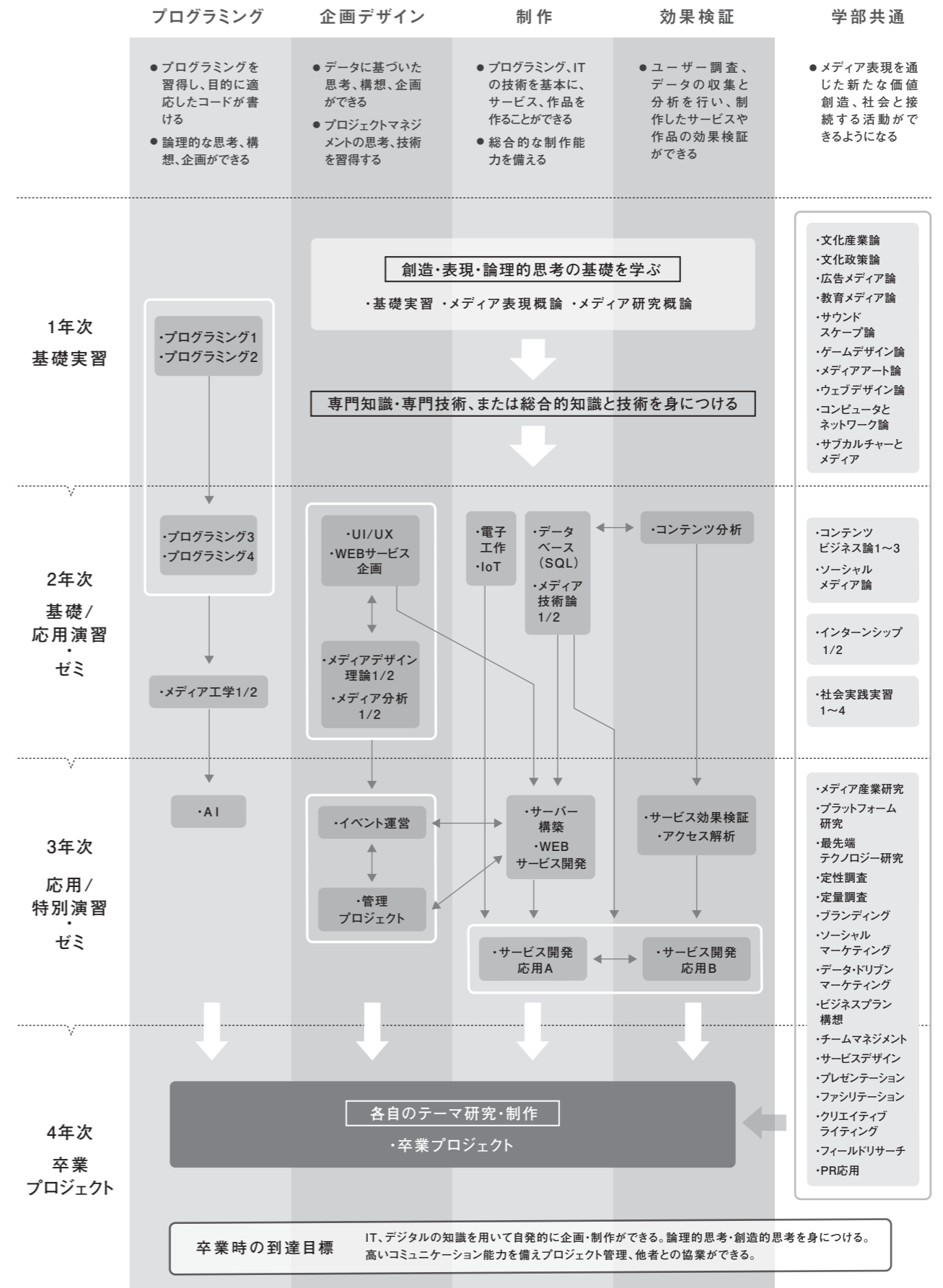
メディア表現学部 メディア表現学科 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目			選択科目	卒業に要する単位(計)	
	進級要件	科目名称	配当年次	単位数	進級要件	科目名称	単位数	小計		
全学共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1				28単位	50単位以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1					
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1					
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1					
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1					
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1					
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1					
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1					
	グローバル科目	○ デッサン1	1	1Q	1					
		○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1					
		○ 日本文化概論	2	3Q	1					
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1					
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1					
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1					
	リベラルアーツ科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1					
○ 自由論		1	3Q	1						
○ シティズンシップとダイバーシティ		1	4Q	1						
○ 創造的思考法		1	3Q	1						
○ 情報と倫理		1	1Q	1						
○ 人権と教育		2	1Q	1						
○ グローバル化と社会		2	2Q	1						
○ 情報科学概論		1	2Q	1						
○ データサイエンス入門		2	1Q	1						
○ プログラミング1		1	3Q	1						
キャリア科目	○ プログラミング2	1	4Q	1						
	○ プログラミング3	2	1Q	1						
	○ プログラミング4	2	2Q	1						
	○ キャリア1	1	1Q	1						
社会実践力育成プログラム					○ インターンシップ1	2	2単位以上			
マイナー科目					○ インターンシップ2	2	10単位以上			
学部専門教育科目	基礎実習科目	○ 基礎実習1	1	1Q	2				38単位	74単位以上
		○ 基礎実習2	1	2Q	2					
		○ 基礎実習3	1	3Q	2					
		○ 基礎実習4	1	4Q	2					
		○ 基礎実習5	2	1Q	2					
		○ 基礎実習6	2	2Q	2					
	応用実習科目	○ 応用実習1	2	3Q	2					
		○ 応用実習2	2	4Q	2					
		● 応用実習3	3	1Q	2					
		● 応用実習4	3	2Q	2					
		● 社会実践実習1	3	2Q	1					
		● 社会実践実習2	3	2Q	1					
	卒業実習科目	● 社会実践実習3	3	2Q	1					
		● 社会実践実習4	3	2Q	1					
		● 応用実習5	3	3Q	2					
● 応用実習6		3	4Q	2						
○ 卒業研究実習1		4	1Q	2						
○ 卒業研究実習2		4	2Q	2						
メディア表現基礎科目	○ 卒業研究実習3	4	3Q	2						
	○ 卒業論文・卒業制作	4	4Q	2						
	○ 卒業展示	4	4Q	2						
	○ メディア表現概論1	1	1Q	1						
メディア情報講義科目	○ メディア表現概論2	1	2Q	1						
	○ メディア表現史1	1	3Q	1						
	○ メディア表現史2	1	4Q	1						
	○ メディア情報講義科目							4単位		
○ イメージ表現講義科目										
○ 音楽表現講義科目										
○ 学科共通講義科目								32単位以上		

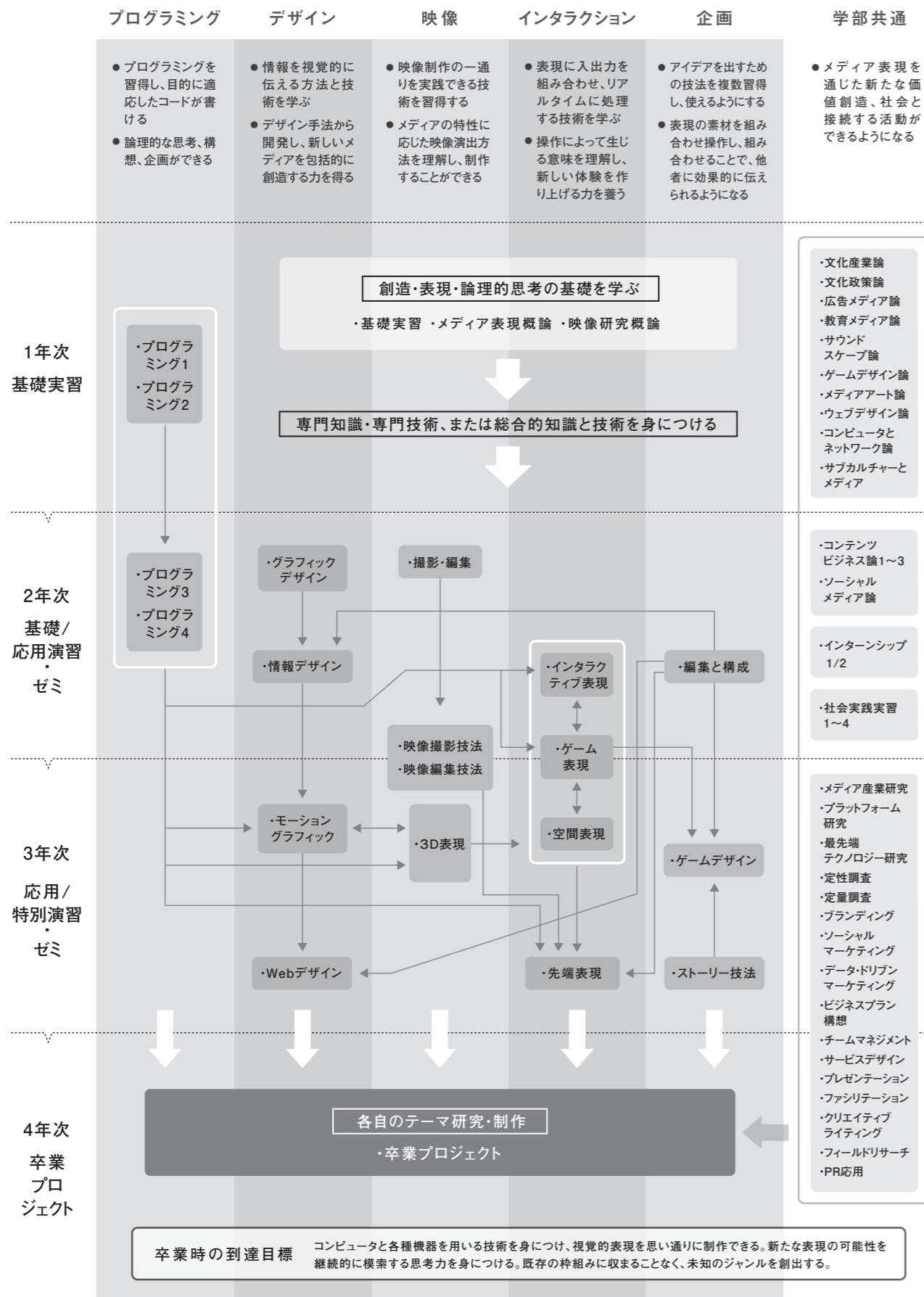
(※) 同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 (1年次から2年次) ● 1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/○印) ● 全学共通の1年次必修科目の22単位をすべて修得していること。(フレッシュアップ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、プログラミング1~4、キャリア1、合計22科目22単位) ● 学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(基礎実習1~6、応用実習1~2、メディア表現概論1・2、メディア表現史1・2合計12科目20単位)
 (3年次から4年次/●印) ● 全学共通の「インターンシップ1」または「インターンシップ1」から2単位以上修得していること。● 学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(応用実習3~6、社会実践実習1~4 合計8科目12単位)

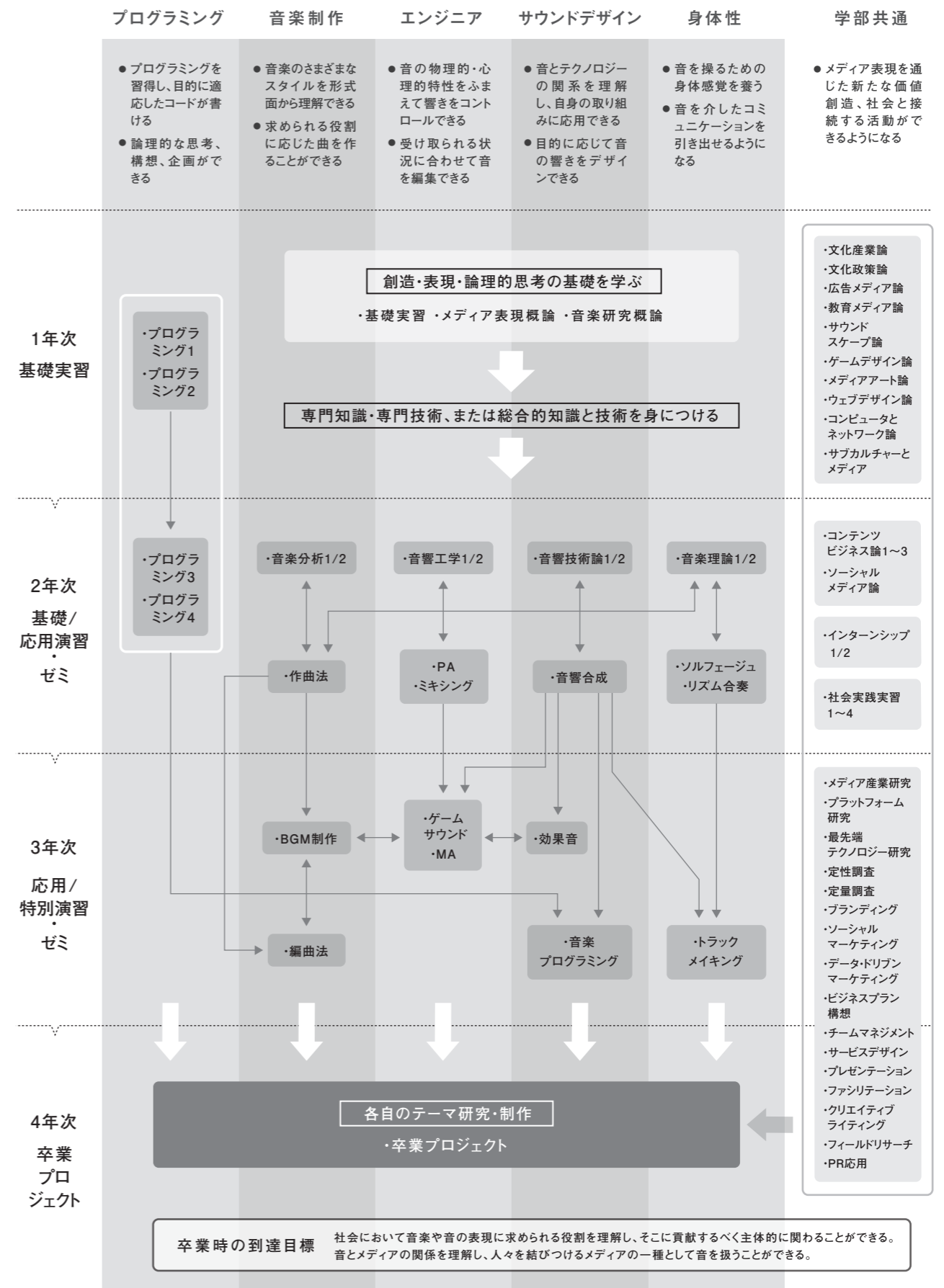
メディア表現学部 メディア表現学科 メディア情報専攻 カリキュラムマップ



メディア表現学部 メディア表現学科 イメージ表現専攻
カリキュラムマップ



メディア表現学部 メディア表現学科 音楽表現専攻
カリキュラムマップ



メディア表現学部 メディア表現学科 履修モデル

メディア表現学部 メディア表現学科 メディア情報専攻
 「プログラミング、データサイエンスの知識を持ち、メディア情報・クリエイティブ系で、社会に対し新たな価値の創造を目指す学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計
導入プログラム	フレッシュヤーズ・キャンプ	必修 1								2
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1			アカデミックスキル3	必修 1			10	
	コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1								
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	表現と知的財産権	選択 2								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1					8	
	英語2/日本語2	必修 1	Business English	選択 1						
	英語3/日本語3	必修 1	ベトナム語	選択 1		Effective Presentation	選択 1			
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1				12		
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1	プログラミング3	必修 1						
	情報科学概論	必修 1	プログラミング4	必修 1						
	プログラミング1	必修 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1	キャリア2	選択 1				2		
	国内ショートプログラム	選択 2	インターンシップ1	必修 2						
社会実践力育成プログラム			海外ショートプログラム	選択 2				6		
マイナー科目					ソーシャルビジネス演習1	選択 2		10		
					ソーシャルビジネス演習2	選択 2				
			ファイナンス論	選択 1	国際文化リテラシーI	選択 2				
					国際文化リテラシーII	選択 2				
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	基礎実習1	必修 2	基礎実習5	必修 2	応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2	38	
	基礎実習2	必修 2	基礎実習6	必修 2	応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	基礎実習3	必修 2	応用実習1	必修 2	社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	基礎実習4	必修 2	応用実習2	必修 2	社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					社会実践実習4	必修 1				
メディア表現基礎科目	メディア表現概論1	必修 1						4		
	メディア表現概論2	必修 1								
	メディア表現史1	必修 1								
	メディア表現史2	必修 1								
メディア情報講義科目・イメージ表現講義科目・音楽表現講義科目・学科共通講義科目	メディア研究概論	選択 1	基礎演習(UI/UX)	選択 1	基礎演習(AI)	選択 1		32		
	広告メディア論	選択 2	基礎演習(コンテンツ分析)	選択 1	基礎実習(マスメディア産業研究)	選択 1				
			基礎演習(電子工作)	選択 1	基礎実習(マーケティングリサーチ定数)	選択 1				
			基礎演習(IoT)	選択 1	応用演習(アクセス解析)	選択 1				
			基礎演習(ビジネスプラン構想)	選択 1	応用演習(Webサービス企画)	選択 1				
			応用演習(データベース,SQL)	選択 1	応用演習(Webサービス開発)	選択 1				
			応用演習(Python応用)	選択 1	応用演習(サービス効果検証)	選択 1				
			メディア工学1(数学I)	選択 1	特別演習(イベント企画)	選択 1				
			メディア工学2(数学II)	選択 1	特別演習(サーバ構築)	選択 1				
			メディア分析1(デジタルマーケティング)	選択 1	特別演習(サービス開発応用A)	選択 1				
			メディア分析2(デジタルマーケティング)	選択 1	特別演習(サービス開発応用B)	選択 1				
			メディア技術論1	選択 1	特別演習(サービスデザイン)	選択 1				
		メディア技術論2	選択 1	コンテンツビジネス1(マーケティング)	選択 1					
		文化産業論	選択 2	コンテンツビジネス3(ビジネスモデル)	選択 1					

メディア表現学部 メディア表現学科 イメージ表現専攻
 「新しい映像メディア、ウェブサービスなどで企画立案し、自ら初期のコンテンツを作ることができるディレクター、編集者を目指す学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計
導入プログラム	フレッシュヤーズ・キャンプ	必修 1							2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	表現と知的財産権	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1		14		
	コミュニケーションスキル2	必修 1	表現と社会	選択 2	アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1			現代美術概論	選択 2				
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
	グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1	Business English	選択 1			7
英語2/日本語2		必修 1		Effective presentation	選択 1					
英語3/日本語3		必修 1								
英語4/日本語4		必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1			12			
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1	プログラミング3	必修 1						
	情報科学概論	必修 1	プログラミング4	必修 1						
	プログラミング1	必修 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1	クリエイティブの現場	選択 2	ポートフォリオ実習1	選択 1	5			
					ベンチャー・ビジネス論	選択 1				
社会実践力育成プログラム			インターンシップ1	必修 2			2			
マイナー科目			デザイン概論1	選択 1	美術概論1	選択 1	美術特講1	選択 2	124	
			デザイン史1	選択 1	美術史1	選択 1				
					デザイン特講1	選択 2				
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	基礎実習1	必修 2	基礎実習5	必修 2	応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2	38	
	基礎実習2	必修 2	基礎実習6	必修 2	応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	基礎実習3	必修 2	応用実習1	必修 2	社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	基礎実習4	必修 2	応用実習2	必修 2	社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					社会実践実習4	必修 1				
メディア表現基礎科目	メディア表現概論1	必修 1						23		
	メディア表現概論2	必修 1								
	メディア表現史1	必修 1								
	メディア表現史2	必修 1								
	メディア表現リテラシー1	選択 2								
	メディア表現リテラシー2	選択 2								
メディア情報講義科目・イメージ表現講義科目・音楽表現講義科目・学科共通講義科目	映像研究概論	選択 1	映像理論1	選択 1	コンテンツビジネス1	選択 1		13		
	メディア・アート論	選択 2	映像理論2	選択 1	コンテンツビジネス2	選択 1				
			画像工学1	選択 1	映像分析1	選択 1				
			画像工学2	選択 1	映像分析2	選択 1				
				映像技術論1	選択 1					
				映像技術論2	選択 1					

メディア表現学部 メディア表現学科 音楽表現専攻
 「ゲームのBGMや効果音を手掛けるサウンドクリエイターになりたい学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	
導入プログラム	フレッシュャーズ・キャンプ	必修 1								2
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	表現と知的財産権	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1				12
	コミュニケーションスキル2	必修 1	表現と社会	選択 2	アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1								
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1						7
	英語2/日本語2	必修 1	現代社会の諸問題	選択 2						
	英語3/日本語3	必修 1								
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1						12
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1	プログラミング3	必修 1						
	情報科学概論	必修 1	プログラミング4	必修 1						
	プログラミング1	必修 1								
	プログラミング2	必修 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1	クリエイティブの現場	選択 2	表現活動と経済	選択 1			4	
社会実践力育成プログラム			インターンシップ1	必修 2					2	
マイナー科目			マンガ概論1	選択 1	マンガリテラシー1	選択 2	マンガ特講2	選択 2		11
			マンガ史1	選択 1	マンガリテラシー2	選択 2				
					マンガ特講1	選択 2				
					マーケティング論	選択 1				
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	基礎実習1	必修 2	基礎実習5	必修 2	応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2		38
	基礎実習2	必修 2	基礎実習6	必修 2	応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	基礎実習3	必修 2	応用実習1	必修 2	社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	基礎実習4	必修 2	応用実習2	必修 2	社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					社会実践実習4	必修 1				
メディア表現基礎科目	メディア表現概論1	必修 1	メディア表現特講1	選択 2						12
	メディア表現概論2	必修 1	メディア表現特講2	選択 2						
	メディア表現史1	必修 1								
	メディア表現史2	必修 1								
	メディア表現リテラシー1	選択 2								
メディア表現リテラシー2	選択 2									
メディア情報講義科目・イメージ表現講義科目・音楽表現講義科目・学科共通講義科目	音楽研究概論	選択 1	音楽理論1	選択 1	メディアミックス論	選択 2	サブカルチャーとメディア	選択 1		24
			音楽理論2	選択 1	ゲームデザイン論	選択 2	応用演習(MA)	選択 1		
			音楽分析1	選択 1	音楽技術論1	選択 1	特別演習(音楽プログラミング)	選択 1		
			音楽分析2	選択 1	音楽技術論2	選択 1				
			基礎演習(ソルフェージュ)	選択 1	基礎演習(ゲーム表現)	選択 1				
			基礎演習(音響合成)	選択 1	応用演習(効果音)	選択 1				
			基礎演習(作曲法)	選択 1	応用演習(BGM制作)	選択 1				
			基礎演習(ミキシング)	選択 1	応用演習(MA)	選択 1				
					応用演習(ゲームサウンド)	選択 1				
					特別演習(編曲法)	選択 1				

メディア表現学部 メディア表現学科 ※共通分野の教員ゼミを履修する場合
 「在学中に新しいメディアの開発と社会実装を経験した上で、テレビ局で新しいコンテンツプラットフォームの事業運営を希望する学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	
導入プログラム	フレッシュャーズ・キャンプ	必修 1								2
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1			アカデミックスキル3	必修 1				10
	コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1			表現と知的財産権	選択 2				
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1	Business English	選択 1				6
	英語2/日本語2	必修 1								
	英語3/日本語3	必修 1								
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1						12
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1	プログラミング3	必修 1						
	情報科学概論	必修 1	プログラミング4	必修 1						
	プログラミング1	必修 1								
	プログラミング2	必修 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1			ベンチャービジネス論	選択 1	表現活動と経済	選択 1	3	
社会実践力育成プログラム			インターンシップ1	必修 2	大学連携プログラム	選択 2				6
			インターンシップ2	選択 2						
マイナー科目			ビジネスモデル論	選択 2	ソーシャルビジネス演習1	選択 2	ファイナンス論	選択 1		11
					ソーシャルビジネス演習2	選択 2				
					イノベーション論	選択 2				
					デザイン特講1	選択 2				
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	基礎実習1	必修 2	基礎実習5	必修 2	応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2		38
	基礎実習2	必修 2	基礎実習6	必修 2	応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	基礎実習3	必修 2	応用実習1	必修 2	社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	基礎実習4	必修 2	応用実習2	必修 2	社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					社会実践実習4	必修 1				
メディア表現基礎科目	メディア表現概論1	必修 1	メディア表現特講1	選択 2						12
	メディア表現概論2	必修 1	メディア表現特講2	選択 2						
	メディア表現史1	必修 1								
	メディア表現史2	必修 1								
	メディア表現リテラシー1	選択 2								
メディア表現リテラシー2	選択 2									
メディア情報講義科目・イメージ表現講義科目・音楽表現講義科目・学科共通講義科目	メディア研究概論	選択 1	コンテンツビジネス1(マーケティング1)	選択 1	メディアミックス論	選択 2				24
	文化産業論	選択 2	コンテンツビジネス2(マーケティング2)	選択 1	基礎演習(プレゼンテーション)	選択 1				
	広告メディア論	選択 2	メディア工学1(数学I)	選択 1	基礎演習(クリエイティブライティング)	選択 1				
			メディア工学2(数学II)	選択 1	基礎演習(定性調査)	選択 1				
			メディア分析1(デジタルマーケティング)	選択 1	応用演習(ソーシャルマーケティング)	選択 1				
			メディア分析2(デジタルマーケティング)	選択 1	特別演習(テラリアマーケティング)	選択 1				
			メディア技術論1	選択 1	特別演習(サービスデザイン)	選択 1				
			基礎演習(メディア産業研究)	選択 1						
			基礎演習(定量調査)	選択 1						
			基礎演習(ビジネスプラン)	選択 1						
		応用演習(プラットフォーム研究)	選択 1							

メディア表現学部 メディア表現学科 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
基礎実習科目	Tmc10001	基礎実習1	必修	演習	2	1	●	●		●	●
	Tmc10002	基礎実習2	必修	演習	2	1	●	●		●	●
	Tmc10003	基礎実習3	必修	演習	2	1	●	●		●	●
	Tmc10004	基礎実習4	必修	演習	2	1	●	●		●	●
	Tmc20005	基礎実習5	必修	演習	2	2	●	●		●	●
	Tmc20006	基礎実習6	必修	演習	2	2	●	●		●	●
応用実習科目	Tmc20011	応用実習1	必修	演習	2	2		●	●	●	●
	Tmc20012	応用実習2	必修	演習	2	2		●	●	●	●
	Tmc30013	応用実習3	必修	演習	2	3		●	●	●	●
	Tmc30014	応用実習4	必修	演習	2	3		●	●	●	●
	Tmc30021	社会実践実習1	必修	演習	1	3		●		●	●
	Tmc30022	社会実践実習2	必修	演習	1	3		●		●	●
	Tmc30023	社会実践実習3	必修	演習	1	3		●		●	●
	Tmc30024	社会実践実習4	必修	演習	1	3		●		●	●
	Tmc30015	応用実習5	必修	演習	2	3		●	●	●	●
	Tmc30016	応用実習6	必修	演習	2	3		●	●	●	●
卒業実習科目	Tmc40031	卒業研究実習1	必修	演習	2	4		●	●	●	●
	Tmc40032	卒業研究実習2	必修	演習	2	4		●	●	●	●
	Tmc40033	卒業研究実習3	必修	演習	2	4		●	●	●	●
	Tmc40041	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●
	Tmc40051	卒業展示	必修	演習	2	4		●	●	●	●

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
メディア表現基礎科目	Kgl11001	メディア表現概論1	必修	講義	1	1	●	●			●
	Kgl11002	メディア表現概論2	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl11011	メディア表現史1	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl11012	メディア表現史2	必修	講義	1	1	●	●	●		●
	Kgl11021	メディア表現リテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●
	Kgl11022	メディア表現リテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●
	Kgl21031	メディア表現特講1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl21032	メディア表現特講2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Khu22001	基礎演習1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22011	基礎演習2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22012	基礎演習3	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22021	基礎演習4	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22031	基礎演習5	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22032	基礎演習6	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22041	基礎演習7	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22051	基礎演習8	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22052	基礎演習9	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22061	基礎演習10	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Khu22071	基礎演習11	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu22072	基礎演習12	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
	Khu23001	基礎演習13	必修	演習	2	2	●	●	●		●
	Khu33002	基礎演習14	必修	演習	2	3	●	●	●		●
	Khu33011	基礎演習15	必修	演習	2	3	●	●		●	●
	Khu33012	基礎演習16	必修	演習	2	3	●	●		●	●
	Khu33013	基礎演習17	必修	演習	2	3	●	●		●	●
	Kgl13001	基礎演習18	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13011	基礎演習19	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13021	基礎演習20	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13031	基礎演習21	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23081	基礎演習22	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●
Kgl23121	応用演習1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●		●	
Kgl23251	応用演習2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Kgl23271	応用演習3	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Khu23021	応用演習4	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Kgl23041	応用演習5	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Kgl23051	応用演習6	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Kgl23061	応用演習7	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Kgl23071	応用演習8	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
Kgl23091	応用演習9	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの関連				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
メディア表現基礎科目	Tmc33010	応用演習10	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc33011	応用演習11	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc33012	応用演習12	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc23013	応用演習13	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Tmc23014	応用演習14	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Tmc33015	応用演習15	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc33016	応用演習16	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc33017	応用演習17	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc33018	応用演習18	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc33019	応用演習19	選択	演習	1	3・4			●	●	●
	Tmc33020	応用演習20	選択	演習	1	3・4			●	●	●
	Tmc33021	応用演習21	選択	演習	1	3・4			●	●	●
	Tmc33022	応用演習22	選択	演習	1	3・4			●	●	●
	Tmc34001	特別演習1	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34002	特別演習2	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34003	特別演習3	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34004	特別演習4	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34005	特別演習5	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34006	特別演習6	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34007	特別演習7	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34008	特別演習8	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34009	特別演習9	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34010	特別演習10	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34011	特別演習11	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34012	特別演習12	選択	演習	1	3・4			●	●	
	Tmc34013	特別演習13	選択	演習	1	3・4			●	●	●
	Tmc34014	特別演習14	選択	演習	1	3・4			●	●	●
	音楽表現講義科目	Tmc15001	音楽研究概論	選択	講義	1	1・2・3・4	●			
Tmc25011		音楽理論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25012		音楽理論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25021		音響工学1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25022		音響工学2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25031		音楽分析1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25032		音楽分析2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25041		音響技術論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25042		音響技術論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの関連				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
イメージ表現講義科目	Tmc15051	映像研究概論	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Tmc25061	映像理論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25062	映像理論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25071	画像工学1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25072	画像工学2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25081	映像分析1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25082	映像分析2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25091	映像技術論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	Tmc25092	映像技術論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
	メディア情報講義科目	Tmc15101	メディア研究概論	選択	講義	1	1・2・3・4	●			
Tmc25111		メディアデザイン理論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25112		メディアデザイン理論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25121		メディア工学1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25122		メディア工学2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25131		メディア分析1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25132		メディア分析2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25141		メディア技術論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
Tmc25142		メディア技術論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●	●		
学科共通講義科目		Tmc26001	コンテンツビジネス1	選択	講義	1	2・3・4	●	●		
	Tmc26002	コンテンツビジネス2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Tmc26003	コンテンツビジネス3	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Tmc16011	サウンドスケープ論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16021	メディアアート論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16031	ゲームデザイン論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16041	ウェブデザイン論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16051	コンピュータ&ネットワーク論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16061	サブカルチャーとメディア	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16071	文化産業論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16081	文化政策論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16091	広告メディア論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
Tmc16101	教育メディア論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●				
Tmc26111	メディアミックス論	選択	講義	2	2・3・4	●	●				
Tmc26121	ソーシャルメディア論	選択	講義	2	2・3・4	●	●				

芸術学部 造形学科

洋画専攻 / 日本画専攻 /
立体造形専攻 / 陶芸専攻 /
テキスタイル専攻 / 版画専攻 / 映像専攻

ポリシーとカリキュラム構造

教育研究目的

芸術学部の教育研究目的は、自立した思考力によって新たな表現を創造するアーティストの資質を備えた、より良き社会人として生きる人間の育成です。多様な芸術表現の在り方を共有し、専門性の探求と領域横断的な交流により、主体的かつ創造的な価値を社会に対して提案できる力を養います。卒業時に身につけているべき要素を以下の5つとし、卒業要件を満たせばこれらを身につけたものと認め、学位を授与します。

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

DP1	芸術と文化の多様性に関する基本的な知識と理解がある。	知識と理解 knowledge & understanding
DP2	領域と技法を超えた多角的な視点から対象の本質をとらえ、自ら問題点を見つけ創造的に取り組むことができる。	創造的思考と考察 creative thinking & observation
DP3	芸術領域の専門知識と制作技能、および他者の心に訴え行動を喚起する造形力を身につけている。	技術と表現 skills & expression
DP4	多様な他者との違いを認め、協働して課題解決に取り組むことができる。	他者理解と協働 mutual understanding & collaboration
DP5	より良い社会を創る意欲を持ち、学びを応用して社会の課題解決に自ら取り組むことができる。	社会への関心と行動 interests & action

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

京都精華大学は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

教育内容、教育方法、学修成果の評価について以下のように定めます。

1 教育内容

芸術学部専門教育科目では、

1年次には造形表現に必要な表現の多様性を学び、各分野の基礎知識を幅広く身につける科目を開講します。

2年次は各自の専門分野に重要なアートシーンに触れるとともに、専門的な知識・技法・考察能力を身につける科目を開講します。

3年次は専門を深化させると共に、創造的表現能力、総合的判断能力、実践的コミュニケーション力を養う科目を開講します。

最終年次には、探究を自律的に計画・遂行し、その成果を公共的・学術的に表現する技法と作法を養います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

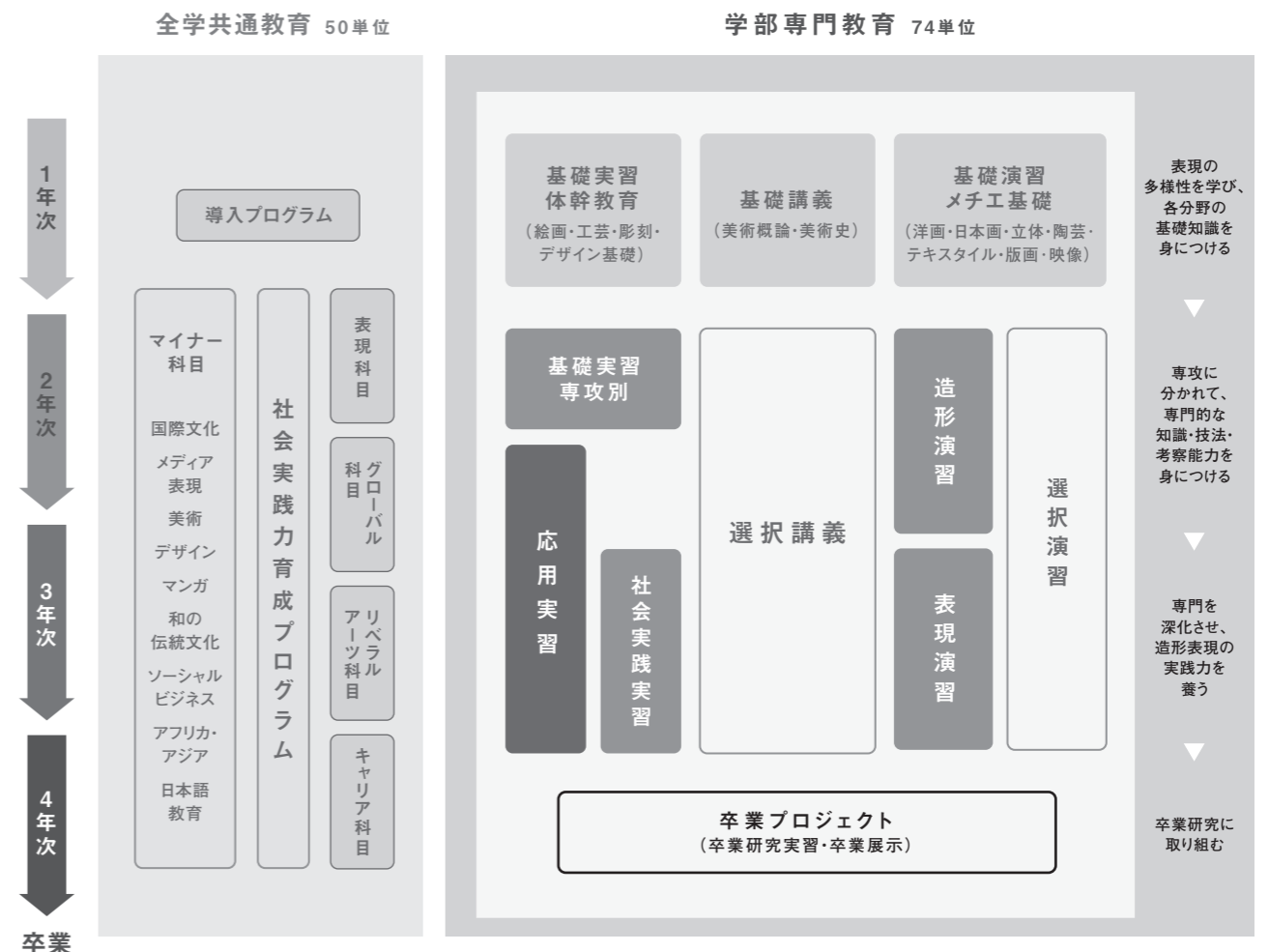
本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

(2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。



造形学科

洋画専攻/日本画専攻/立体造形専攻/陶芸専攻/
テキスタイル専攻/版画専攻/映像専攻

芸術学部 造形学科 卒業要件

科目区分	必修科目					選択必修科目			選択科目	卒業に要する 単位(計)	
	進級 要件	科目名称	配当 年次	単 位 数	小計	進級 要件	科目名称	単 位 数	小計		
全学 共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュャーズ・キャンプ	1	1Q	1	24単位				14単位 以上 (※)	50 単位 以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1						
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1						
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1						
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1						
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1						
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1						
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1						
		○ デッサン1	1	1Q	1						
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1							
	グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1						
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1						
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1						
○ 英語3/日本語3		1	3Q	1							
リベラルアーツ 科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1							
	○ 自由論	1	3Q	1							
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1							
	○ 創造的思考法	1	3Q	1							
	○ 情報と倫理	1	1Q	1							
キャリア科目	○ 人権と教育	2	1Q	1							
	○ グローバル化と社会	2	2Q	1							
	○ 情報科学概論	1	2Q	1							
	○ データサイエンス入門	2	1Q	1							
○ キャリア1	1	1Q	1								
社会実践力 育成プログラム									2単位 以上		
マイナー科目									10単位 以上		
学部専門 教育科目	基礎実習科目	○ 芸術基礎実習1	1	1Q	2	38単位					74単位 以上
		○ 芸術基礎実習2	1	2Q	2						
		○ 芸術基礎実習3	1	3Q	2						
		○ 芸術基礎実習4	1	4Q	2						
		○ 芸術基礎実習5	2	1Q	2						
		○ 芸術基礎実習6	2	2Q	2						
	応用実習科目	○ 芸術応用実習1	2	3Q	2						
		○ 芸術応用実習2	2	4Q	2						
		● 芸術応用実習3	3	1Q	2						
		● 芸術応用実習4	3	2Q	2						
		● 芸術社会実践実習1	3	2Q	1						
		● 芸術社会実践実習2	3	2Q	1						
		● 芸術社会実践実習3	3	2Q	1						
		● 芸術社会実践実習4	3	2Q	1						
		● 芸術応用実習5	3	3Q	2						
		● 芸術応用実習6	3	4Q	2						
	卒業実習科目	○ 卒業研究実習1	4	1Q	2						
		○ 卒業研究実習2	4	2Q	2						
		○ 卒業研究実習3	4	3Q	2						
○ 卒業論文・卒業制作		4	4Q	2							
○ 卒業展示	4	4Q	2								
芸術学部 基礎科目	○ 美術概論1	1	1Q	1	4単位					32単位 以上	
	○ 美術概論2	1	2Q	1							
	○ 美術史1	1	3Q	1							
	○ 美術史2	1	4Q	1							
芸術学部 共通科目											

卒業に要する単位
124単位以上

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 <1年次から2年次>●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 <2年次から3年次/○印>●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。
 ●学部専門の1-2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(芸術基礎実習1~6、芸術応用実習1~2、美術概論1~2、美術史1~2 合計12科目 20単位)
 <3年次から4年次/●印>●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(芸術応用実習3~6、芸術社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

芸術学部 造形学科 カリキュラムマップ

	必修科目	選択科目
1年次	<p>基礎講義</p> <p>美術概論1・2 美術史1・2</p> <p>体幹教育</p> <p>芸術基礎実習1~4</p> <p>〔絵画・工芸〕 〔彫刻・デザイン〕</p>	<p>メチエ基礎</p> <p>基礎演習1~7</p> <p>〔洋画・日本画・立体・陶芸〕 〔テキスタイル・版画・映像〕</p> <p>(美術リテラシー1・2)</p>
2年次より専攻に所属(洋画・日本画・立体造形・陶芸・テキスタイル・版画・映像)		
2年次	<p>芸術基礎実習5・6</p> <p>芸術応用実習1・2</p>	<p>造形演習 1~8</p> <p>表現研究1~4</p>
3年次	<p>芸術 応用実習 3~6</p> <p>芸術社会 実践実習 1~4</p>	<p>講義科目</p> <p>美術特講1・2 美術史特論1~4 美術工芸史1~4 現代社会システム論 1・2 芸術表象論1・2 芸術と哲学1・2 美術解剖学1・2 視覚認知論1・2 芸術と精神分析1・2 現代芸術論1・2 アートマネジメント論 1・2</p> <p>演習科目</p> <p>表現研究1~4 現代 アートP演習 1・2 ドローイング 1・2 工芸1~4 図法製図1・2 造形研究1~4</p>
4年次	<p>卒業研究実習1~3 卒業論文・卒業制作 卒業展示</p>	<p>映像 メディア表現 1~4 写真表現1・2</p>

造形表現を学ぶための基礎的な能力を鍛える「基礎講義科目」と「体幹教育」、多様な技術や表現手段を体験する「基礎演習(メチエ基礎)」により、「基礎・体験・道標」を軸に表現することの「おもしろさ」と基礎となる能力を養う。

1年次で身に付けた能力を基礎に、7つの領域(専攻)の中から自身が興味・関心ある専攻を選択。専門教育への基礎的な導入実践によってメチエ、表現力、思考力を磨く。

2年次に引き続き、所属する専攻の専門教育をさらに実践する。技術力、表現力、思考力を深めるとともに創造力と社会への発信力を養い、自身の専門性、造形表現における方向性を確認していく。

各教員が開講するゼミを選択し、3年間の学びで培った能力をさらに先鋭化させる。研究を集大成としての卒業研究に開花させていながら、自身を社会へと繋げていく。

芸術学部 造形学科 履修モデル

芸術学部 造形学科
「教養と実践力を備えたアーティストを目指す学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	
導入プログラム	フレッシュヤーズ・キャンプ	必修 1							2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	日本美術史	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1			17	
	コミュニケーションスキル2	必修 1	東洋美術史	選択 2	アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1	西洋美術史	選択 2	工芸概論	選択 2				
	アカデミックスキル2	必修 1	写真技法	選択 1						
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1					5	
	英語2/日本語2	必修 1								
	英語3/日本語3	必修 1								
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1				8		
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1			ポートフォリオ実習1	選択 1		2		
社会実践力育成プログラム			(社会実践力育成プログラム)	選択 2				2		
マイナー科目			和の伝統文化論	選択 1	日本語学	選択 1			14	124
			京都の伝統工芸講座1	選択 2	デザインリテラシー1	選択 2				
			京都の伝統工芸講座2	選択 2	デザインリテラシー2	選択 2				
					京都の伝統産業実習	選択 2				
					デザイン概論1	選択 1				
				デザイン概論2	選択 1					
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	芸術基礎実習1	必修 2	芸術基礎実習5	必修 2	芸術応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2	38	
	芸術基礎実習2	必修 2	芸術基礎実習6	必修 2	芸術応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	芸術基礎実習3	必修 2	芸術応用実習1	必修 2	芸術社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	芸術基礎実習4	必修 2	芸術応用実習2	必修 2	芸術社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					芸術社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					芸術社会実践実習4	必修 1				
芸術学部基礎科目	美術概論1	必修 1	美術特講1	選択 2				8		
	美術概論2	必修 1	美術特講2	選択 2						
	美術史1	必修 1								
	美術史2	必修 1								
芸術学部共通科目	基礎演習1	選択 1	造形演習1	選択 1	表現演習1	選択 1	表現研究特講	選択 1	28	
	基礎演習2	選択 1	造形演習2	選択 1	表現演習2	選択 1				
	基礎演習3	選択 1	造形演習3	選択 1	表現演習3	選択 1				
	基礎演習4	選択 1	造形演習4	選択 1	表現演習4	選択 1				
	基礎演習5	選択 1	造形演習5	選択 1	表現演習5	選択 1				
	基礎演習6	選択 1	造形演習6	選択 1	表現演習6	選択 1				
	基礎演習7	選択 1	造形演習7	選択 1	表現演習7	選択 1				
			造形演習8	選択 1	表現演習8	選択 1				
			現代アートプロジェクト演習1	選択 1	現代社会システム論1	選択 1				
			現代アートプロジェクト演習2	選択 1	現代社会システム論2	選択 1				

芸術学部 造形学科 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
基礎実習科目	Afa10001	芸術基礎実習1	必修	実習	2	1		●		●	
	Afa10002	芸術基礎実習2	必修	実習	2	1		●		●	
	Afa10003	芸術基礎実習3	必修	実習	2	1		●		●	
	Afa10004	芸術基礎実習4	必修	実習	2	1		●		●	
	Afa20005	芸術基礎実習5	必修	実習	2	2			●		
	Afa20006	芸術基礎実習6	必修	実習	2	2			●		
応用実習科目	Afa20011	芸術応用実習1	必修	実習	2	2			●		
	Afa20012	芸術応用実習2	必修	実習	2	2			●		
	Afa30013	芸術応用実習3	必修	実習	2	3	●		●		
	Afa30014	芸術応用実習4	必修	実習	2	3	●		●		
	Afa30021	芸術社会実践実習1	必修	実習	1	3		●		●	●
	Afa30022	芸術社会実践実習2	必修	実習	1	3		●		●	●
	Afa30023	芸術社会実践実習3	必修	実習	1	3		●		●	●
	Afa30024	芸術社会実践実習4	必修	実習	1	3		●		●	●
	Afa30015	芸術応用実習5	必修	実習	2	3			●		
	Afa30016	芸術応用実習6	必修	実習	2	3			●		
卒業実習科目	Afa40021	卒業研究実習1	必修	実習	2	4		●	●		
	Afa40022	卒業研究実習2	必修	実習	2	4		●	●		
	Afa40023	卒業研究実習3	必修	実習	2	4		●	●		
	Afa40031	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4		●	●		
	Afa40041	卒業展示	必修	実習	2	4		●		●	●

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
芸術学部基礎科目	Afa11001	美術概論1	必修	講義	1	1	●				
	Afa11002	美術概論2	必修	講義	1	1	●				
	Afa11011	美術史1	必修	講義	1	1	●				
	Afa11012	美術史2	必修	講義	1	1	●				
	Afa11021	美術リテラシー1	選択	演習	2	1・2・3・4	●				
	Afa11022	美術リテラシー2	選択	演習	2	1・2・3・4	●				
	Afa21031	美術特講1	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Afa21032	美術特講2	選択	講義	2	2・3・4	●				

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
芸術学部 共通科目	Afa22001	美術史特論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22002	美術史特論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22003	美術史特論3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22004	美術史特論4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22011	美術工芸史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22012	美術工芸史2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22013	美術工芸史3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22014	美術工芸史4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22021	現代社会システム論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22022	現代社会システム論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22031	芸術表象論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22032	芸術表象論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22041	芸術と哲学1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22042	芸術と哲学2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22051	美術解剖学1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22052	美術解剖学2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22061	視覚認知論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22062	視覚認知論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22071	芸術と精神分析1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22072	芸術と精神分析2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa32081	現代芸術論1	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32082	現代芸術論2	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32091	アートマネジメント論1	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32092	アートマネジメント論2	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32101	美術評論1	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32102	美術評論2	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32111	作品と空間	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa42112	表現研究特講	選択	講義	1	4	●				
	Afa13001	基礎演習1	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa13002	基礎演習2	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa13003	基礎演習3	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa13004	基礎演習4	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa13005	基礎演習5	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa13006	基礎演習6	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa13007	基礎演習7	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Afa23011	造形演習1	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23012	造形演習2	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23013	造形演習3	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23014	造形演習4	選択	演習	1	2・3・4			●		

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
芸術学部 共通科目	Afa23015	造形演習5	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23016	造形演習6	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23017	造形演習7	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23018	造形演習8	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23021	表現研究1	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23022	表現研究2	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23023	表現研究3	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23024	表現研究4	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23031	現代アートプロジェクト演習1	選択	演習	1	2・3・4		●		●	●
	Afa23032	現代アートプロジェクト演習2	選択	演習	1	2・3・4		●		●	●
	Afa23041	ドローイング1	選択	演習	1	2・3・4		●		●	
	Afa23042	ドローイング2	選択	演習	1	2・3・4		●		●	
	Afa23051	工芸1	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23052	工芸2	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23053	工芸3	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23054	工芸4	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23061	図法製図1	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23062	図法製図2	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23071	造形研究1	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23072	造形研究2	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23073	造形研究3	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23074	造形研究4	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23081	映像メディア表現1	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23082	映像メディア表現2	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23083	映像メディア表現3	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23084	映像メディア表現4	選択	演習	1	2・3・4		●			
	Afa23091	写真表現1	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa23092	写真表現2	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Afa33101	表現演習1	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33102	表現演習2	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33103	表現演習3	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33104	表現演習4	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33105	表現演習5	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33106	表現演習6	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33107	表現演習7	選択	演習	1	3・4			●		
	Afa33108	表現演習8	選択	演習	1	3・4			●		

デザイン学部

イラスト学科/ビジュアルデザイン学科/
プロダクトデザイン学科/建築学科

ポリシーとカリキュラム構造

教育研究目的

デザイン学部の教育研究目的は、デザインによって論理的思考と感性を同時にバランス良く表現できる人間の育成です。モノやコト、社会やコミュニケーションなどデザインの領域が広がっている現代社会において、時代に即した新しい価値を創造する力を養います。卒業時に身につけているべき要素を以下の5つとし、卒業要件を満たせばこれらを身につけたものと認め、学位を授与します。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	デザインに関する基本的な知識と理解がある。	知識と理解 knowledge & understanding
DP2	デザインシンキングを用いて様々な課題を見つけ出し、それらをデザインによって解決することができる。	創造的思考と考察 creative thinking & observation
DP3	他者に了解可能なデザインを表現する技術を身につけている。	技術と表現 skills & expression
DP4	多様な他者との違いを認め、協働して課題解決に取り組むことができる。	他者理解と協働 mutual understanding & collaboration
DP5	より良い社会を創る意欲を持ち、学びを応用して社会の課題解決に自ら取り組むことができる。	社会への関心と行動 interests & action

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

京都精華大学は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

教育内容、教育方法、学修成果の評価について以下のように定めます。

1 教育内容

デザイン学部専門教育科目では、

1年次にはデザインの初歩的な理論や方法を学び、各分野の基礎知識を幅広く身に着ける科目を開講します。

2年次はデザインにおける各自の専門分野の重要な諸研究や事例に触れるとともに、最新の研究成果や専門的な知識・技法・考察能力を身につける科目を開講します。

3年次はデザインの学識を深化させると共に、批判的分析能力、総合的判断能力、実践的コミュニケーション力を養う科目を開講します。

最終年次には、探究を自律的に計画・遂行し、その成果を公共的・学術的に表現する技法と作法を養うために卒業制作・卒業論文を課します。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

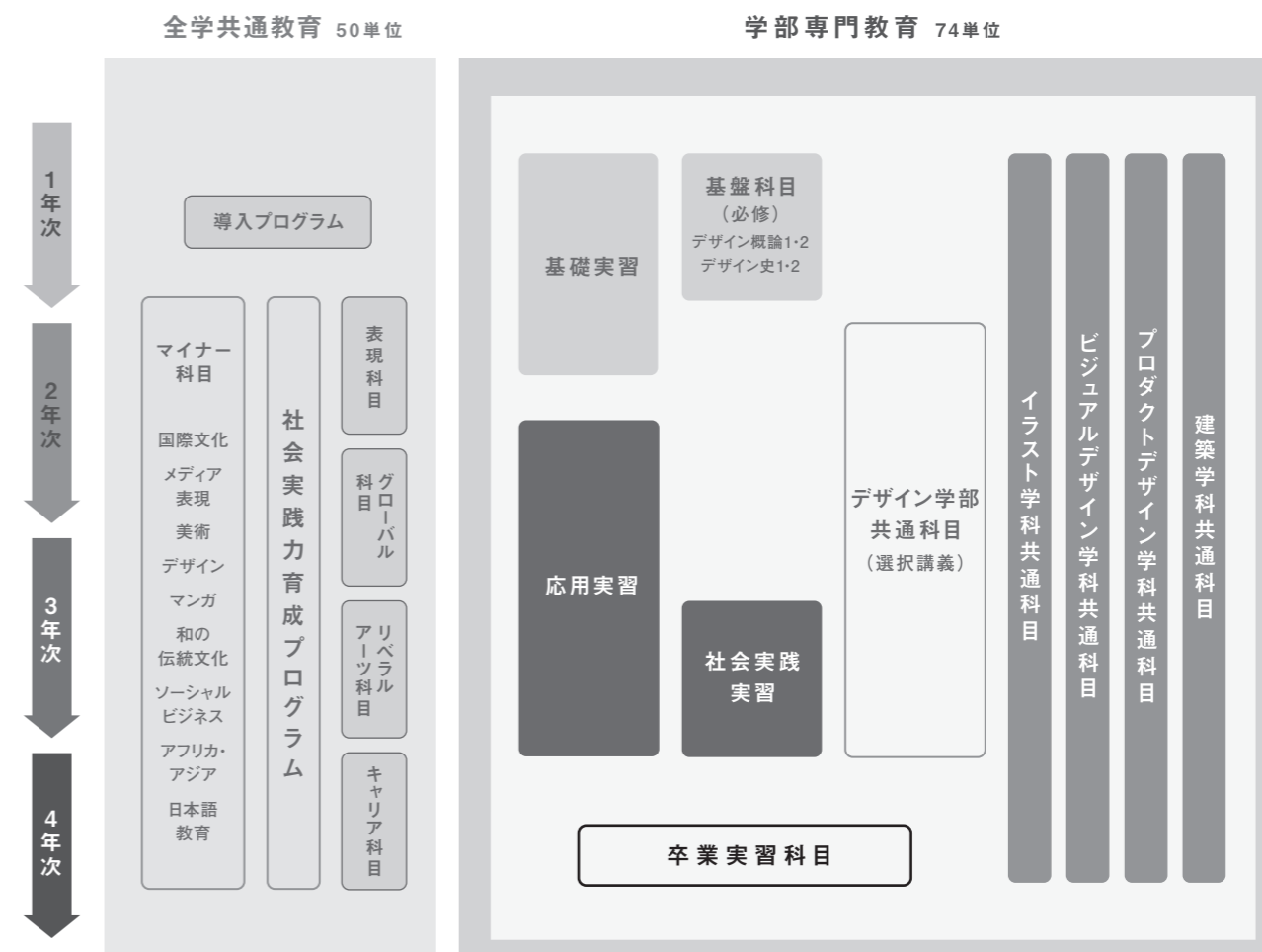
本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

(2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。



デザイン学部 共通専門教育科目 科目一覧

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関					
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動	
デザイン学部 基礎科目	Dfd11001	デザイン概論1	必修	講義	1	1	●					
	Dfd11002	デザイン概論2	必修	講義	1	1	●					
	Dfd11011	デザイン史1	必修	講義	1	1	●					
	Dfd11012	デザイン史2	必修	講義	1	1	●					
	Dfd11021	デザインリテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			
	Dfd11022	デザインリテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			
	Dfd21031	デザイン特講1	選択	講義	2	2・3・4	●					
	Dfd21032	デザイン特講2	選択	講義	2	2・3・4	●					
	デザイン学部 共通科目	Dfd22101	デザイン特講3	選択	講義	1	2・3・4	●				
Dfd22102		デザイン特講4	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22111		家具史1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22112		家具史2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22121		写真史1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22122		写真史2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22131		印刷論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22132		印刷論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22141		写真論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22142		写真論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22151		色彩学1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22152		色彩学2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22161		視覚文化論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22162		視覚文化論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22171		ユニバーサルデザイン論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22172		ユニバーサルデザイン論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22181		デザインマネジメント論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22182		デザインマネジメント論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22191		ランドスケープデザイン論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22192		ランドスケープデザイン論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22201		商品開発論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22202		商品開発論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22211		デザイン英語1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22212		デザイン英語2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22213		デザイン英語3	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22214		デザイン英語4	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22221		近代空間論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22222		近代空間論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22231		インテリアデザイン論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Dfd22232		インテリアデザイン論2	選択	講義	1	2・3・4	●					

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関					
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動	
デザイン学部 共通科目	Dfd22241	デザイン法規概論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22242	デザイン法規概論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22251	人間生活工学1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22252	人間生活工学2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22261	ファッション史1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22262	ファッション史2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22271	アパレル素材論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22272	アパレル素材論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22281	ファッション論1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22282	ファッション論2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22291	日本服飾史1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22292	日本服飾史2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22301	サステナブル・ファッション1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22302	サステナブル・ファッション2	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22311	まちづくりデザイン1	選択	講義	1	2・3・4	●					
	Dfd22312	まちづくりデザイン2	選択	講義	1	2・3・4	●					

イラスト学科 イラストコース

デザイン学部 イラスト学科 イラストコース 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目			選択科目	卒業に要する単位(計)	
	進級要件	科目名称	配当年次	単位数	進級要件	科目名称	単位数	小計		
全学共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1				50 単位以上	
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1					
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1	24 単位				14 単位以上 (※)
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1					
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1					
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1					
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1					
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1					
	グローバル科目	○ デッサン1	1	1Q	1					
		○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1					
		○ 日本文化概論	2	3Q	1					
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1					
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1					
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1					
リベラルアーツ科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1						
	○ 自由論	1	3Q	1						
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1						
	○ 創造的思考法	1	3Q	1						
	○ 情報と倫理	1	1Q	1						
	○ 情報と教育	2	1Q	1						
キャリア科目	○ グローバル化と社会	2	2Q	1						
	○ 情報科学概論	1	2Q	1						
○ データサイエンス入門	2	1Q	1							
○ キャリア1	1	1Q	1							
○ デザイン基礎実習1	1	1Q	2	38 単位				74 単位以上		
基礎実習科目	○ デザイン基礎実習2	1	2Q		2					
	○ デザイン基礎実習3	1	3Q		2					
	○ デザイン基礎実習4	1	4Q		2					
	○ デザイン基礎実習5	2	1Q		2					
	○ デザイン基礎実習6	2	2Q		2					
	○ デザイン基礎実習7	2	3Q		2					
応用実習科目	○ デザイン応用実習1	2	3Q		2					
	○ デザイン応用実習2	2	4Q		2					
	● デザイン応用実習3	3	1Q		2					
	● デザイン応用実習4	3	2Q		2					
	● デザイン社会実践実習1	3	1Q		1					
	● デザイン社会実践実習2	3	2Q		1					
卒業実習科目	● デザイン社会実践実習3	3	3Q		1					
	● デザイン社会実践実習4	3	4Q	1						
	● デザイン応用実習5	3	3Q	2						
	● デザイン応用実習6	3	4Q	2						
	○ 卒業研究実習1	4	1Q	2						
	○ 卒業研究実習2	4	2Q	2						
専門講義・演習科目	○ 卒業研究実習3	4	3Q	2						
	○ 卒業論文・卒業制作	4	4Q	2						
	○ 卒業展示	4	4Q	2						
	○ デザイン概論1	1	1Q	1	4 単位			32 単位以上		
○ デザイン概論2	1	2Q	1							
○ デザイン史1	1	3Q	1							
○ デザイン史2	1	4Q	1							

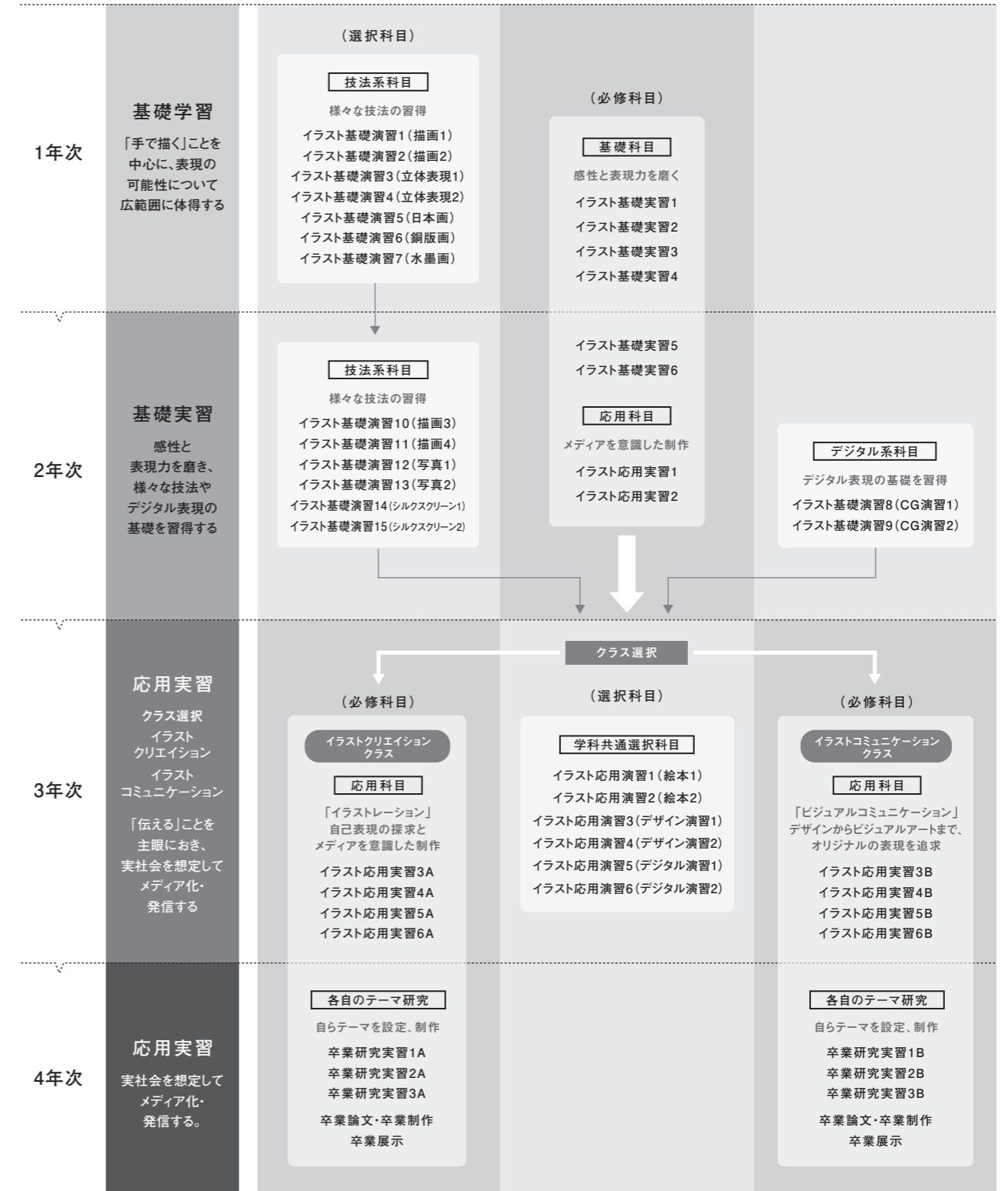
(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 (1年次から2年次)●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/○印)●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。(フレッシュアップ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、キャリア1 合計18科目 18単位)
 ●学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(イラスト基礎実習1~6、イラスト応用実習1・2、デザイン概論1・2、デザイン史1・2 合計12科目 20単位)
 (3年次から4年次/●印)●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(イラスト応用実習3~6、イラスト社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

デザイン学部 イラスト学科 イラストコース カリキュラムマップ

教育目標

- 「描くこと」と「伝えること」をイラストの本質とし、様々なメディアにおけるビジュアルコミュニケーションも「描く」行為の延長と捉え、カリキュラムを配置する。
- 1、2年次では「描くこと」を中心に取り組み、多様な技法に触れ、豊かなイメージや感性を養う。
3、4年次では自己の表現を深めると同時に、実践的な科目を通してメディアの特性を理解し、「伝えること」を学ぶ。



デザイン学部 イラスト学科 イラストコース 履修モデル

デザイン学部 イラスト学科
 「表現力と知性を養い、イラストレーターや絵心を生かした職業を目指す学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	
導入プログラム	フレッシュアーズ・キャンプ	必修 1							2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	現代美術概論	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1				
	コミュニケーションスキル2	必修 1	芸術学	選択 2	アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1			デザイン論	選択 2	西洋美術史	選択 2	16	
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1	Business English	選択 1				
	英語2/日本語2	必修 1			English discussion	選択 1			7	
	英語3/日本語3	必修 1								
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1						
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1	創造的思考法	選択 1						
	情報科学概論	必修 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1	キャリア2	選択 1					2	
社会実践力育成プログラム			インターンシップ1	選択 2	インターンシップ2	選択 2			4	
マイナー科目	和の伝統文化論	選択 1	メディア表現概論1	選択 1	メディア表現特講1	選択 2	マーケティング論	選択 1		
			美術特講1	選択 2	イノベーション論	選択 2				
					国際文化概論1	選択 1			10	124
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	イラスト基礎実習1	必修 2	イラスト基礎実習5	必修 2	イラスト応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2		
	イラスト基礎実習2	必修 2	イラスト基礎実習6	必修 2	イラスト応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	イラスト基礎実習3	必修 2	イラスト応用実習1	必修 2	イラスト社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	イラスト基礎実習4	必修 2	イラスト応用実習2	必修 2	イラスト社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					イラスト社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2	38	
					イラスト社会実践実習4	必修 1				
デザイン学部 基盤科目	デザイン概論1	必修 1								
	デザイン概論2	必修 1								
	デザイン史1	必修 1								
	デザイン史2	必修 1								
専門選択科目 (講義・演習)	イラスト基礎演習1	選択 1	イラスト基礎演習8	選択 1	イラスト応用演習1	選択 1	デザインマネジメント論1	選択 1		
	イラスト基礎演習2	選択 1	イラスト基礎演習9	選択 1	イラスト応用演習2	選択 1	商品開発論1	選択 1		
	イラスト基礎演習3	選択 1	イラスト基礎演習10	選択 1	イラスト応用演習4	選択 1	ユニバーサルデザイン論1	選択 1		
	イラスト基礎演習4	選択 1	イラスト基礎演習11	選択 1	イラスト応用演習5	選択 1				
	イラスト基礎演習5	選択 1	イラスト基礎演習12	選択 1						
	イラスト基礎演習6	選択 1	イラスト基礎演習13	選択 1						
	イラスト基礎演習7	選択 1	イラスト基礎演習14	選択 1						
		イラスト基礎演習15	選択 1							32

デザイン学部 イラスト学科 イラストコース 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
基礎実習科目	Dil10001	イラスト基礎実習1	必修	実習	2	1	●	●			
	Dil10002	イラスト基礎実習2	必修	実習	2	1	●	●			
	Dil10003	イラスト基礎実習3	必修	実習	2	1	●	●			
	Dil10004	イラスト基礎実習4	必修	実習	2	1	●	●			
	Dil20005	イラスト基礎実習5	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Dil20006	イラスト基礎実習6	必修	実習	2	2	●	●	●		
応用実習科目	Dil20011	イラスト応用実習1	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Dil20012	イラスト応用実習2	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Dil30013	イラスト応用実習3	必修	実習	2	3	●	●	●		●
	Dil30014	イラスト応用実習4	必修	実習	2	3	●	●	●		●
	Dil30021	イラスト社会実践実習1	必修	実習	1	3				●	●
	Dil30022	イラスト社会実践実習2	必修	実習	1	3				●	●
	Dil30023	イラスト社会実践実習3	必修	実習	1	3				●	●
	Dil30024	イラスト社会実践実習4	必修	実習	1	3				●	●
	Dil30015	イラスト応用実習5	必修	実習	2	3	●	●	●	●	●
	Dil30016	イラスト応用実習6	必修	実習	2	3	●	●	●	●	●
卒業実習科目	Dil40031	卒業研究実習1	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Dil40032	卒業研究実習2	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Dil40033	卒業研究実習3	必修	演習	2	4	●	●	●		●
	Dil40041	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4	●	●	●	●	●
	Dil40051	卒業展示	必修	演習	2	4	●	●	●	●	●

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
イラスト学科 共通科目	Dii13001	イラスト基礎演習1	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dii13002	イラスト基礎演習2	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dii13003	イラスト基礎演習3	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dii13004	イラスト基礎演習4	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dii13005	イラスト基礎演習5	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dii13006	イラスト基礎演習6	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dii13007	イラスト基礎演習7	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dii23008	イラスト基礎演習8	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dii23009	イラスト基礎演習9	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dii23010	イラスト基礎演習10	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dii23011	イラスト基礎演習11	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dii23012	イラスト基礎演習12	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dii23013	イラスト基礎演習13	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Dii23014	イラスト基礎演習14	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dii23015	イラスト基礎演習15	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dii33021	イラスト応用演習1	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dii33022	イラスト応用演習2	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dii33023	イラスト応用演習3	選択	演習	1	3・4	●	●	●		●
	Dii33024	イラスト応用演習4	選択	演習	1	3・4	●	●	●		●
	Dii33025	イラスト応用演習5	選択	演習	1	3・4	●		●		
Dii33026	イラスト応用演習6	選択	演習	1	3・4	●		●			
Dfd23011	基礎立体・彫塑	選択	演習	2	2・3・4			●			
Dfd23021	工芸	選択	演習	2	2・3・4			●			

ビジュアルデザイン学科

グラフィックデザインコース / デジタルクリエイションコース

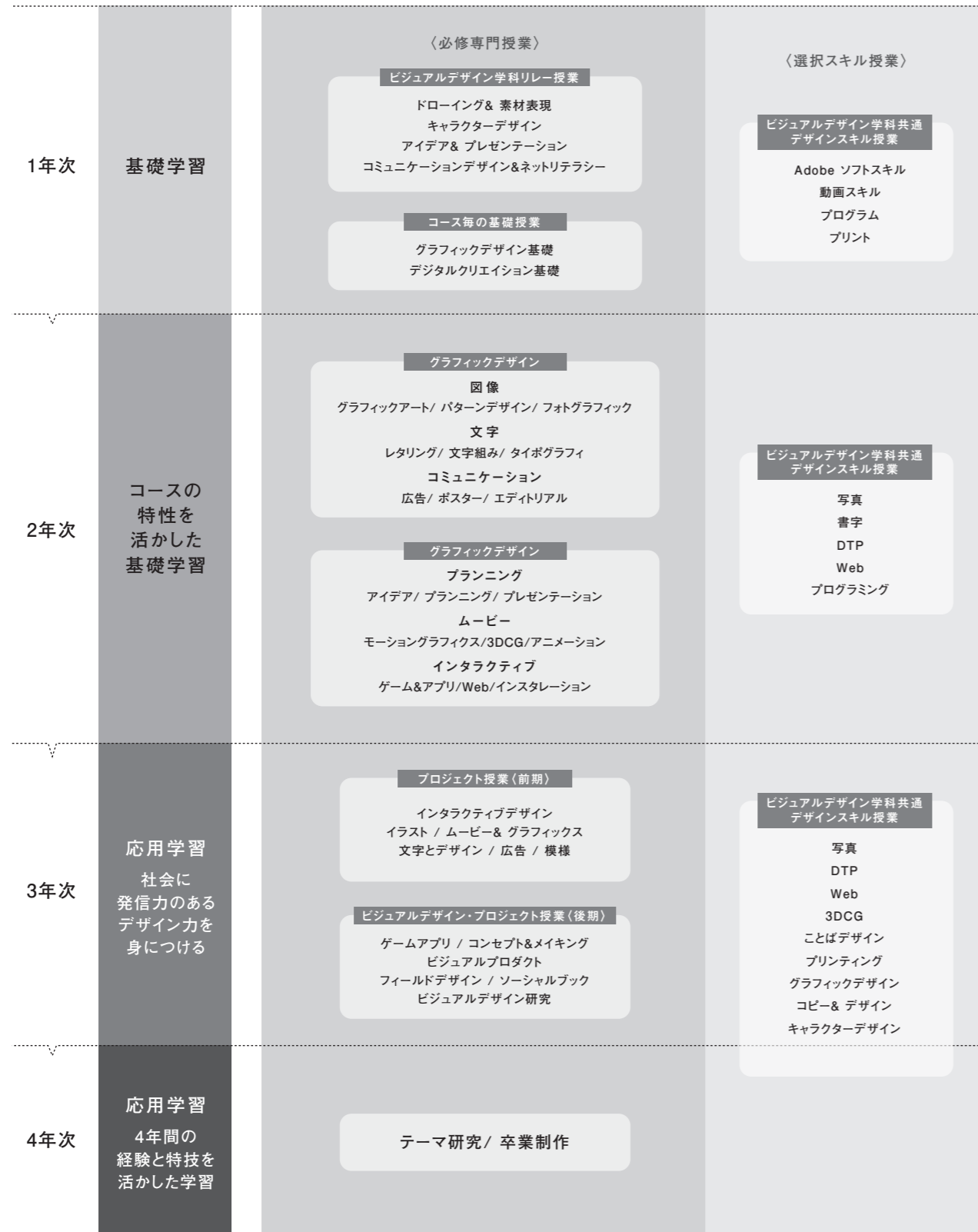
デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目		選択科目		卒業に要する単位(計)
	進級要件	科目名称	配当年次	単位数	進級要件	科目名称	単位数	小計	
全学共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1	24単位			50単位以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1				
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1				
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1				
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1				
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1				
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1				
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1				
		○ デッサン1	1	1Q	1				
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1					
	グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1				
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1				
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1				
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1				
	リベラルアーツ科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1				
○ 自由論		1	3Q	1					
○ シティズンシップとダイバーシティ		1	4Q	1					
○ 創造的思考法		1	3Q	1					
キャリア科目	○ 情報と倫理	1	1Q	1					
	○ 人権と教育	2	1Q	1					
	○ グローバル化と社会	2	2Q	1					
	○ 情報科学概論	1	2Q	1					
○ データサイエンス入門	2	1Q	1						
○ キャリア1	1	1Q	1						
社会実践力育成プログラム							2単位以上	10単位以上	卒業に要する単位
マイナー科目									
学部専門教育科目	基礎実習科目	○ ビジュアルデザイン基礎実習1	1	1Q	2	38単位			74単位以上
		○ ビジュアルデザイン基礎実習2	1	2Q	2				
		○ ビジュアルデザイン基礎実習3	1	3Q	2				
		○ ビジュアルデザイン基礎実習4	1	4Q	2				
		○ ビジュアルデザイン基礎実習5	2	1Q	2				
		○ ビジュアルデザイン基礎実習6	2	2Q	2				
	応用実習科目	○ ビジュアルデザイン応用実習1	2	3Q	2				
		○ ビジュアルデザイン応用実習2	2	4Q	2				
		● ビジュアルデザイン応用実習3	3	1Q	2				
		● ビジュアルデザイン応用実習4	3	2Q	2				
		● ビジュアルデザイン社会実践実習1	3	1Q	1				
		● ビジュアルデザイン社会実践実習2	3	2Q	1				
	卒業実習科目	● ビジュアルデザイン社会実践実習3	3	3Q	1				
		● ビジュアルデザイン社会実践実習4	3	4Q	1				
		● ビジュアルデザイン応用実習5	3	3Q	2				
		● ビジュアルデザイン応用実習6	3	4Q	2				
		卒業研究実習1	4	1Q	2				
		卒業研究実習2	4	2Q	2				
デザイン学部基礎科目	○ デザイン概論1	1	1Q	1	4単位			32単位以上	
	○ デザイン概論2	1	2Q	1					
	○ デザイン史1	1	3Q	1					
	○ デザイン史2	1	4Q	1					
デザイン学部共通科目									
デザイン学部共通科目									
デザイン学部共通科目									

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 (1年次から2年次)●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/○印)●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。(フレッシュアップ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、キャリア1 合計18科目 18単位)
 ●学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(ビジュアルデザイン基礎実習1~6、ビジュアルデザイン応用実習1・2、デザイン概論1・2、デザイン史1・2 合計12科目 20単位)
 (3年次から4年次/●印)●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(ビジュアルデザイン応用実習3~6、ビジュアルデザイン社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 カリキュラムマップ



デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 履修モデル

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科
 「技能だけでなく知識にも秀でたグラフィックデザイナーを目指す学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計
導入プログラム	フレッシュヤーズ・キャンプ	必修 1								2
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1			アカデミックスキル3	必修 1				8
	コミュニケーションスキル2	必修 1			アカデミックスキル4	必修 1				
	アカデミックスキル1	必修 1								
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1						7
	英語2/日本語2	必修 1	Business English	1						
	英語3/日本語3	必修 1	English discussion	1						
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1	行動心理学	選択 2				16
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1	プログラミング3	選択 1						
	情報科学概論	必修 1	プログラミング4	選択 1						
			情報テクノロジー1	選択 2						
キャリア科目	キャリア1	必修 1			クリエイティブの現場	選択 2				3
社会実践力育成プログラム			産学連携PBLプログラム1	選択 2	大学連携プログラム	選択 2				4
マイナー科目			美術概論1	選択 1	ソーシャルビジネス演習1	選択 2	ビジネスモデル論	選択 2		10
			メディア表現概論1	選択 1	ソーシャルビジネス演習2	選択 2	イノベーション論	選択 2		
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	ビジュアルデザイン基礎実習1	必修 2	ビジュアルデザイン基礎実習5	必修 2	ビジュアルデザイン応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2		38
	ビジュアルデザイン基礎実習2	必修 2	ビジュアルデザイン基礎実習6	必修 2	ビジュアルデザイン応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	ビジュアルデザイン基礎実習3	必修 2	ビジュアルデザイン応用実習1	必修 2	ビジュアルデザイン社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	ビジュアルデザイン基礎実習4	必修 2	ビジュアルデザイン応用実習2	必修 2	ビジュアルデザイン社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					ビジュアルデザイン社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					ビジュアルデザイン社会実践実習4	必修 1				
					ビジュアルデザイン応用実習5	必修 2				
					ビジュアルデザイン応用実習6	必修 2				
学部専門教育科目	デザイン概論1	必修 1								4
	デザイン概論2	必修 1								
	デザイン史1	必修 1								
	デザイン史2	必修 1								
専門選択科目(講義・演習)	デザインスキル選択実習1	選択 1	デザインスキル選択実習8	選択 1	デザインスキル応用実習1	選択 1	デザインスキル応用実習5	選択 1		32
	デザインスキル選択実習2	選択 1	デザインスキル選択実習9	選択 1	デザインスキル応用実習2	選択 1	デザインスキル応用実習6	選択 1		
	デザインスキル選択実習3	選択 1	デザインスキル選択実習10	選択 1	デザインスキル応用実習3	選択 1	デザインスキル応用実習7	選択 1		
	デザインスキル選択実習4	選択 1	デザインスキル選択実習11	選択 1	デザインスキル応用実習4	選択 1	デザインスキル応用実習8	選択 1		
	デザインスキル選択実習5	選択 1	デザインスキル選択実習12	選択 1	デザイン特講3	選択 1	色彩学1	選択 1		
	デザインスキル選択実習6	選択 1	デザインスキル選択実習13	選択 1	デザイン特講4	選択 1				
	デザインスキル選択実習7	選択 1	デザインスキル選択実習14	選択 1	写真史1	選択 1				
			デザインスキル選択実習15	選択 1	写真史2	選択 1				
			デザインリテラシー1	選択 2						
			デザインリテラシー2	選択 2						

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
基礎実習科目	Dvd10001	ビジュアルデザイン基礎実習1	必修	実習	2	1	●		●		
	Dvd10002	ビジュアルデザイン基礎実習2	必修	実習	2	1	●		●		
	Dvd10003	ビジュアルデザイン基礎実習3	必修	実習	2	1	●		●		
	Dvd10004	ビジュアルデザイン基礎実習4	必修	実習	2	1	●		●		
	Dvd20005	ビジュアルデザイン基礎実習5	必修	実習	2	2	●		●		
	Dvd20006	ビジュアルデザイン基礎実習6	必修	実習	2	2	●		●		
応用実習科目	Dvd20011	ビジュアルデザイン応用実習1	必修	実習	2	2		●	●	●	
	Dvd20012	ビジュアルデザイン応用実習2	必修	実習	2	2		●	●	●	
	Dvd30013	ビジュアルデザイン応用実習3	必修	実習	2	3		●	●	●	
	Dvd30014	ビジュアルデザイン応用実習4	必修	実習	2	3		●	●	●	
	Dvd30021	ビジュアルデザイン社会実践実習1	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dvd30022	ビジュアルデザイン社会実践実習2	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dvd30023	ビジュアルデザイン社会実践実習3	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dvd30024	ビジュアルデザイン社会実践実習4	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dvd30015	ビジュアルデザイン応用実習5	必修	実習	2	3		●	●		
	Dvd30016	ビジュアルデザイン応用実習6	必修	実習	2	3		●	●		
卒業実習科目	Dvd40031	卒業研究実習1	必修	実習	2	4		●	●		●
	Dvd40032	卒業研究実習2	必修	実習	2	4		●	●		●
	Dvd40033	卒業研究実習3	必修	実習	2	4		●	●		●
	Dvd40041	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4	●	●	●		●
	Dvd40051	卒業展示	必修	実習	2	4	●	●	●	●	●

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
ビジュアルデザイン学科共通科目	Dvd13001	デザインスキル選択実習1	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd13002	デザインスキル選択実習2	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd13003	デザインスキル選択実習3	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd13004	デザインスキル選択実習4	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd13005	デザインスキル選択実習5	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd13006	デザインスキル選択実習6	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd13007	デザインスキル選択実習7	選択	実習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dvd23008	デザインスキル選択実習8	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23009	デザインスキル選択実習9	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23010	デザインスキル選択実習10	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23011	デザインスキル選択実習11	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23012	デザインスキル選択実習12	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23013	デザインスキル選択実習13	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23014	デザインスキル選択実習14	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd23015	デザインスキル選択実習15	選択	実習	1	2・3・4	●		●		
	Dvd33021	デザインスキル応用実習1	選択	実習	1	3・4		●	●	●	
	Dvd33022	デザインスキル応用実習2	選択	実習	1	3・4		●	●	●	
	Dvd33023	デザインスキル応用実習3	選択	実習	1	3・4		●	●	●	
	Dvd33024	デザインスキル応用実習4	選択	実習	1	3・4		●	●	●	
	Dvd33025	デザインスキル応用実習5	選択	実習	1	3・4		●	●	●	
	Dvd33026	デザインスキル応用実習6	選択	実習	1	3・4		●	●	●	
Dvd33027	デザインスキル応用実習7	選択	実習	1	3・4		●	●	●		
Dvd33028	デザインスキル応用実習8	選択	実習	1	3・4		●	●	●		
Dfd23011	基礎立体・彫塑	選択	演習	2	2・3・4			●			
Dfd23021	工芸	選択	演習	2	2・3・4			●			

プロダクトデザイン学科

プロダクトコミュニケーションコース/
ライフクリエイションコース/
ファッションコース

デザイン学部 プロダクトデザイン学科 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目			選択科目	卒業に要する単位(計)	
	進級要件	科目名称	配当年次	単位数	進級要件	科目名称	単位数	小計		
全学共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1				50 単位以上	
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1					
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1	24 単位				14 単位以上 (※)
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1					
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1					
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1					
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1					
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1					
		○ デッサン1	1	1Q	1					
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1						
	グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1					
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1					
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1					
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1					
リベラルアーツ科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1						
	○ 自由論	1	3Q	1						
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1						
	○ 創造的思考法	1	3Q	1						
	○ 情報と倫理	1	1Q	1						
	○ 人権と教育	2	1Q	1						
キャリア科目	○ グローバル化と社会	2	2Q	1						
	○ 情報科学概論	1	2Q	1						
	○ データサイエンス入門	2	1Q	1						
○ キャリア1	1	1Q	1					2 単位以上		
○ 社会実践力育成プログラム								10 単位以上		
○ マイナー科目										
学部専門教育科目	基礎実習科目	○ プロダクトデザイン基礎実習1	1	1Q	2	38 単位			74 単位以上	
		○ プロダクトデザイン基礎実習2	1	2Q	2					
		○ プロダクトデザイン基礎実習3	1	3Q	2					
		○ プロダクトデザイン基礎実習4	1	4Q	2					
		○ プロダクトデザイン基礎実習5	2	1Q	2					
		○ プロダクトデザイン基礎実習6	2	2Q	2					
	応用実習科目	○ プロダクトデザイン応用実習1	2	3Q	2					
		○ プロダクトデザイン応用実習2	2	4Q	2					
		● プロダクトデザイン応用実習3	3	1Q	2					
		● プロダクトデザイン応用実習4	3	2Q	2					
		● プロダクトデザイン社会実践実習1	3	1Q	1					
		● プロダクトデザイン社会実践実習2	3	2Q	1					
	卒業実習科目	● プロダクトデザイン社会実践実習3	3	3Q	1					
		● プロダクトデザイン社会実践実習4	3	4Q	1					
		● プロダクトデザイン応用実習5	3	3Q	2					
		● プロダクトデザイン応用実習6	3	4Q	2					
		○ 卒業研究実習1	4	1Q	2					
		○ 卒業研究実習2	4	2Q	2					
専門講義・演習科目	○ 卒業研究実習3	4	3Q	2						
	○ 卒業論文・卒業制作	4	4Q	2						
	○ 卒業展示	4	4Q	2						
	○ デザイン概論1	1	1Q	1	4 単位			32 単位以上		
○ デザイン概論2	1	2Q	1							
○ デザイン史1	1	3Q	1							
○ デザイン史2	1	4Q	1							

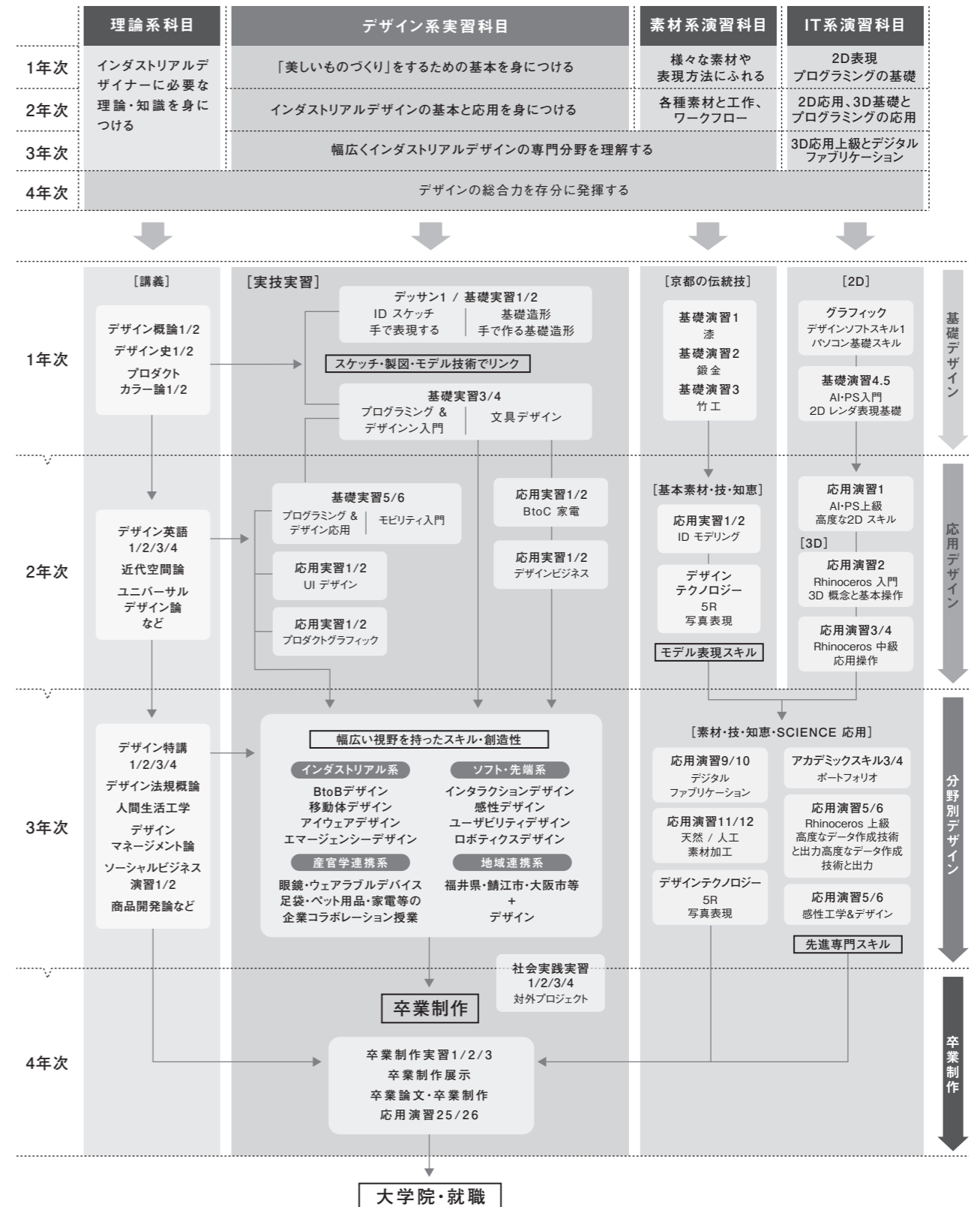
(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 (1年次から2年次)●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/●印)●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。(フレッシュアップ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、キャリア1 合計18科目 18単位)
 ●学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(プロダクトデザイン基礎実習1~6、プロダクトデザイン応用実習1・2、デザイン概論1・2、デザイン史1・2 合計12科目 20単位)
 (3年次から4年次/●印)●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(プロダクトデザイン応用実習3~6、プロダクトデザイン社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

デザイン学部 プロダクトデザイン学科 プロダクトコミュニケーションコース カリキュラムマップ

教育目標

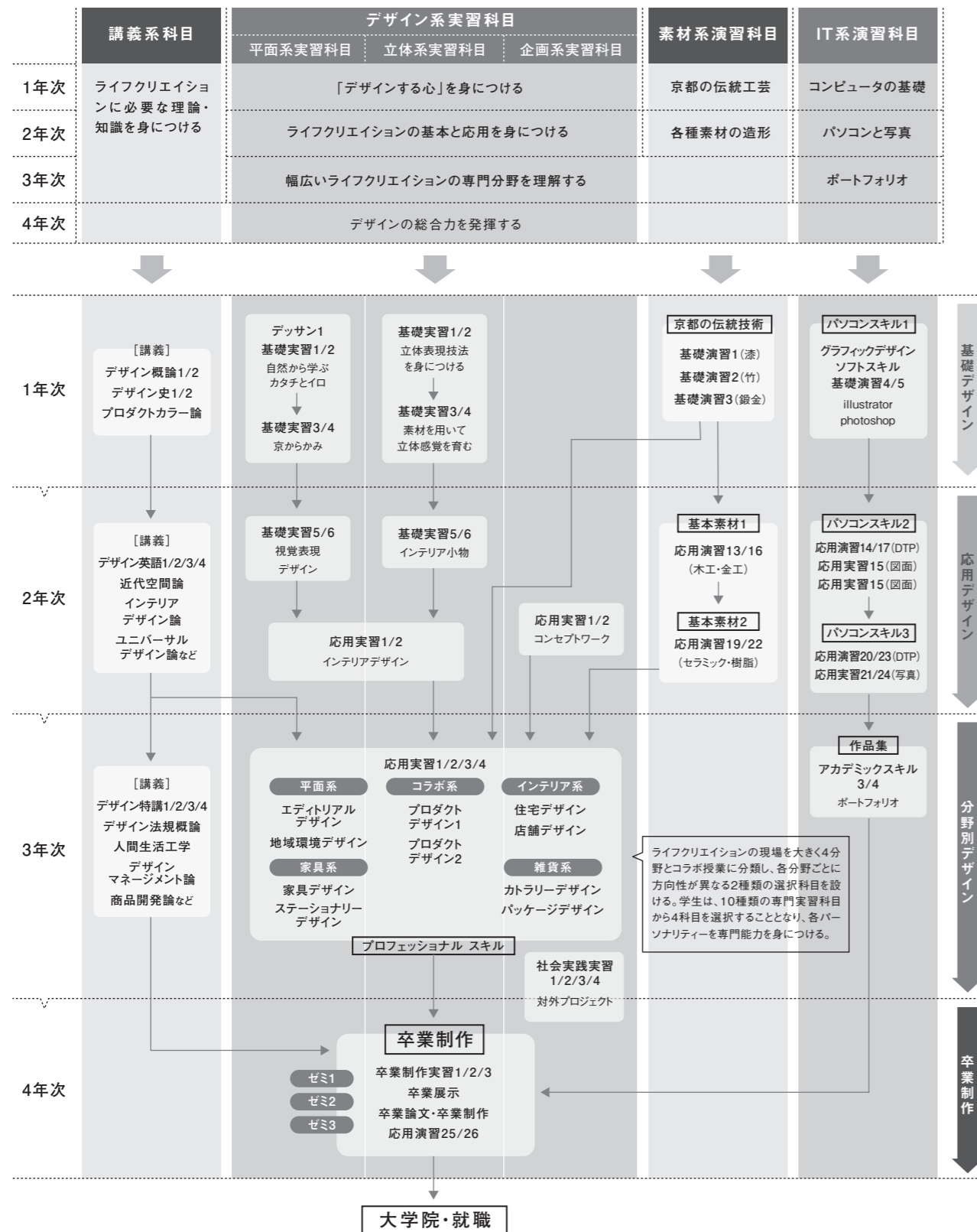
- 日々変化する国際環境や産業構造に適応し、時代に即応したインダストリアルデザインを探究する。
- ビジネスとして時代が必要とするサービスを創出し、人々の生活や社会に貢献するインダストリアルデザイナーを育成する。
- 地球環境の変化に機敏に反応し、持続可能な社会と豊かな人間性を育むものづくりを探究する。
- 京都に立地する大学として、京都が有する「伝承」「先進」「環境」のDNAをデザインと言う行為の中に息づかせ、世界に発信する。



デザイン学部 プロダクトデザイン学科 ライフクリエイションコース カリキュラムマップ

教育目標

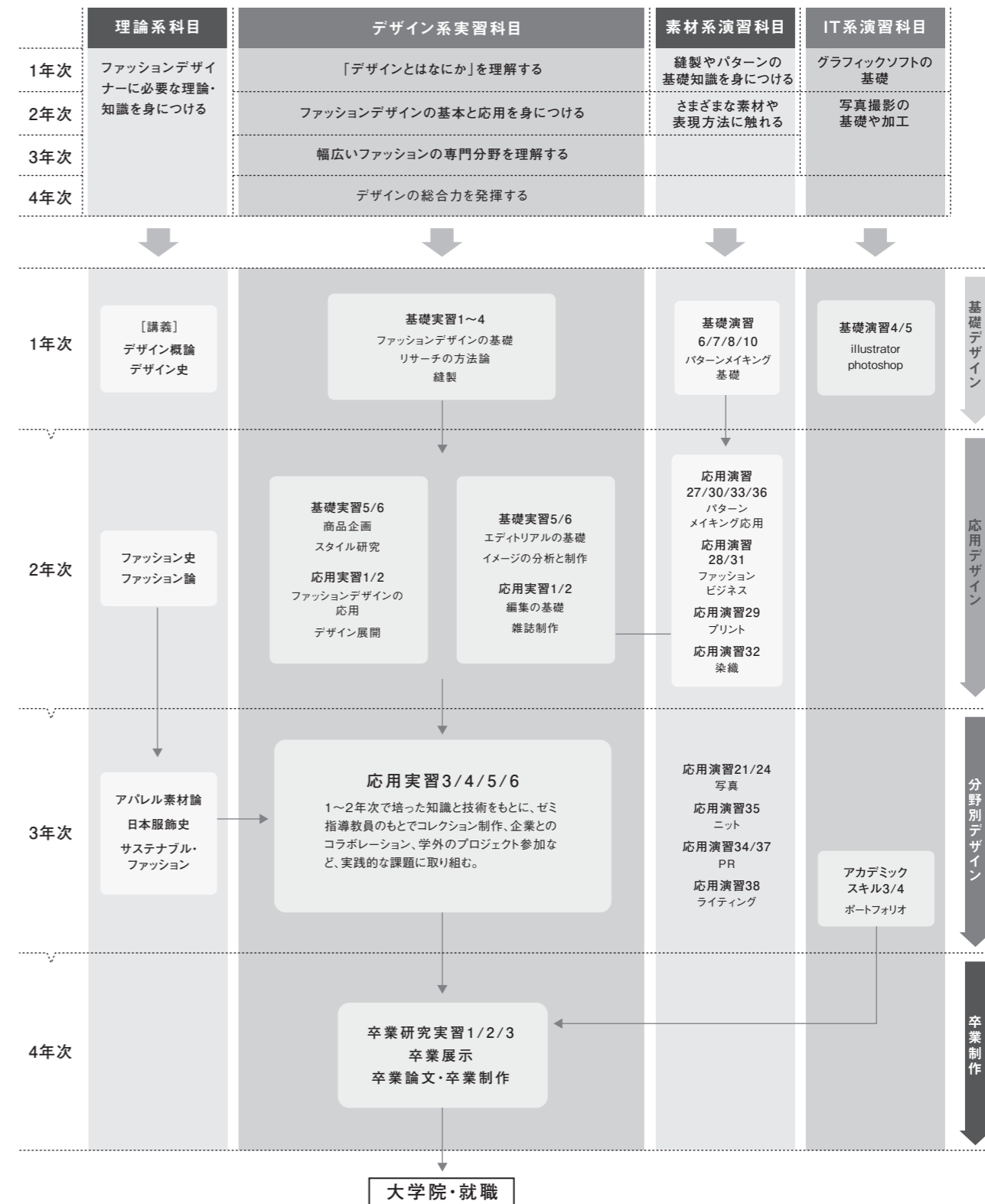
- 「デザインする」ことの楽しみを知る。
- 私たちのより良い生活を創造する「住まいとくらし(インテリアデザインと生活クリエイト)」のデザインを学ぶ。
- 平面と立体(2次元と3次元)を繋ぐデザインを学ぶことが、このコースの特長。
- 京都に立地する大学として、京都が有する「伝統」「先進」「環境」のDNAをデザインという行為の中に息づかせ、世界に発信する。



デザイン学部 プロダクトデザイン学科 ファッションコース カリキュラムマップ

教育目標

- ビジネスとして時代が必要とする商品を創り出し、かつ社会に貢献するファッションデザイナーを育てる。
- 日々変化する国際環境や産業構造をふまえ、時代に応じたファッションデザインを探究する。
- 地球環境の変化に敏感に反応し、持続可能な社会と豊かな人間性を育むものづくりを研究する。
- 京都に立地する大学として、京都が有する「伝承」「先進」「環境」のDNAをデザインという行為の中に息づかせ、社会に発信する。



デザイン学部 プロダクトデザイン学科 履修モデル

デザイン学部 プロダクトデザイン学科
「社会性の備わったプロダクトデザイナーを目指す学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数	
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計
導入プログラム	フレッシュアーズ・キャンプ	必修 1							2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1								
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	表現と社会	選択 2	アカデミックスキル3	必修 1	アカデミックスキル4	必修 1	10	
	コミュニケーションスキル2	必修 1								
	アカデミックスキル1	必修 1								
	アカデミックスキル2	必修 1								
	デッサン1	必修 1								
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1								
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1	言語学			2	8	
	英語2/日本語2	必修 1	スペイン語	選択 1						
	英語3/日本語3	必修 1								
	英語4/日本語4	必修 1								
リベラルアーツ科目	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1			哲学入門	選択 2	12	
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1						
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1						
	情報と倫理	必修 1								
	情報科学概論	必修 1								
	プログラミング1	選択 1								
	プログラミング12	選択 1								
キャリア科目	キャリア1	必修 1	キャリア2	選択 1	キャリア3	選択 1		3		
社会実践力育成プログラム			インターンシップ1	選択 2			インターンシップ2	2	4	
マイナー科目	和の伝統文化論	選択 1	京都の伝統工芸講座1	選択 2	ソーシャルビジネス1	選択 2	京都の伝統工芸講座2	選択 2	11	
			京都の伝統工芸講座2	選択 2	ソーシャルビジネス2	選択 2				
					京都の伝統産業実習	選択 2				
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	プロダクトデザイン基礎実習1	必修 2	プロダクトデザイン基礎実習5	必修 2	プロダクトデザイン応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2	38	
	プロダクトデザイン基礎実習2	必修 2	プロダクトデザイン基礎実習6	必修 2	プロダクトデザイン応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2		
	プロダクトデザイン基礎実習3	必修 2	プロダクトデザイン応用実習1	必修 2	プロダクトデザイン社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2		
	プロダクトデザイン基礎実習4	必修 2	プロダクトデザイン応用実習2	必修 2	プロダクトデザイン社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2		
					プロダクトデザイン社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2		
					プロダクトデザイン社会実践実習4	必修 1				
デザイン学部 基礎科目	デザイン概論1	必修 1							4	
	デザイン概論2	必修 1								
	デザイン史1	必修 1								
	デザイン史2	必修 1								
学部専門教育科目	PD基礎演習1	選択 1	PD応用演習7	選択 1	PD応用演習5	選択 1	PD応用演習25	選択 1		
	PD基礎演習2	選択 1	PD応用演習8	選択 1	PD応用演習9	選択 1	PD応用演習26	選択 1		
	PD基礎演習3	選択 1	PD応用演習1	選択 1	PD応用演習6	選択 1				
	PD基礎演習4	選択 1	PD応用演習2	選択 1	PD応用演習10	選択 1				
	PD基礎演習5	選択 1	PD応用演習3	選択 1	PD応用演習11	選択 1				
	プロダクトカラー論1	選択 1	PD応用演習4	選択 1	PD応用演習12	選択 1				
	プロダクトカラー論2	選択 1	ファッション史	選択 1	デザインマネジメント1	選択 1			32	
			ユニバーサルデザイン論	選択 1	商品開発論1	選択 1				
			インテリアデザイン論	選択 1	ファッション論1	選択 1				
			デザイン英語1	選択 1	アパレル素材論1	選択 1				
			デザイン英語2	選択 1						
			デザイン英語3	選択 1						
			デザイン英語4	選択 1						

デザイン学部 プロダクトデザイン学科 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
基礎実習科目	Dpd10001	プロダクトデザイン基礎実習1	必修	実習	2	1	●		●		
	Dpd10002	プロダクトデザイン基礎実習2	必修	実習	2	1	●		●		
	Dpd10003	プロダクトデザイン基礎実習3	必修	実習	2	1	●	●	●		
	Dpd10004	プロダクトデザイン基礎実習4	必修	実習	2	1	●	●	●		
	Dpd20005	プロダクトデザイン基礎実習5	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Dpd20006	プロダクトデザイン基礎実習6	必修	実習	2	2	●	●	●		
応用実習科目	Dpd20011	プロダクトデザイン応用実習1	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Dpd20012	プロダクトデザイン応用実習2	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Dpd30013	プロダクトデザイン応用実習3	必修	実習	2	3	●	●	●	●	
	Dpd30014	プロダクトデザイン応用実習4	必修	実習	2	3	●	●	●	●	
	Dpd30021	プロダクトデザイン社会実践実習1	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dpd30022	プロダクトデザイン社会実践実習2	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dpd30023	プロダクトデザイン社会実践実習3	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dpd30024	プロダクトデザイン社会実践実習4	必修	実習	1	3		●	●	●	●
	Dpd30015	プロダクトデザイン応用実習5	必修	実習	2	3		●	●	●	●
	Dpd30016	プロダクトデザイン応用実習6	必修	実習	2	3		●	●	●	●
卒業実習科目	Dpd40031	卒業研究実習1	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dpd40032	卒業研究実習2	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dpd40033	卒業研究実習3	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dpd40041	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●
	Dpd40051	卒業展示	必修	実習	2	4		●	●	●	●

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
プロダクトデザイン学科共通科目	Dpd13001	プロダクトカラー論1	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Dpd13002	プロダクトカラー論2	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Dpd13101	プロダクトデザイン基礎演習1	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dpd13102	プロダクトデザイン基礎演習2	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dpd13103	プロダクトデザイン基礎演習3	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dpd13104	プロダクトデザイン基礎演習4	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dpd13105	プロダクトデザイン基礎演習5	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dpd13106	プロダクトデザイン基礎演習6	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dpd13107	プロダクトデザイン基礎演習7	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dpd13108	プロダクトデザイン基礎演習8	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dpd13109	プロダクトデザイン基礎演習9	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dpd13110	プロダクトデザイン基礎演習10	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Dpd23201	プロダクトデザイン応用演習1	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dpd23202	プロダクトデザイン応用演習2	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dpd23203	プロダクトデザイン応用演習3	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dpd23204	プロダクトデザイン応用演習4	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dpd33205	プロダクトデザイン応用演習5	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dpd33206	プロダクトデザイン応用演習6	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dpd33207	プロダクトデザイン応用演習7	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dpd33208	プロダクトデザイン応用演習8	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dpd33209	プロダクトデザイン応用演習9	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dpd33210	プロダクトデザイン応用演習10	選択	演習	1	3・4	●	●	●		
	Dpd23211	プロダクトデザイン応用演習11	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		●
	Dpd23212	プロダクトデザイン応用演習12	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		●
	Dpd23213	プロダクトデザイン応用演習13	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dpd23214	プロダクトデザイン応用演習14	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dpd23215	プロダクトデザイン応用演習15	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dpd23216	プロダクトデザイン応用演習16	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dpd23217	プロダクトデザイン応用演習17	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dpd23218	プロダクトデザイン応用演習18	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Dpd23229	プロダクトデザイン応用演習19	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dpd23220	プロダクトデザイン応用演習20	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
Dpd23221	プロダクトデザイン応用演習21	選択	演習	1	2・3・4	●		●			
Dpd23222	プロダクトデザイン応用演習22	選択	演習	1	2・3・4	●		●			
Dpd23223	プロダクトデザイン応用演習23	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●			
Dpd23224	プロダクトデザイン応用演習24	選択	演習	1	2・3・4	●		●			
Dpd23225	プロダクトデザイン応用演習25	選択	演習	1	2・3・4		●	●		●	
Dpd23226	プロダクトデザイン応用演習26	選択	演習	1	2・3・4		●	●		●	
Dpd33227	プロダクトデザイン応用演習27	選択	演習	1	3・4			●			

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
プロダクトデザイン学科共通科目	Dpd33228	プロダクトデザイン応用演習28	選択	演習	1	3・4		●			●
	Dpd23239	プロダクトデザイン応用演習29	選択	演習	1	2・3・4		●	●		
	Dpd23230	プロダクトデザイン応用演習30	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dpd23231	プロダクトデザイン応用演習31	選択	演習	1	2・3・4		●			●
	Dpd23232	プロダクトデザイン応用演習32	選択	演習	1	2・3・4		●	●		
	Dpd23233	プロダクトデザイン応用演習33	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dpd23234	プロダクトデザイン応用演習34	選択	演習	1	2・3・4		●			●
	Dpd23235	プロダクトデザイン応用演習35	選択	演習	1	2・3・4			●		●
	Dpd23236	プロダクトデザイン応用演習36	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dpd23237	プロダクトデザイン応用演習37	選択	演習	1	2・3・4		●			●
	Dpd23238	プロダクトデザイン応用演習38	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Dpd13011	建築計画	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Dpd13021	一般構造	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Dpd23031	西洋建築史	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dpd23041	住環境論	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dpd13051	日本建築史	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Dpd23061	建築力学	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dpd33071	環境工学	選択	講義	2	3・4	●				
	Dpd33081	近現代建築史	選択	講義	2	3・4	●				
	Dpd23091	建築構造	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dpd33101	設備工学	選択	講義	2	3・4	●				
	Dpd23111	伝統建築工法	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dpd13121	建築構法演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dpd33141	建築法規演習1	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dpd33142	建築法規演習2	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dpd33151	材料実験1	選択	演習	1	3・4	●	●	●	●	
	Dpd33152	材料実験2	選択	演習	1	3・4	●	●	●	●	
	Dpd33161	施工演習1	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dpd33162	施工演習2	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dpd23171	測量演習	選択	演習	2	2・3・4	●		●		
	Dpd33181	積算演習	選択	演習	2	3・4	●		●		
	Dfd23011	基礎立体・彫塑	選択	演習	2	2・3・4			●		
Dfd23021	工芸	選択	演習	2	2・3・4			●			

建築学科 建築コース

ライフクリエーションコース 二級建築士・木造建築士資格取得指定科目一覧(2017年度以降入学生)

指定科目の分類	指定科目	単位数	配当年次	二級建築士・木造建築士	
建築設計製図	プロダクトデザイン応用演習18	1	2~4	3単位以上	
	プロダクトデザイン応用実習3	2	3		
	プロダクトデザイン応用実習4	2	3		
	プロダクトデザイン応用実習5	2	3		
	プロダクトデザイン応用実習6	2	3		
建築計画 建築環境工学 建築設備	建築計画	2	1~4	2単位以上	
	日本建築史	2	1~4		
	近現代建築史	2	2~4		
	住環境論	2	2~4		
	西洋建築史	2	2~4		
	環境工学	2	3~4		
	設備工学	2	3~4		
構造力学 建築一般構造 建築材料	建築構造	2	2~4	3単位以上	
	建築力学	2	2~4		
	一般構造	2	1~4		
	建築構造演習	1	1~4		
	材料実験1	1	3~4		
建築生産	伝統建築工法	2	2~4	1単位以上	
	施工演習1	1	3~4		
	施工演習2	1	3~4		
	積算演習	2	3~4		
建築法規	建築法規演習1	1	3~4	1単位以上	
	建築法規演習2	1	3~4		
その他	プロダクトカラー論1	1	1~4	適宜	
	プロダクトカラー論2	1	1~4		
	インテリアデザイン論1	1	2~4		
	インテリアデザイン論2	1	2~4		
	プロダクトデザイン応用演習15	1	2~4		
	プロダクトデザイン応用演習20	1	2~4		
	プロダクトデザイン応用演習23	1	2~4		
	ランドスケープデザイン論1	1	2~4		
	ランドスケープデザイン論2	1	2~4		
	人間生活工学1	1	2~4		
	まちづくりデザイン1	1	2~4		
	まちづくりデザイン2	1	2~4		
	測量演習	2	2~4		
	修得単位数 総合計				必要な 実務経験年数
				0年	40単位以上
				1年	30単位以上
				2年	20単位以上

デザイン学部 建築学科 卒業要件

科目区分	必修科目				選択必修科目		選択科目	卒業に要する 単位(計)	
	進級 要件	科目名称	配当 年次	単 位 数	進級 要件	科目名称	単 位 数		小計
全学 共通 教育 科目	導入プログラム	○ フレッシュヤーズ・キャンプ	1	1Q	1	24単位		14単位 以上 (※)	50 単位 以上
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1				
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1				
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1				
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1				
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1				
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1				
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1				
		○ デッサン1	1	1Q	1				
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1					
	グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1				
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1				
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1				
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1				
リベラルアーツ 科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1					
	○ 自由論	1	3Q	1					
	○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1					
	○ 創造的思考法	1	3Q	1					
	○ 情報と倫理	1	1Q	1					
キャリア科目	○ 人権と教育	2	1Q	1					
	○ グローバル化と社会	2	2Q	1					
	○ 情報科学概論	1	2Q	1					
○ データサイエンス入門	2	1Q	1						
○ キャリア1	1	1Q	1						
社会実践力 育成プログラム							2単位 以上	124 単位 以上	
マイナー科目							10単位 以上		
学部 専門 教育 科目	基礎実習科目	○ 建築基礎実習1	1	1Q	2	38単位		74 単位 以上	
		○ 建築基礎実習2	1	2Q	2				
		○ 建築基礎実習3	1	3Q	2				
		○ 建築基礎実習4	1	4Q	2				
		○ 建築基礎実習5	2	1Q	2				
		○ 建築基礎実習6	2	2Q	2				
	応用実習科目	○ 建築応用実習1	2	3Q	2				
		○ 建築応用実習2	2	4Q	2				
		● 建築応用実習3	3	1Q	2				
		● 建築応用実習4	3	2Q	2				
		● 建築社会実践実習1	3	1Q	1				
		● 建築社会実践実習2	3	2Q	1				
	卒業実習科目	● 建築社会実践実習3	3	3Q	1				
		● 建築社会実践実習4	3	4Q	1				
● 建築応用実習5		3	3Q	2					
● 建築応用実習6		3	4Q	2					
○ 卒業研究実習1		4	1Q	2					
○ 卒業研究実習2		4	2Q	2					
専門講義・演習科目	○ デザイン学部 基礎科目	○ 卒業研究実習3	4	3Q	2				
	○ デザイン概論1	○ 卒業論文・卒業制作	4	4Q	2				
	○ デザイン概論2	○ 卒業展示	4	4Q	2				
	○ デザイン史1	○ デザイン史1	1	3Q	1				
○ デザイン史2	○ デザイン史2	1	4Q	1					
○ デザイン学部 共通科目							4単位	32 単位 以上	
○ 建築学科 共通科目									

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位数を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
(1年次から2年次)●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
(2年次から3年次/○印)●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。(フレッシュヤーズ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、キャリア1 合計18科目 18単位)
●学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(建築基礎実習1~6、建築応用実習1・2、デザイン概論1・2、デザイン史1・2 合計12科目 20単位)
(3年次から4年次/●印)●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(建築応用実習3~6、建築社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

デザイン学部 建築学科 建築コース カリキュラムマップ

	学部共通	専門理論	設計実技	技能・表現	
1年次	1Q	デザイン概論1	身体空間論	建築基礎実習1	
	2Q	デザイン概論2	建築計画	建築基礎実習2	
	3Q	デザイン史1	一般構造	建築基礎実習3	建築構法演習
	4Q	デザイン史2	日本建築史	建築基礎実習4	コンピューター演習
2年次	1Q		西洋建築史 住環境論1	建築材料演習1 仮想空間演習1	
	2Q		仮想空間論 住環境論2	建築材料演習2 仮想空間演習2	
	3Q		フィールドワーク・インターンシップ		
	4Q		建築力学 近現代建築史1 伝統建築工法1	建築材料演習1 仮想空間演習1	
3年次	1Q		建築構造 近現代建築史2 伝統建築工法2	建築材料演習2 仮想空間演習2	
	2Q		フィールドワーク・インターンシップ		
	3Q	デザイン特講1	環境工学	建築応用実習3 材料実験1 建築社会実践実習1	
	4Q	デザインリテラシー2	設備工学	建築応用実習4 材料実験2 建築社会実践実習2	
4年次	1Q		フィールドワーク・インターンシップ		
	2Q			建築法規演習1 施工演習1 建築社会実践実習3 測量演習(集中)	
	3Q	デザイン特講2	建築応用実習5	建築社会実践実習2 建築社会実践実習3 建築社会実践実習4 積算演習(集中)	
	4Q		建築応用実習6		
5年次	1Q		卒業研究実習1		
	2Q		卒業研究実習2		
	3Q		卒業研究実習3	[建築士資格取得講座]	
	4Q		建築卒業論文・卒業制作 卒業展示応用実習6	[建築士資格取得講座]	

デザイン学部 建築学科 建築コース 履修モデル



デザイン学部 建築学科

「広い知識を有する国際的な建築家志望の学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数		
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計		
全学共通教育科目	導入プログラム	フレッシュヤーズ・キャンプ 必修 1 クリエイティブ・ワークショップ 必修 1							2		
	表現科目	コミュニケーションスキル1 必修 1 コミュニケーションスキル2 必修 1 アカデミックスキル1 必修 1 アカデミックスキル2 必修 1	デッサン2 選択 1	アカデミックスキル3 必修 1 アカデミックスキル4 必修 1					9		
		グローバル科目	英語1/日本語1 必修 1 英語2/日本語2 必修 1 英語3/日本語3 必修 1 英語4/日本語4 必修 1	日本文化概論 必修 1	スペイン語 選択 1 世界と食 選択 2	Business English 選択 1 English Discussion 選択 1 Effective Presentation 選択 1 English for studying abroad 選択 1				12	
			リベラルアーツ科目	自由論 必修 1 シティズンシップとダイバーシティ 必修 1 創造的思考法 必修 1 情報と倫理 必修 1 情報科学概論 必修 1	グローバル化と社会 必修 1 データサイエンス入門 必修 1 人権と教育 必修 1						8
キャリア科目				キャリア1 必修 1						1	
社会実践力育成プログラム					海外ショートプログラム 選択 2 大学連携プログラム 選択 2				4		
マイナー科目	和の伝統文化論 選択 1	京都のまちづくり 選択 1 京都の伝統工芸講座1 選択 2 京都の伝統工芸講座2 選択 2 美術リテラシー1 選択 1 美術リテラシー2 選択 1		京都の習俗 選択 2 アフリカアジア史 選択 1 京都の伝統産業実習 選択 2 美術概論 選択 1					14		
	基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	建築基礎実習1 必修 2 建築基礎実習2 必修 2 建築基礎実習3 必修 2 建築基礎実習4 必修 2	建築基礎実習5 必修 2 建築基礎実習6 必修 2 建築応用実習1 必修 2 建築応用実習2 必修 2	建築応用実習3 必修 2 卒業研究実習1 必修 2 卒業研究実習2 必修 2 卒業研究実習3 必修 2 卒業論文・卒業制作 必修 2					38	137	
		デザイン学部基盤科目	デザイン概論1 必修 1 デザイン概論2 必修 1 デザイン史1 必修 1 デザイン史2 必修 1							4	
			学部専門教育科目	身体空間論 選択 1 建築計画 選択 2 一般構造 選択 2 建築構法演習 選択 1 日本建築史 選択 2 コンピューター演習 選択 1	西洋建築史 選択 2 住環境論1 選択 1 住環境論2 選択 1 仮想空間論 選択 2 近現代建築史1 選択 1 近現代建築史2 選択 1 建築力学 選択 2 伝統建築工法 選択 2 まちづくりデザイン1 選択 1 まちづくりデザイン2 選択 1 建築構造 選択 2 建築材料演習1 選択 1 建築材料演習2 選択 1 仮想空間演習1 選択 1 仮想空間演習2 選択 1	環境工学 選択 2 材料実験1 選択 1 材料実験2 選択 1 設備工学 選択 2 建築法規演習1 選択 1 建築法規演習2 選択 1 施工演習1 選択 1 施工演習2 選択 1 測量演習 集中 2 積算演習 集中 2	ランドスケープデザイン論1 選択 1 ランドスケープデザイン論2 選択 1				45
専門選択科目(講義・演習)											

デザイン学部 建築学科 建築コース 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
基礎実習科目	Dar10001	建築基礎実習1	必修	実習	2	1		●	●		
	Dar10002	建築基礎実習2	必修	実習	2	1		●	●		
	Dar10003	建築基礎実習3	必修	実習	2	1		●	●		●
	Dar10004	建築基礎実習4	必修	実習	2	1		●	●		●
	Dar20005	建築基礎実習5	必修	実習	2	2		●	●		●
	Dar20006	建築基礎実習6	必修	実習	2	2		●	●		●
応用実習科目	Dar20011	建築応用実習1	必修	実習	2	2		●	●		●
	Dar20012	建築応用実習2	必修	実習	2	2		●	●		●
	Dar30013	建築応用実習3	必修	実習	2	3		●	●	●	●
	Dar30014	建築応用実習4	必修	実習	2	3		●	●	●	●
	Dar20021	建築社会実践実習1	必修	実習	1	2			●	●	●
	Dar20022	建築社会実践実習2	必修	実習	1	2			●	●	●
	Dar30023	建築社会実践実習3	必修	実習	1	3			●	●	●
	Dar30024	建築社会実践実習4	必修	実習	1	3			●	●	●
	Dar30015	建築応用実習5	必修	実習	2	3		●	●	●	●
	Dar30016	建築応用実習6	必修	実習	2	3		●	●	●	●
卒業実習科目	Dar40031	卒業研究実習1	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dar40032	卒業研究実習2	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dar40033	卒業研究実習3	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dar40041	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●
	Dar40051	卒業展示	必修	実習	2	4			●	●	

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
建築学科共通科目	Dar13011	身体空間論	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●			
	Dar13021	建築計画	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Dar13031	一般構造	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Dar23041	西洋建築史	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dar23051	仮想空間論	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dar23061	住環境論	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dar13071	日本建築史	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Dar23081	建築力学	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dar33091	環境工学	選択	講義	2	3・4	●				
	Dar33101	近現代建築史	選択	講義	2	3・4	●				
	Dar23111	建築構造	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dar33121	設備工学	選択	講義	2	3・4	●				
	Dar23131	伝統建築工法	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dar13141	建築構法演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dar13151	コンピューター演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dar23161	仮想空間演習1	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dar23162	仮想空間演習2	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dar23171	建築材料演習1	選択	演習	1	2・3・4	●		●	●	
	Dar23172	建築材料演習2	選択	演習	1	2・3・4	●		●	●	
	Dar33181	建築法規演習1	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar33182	建築法規演習2	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar33191	材料実験1	選択	演習	1	3・4	●	●	●	●	
	Dar33192	材料実験2	選択	演習	1	3・4	●	●	●	●	
	Dar33201	施工演習1	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar33202	施工演習2	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar23211	測量演習	選択	演習	2	2・3・4	●		●		
	Dar33221	積算演習	選択	演習	2	3・4	●		●		

建築学科 建築士資格取得指定科目一覧(2021年度以降入学者)

指定科目の分類	指定科目	単位数	配当年次	一級建築士		二級建築士 木造建築士	
				必要実務経験年数	必要単位数	必要実務経験年数	必要単位数
建築設計製図	建築基礎実習3	2	1	7単位以上	3単位以上		
	建築基礎実習4	2	1				
	建築基礎実習5	2	2				
	建築基礎実習6	2	2				
	建築応用実習1	2	2				
	建築応用実習2	2	2				
	建築応用実習3	2	3				
	建築応用実習4	2	3				
	建築応用実習5	2	3				
建築応用実習6	2	3					
建築計画	建築計画	2	1~4	7単位以上			
	日本建築史	2	1~4				
	近現代建築史	2	2~4				
	住環境論	2	2~4				
	西洋建築史	2	2~4				
建築環境工学	環境工学	2	3~4	2単位以上			
建築設備	設備工学	2	3~4	2単位以上			
構造力学	建築構造	2	2~4	4単位以上			
	建築力学	2	2~4				
建築一般構造	一般構造	2	1~4	3単位以上			
	建築構法演習	1	1~4				
建築材料	材料実験1	1	3~4	2単位以上			
	材料実験2	1	3~4				
	建築材料演習1	1	2~4				
建築生産	建築材料演習2	1	2~4	2単位以上			
	伝統建築工法	2	2~4				
	施工演習1	1	3~4				
建築法規	施工演習2	1	3~4	2単位以上			
	積算演習	2	3~4				
	建築法規演習1	1	3~4				
その他	建築法規演習2	1	3~4	1単位以上			
	コンピューター演習	1	1~4				
	まちづくりデザイン1	1	2~4				
	まちづくりデザイン2	1	2~4				
	測量演習	2	2~4				
	ランドスケープデザイン論1	1	2~4				
	ランドスケープデザイン論2	1	2~4				
京都のまちづくり	1	2~4					
修得単位数 総合計				2年	60単位以上	0年	40単位以上
				3年	50単位以上	1年	30単位以上
				4年	40単位以上	2年	20単位以上

人間環境デザインプログラム

人間環境デザインプログラム 卒業要件

科目区分	進級要件	必修科目				選択必修科目			選択科目	卒業に要する単位(計)
		科目名称	配当年次	単位数	小計	進級要件	科目名称	単位数	小計	
全学共通教育科目	導入プログラム	フレッシュャーズ・キャンプ	1	1Q	1	24単位				50単位以上
		クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1					
	表現科目	コミュニケーションスキル1	1	1Q	1					
		コミュニケーションスキル2	1	3Q	1					
		アカデミックスキル1	1	2Q	1					
		アカデミックスキル2	1	4Q	1					
		アカデミックスキル3	3	3Q	1					
		アカデミックスキル4	3	4Q	1					
		デッサン1	1	1Q	1					
		グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1					
グローバル科目	日本文化概論	2	3Q	1						
	英語1/日本語1	1	1Q	1						
	英語2/日本語2	1	2Q	1						
	英語3/日本語3	1	3Q	1						
リベラルアーツ科目	英語4/日本語4	1	4Q	1						
	自由論	1	3Q	1						
	シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1						
	創造的思考法	1	3Q	1						
	情報と倫理	1	1Q	1						
	人権と教育	2	1Q	1						
	グローバル化と社会	2	2Q	1						
	情報科学概論	1	2Q	1						
キャリア科目	キャリア1	1	1Q	1				2単位以上	卒業に要する単位 124単位以上	
社会実践力育成プログラム								10単位以上		
マイナー科目										
学部専門教育科目	基礎実習科目	建築基礎実習1	1	1Q	2	38単位				74単位以上
		建築基礎実習2	1	2Q	2					
		建築基礎実習3	1	3Q	2					
		建築基礎実習4	1	4Q	2					
		建築基礎実習5	2	1Q	2					
		建築基礎実習6	2	2Q	2					
	応用実習科目	建築応用実習1	2	3Q	2					
		建築応用実習2	2	4Q	2					
		建築応用実習3	3	1Q	2					
		建築応用実習4	3	2Q	2					
建築社会実践実習1		3	1Q	1						
建築社会実践実習2		3	2Q	1						
卒業実習科目	建築社会実践実習3	3	3Q	1						
	建築社会実践実習4	3	4Q	1						
	建築応用実習5	3	3Q	2						
	建築応用実習6	3	4Q	2						
デザイン学部 基礎科目	卒業研究実習1	4	1Q	2	4単位				32単位以上	
	卒業研究実習2	4	2Q	2						
	卒業研究実習3	4	3Q	2						
	卒業論文・卒業制作	4	4Q	2						
デザイン学部 共通科目	卒業展示	4	4Q	2						
	デザイン概論1/国際文化概論1	1	1Q	1						
	デザイン概論2/国際文化概論2	1	2Q	1						
	デザイン史1/国際文化史1	1	3Q	1						
デザイン学部 共通科目	デザイン史2/国際文化史2	1	4Q	1						
	人間環境デザインプログラム科目									

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 (1年次から2年次)●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/○印)●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。(フレッシュャーズ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、キャリア1 合計18科目 18単位)
 ●学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(建築基礎実習1~6、建築応用実習1・2の8科目16単位、デザイン概論1・2、国際文化概論1・2、デザイン史1・2、国際文化史1・2より4科目4単位 合計12科目 20単位)
 (3年次から4年次/●印)●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(建築応用実習3~6、建築社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

人間環境デザインプログラム 履修モデル

人間環境デザインプログラム
 「企画力・行動力と建築の技術力を備え持った地域環境のリ・デザインできる専門家」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数		
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計	
導入プログラム	フレッシュャーズ・キャンプ	必修 1								2	
	クリエイティブ・ワークショップ	必修 1									
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修 1	デッサン2	選択 1	アカデミックスキル3	必修 1				11	
	コミュニケーションスキル2	必修 1	デッサン3	選択 1	アカデミックスキル4	必修 1					
	アカデミックスキル1	必修 1	デッサン4	選択 1							
	アカデミックスキル2	必修 1									
	デッサン1	必修 1									
	グラフィックデザインソフトスキル	必修 1									
グローバル科目	英語1/日本語1	必修 1	日本文化概論	必修 1	サステナビリティと社会	選択 2				13	
	英語2/日本語2	必修 1	Business English	選択 1	現代社会の諸問題	選択 2					
	英語3/日本語3	必修 1	English discussion	選択 1							
	英語4/日本語4	必修 1	English for studying abroad	選択 1							
リベラルアーツ科目	海外ショートプログラム入門	選択 1								8	
	自由論	必修 1	グローバル化と社会	必修 1							
	シティズンシップとダイバーシティ	必修 1	データサイエンス入門	必修 1							
	創造的思考法	必修 1	人権と教育	必修 1							
	情報と倫理	必修 1									
	情報科学概論	必修 1									
キャリア科目	キャリア1	必修 1								1	
社会実践力育成プログラム			海外ショートプログラム	選択 2			産学連携PBLプログラム1	選択 2		4	
マイナー科目	和の伝統文化論	選択 1	マンガ概論1	選択 1	マンガ特講2	選択 2	メディア表現史1	選択 1		11	
			マンガ特講1	選択 2			アフリカ・アジアリテラシー1	選択 2			
			マンガ史1	選択 1			美術史1	選択 1			
学部専門教育科目	建築基礎実習1	必修 2	建築基礎実習5	必修 2	建築応用実習3	必修 2	卒業研究実習1	必修 2		38	
	建築基礎実習2	必修 2	建築基礎実習6	必修 2	建築応用実習4	必修 2	卒業研究実習2	必修 2			
	建築基礎実習3	必修 2	建築応用実習1	必修 2	建築社会実践実習1	必修 1	卒業研究実習3	必修 2			
	建築基礎実習4	必修 2	建築応用実習2	必修 2	建築社会実践実習2	必修 1	卒業論文・卒業制作	必修 2			
					建築社会実践実習3	必修 1	卒業展示	必修 2			
					建築社会実践実習4	必修 1					
					建築応用実習5	必修 2					
					建築応用実習6	必修 2					
	国際文化概論1	選択 1									4
	国際文化概論2	選択 1									
	国際文化史1	選択 1									
	国際文化史2	選択 1									
自然環境演習	選択 1	マンガ業界論1	選択 1	アートマネジメント論1	選択 1	建築力学	選択 2		32		
建築計画	選択 2	マンガ業界論2	選択 1	アートマネジメント論2	選択 1	建築法規演習1	選択 1				
建築構法演習	選択 1	コンテンツビジネス1	選択 1	メディア産業論1	選択 1	施工演習1	選択 1				
日本建築史	選択 2	コンテンツビジネス2	選択 1	グローバルヒストリー概論	選択 2	西洋建築史	選択 2				
コンピューター演習	選択 1	多国籍企業論	選択 2	観光学総論	選択 2						
		デザイン英語1	選択 1	地球環境学概論1	選択 2						
		デザイン英語2	選択 1	グローバル関係概論	選択 2						

人間環境デザインプログラム 専門教育科目 科目一覧

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関					
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動	
人間環境デザイン基礎科目	Kgl11001	国際文化概論1	選択必修	講義	1	1	●	●			●	
	Kgl11002	国際文化概論2	選択必修	講義	1	1	●	●	●		●	
	Kgl11011	国際文化史1	選択必修	講義	1	1	●	●	●		●	
	Kgl11012	国際文化史2	選択必修	講義	1	1	●	●	●		●	
	Kgl11021	国際文化リテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●	
	Kgl11022	国際文化リテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●		●	
	Kgl21031	国際文化特講1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●	
	Kgl21032	国際文化特講2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●	
	Dfd11011	デザイン概論1	選択必修	講義	1	1	●					
	Dfd11031	デザイン概論2	選択必修	講義	1	1	●					
	Dfd11051	デザイン史1	選択必修	講義	1	1	●					
	Dfd11071	デザイン史2	選択必修	講義	1	1	●					
	Dfd11021	デザインリテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			
	Dfd11022	デザインリテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			
	Dfd21031	デザイン特講1	選択	講義	2	2・3・4	●					
	Dfd21032	デザイン特講2	選択	講義	2	2・3・4	●					
	Dhe11001	自然環境演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●	●				
	Dhe11011	国内インターンシップ	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●	●		
	Dhe31021	長期インターンシップ1	選択	演習	2	3・4	●		●	●		
	Dhe31022	長期インターンシップ2	選択	演習	2	3・4	●		●	●		
	Dhe31023	長期インターンシップ3	選択	演習	2	3・4	●		●	●		
	Dhe31024	長期インターンシップ4	選択	演習	2	3・4	●		●	●		
	Dhe31025	長期インターンシップ5	選択	演習	2	3・4	●		●	●		
	Dhe31026	長期インターンシップ6	選択	演習	2	3・4	●		●	●		
	基礎実習科目	Dhe10001	建築基礎実習1	必修	実習	2	1		●	●		
		Dhe10002	建築基礎実習2	必修	実習	2	1		●	●		
Dhe10003		建築基礎実習3	必修	実習	2	1		●	●		●	
Dhe10004		建築基礎実習4	必修	実習	2	1		●	●		●	
Dhe20005		建築基礎実習5	必修	実習	2	2		●	●		●	
Dhe20006		建築基礎実習6	必修	実習	2	2		●	●		●	
応用実習科目	Dhe20001	建築応用実習1	必修	実習	2	2		●	●		●	
	Dhe20002	建築応用実習2	必修	実習	2	2		●	●		●	
	Dhe30003	建築応用実習3	必修	実習	2	3		●	●	●	●	
	Dhe30004	建築応用実習4	必修	実習	2	3		●	●	●	●	

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
応用実習科目	Dhe20011	建築社会実践実習1	必修	実習	1	2			●	●	●
	Dhe20012	建築社会実践実習2	必修	実習	1	2			●	●	●
	Dhe30013	建築社会実践実習3	必修	実習	1	3			●	●	●
	Dhe30014	建築社会実践実習4	必修	実習	1	3			●	●	●
	Dhe30005	建築応用実習5	必修	実習	2	3		●	●	●	●
	Dhe30006	建築応用実習6	必修	実習	2	3		●	●	●	●
卒業実習科目	Dhe40021	卒業研究実習1	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dhe40022	卒業研究実習2	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dhe40023	卒業研究実習3	必修	実習	2	4		●	●	●	●
	Dhe40031	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●
	Dhe40041	卒業展示	必修	実習	2	4			●	●	
建築学科共通科目	Dar13011	身体空間論	選択	講義	1	1・2・3・4	●	●			
	Dar13021	建築計画	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Dar13031	一般構造	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Dar23041	西洋建築史	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dar23051	仮想空間論	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dar23061	住環境論	選択	講義	2	2・3・4	●		●		
	Dar13071	日本建築史	選択	講義	2	1・2・3・4	●				
	Dar23081	建築力学	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dar33091	環境工学	選択	講義	2	3・4	●				
	Dar33101	近現代建築史	選択	講義	2	3・4	●				
	Dar23111	建築構造	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dar33121	設備工学	選択	講義	2	3・4	●				
	Dar23131	伝統建築工法	選択	講義	2	2・3・4	●				
	Dar13141	建築構法演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dar13151	コンピューター演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●		
	Dar23161	仮想空間演習1	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dar23162	仮想空間演習2	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Dar23171	建築材料演習1	選択	演習	1	2・3・4	●		●	●	
	Dar23172	建築材料演習2	選択	演習	1	2・3・4	●		●	●	
	Dar33181	建築法規演習1	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar33182	建築法規演習2	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar33191	材料実験1	選択	演習	1	3・4	●	●	●	●	
	Dar33192	材料実験2	選択	演習	1	3・4	●	●	●	●	
	Dar33201	施工演習1	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar33202	施工演習2	選択	演習	1	3・4	●		●		
	Dar23211	測量演習	選択	演習	2	2・3・4	●		●		
Dar33221	積算演習	選択	演習	2	3・4	●		●			

人間環境デザインプログラム科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
〔グローバル地域研究科目〕	Kgl24411	地域研究入門	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs24001	地域研究特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24421	アフリカ地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24422	アフリカ地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24431	アジア地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24432	アジア地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24451	アメリカ地域研究1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
〔グローバル関係科目〕	Kgl24552	アメリカ地域研究2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24441	大洋州地域研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24561	欧州地域研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23001	グローバル関係概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23011	グローバルヒストリー概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23021	グローバルヒストリー特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs23031	多国籍企業論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgs23041	社会運動論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl24571	世界の宗教	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl24581	アフリカ・アジア関係論	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgs23051	国際政治学	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgs23061	国際社会の法秩序	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgs33071	人口動態論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
Kgs33081	人口政策論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●	
Kgs23091	比較社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●	
〔グローバル共生社会科目〕	Kgl23351	先住民族研究	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23101	ポストコロナ概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23361	国際開発論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgs23111	マイノリティ研究概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24591	グローバル・ビジネス論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl24501	グローバル化とメディア	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl33331	エイジング研究概論	選択	講義	2	3・4	●	●			●
	Kgl33341	子ども学概論	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl23291	地球環境学概論1	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●	●
	Kgl33292	地球環境学概論2	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl33293	地球環境学概論3	選択	講義	2	3・4	●	●		●	●
	Kgl23281	NGO論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23321	平和学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23311	市民社会論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
Kgl23301	人間の安全保障	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
【グローバル文化科目】	Kgl23401	観光学総論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23111	世界の文学1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23112	世界の文学2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23561	世界文化遺産	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23571	アフリカ美術	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23581	マテリアル・カルチャー概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23611	民族音楽論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23591	比較服飾文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23601	比較建築文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
【グローバル基礎講義科目】	Kgl13001	哲学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13011	倫理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl13021	心理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●
	Kgl23221	社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23231	社会調査法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23261	経済学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23101	批評理論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23241	ジェンダー論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl13031	宗教学	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●	●	●
	Kgl23251	社会思想史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23271	自然地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23381	文化政策論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23371	文化社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23201	西洋史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
Kgl23211	東洋史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●	
【日本文化科目】	Kgl23131	日本史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23171	日本地域史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23181	日本社会史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23191	日本・アジア関係史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23391	日本の文化遺産	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23141	歴史地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23151	京都の歴史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23161	日本民衆史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23091	日本文学史	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23041	漢文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23051	口承文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23071	書誌学	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23061	古典文法	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23081	書道	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●
	Kgl23121	古文書解読	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
【メディア表現講義科目】	Tmc11002	メディア表現概論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Tmc11012	メディア表現史2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Tmc26001	コンテンツビジネス1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Tmc26002	コンテンツビジネス2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Tmc26003	コンテンツビジネス3	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Tmc16011	サウンドスケープ論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16021	メディアアート論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16031	ゲームデザイン論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16041	ウェブデザイン論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16051	コンピュータ&ネットワーク論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16061	サブカルチャーとメディア	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16071	文化産業論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16081	メディア文化政策論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16091	広告メディア論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc16101	教育メディア論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Tmc26111	メディアミックス論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			
Tmc26121	ソーシャルメディア論	選択	講義	2	2・3・4	●	●				
【芸術講義科目】	Afa11002	美術概論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa11012	美術史2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22001	美術史特論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22002	美術史特論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22003	美術史特論3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22004	美術史特論4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22011	美術工芸史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22012	美術工芸史2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22013	美術工芸史3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22014	美術工芸史4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22021	現代社会システム論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22022	現代社会システム論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22031	芸術表象論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22032	芸術表象論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22041	芸術と哲学1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22042	芸術と哲学2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22051	美術解剖学1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22052	美術解剖学2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22061	視覚認知論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Afa22062	視覚認知論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
Afa22071	芸術と精神分析1	選択	講義	1	2・3・4	●					
Afa22072	芸術と精神分析2	選択	講義	1	2・3・4	●					

人間環境デザインプログラム 建築士資格取得指定科目一覧（2021年度以降入学者）

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
【芸術講義科目】	Afa32081	現代芸術論1	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32082	現代芸術論2	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32091	アートマネジメント論1	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32092	アートマネジメント論2	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32101	美術評論1	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32102	美術評論2	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa32111	作品と空間	選択	講義	1	3・4	●				
	Afa42111	表現研究特講	選択	講義	1	4	●				
【マンガ講義科目】	Mfm11002	マンガ概論2	選択	講義	1	2・3・4		●			●
	Mfm11012	マンガ史2	選択	講義	1	2・3・4	●				●
	Mfm22001	マンガ史3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22002	マンガ史4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22011	メディア産業論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Mfm22012	メディア産業論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Mfm22021	キャラクター造形論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Mfm22022	キャラクター造形論2	選択	講義	1	2・3・4	●			●	
	Mfm22023	キャラクター造形論3	選択	講義	1	2・3・4	●			●	
	Mfm22024	キャラクター造形論4	選択	講義	1	2・3・4		●	●		
	Mfm22031	アニメーション作品作家研究1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22032	アニメーション作品作家研究2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22033	アニメーション作品作家研究3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22034	アニメーション作品作家研究4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22041	マンガ業界論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Mfm22042	マンガ業界論2	選択	講義	1	2・3・4	●				●
	Mfm22051	海外コミックマンガ論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22052	海外コミックマンガ論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22061	比較マンガ論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22062	比較マンガ論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22071	新世代マンガ総合講座1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			●
	Mfm22072	新世代マンガ総合講座2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			●
	Mfm22081	日本アニメーション史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22082	日本アニメーション史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22091	世界アニメーション史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22092	世界アニメーション史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mfm22101	IP研究1	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
	Mfm22102	IP研究2	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
	Mfm22103	IP研究3	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
	Mfm22104	IP研究4	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●

指定科目の分類	指定科目	単位数	配当年次	一級建築士		二級建築士 木造建築士	
				必要実務経験年数	必要単位数	必要実務経験年数	必要単位数
建築設計製図	建築基礎実習3	2	1	7単位以上	3単位以上		
	建築基礎実習4	2	1				
	建築基礎実習5	2	2				
	建築基礎実習6	2	2				
	建築応用実習1	2	2				
	建築応用実習2	2	2				
	建築応用実習3	2	3				
	建築応用実習4	2	3				
	建築応用実習5	2	3				
建築環境工学	環境工学	2	3~4	2単位以上			
建築設備	設備工学	2	3~4	2単位以上			
	構造力学	2	2~4	4単位以上			
建築一般構造	一般構造	2	1~4	3単位以上			
	建築構法演習	1	1~4				
建築材料	材料実験1	1	3~4	2単位以上			
	材料実験2	1	3~4				
	建築材料演習1	1	2~4				
	建築材料演習2	1	2~4				
建築生産	伝統建築工法	2	2~4	2単位以上	1単位以上		
	施工演習1	1	3~4				
	施工演習2	1	3~4				
	積算演習	2	3~4				
建築法規	建築法規演習1	1	3~4	1単位以上	1単位以上		
	建築法規演習2	1	3~4				
その他	コンピューター演習	1	1~4	適宜	適宜		
	まちづくりデザイン1	1	2~4				
	まちづくりデザイン2	1	2~4				
	測量演習	2	2~4				
	ランドスケープデザイン論1	1	2~4				
	ランドスケープデザイン論2	1	2~4				
	京都のまちづくり	1	2~4				
	修得単位数 総合計					2年	60単位以上
				3年	50単位以上	1年	30単位以上
				4年	40単位以上	2年	20単位以上

マンガ学部 マンガ学科/アニメーション学科

ポリシーとカリキュラム構造

教育研究目的

マンガ学部の教育研究目的は、社会に存在する様々な課題解決にマンガやアニメーションの技術、表現力を用いて挑んでいける人間の育成です。マンガやアニメーションを中心とした種々の表現する力を身につけ、時代の変化や技術の進歩に即応し広く社会に貢献できる力を養います。卒業時に身につけているべき要素を以下の5つとし、卒業要件を満たせばこれらを身につけたものと認め、学位を授与します。

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

DP1	日々進化するマンガあるいはアニメーションに関する基本的な知識と理解がある。	知識と理解 knowledge & understanding
DP2	マンガやアニメーションが持つ新たな表現の可能性を探求し、デジタルネットワークを含めた未知なる表現領域を拓いてゆくことができる。	創造的思考と考察 creative thinking & observation
DP3	アナログ・デジタルを問わずマンガあるいはアニメーションについての専門知識と自己を表現できる制作技術を身につけている。	技術と表現 skills & expression
DP4	多様な他者との違いを認め、協働して課題解決に取り組むことができる。	他者理解と協働 mutual understanding & collaboration
DP5	より良い社会を創る意欲を持ち、学びを応用して社会の課題解決に自ら取り組むことができる。	社会への関心と行動 interests & action

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

京都精華大学は、学位授与の方針を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

教育内容、教育方法、学修成果の評価について以下のように定めます。

1 教育内容

マンガ学部専門教育科目では、

1年次には、マンガ、アニメーション領域の初歩的な知識や制作技法を包括的に学び、各分野の基礎知識を幅広く身につける科目を開講します。

2年次は各専門分野における重要な作品や最新の技術に触れる科目、専門的な知識・技法・考察能力を身につける科目を開講します。

3年次は各専門に沿った技術・知識をより深化させると共に、作品制作に必要となる実践的能力、作成した作品を検証、分析、練磨する能力を養う科目を開講します。

最終年次には、探究を自律的に計画・遂行し、その成果を公共的・学術的に表現する技法と作法を養うために卒業制作・卒業論文を課します。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

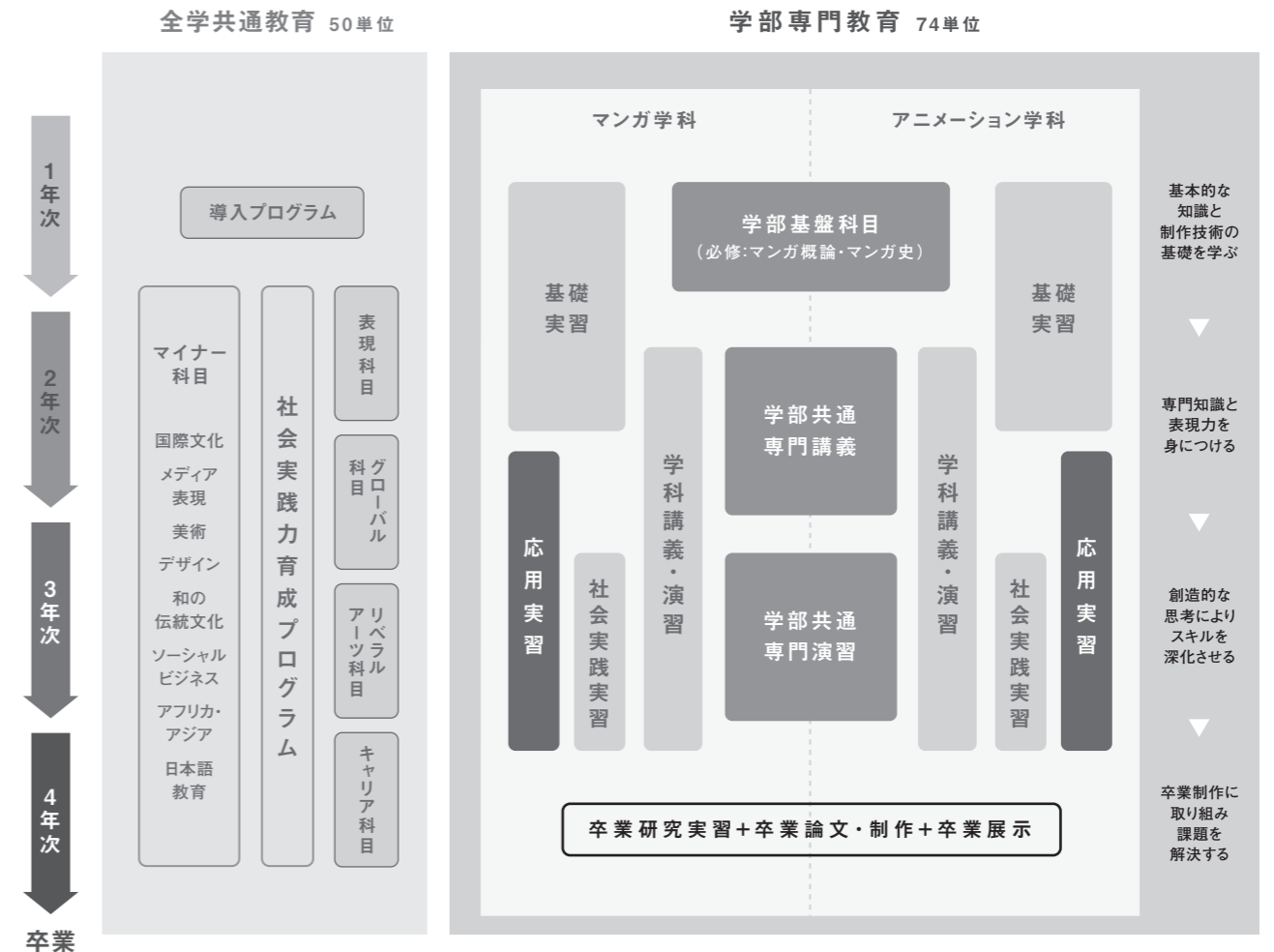
本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

(2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。



マンガ学部 共通専門教育科目 科目一覧

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
マンガ学部 基盤科目	Mfm11001	マンガ概論1	必修	講義	1	1	●	●			
	Mfm11002	マンガ概論2	必修	講義	1	1		●		●	
	Mfm11011	マンガ史1	必修	講義	1	1	●	●			
	Mfm11012	マンガ史2	必修	講義	1	1	●			●	
	Mfm11021	マンガリテラシー1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			
	Mfm11022	マンガリテラシー2	選択	講義	2	1・2・3・4	●			●	
	Mfm21031	マンガ特講1	選択	講義	2	2・3・4	●	●			
	Mfm21032	マンガ特講2	選択	講義	2	2・3・4	●	●			
	マンガ学部 共通科目	Mfm22001	マンガ史3	選択	講義	1	2・3・4	●			
Mfm22002		マンガ史4	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22011		メディア産業論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
Mfm22012		メディア産業論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
Mfm22021		キャラクター造形論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
Mfm22022		キャラクター造形論2	選択	講義	1	2・3・4	●		●		
Mfm22023		キャラクター造形論3	選択	講義	1	2・3・4	●		●		
Mfm22024		キャラクター造形論4	選択	講義	1	2・3・4		●	●		
Mfm22031		アニメーション作品作家研究1	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22032		アニメーション作品作家研究2	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22033		アニメーション作品作家研究3	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22034		アニメーション作品作家研究4	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22041		マンガ業界論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
Mfm22042		マンガ業界論2	選択	講義	1	2・3・4	●			●	
Mfm22051		海外コミックマンガ論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22052		海外コミックマンガ論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22061		比較マンガ論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22062		比較マンガ論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22071		新世代マンガ総合講座1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			●
Mfm22072		新世代マンガ総合講座2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			●
Mfm22081		日本アニメーション史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22082		日本アニメーション史2	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22091		世界アニメーション史1	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22092		世界アニメーション史2	選択	講義	1	2・3・4	●				
Mfm22101		IP研究1	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
Mfm22102		IP研究2	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
Mfm22103		IP研究3	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
Mfm22104		IP研究4	選択	講義	1	2・3・4	●			●	●
Mfm22111		イラスト講座1	選択	演習	1	2・3・4			●		
Mfm22112		イラスト講座2	選択	演習	1	2・3・4			●		

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
マンガ学部 共通科目	Mfm22121	コラボレーション演習1	選択	演習	1	2・3・4				●	●
	Mfm22122	コラボレーション演習2	選択	演習	1	2・3・4				●	●
	Mfm22123	コラボレーション演習3	選択	演習	1	2・3・4				●	●
	Mfm22124	コラボレーション演習4	選択	演習	1	2・3・4				●	●
	Mfm22131	絵本技法1	選択	演習	1	2・3・4		●	●		
	Mfm22132	絵本技法2	選択	演習	1	2・3・4		●	●		
	Mfm22133	絵本技法3	選択	演習	1	2・3・4		●	●		
	Mfm22134	絵本技法4	選択	演習	1	2・3・4		●	●		
	Mfm22141	シナリオ技法1	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Mfm22142	シナリオ技法2	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Mfm22143	シナリオ技法3	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Mfm22144	シナリオ技法4	選択	演習	1	2・3・4			●	●	
	Mfm22151	実用マンガ演習1	選択	演習	1	2・3・4			●		●
	Mfm22152	実用マンガ演習2	選択	演習	1	2・3・4			●		●
	Mfm22161	ゲーム作画演習1	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Mfm22162	ゲーム作画演習2	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Mfm22163	ゲーム作画演習3	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Mfm22164	ゲーム作画演習4	選択	演習	1	2・3・4	●	●	●		
	Mfm22171	人体研究1	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Mfm22172	人体研究2	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
Mfm22173	人体研究3	選択	演習	1	2・3・4	●		●			
Mfm22174	人体研究4	選択	演習	1	2・3・4	●		●			

マンガ学科

カートゥーンコース/ストーリーマンガコース/
新世代マンガコース/キャラクターデザインコース

マンガ学部 マンガ学科 カリキュラムマップ

マンガ学部 マンガ学科 卒業要件

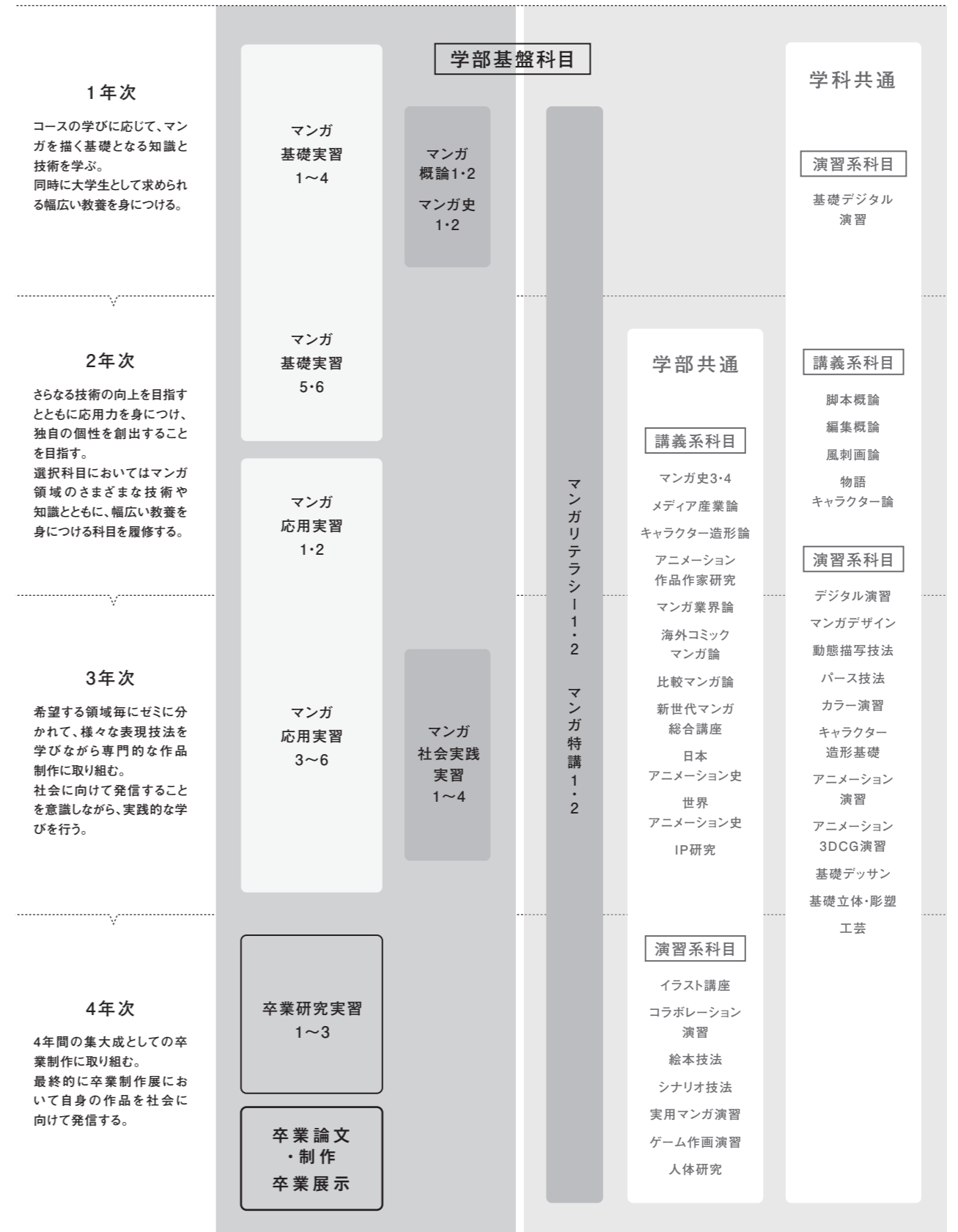
科目区分	必修科目				選択必修科目			選択科目	卒業に要する 単位(計)	
	進級 要件	科目名称	配当 年次	単 位 数	進級 要件	科目名称	単 位 数	小計		
全学共通教育科目	導入プログラム	○ フレッシュアップ・キャンプ	1	1Q	1				50 単位 以上	
		○ クリエイティブ・ワークショップ	1	2Q	1					
	表現科目	○ コミュニケーションスキル1	1	1Q	1	24 単位				14 単位 以上 (※)
		○ コミュニケーションスキル2	1	3Q	1					
		○ アカデミックスキル1	1	2Q	1					
		○ アカデミックスキル2	1	4Q	1					
		○ アカデミックスキル3	3	3Q	1					
		○ アカデミックスキル4	3	4Q	1					
		○ デッサン1	1	1Q	1					
	○ グラフィックデザインソフトスキル	1	2Q	1						
	グローバル科目	○ 日本文化概論	2	3Q	1					
		○ 英語1/日本語1	1	1Q	1					
		○ 英語2/日本語2	1	2Q	1					
		○ 英語3/日本語3	1	3Q	1					
	リベラルアーツ 科目	○ 英語4/日本語4	1	4Q	1					
		○ 自由論	1	3Q	1					
		○ シティズンシップとダイバーシティ	1	4Q	1					
		○ 創造的思考法	1	3Q	1					
○ 情報と倫理		1	1Q	1						
○ 人権と教育		2	1Q	1						
○ グローバル化と社会		2	2Q	1						
キャリア科目	○ 情報科学概論	1	2Q	1						
	○ データサイエンス入門	2	1Q	1						
○ キャリア1	1	1Q	1							
社会実践力 育成プログラム								2単位 以上		
マイナー科目								10単位 以上		
学部専門教育科目	基礎実習科目	○ マンガ基礎実習1	1	1Q	2	38 単位			74 単位 以上	
		○ マンガ基礎実習2	1	2Q	2					
		○ マンガ基礎実習3	1	3Q	2					
		○ マンガ基礎実習4	1	4Q	2					
		○ マンガ基礎実習5	2	1Q	2					
		○ マンガ基礎実習6	2	2Q	2					
	応用実習科目	○ マンガ応用実習1	2	3Q	2					
		○ マンガ応用実習2	2	4Q	2					
		● マンガ応用実習3	3	1Q	2					
		● マンガ応用実習4	3	2Q	2					
		● マンガ社会実践実習1	3	2Q	1					
		● マンガ社会実践実習2	3	2Q	1					
	卒業実習科目	● マンガ社会実践実習3	3	2Q	1					
		● マンガ社会実践実習4	3	2Q	1					
		● マンガ応用実習5	3	3Q	2					
		● マンガ応用実習6	3	4Q	2					
		○ 卒業研究実習1	4	1Q	2					
		○ 卒業研究実習2	4	2Q	2					
マンガ学部 基礎科目	○ 卒業研究実習3	4	3Q	2						
	○ 卒業論文・卒業制作	4	4Q	2						
	○ 卒業展示	4	4Q	2						
	○ マンガ概論1	1	1Q	1	4 単位			32 単位 以上		
○ マンガ概論2	1	2Q	1							
○ マンガ史1	1	3Q	1							
○ マンガ史2	1	4Q	1							
マンガ学部 共通科目										
マンガ学部 共通科目										

(※)同一科目区分内の選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位分を選択科目の修得単位とみなす。

進級要件
 (1年次から2年次)●1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること。
 (2年次から3年次/印)●全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること。(フレッシュアップ・キャンプ、クリエイティブ・ワークショップ、コミュニケーションスキル1・2、アカデミックスキル1・2、デッサン1、グラフィックデザインスキル、英語または日本語1~4、自由論、シティズンシップとダイバーシティ、創造的思考法、情報と倫理、情報科学概論、キャリア1 合計18科目 18単位)
 ●学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること。(マンガ基礎実習1~6、マンガ応用実習1・2、マンガ概論1・2、マンガ史1・2 合計12科目 20単位)
 (3年次から4年次/●印)●学部専門3年次必修科目の12単位をすべて修得していること。(マンガ応用実習3~6、マンガ社会実践実習1~4 合計8科目 12単位)

必修科目

選択科目



マンガ学部 マンガ学科 履修モデル

マンガ学部 マンガ学科
 「アートと教養をむすびつけた深みのある作品を描くマンガ家志望の学生」

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		取得単位数					
	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	科目名	必修/選択/単位数	合計	合計				
全学共通教育科目	導入プログラム	フレッシュアーズ・キャンプ 必修 1 クリエイティブ・ワークショップ 必修 1								2				
	表現科目	コミュニケーションスキル1 必修 1 コミュニケーションスキル2 必修 1 アカデミックスキル1 必修 1 アカデミックスキル2 必修 1 デッサン1 必修 1 グラフィックデザインソフトスキル 必修 1	現代美術概論 選択 2	アカデミックスキル3 必修 1 アカデミックスキル4 必修 1	表現と倫理 選択 2					12				
		グローバル科目	英語1/日本語1 必修 1 英語2/日本語2 必修 1 英語3/日本語3 必修 1 英語4/日本語4 必修 1	日本文化概論 必修 1 現代社会の諸問題 選択 2							7			
			リベラルアーツ科目	自由論 必修 1 シティズンシップとダイバーシティ 必修 1 創造的思考法 必修 1 情報と倫理 必修 1 情報科学概論 必修 1 障害論 選択 2 民俗学 選択 2 生物学 選択 2	グローバル化と社会 必修 1 データサイエンス入門 必修 1 人権と教育 必修 1							14		
				キャリア科目	キャリアA1 必修 1		ポートフォリオ実習1 選択 1 ポートフォリオ実習2 選択 1					3		
				社会実践力育成プログラム		国内ショートプログラム(工芸イベント運営体験) 選択 2						2		
		マイナー科目			美術概論1 選択 1 美術史1 選択 1 美術リテラシー1 選択 2 美術リテラシー2 選択 2	美術特講1 選択 2 美術特講2 選択 2						10		
	基礎実習科目・ 応用実習科目・ 卒業実習科目			マンガ基礎実習1 必修 2 マンガ基礎実習2 必修 2 マンガ基礎実習3 必修 2 マンガ基礎実習4 必修 2	マンガ基礎実習5 必修 2 マンガ基礎実習6 必修 2 マンガ応用実習1 必修 2 マンガ応用実習2 必修 2	マンガ応用実習3 必修 2 マンガ応用実習4 必修 2 マンガ社会実践実習1(マンガ家アシスタント業務体験) 必修 1 マンガ社会実践実習1(マンガ家アシスタント業務体験) 必修 1 マンガ社会実践実習1(マンガ家アシスタント業務体験) 必修 1 マンガ社会実践実習1(マンガ家アシスタント業務体験) 必修 1 マンガ応用実習5 必修 2 マンガ応用実習6 必修 2	卒業研究実習1 必修 2 卒業研究実習2 必修 2 卒業研究実習3 必修 2 卒業論文・卒業制作 必修 2 卒業展示 必修 2					38		
				マンガ学部 基盤科目	マンガ概論1 必修 1 マンガ概論2 必修 1 マンガ史1 必修 1 マンガ史2 必修 1								4	
			基礎デジタル演習1 選択 1 基礎デジタル演習2 選択 1		キャラクター造形論1 選択 1 キャラクター造形論2 選択 1 キャラクター造形論3 選択 1 キャラクター造形論4 選択 1	マンガ業界論1 選択 1 マンガ業界論2 選択 1 シナリオ技法1 選択 1 シナリオ技法2 選択 1	世界アニメーション史1 選択 1 世界アニメーション史2 選択 1 実用マンガ演習1 選択 1 実用マンガ演習2 選択 1							
		専門 選択科目 (講義・演習)			海外コミックマンガ論1 選択 1 海外コミックマンガ論2 選択 1 脚本概論1 選択 1 脚本概論2 選択 1 脚本概論3 選択 1 脚本概論4 選択 1 マンガデザイン1 選択 1 マンガデザイン2 選択 1 マンガデザイン3 選択 1 マンガデザイン4 選択 1	シナリオ技法3 選択 1 シナリオ技法4 選択 1 カラー演習1 選択 1 カラー演習2 選択 1 カラー演習3 選択 1 カラー演習4 選択 1 物語キャラクター論1 選択 1 物語キャラクター論2 選択 1								32

マンガ学部 マンガ学科 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの関連				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
基礎実習科目	※各コース別コード	マンガ基礎実習1	必修	実習	2	1	●		●		
	※各コース別コード	マンガ基礎実習2	必修	実習	2	1	●		●		
	※各コース別コード	マンガ基礎実習3	必修	実習	2	1	●		●		
	※各コース別コード	マンガ基礎実習4	必修	実習	2	1	●		●		
	※各コース別コード	マンガ基礎実習5	必修	実習	2	2	●		●		
	※各コース別コード	マンガ基礎実習6	必修	実習	2	2	●		●		
応用実習科目	※各コース別コード	マンガ応用実習1	必修	実習	2	2		●	●		
	※各コース別コード	マンガ応用実習2	必修	実習	2	2		●	●		
	※各コース別コード	マンガ応用実習3	必修	実習	2	3		●	●		
	※各コース別コード	マンガ応用実習4	必修	実習	2	3		●	●		
	※各コース別コード	マンガ実践実習1	必修	実習	1	3				●	●
	※各コース別コード	マンガ実践実習2	必修	実習	1	3				●	●
卒業実習科目	※各コース別コード	マンガ実践実習3	必修	実習	1	3				●	●
	※各コース別コード	マンガ実践実習4	必修	実習	1	3				●	●
	※各コース別コード	マンガ応用実習5	必修	実習	2	3		●	●		
	※各コース別コード	マンガ応用実習6	必修	実習	2	3		●	●		
	※各コース別コード	卒業研究実習1	必修	実習	2	4	●	●	●		
	※各コース別コード	卒業研究実習2	必修	実習	2	4	●	●	●		
※各コース別コード	卒業研究実習3	必修	実習	2	4	●	●	●			
※各コース別コード	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4	●	●	●			
※各コース別コード	卒業展示	必修	実習	2	4				●	●	

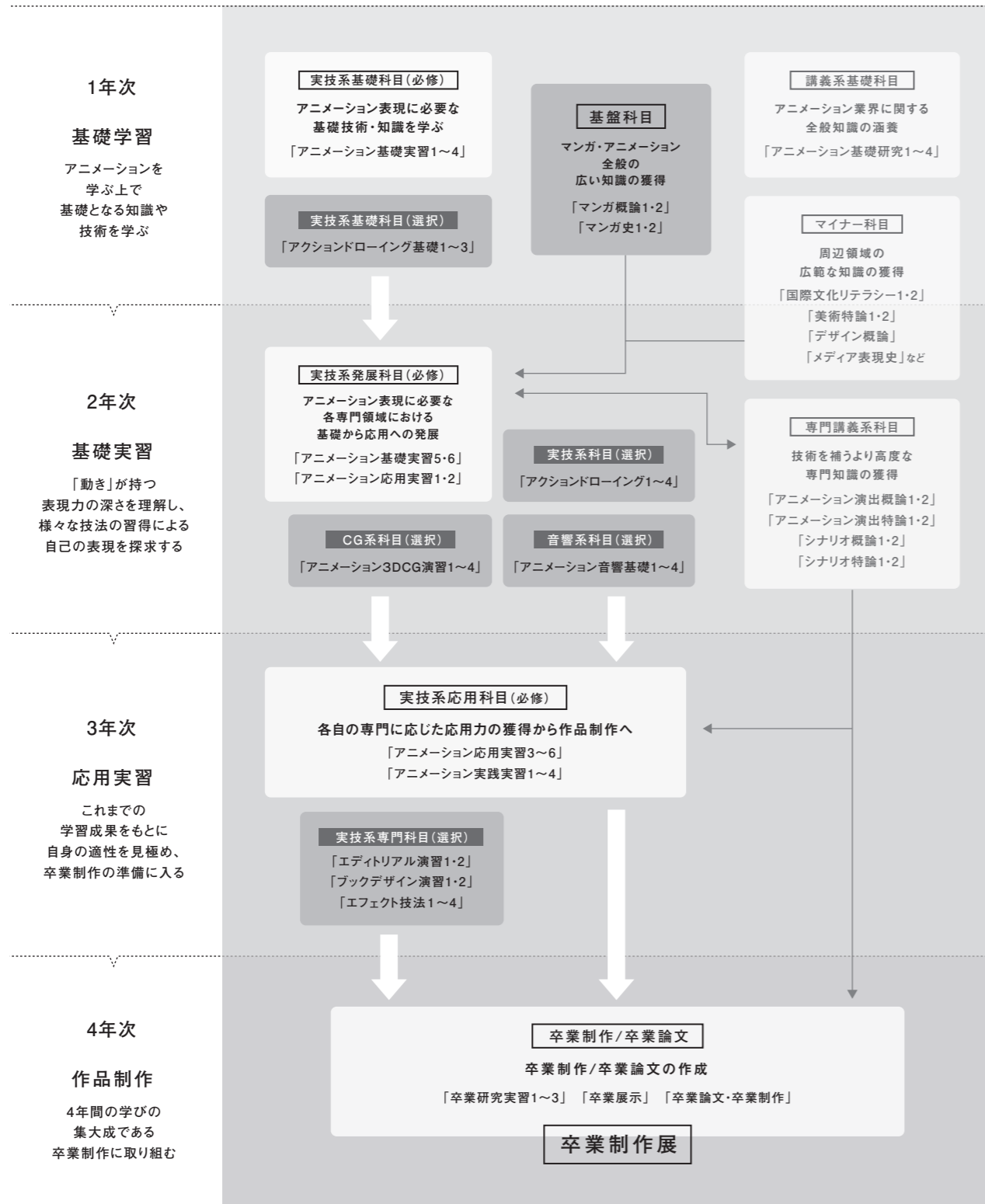
専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの関連				
							DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
マンガ学科 共通科目	Mdm23001	脚本概論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23002	脚本概論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23003	脚本概論3	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23004	脚本概論4	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23011	編集概論1	選択	講義	1	2・3・4	●				●
	Mdm23012	編集概論2	選択	講義	1	2・3・4	●				●
	Mdm23013	編集概論3	選択	講義	1	2・3・4	●				●
	Mdm23014	編集概論4	選択	講義	1	2・3・4	●				●
	Mdm23021	風刺画論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23022	風刺画論2	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23031	物語キャラクター論1	選択	講義	1	2・3・4	●				
	Mdm23032	物語キャラクター論2	選択	講義	1	2・3・4		●			

マンガ学部 アニメーション学科 カリキュラムマップ

教育目標

- 観察を通し「動き」の本質を理解した上で、動きの持つ言語性、芝居の重要性にも着目する。
また、それを作画、CG、ストップモーション等様々な表現手法で伝える基本的な技術・知識の習得を目指す。
- プロダクションのみならず作品制作に必要なプリプロダクション、ポストプロダクション領域も含めた全般的な技術・知識の獲得も重視し、作品制作を俯瞰的に見ことのできる能力を身につける。



マンガ学部 アニメーション学科 履修モデル



マンガ学部 アニメーション学科

「基本的なアニメート能力を身につけ、将来アニメーション業界で仕事に就きたい学生」

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数
	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	
導入プログラム	フレッシューズ・キャンプ	必修	1										2
	クリエイティブ・ワークショップ	必修	1										
表現科目	コミュニケーションスキル1	必修	1	美学概論	選択	2	アカデミックスキル3	必修	1				12
	コミュニケーションスキル2	必修	1				アカデミックスキル4	必修	1				
	アカデミックスキル1	必修	1				表現と知的財産権	選択	2				
	アカデミックスキル2	必修	1										
	デッサン1	必修	1										
	グラフィックデザインソフトスキル	必修	1										
グローバル科目	英語1/日本語1	必修	1	日本文化概論	必修	1							8
	英語2/日本語2	必修	1	English discussion	選択	1							
	英語3/日本語3	必修	1										
	英語4/日本語4	必修	1										
	海外ショートプログラム入門	選択	2										
リベラルアーツ科目	自由論	必修	1	グローバル化と社会	必修	1	人類と人工知能	選択	2				14
	シティズンシップとダイバーシティ	必修	1	データサイエンス入門	必修	1							
	創造的思考法	必修	1	人権と教育	必修	1							
	情報と倫理	必修	1	身体表現論	選択	2							
	情報科学概論	必修	1										
キャリア科目	キャリア1	必修	1				クリエイティブの現場	選択	2			3	
社会実践力育成プログラム				海外ショートプログラム (shared Campus)	選択	2						2	
マイナー科目				メディア表現概論1	選択	1	メディア表現特講1	選択	2				11
				メディア表現史1	選択	1	メディア表現特講2	選択	2				
				アフリカ・アジア史	選択	1	アフリカ・アジアリテラシー1	選択	2				
							アフリカ・アジアリテラシー2	選択	2				
基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目	アニメーション基礎実習1	必修	2	アニメーション基礎実習5	必修	2	アニメーション応用実習3	必修	2	卒業研究実習1	必修	2	38
	アニメーション基礎実習2	必修	2	アニメーション基礎実習6	必修	2	アニメーション応用実習4	必修	2	卒業研究実習2	必修	2	
	アニメーション基礎実習3	必修	2	アニメーション応用実習1	必修	2	アニメーション実践実習1	必修	1	卒業研究実習3	必修	2	
	アニメーション基礎実習4	必修	2	アニメーション応用実習2	必修	2	アニメーション実践実習2	必修	1	卒業論文・卒業制作	必修	2	
							アニメーション実践実習3	必修	1	卒業展示	必修	2	
							アニメーション実践実習4	必修	1				
						アニメーション応用実習5	必修	2					
						アニメーション応用実習6	必修	2					
マンガ学部基盤科目	マンガ概論1	必修	1										4
	マンガ概論2	必修	1										
	マンガ史1	必修	1										
	マンガ史2	必修	1										
学部専門教育科目	アニメーション基礎研究1	選択	1	アニメーション3DCG演習1	選択	1	日本アニメーション史1	選択	1				35
	アニメーション基礎研究2	選択	1	アニメーション3DCG演習2	選択	1	日本アニメーション史2	選択	1				
	アニメーション基礎研究3	選択	1	アニメーション3DCG演習3	選択	1	世界アニメーション史1	選択	1				
	アニメーション基礎研究4	選択	1	アニメーション3DCG演習4	選択	1	世界アニメーション史2	選択	1				
	アクションドローイング基礎1	選択	1	アクションドローイング1	選択	1	ゲーム作画演習1	選択	1				
	アクションドローイング基礎2	選択	1	アクションドローイング2	選択	1	ゲーム作画演習2	選択	1				
	アクションドローイング基礎3	選択	1	アクションドローイング3	選択	1	ゲーム作画演習3	選択	1				
				アクションドローイング4	選択	1	ゲーム作画演習4	選択	1				
				アニメーション演出概論1	選択	1	エフェクト技法1	選択	1				
				アニメーション演出概論2	選択	1	エフェクト技法2	選択	1				
				アニメーション演出概論3	選択	1	エフェクト技法3	選択	1				
				アニメーション演出概論4	選択	1	エフェクト技法4	選択	1				
				人体研究1	選択	1							
				人体研究2	選択	1							
			人体研究3	選択	1								
			人体研究4	選択	1								

マンガ学部 アニメーション学科 専門教育科目 科目一覧

専門実習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
基礎実習科目	Man10001	アニメーション基礎実習1	必修	実習	2	1	●		●		
	Man10002	アニメーション基礎実習2	必修	実習	2	1	●		●		
	Man10003	アニメーション基礎実習3	必修	実習	2	1	●		●		
	Man10004	アニメーション基礎実習4	必修	実習	2	1	●		●		
	Man20005	アニメーション基礎実習5	必修	実習	2	2	●	●	●		
	Man20006	アニメーション基礎実習6	必修	実習	2	2	●	●	●		
応用実習科目	Man20001	アニメーション応用実習1	必修	実習	2	2		●	●		
	Man20002	アニメーション応用実習2	必修	実習	2	2		●	●		
	Man30003	アニメーション応用実習3	必修	実習	2	3		●	●		
	Man30004	アニメーション応用実習4	必修	実習	2	3		●	●		
	Man30011	アニメーション実践実習1	必修	実習	1	3		●		●	●
	Man30012	アニメーション実践実習2	必修	実習	1	3		●		●	●
	Man30013	アニメーション実践実習3	必修	実習	1	3		●		●	●
	Man30014	アニメーション実践実習4	必修	実習	1	3		●		●	●
	Man30005	アニメーション応用実習5	必修	実習	2	3		●	●		
	Man30006	アニメーション応用実習6	必修	実習	2	3		●	●		
卒業実習科目	Man40021	卒業研究実習1	必修	実習	2	4	●	●	●		
	Man40022	卒業研究実習2	必修	実習	2	4	●	●	●		
	Man40023	卒業研究実習3	必修	実習	2	4	●	●	●		
	Man40031	卒業論文・卒業制作	必修	成果評定	2	4	●	●	●		
	Man40041	卒業展示	必修	実習	2	4				●	●

専門講義・演習科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	履修年次	ディプロマ・ポリシーとの相関				
							DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
							知識と理解	創造的思考と考察	技術と表現	他者理解と協働	社会への関心と行動
アニメーション学科共通科目	Man13001	アニメーション基礎研究1	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Man13002	アニメーション基礎研究2	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Man13003	アニメーション基礎研究3	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Man13004	アニメーション基礎研究4	選択	講義	1	1・2・3・4	●				
	Man13011	アクションドローイング基礎1	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Man13012	アクションドローイング基礎2	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Man13013	アクションドローイング基礎3	選択	演習	1	1・2・3・4			●		
	Man23021	アニメーション演出概論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23022	アニメーション演出概論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23033	アニメーション演出特論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23034	アニメーション演出特論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23041	シナリオ概論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23042	シナリオ概論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23051	シナリオ特論1	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23052	シナリオ特論2	選択	講義	1	2・3・4	●	●			
	Man23061	アニメーション3DCG演習1	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23062	アニメーション3DCG演習2	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23063	アニメーション3DCG演習3	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23064	アニメーション3DCG演習4	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23071	アニメーション音響基礎1	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23072	アニメーション音響基礎2	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23073	アニメーション音響基礎3	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23074	アニメーション音響基礎4	選択	演習	1	2・3・4	●		●		
	Man23081	アクションドローイング1	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Man23082	アクションドローイング2	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Man23083	アクションドローイング3	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Man23084	アクションドローイング4	選択	演習	1	2・3・4			●		
	Man33091	エディトリアル演習1	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33092	エディトリアル演習2	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33101	ブックデザイン演習1	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33102	ブックデザイン演習2	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33111	エフェクト技法1	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33112	エフェクト技法2	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33113	エフェクト技法3	選択	演習	1	3・4			●		
	Man33114	エフェクト技法4	選択	演習	1	3・4			●		
	Mfm23011	基礎立体・彫塑	選択	演習	2	2・3・4			●		
	Mfm23021	工芸	選択	演習	2	2・3・4			●		

大学院

GRADUATE SCHOOL

P168 大学院での学修について

P172 博士前期課程・修士課程

P182 博士後期課程

教育方針

大学院での学修について

大学院における2年間ないし3年間の課程では、「何を学び、何を身につけるか」という基本的な研究テーマと姿勢をもち、自ら研究計画を立て、取り組んでいく必要があります。

博士前期課程・修士課程

博士前期課程・修士課程の授業は、京都精華大学大学院の理念・目標を実現するために、2年間で体系的に修学できるように科目が配置されています。従って、どの授業科目をどの学年で履修するかをよく考えて履修計画を立てることが必要です。

博士後期課程

前期課程で養われた芸術分野への幅広い視野と専門分野への深い洞察を基盤として、3年間の課程における自らの研究計画を遂行します。制作と理論とのバランスがとれた調和ある研究をめざし、各分野において豊富な経験を有する指導教員から、博士論文作成および作品制作における指導を受けます。

人文学研究科 修士課程 教育の方針

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

認知的領域	知識・理解	研究課題を人文科学の基礎概念と展開の中で位置づけ、研究領域に必要な知識を理解している。
	思考・判断	既存の枠組みを超える新しい視点を想起することができる。
技能表現領域	技能・表現	状況に応じた、実践的な言語・文章表現技術を修得している。
情意的領域	関心・意欲	既存の知の水準を乗り越える構想を準備するための姿勢を身につけている。
	態度	社会の一員としての自覚を持ち、文化的状況を把握しながら、世界と人類の未来を考えようとする態度を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成の方針)

人文学領域特有の広範な研究対象から、学生が独自の観点と問題意識を持ちテーマを深めることを支援するよう教育課程を編成する。また自らの専門領域を越え、異なる立場の多様な知見を吸収できる体制を整える。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

人文学研究科の研究領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。

芸術研究科 博士前期課程 教育の方針

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

認知的領域	知識・理解	諸芸術及び文化表現の歴史と現在の動向を正確に理解している。
	思考・判断	独創的かつ普遍的な表現領域の可能性を探索し、それによってどのようなメッセージを発信できるかを考察できる。
技能表現領域	技能・表現	自らの表現意図に沿って、適切な素材とテーマを選択し、状況に応じた柔軟で応用力のある制作技術、理論構築力を獲得している。
情意的領域	関心・意欲	「人間とはどのような存在であるのか」を常に問い、自らの芸術表現と時代・社会との関係性を意識し続けることができる。
	態度	自ら設定したテーマを、自分に相応しい表現方法と発表形式で具体化しようとする努力を怠らない。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成の方針)

専門知識・技能を体系的に履修するとともに、批評や議論、プロジェクトなど制作以外の活動を通して、学際的な分野への対応能力を含めた専門応用能力を培うよう教育課程を編成する。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

芸術研究科の各専門領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。

芸術研究科 博士後期課程 教育の方針

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

専ら理論研究を行う者については、多様性に開かれた芸術領域において、学術的見識を高め、専門性に基づく独創的な理論研究を行い芸術の発展に貢献することが求められる。芸術・表現の実践、デザイン提案・制作等を行う者については、個々の専門領域における特殊性や高度な技能、技術、メディア等についての実践的研究を行うとともに、併行してそれらに関連する理論研究を行うことが求められる。また、それにより新たな芸術・表現、及びデザイン研究の発展の可能性やその深化に貢献することが求められる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成の方針)

幅広い芸術研究領域を以下の3つの領域と研究目的に整理し、学生はいずれかに所属して各自の研究を深化させる。

ファインアーツ領域	古典的・近代的・今日的な芸術表現を対象に研究する。あるいは新たな芸術作品の可能性を追求する。
デザイン領域	現実社会との関係を持ちながら物や情報の美的性質や機能的合理性などを研究する。あるいはデザイン提案・制作を追求する。
メディア領域	意識や身体性の拡張を促す多様なメディア表現の研究を行う。あるいは新たなメディア芸術・表現の可能性を追求する。

学生に対する指導体制は、各自が所属する専門領域から選ばれる主査と専門領域の内外から選ばれる副査、および理論科目担当教員から選ばれる副査による合同指導体制とする。学生は実践と理論の両面から指導を受けることで見識を高める機会を得るとともに、現在における芸術・表現、およびデザイン領域における個々の課題が内包する多様な側面を複合的に捉え、自らの研究を深化させる。学生はそれぞれの領域に関する実践や理論研究において、国内外での研究水準を見据えるとともに、対外的な場における高度かつ専門的な実践、提案・制作等を試み、あるいは理論研究の発表を行うことによりその検証を目指す。博士論文の執筆において、学生は個々の理論研究およびそれぞれの領域に関する実践を踏まえ、高度な専門性の理論化と独創性を追究し、専門領域の発展に資する内容を目指す。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

芸術領域、デザイン領域、メディア領域の研究に強い関心を持ち、将来学術研究者として新たな研究の領域を摸索していくことに強い意志を持つ者、研究・制作面において自立的に活動を実践するための能力を有する者、を広く国内外から受け入れる。

デザイン研究科 修士課程 教育の方針

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

認知的領域	知識・理解	デザイン領域の歴史と世界的動向を理解し、専門知識と理論の両面を身につけている。
	思考・判断	社会や環境動向に深い関心を持ち、さまざまな領域を関連付けて考え、的確に判断し表現することができる。
技能表現領域	技能・表現	最新のテクノロジーを身につけ、研究を通して得られた知識や技術を融合し、高度な表現で提案できる。
情意的領域	関心・意欲	国際感覚および鋭敏な情報受容力を持ち、積極的に情報を発信し続ける意欲と関心を持っている。
	態度	社会の一員としての自覚を持ち、創造的なコミュニケーションがとれ、常に時代を牽引しようとする努力を怠らない。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

デザイン専攻	デザイン領域における高度な専門知識・技能を体系的に履修するとともに、デザイナー志向、プロデューサー志向および研究者志向に実践的に対応した教育課程を編成する。
建築専攻	建築領域における高度な専門知識・技能を体系的に履修するとともに、建築家および空間デザイナー志向に実践的に対応した教育課程を編成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

デザイン研究科デザイン専攻あるいは建築専攻の専門領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。

マンガ研究科 博士前期課程 教育の方針

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

理論系	認知的領域	知識・理解	国内外におけるマンガ・アニメ研究の知識とその分析力を持ち、日本語とITスキルの面での発表能力を有している。
		思考・判断	常にマンガ・アニメという視点から表現・文化・社会の学術的探求を進め、その成果を他分野や他国に対して発表する能力を有している。
	技能表現領域	技能・表現	マンガ・アニメ文化とその研究の現状に応じた形で研究問題を設定し、他分野に通じる根拠のある研究成果を発表している。
実技系	情意的領域	関心・意欲	研究の学術性を尊重する姿勢と、最先端の問題提起を行おうとする意欲を併せ持ち、それに必要な学習を自主的に行い続けている。
		態度	制作現場と読者との対話を重視しながら、マンガ・アニメ文化をめぐる幅広い社会的交流を促進している。
実技系	認知的領域	知識・理解	国内外のマンガとその環境についての知識を制作活動に応用すると同時に、制作を発表する日本語力とITスキルを有している。
		思考・判断	マンガに対する知識を制作と理論の両面から融合させ、他分野や他国の作家と交流することによって自らの視野を広げている。
	技能表現領域	技能・表現	高度な技能と構想力に基づき、グローバル化と情報化の下で変容しつつあるマンガ文化に貢献できる制作活動をしている。
実技系	情意的領域	関心・意欲	既存のマンガ表現の枠に収まらない表現欲求と創造力を併せ持ち、常にその向上を目指している。
		態度	チームワークを尊重しながら、世界的な視野から国内外のマンガ文化に積極的に貢献する姿勢を示している。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

マンガ領域における高度な専門知識・技能を体系的に履修するとともに、実技・研究の両面において、「作家志向」、「研究者志向」および「高度専門職業人志向」に実践的に対応した教育課程を編成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

理論系	マンガ・アニメーションの先行研究をめぐる基礎知識、および学術論文の作成能力を持つ者。広義のマンガ領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。
実技系	マンガ領域における専門知識・技能について理解する能力があり、作品制作において高い構想力を持つ者。将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。

マンガ研究科 博士後期課程 教育の方針

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

修士の学位に必要な条件に加えて、一層高度な専門性を身につけ、研究者や表現者として独創的な活動を行える能力を身につけていること。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

- マンガ領域における高度な専門知識と表現技術の両方にかかわる問題意識と研究視野を備えさせるために、制作現場での経験が豊富な作家と人文・社会科学の研究者の協働による研究指導を実施する。
- 学生の自律的研究を強化するために、学生が積極的に参加できるゼミ形式の授業を行う。
- 学生の個性と研究テーマの独創性を尊重する指導を行う。
- 研究の持続と発展に不可欠なコミュニケーション能力と、客観的かつ広範な学識を身につけさせるために、国内外での発表の機会を積極的に教育課程に取り入れる。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

- マンガ・アニメーションに関する高度な表現の技術や理論を研究しようとする人。
- 学術論文を執筆するための基礎学力とマンガ・アニメーションの先行研究における幅広い知識を持ち、他領域との接続や融合による多角的な視点で研究する能力を有する人。
- 自立して創作、研究活動を持続し、文化の創造と発展に寄与しようとする人。

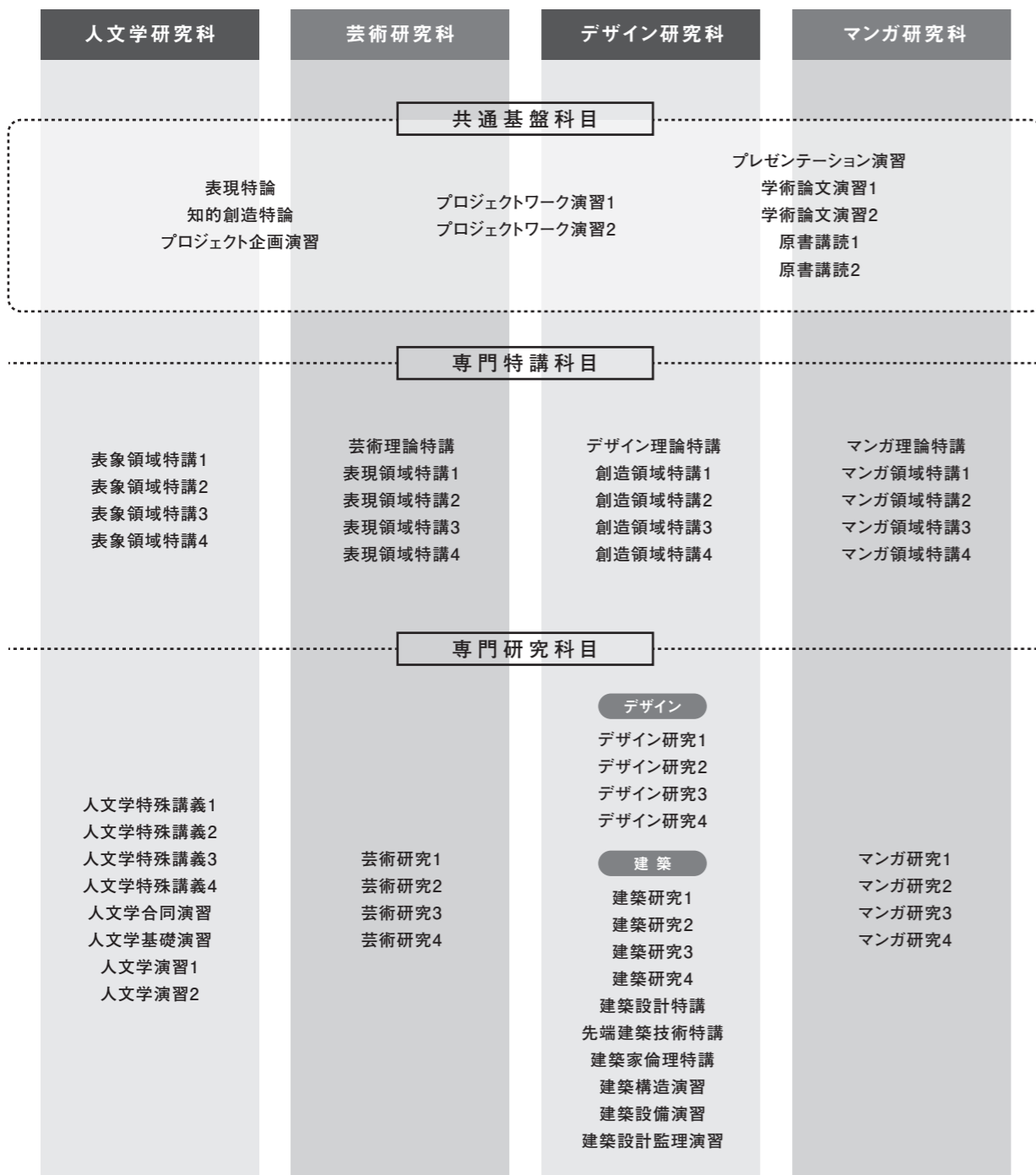
博士前期課程・修士課程

カリキュラム構成

京都精華大学大学院の教育課程の大きな特長は、研究科や領域、そして作家／研究者の違いも超えて、立場の異なる者が交流しながら学べることです。

まず、4研究科を横断する「共通基盤科目」では、表現の根本思想・哲学を学ぶ「表現特論」、表現の創造過程を学び多様なイメージ形成能力の育成をはかる「知的創造特論」のほか、社会に展開するプロジェクトを運営するための企画力を養う科目、実際に学外団体とのコラボレーションを行う実践的な科目など、社会と連携したプログラムが設置されています。

また、各研究科の専門的な講義科目である「専門特講科目」においては、個々の研究テーマに沿って他研究科の科目を受講することができます。「専門研究科目」では、各領域において各自の研究テーマに沿った作品制作、理論研究を行います。



博士前期課程（修士課程）修了要件

人文学研究科／芸術研究科デザイン研究科／マンガ研究科

授業科目群	備考	修了要件
共通基盤科目	必修2単位を含め6単位以上	30単位以上修得および 修士作品または修士論文を提出し 学位審査に合格すること
専門特講科目	所属する研究科から4単位以上および 他研究科から2単位以上、計8単位以上	
専門研究科目	必修16単位 ※人文学研究科(必修8単位を含め16単位以上)	

博士前期課程・修士課程 学位審査スケジュール

2年次後期に学位審査を行います。審査に向けた1年間のスケジュールは以下を目安にしてください。各年度の初めに具体的な日程をお知らせします。

人文学研究科

実施時期	
7月下旬	修士論文 中間報告会(前期)
10月下旬	修士論文 中間報告会(後期)
12月下旬	「学位申請書(修士論文最終題目届)」提出
1月中旬	修士論文および論文要旨提出
1月下旬	修士論文 最終報告会
2月上旬	修士論文および論文要旨(和文・英文とも)【完成版】提出
2月上旬～中旬	修士論文 学位審査会
3月21日	学位授与

芸術研究科／デザイン研究科

実施時期	
8月	修士論文・修士作品中間報告会
12月	「学位申請書(修士論文・修士作品最終題目届)」提出
1月	「修士論文・作品の要旨」「修士論文・作品」の2種類を提出
1月下旬	修了発表会
1月下旬	修士論文・修士作品 学位審査会
2月中旬	修了制作展
3月21日	学位授与

マンガ研究科

実施時期	
7月	修士論文・修士作品 構想報告会
11月	修士論文・修士作品 中間報告会
12月	「学位申請書(修士論文・修士作品最終題目届)」提出
1月	「修士論文・作品の要旨」「修士論文・作品」の2種類を提出
1月	修士論文・修士作品 学位審査会
2月中旬	修了制作展
3月21日	学位授与

共通基盤科目および専門特講科目 科目一覧

共通基盤科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次	備考
全研究科共通	GMC50015	表現特論	選択	講義	2	1・2	
	GMC50115	知的創造特論	必修	講義	2	1	
	GMC50215	プロジェクト企画演習	選択	演習	2	1・2	
	GMC50315	プロジェクトワーク演習1	選択	演習	2	1・2	
	GMC50325	プロジェクトワーク演習2	選択	演習	2	1・2	
	GMC50415	プレゼンテーション演習	選択	演習	2	1・2	
	GMC50515	学術論文演習1	選択	演習	2	1・2	
	GMC50525	学術論文演習2	選択	演習	2	1・2	
	GMC50615	原書講読1	選択	講義	2	1・2	
	GMC50625	原書講読2	選択	講義	2	1・2	

専門特講科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次	備考
人文学研究科	GMH50115	表象領域特講1	選択	講義	2	1・2	
	GMH50125	表象領域特講2	選択	講義	2	1・2	
	GMH50135	表象領域特講3	選択	講義	2	1・2	
	GMH50145	表象領域特講4	選択	講義	2	1・2	
芸術研究科	GMA50015	芸術理論特講	必修	講義	2	1	芸術研究科生のみ履修可
	GMA50115	表現領域特講1	選択	講義	2	1・2	
	GMA50125	表現領域特講2	選択	講義	2	1・2	
	GMA50135	表現領域特講3	選択	講義	2	1・2	
	GMA50145	表現領域特講4	選択	講義	2	1・2	
デザイン研究科	GMD50015	デザイン理論特講	必修	講義	2	1	デザイン研究科生のみ履修可
	GMD50115	創造領域特講1	選択	講義	2	1・2	
	GMD50125	創造領域特講2	選択	講義	2	1・2	
	GMD50135	創造領域特講3	選択	講義	2	1・2	
	GMD50145	創造領域特講4	選択	講義	2	1・2	
マンガ研究科	GMM50015	マンガ理論特講	必修	講義	2	1	マンガ研究科生のみ履修可
	GMM50115	マンガ領域特講1	選択	講義	2	1・2	
	GMM50125	マンガ領域特講2	選択	講義	2	1・2	
	GMM50135	マンガ領域特講3	選択	講義	2	1・2	
	GMM50145	マンガ領域特講4	選択	講義	2	1・2	

専門研究科目

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次	備考
人文学研究科	GMH51115	人文学特殊講義1	選択	演習	2	1・2	
	GMH51125	人文学特殊講義2	選択	演習	2	1・2	
	GMH51135	人文学特殊講義3	選択	演習	2	1・2	
	GMH51145	人文学特殊講義4	選択	演習	2	1・2	
	GMH51155	人文学特殊講義5	選択	演習	2	1・2	
	GMH51165	人文学特殊講義6	選択	演習	2	1・2	
	GMH51215	人文学合同演習	必修	演習	2	1	
	GMH51315	人文学基礎演習	必修	演習	2	1	
	GMH51416	人文学演習1	必修	演習	2	2	
	GMH51426	人文学演習2	必修	演習	2	2	
芸術研究科	GMA60015	芸術研究1	必修	実習	4	1	
	GMA60025	芸術研究2	必修	実習	4	1	
	GMA60036	芸術研究3	必修	実習	4	2	
	GMA60046	芸術研究4	必修	実習	4	2	
デザイン専攻研究科	GMD60015	デザイン研究1	必修	実習	4	1	
	GMD60025	デザイン研究2	必修	実習	4	1	
	GMD60036	デザイン研究3	必修	実習	4	2	
	GMD60046	デザイン研究4	必修	実習	4	2	
デザイン研究科 建築専攻	GMD65015	建築研究1	必修	実習	4	1	
	GMD65025	建築研究2	必修	実習	4	1	
	GMD65036	建築研究3	必修	実習	4	2	
	GMD65046	建築研究4	必修	実習	4	2	
	GMD55015	建築設計特講	選択	講義	2	1・2	
	GMD55115	先端建築技術特講	選択	講義	2	1・2	
	GMD55215	建築家倫理特講	選択	講義	2	1・2	
	GMD65115	建築構造演習	選択	演習	2	1・2	
	GMD65215	建築設備演習	選択	演習	2	1・2	
	GMD65315	建築工事監理演習	選択	演習	4	1・2	
マンガ研究科	GMM60015	マンガ研究1	必修	演習	4	1	
	GMM60025	マンガ研究2	必修	演習	4	1	
	GMM60036	マンガ研究3	必修	演習	4	2	
	GMM60046	マンガ研究4	必修	演習	4	2	

人文学研究科 修士論文提出要領

- (1) 本要領は京都精華大学大学院人文学研究科修士課程に在籍する学生の学位論文に関する研究指導等について、本学大学院学則および本学大学院学位規程に基づき、実施に必要な要項を定める。
- (2) 修士課程の学生は、第1年次においては修了要件として定められた授業科目の履修をおこなう。
- (3) 論文は大学院の研究指導を担当する教員を持って指導教員とする。
- (4) 修士論文は在学期間内に提出し、審査を受けなくてはならない。
- (5) 修士論文は、指定された期日までに、指定された窓口へ提出する。
- (6) 指定の期日までに、指定の窓口へ提出された修士論文について、学位審査委員会を設ける。
- (7) 審査委員会は、提出された修士論文の内容に関する研究分野の指導教員(主査)と、研究科委員会において認定された2名以上の教員等(副査)により組織する。
- (8) 研究科委員会が必要と認めた場合は、本学教員・他大学教員・研究所の所員等で当該論文の審査に相当と認められたものを審査委員に加えることができる。
- (9) 修士論文は、審査に先立ち、その成果を内外に発表するため、研究発表会において発表されなければならない。
- (10) 最終試験は、修士論文を提出した者に対し、提出された論文を中心として口頭または筆記によりおこなう。
- (11) 修士論文の審査および最終試験は審査委員がおこない、その可否は審査委員会の報告に基づいて、研究科委員会の議を経て、当該研究科委員長が決定する。
- (12) 修士論文は、学生の独自性と当該専門分野についての広い理解とを示すものでなければならない。
- (13) 修了審査に合格した修士論文は、修士論文集という形で社会に公表し、また情報館において永久保存する。

修士論文提出時の注意

(1) 使用言語

- 修士論文の執筆用語は原則日本語とする。但し、指導教員が相当と認めた場合、当該研究科委員会の承認を経て、日本語以外の言語を用いることができる。

(2) 書式

- 白紙A4サイズに黒インクで印刷のこと。
- マイクロソフトWord形式での提出を原則とする。
- 横書き(1頁の字数は40字×40行を基本とする)を基本とし、必要に応じて縦書きを認める。
- 枚数の制限は設けない。
- 外表紙、中表紙および本文の形式については様式2・4(P.181)を参照のこと。
- 副本はコピー機による複写を可とする。
- 複写は片面とし、鮮明で支障なく読めるものであること。
- 正本、副本ともにフラットファイルに綴じられていること。
- 指導教員の署名は提出時に必要。
- 以上の書式以外で作成された論文は受け付けない。

(3) 提出について

- 提出時には正本、副本(2部)を提出すること。
- 提出期限は1月末を基本とし、その度研究科委員会で決定し、通知する。
- 修士論文集に掲載するためデータ(USBメモリ)も同時に提出すること。
- 所定の期限を過ぎた論文は受け付けない。

(4) 修士論文要旨提出時の注意

- 要旨は和文・英文双方で作成する。和文は1,000字、英文は300words程度とする。
- 表紙および本文は様式3・4(P.181)を参照し、本文は修士論文と同一の書式とする。
- 要旨は修士論文とは別紙にし、修士論文と同時に提出する。
- 提出時には要旨およびそのデータ(USBメモリ、修士論文本文と同一のものでかまわない)を提出すること。

芸術研究科／デザイン研究科 修士論文・修士作品提出要領

(1) 修士論文・作品の提出について

【修士論文】

① 使用言語

論文の執筆用語は原則として日本語とする。ただし、研究分野の性質上、あるいは研究成果を発表するうえでの必要性に鑑み、研究科委員会において認められた場合のみ英語での論文執筆を可とする。英語で論文を執筆する場合は、論文提出時に必ず日本語訳を添付すること。

② 書式

- 白紙A4サイズに黒インクで印刷のこと。
- PC使用可。
- 横書き(特に和文の縦書きを希望する場合は、研究指導教員と協議のうえ、研究科長に届け出ること)。
- 使用言語を日本語とする場合は400字詰め原稿50枚以上(注釈・資料を除く)、またはPC使用の場合はA4用紙で20,000字以上(10.5ポイント、1行40字、40行、注釈・資料を除く)とすること。
- 使用言語を英語とする場合は原則 PCを使用し、11,000words以上(注釈・資料を除く)とすること。またA4用紙にダブルスペースにより作成すること。
- 目次の頁を設けること。
- 本文には下段中央に頁数を付与すること。ただし、目次、参考文献、資料等には頁数を付与しないか、別立てで頁数を付与すること。
- 脚注は各頁毎、あるいは各章毎、あるいは本文の最後にまとめる形式のいずれかにすること。本文と注は通して頁数を付与すること。
- 表紙および本文の形式については、様式2・4(P.181)を参照すること。
- 表紙には研究指導教員の署名・捺印を必要とする。
- 副本は、複写を可とする。
- 複写は片面または両面いずれも可とする。ただし、鮮明で支障なく読めるものであること。
- 以上の書式以外で作成された論文は受け付けない。

③ 提出について

- 正本1部、副本3部をファイリングして提出すること。あわせてそのデータ(USBメモリ等)を提出すること(データ提出の際は本人および研究科長の印は必要としない)。
- 所定の期限を過ぎた論文および関係書類は受け付けない。

【修士作品】

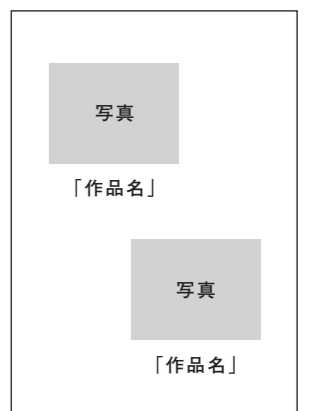
- 所定の期日までに以下3点を提出すること。
 - 1.表紙(様式2):1部
 - 2.修士作品の概要がわかるもの(右記、参考例を参照):1部
 - ※1、2は白紙A4サイズに黒インクで印刷すること。
 - ※1には研究指導教員の署名・捺印を必要とする。

(2) 要旨の提出について

【修士論文・修士作品】

- 要旨の表紙は「様式3」、要旨の本文は「様式4」の書式に従うこと。
- 要旨の本文の文字数は以下の通りとする。
 - 修士論文要旨:日本語2,000字程度または英語1,100words程度
 - 修士作品要旨:日本語800字程度または英語440words程度
- 所定の期日までに以下3点を提出すること。
 - 1.表紙(様式3):1部
 - 2.本文(様式4):1部
 - 3.USBメモリ等に保管したデータ:1点
 - ※1、2は白紙A4サイズに黒インクで印刷すること。
 - ※USBメモリ等は返却する。

参考例



※写真の掲載数は任意とする。
写真の下部にはタイトル、サイズ等を掲載。

マンガ研究科 修士論文・修士作品提出要領

(1) マンガ研究科修士論文・修士作品の学位審査基準

① 修士論文の学位審査基準

- 当該論文が独創的な問題設定があり、当該領域の先行研究を踏まえたうえで、当該領域の学術的発展に貢献すること。
- 当該論文が調査研究や資料の把握において学問の倫理に従うこと。
- 当該論文が(アニメーションやその他の隣接ジャンルを含む)広義のマンガ文化を主な研究対象としながら、他研究領域に対して開かれた論述をすること。

② 修士作品の学位審査基準

- 当該作品が独創的または普遍的な表現領域の可能性を探索し、社会に対して自らの深い思考が具体化されていること。
- 当該作品が表現方法・内容において社会に対して明確なコンセプトを持ち、それに沿ったテーマと素材、技法を選択し、制作されていること。
- 当該作品が多角的視点と想像力に基づき、柔軟で応用力のある制作技術や高度な作法を用い、十分な完成度が認められること。

(2) 修士論文の提出について

① 使用言語

- 論文の執筆言語は原則として日本語とする。ただし、研究分野の性質上、あるいは研究成果を発表する上での必要性に鑑み、研究科委員会において認められた場合のみ英語での執筆を可とする。

② 書式

- 白紙A4サイズに黒インクで印刷のこと。
- PC使用が望ましい。
- 横書き(特に和文の縦書きを希望する場合は、研究指導教員と協議の上、研究科長に届け出ること)。
- 使用言語を日本語とする場合は400字詰め原稿50枚以上(注釈・資料を含む)、またはPC使用の場合はA4用紙で20,000字以上(11ポイント、注は9ポイント1行40字、40行、注釈・資料を含む)とすること。
- 使用言語を英語とする場合は原則PCを使用し、11,000words以上(注釈・資料を含む)とすること。また、フォントはTimesNewRomanを使用し、12ポイントとし、A4用紙1ページあたり35行で作成すること。
- 目次の頁を設けること。
- 本文には下段中央に頁数を付与すること。目次、参考文献、資料等にも頁数を付与すること。
- 図版にはキャプションを付ける。その中には、通し番号と出典(ページ数も含む)を挙げる。キャプションに加え、「参考文献」一覧の直後に、キャプションの全データを含む「図版一覧」を載せる。
- 注記は、脚注または文末注のいずれかにすること。本文と注は通しで頁数を付与すること。注記の書式、参考文献一覧、引用の方法については[マンガ研究科修士論文執筆細則]を参照。
- 表紙および本文の形式については、様式2・4(P.181)を参照すること。表紙には研究指導教員の署名・捺印を必要とする。
- 副本は、コピー機による複写を可とする。
- 複写は片面または両面いずれも可とする。ただし、鮮明で支障なく読めるものであること。
- 以上の書式以外で作成された論文は受け付けない。

③ 提出について

- 正本1部、副本3部をファイリングして提出すること。あわせてそのデータ(USBメモリ等)を提出すること。データのフォーマットはマイクロソフトWordまたはリッチテキスト形式を指定する。Word形式以外の図版などに関しては、提出前、問い合わせること。
- 所定の期限を過ぎた論文および関係書類は受け付けない。
- 修士論文および修士論文要旨の公開に応じる場合は許諾書を記入すること。

④ 修士論文要旨の提出について

- 修士論文要旨を1部提出すること。
- 要旨は日本語で作成すること。ただし、英語での論文執筆の場合、英語の要旨に加え、日本語の要旨をも作成すること。
- 和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,100words程度とし、A4用紙を使用すること。
- 要旨は複写でもよい。
- 表紙および本文は様式3・4(P.181)を参照し、本文は修士論文と同一の書式とする。
- 要旨は修士論文とは別に指定された期日までに提出すること。
- 所定の期限を過ぎた要旨は受け付けない。
- 提出時には要旨とあわせてそのデータ(USBメモリ等)を提出すること。データはWordで作成すること。

(3) 修士作品の提出について

① 修士作品の提出

- 所定の期日までに以下2点を提出すること。
 1. 表紙(様式2):1部
 2. 修士作品の概要がわかるもの(右記、参考例を参照):1部
 ※1、2は白紙A4サイズに黒インクで印刷すること。
 ※1には研究指導教員の署名・捺印を必要とする。
 ※学位審査に必要な作品本体(マンガ原本、デジタルデータなど)の提出方式は別途、教務チームより連絡する。

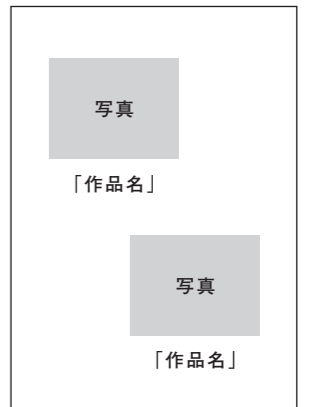
② 修士作品の要旨の提出

- 要旨の表紙は「様式3」、要旨の本文は「様式4」の書式に従うこと。
- 要旨の本文の文字数は以下の通りとする。
 修士作品要旨:日本語800字程度または英語440words程度

●所定の期日までに以下3点を提出すること。

1. 表紙(様式3):1部
 2. 本文(様式4):1部
 3. USBメモリ等に保管したデータ:1点
- ※1、2は白紙A4サイズに黒インクで印刷すること。
-
- ※USBメモリ等は返却する。

参考例



※写真の掲載数は任意とする。
 写真の下部にはタイトル、サイズ等を掲載。

マンガ研究科 修士論文執筆細則

(1)本文

章、節、等々の項目を分けた構成とする。
本文中の見出しは左揃えを原則とする。

(2)語句の表記・表示

- ①文章は、原則として常用漢字を用い、かなづかい
現代かなづかいと新送りがなに従うものとする。
ただし、特別の事由(引用など)があるときは、この限りではない。
- ②句読点は、‘、’ および ‘。’ とする。
- ③カギカッコの用法は以下のとおり。
「 」:(マンガ)作品名、論文名あるいは引用文の表示に用いる。
『 』:文中における書名、(マンガ誌を含む)誌(紙)名の表示に用いる。
- ④数字、ローマ字は半角文字とする。
- ⑤外国の固有名詞:文中初出の人名は、必要に応じてフルネームをカタカナ書きし(ミドルネームの頭文字は原語のままでもよい)、その後()で原綴りを付記する。地名、研究機関名等もこれに準ずる。

(3)文献の直接・間接引用

引用は、目的上正当な範囲内に限ること。また必ず出典を(頁数に至るまで)明示すること。本文中および注の文中に下記のように入れる。

[著者名または編者名□刊行年：頁数]

例: 吉村 2001 : 299;

例: ベルト編 2010 : 2

同一文献から何度も引用する場合も、ibid、上掲書などとせず、上記方式の表記をくりかえす。

(4)注

注は脚注の機能を使って本文中の当該事項の後に表記し、番号順にする。なお、本文と注とではポイントが異なり、本文を11p、注を9pとする。注には、(本文中行)出典表記以外の情報を入れる。(例えば、「～参照」、また補足的解説など)

(5)図表

図表に番号を付けて、この番号を本文中にも、図表のキャプションにもあげる。本文中で図版の説明をする際、対応する図版を明示する。「図1」、「表3」のように表す。図表のタイトルはキャプションの形で、図の場合は図の下に、表の場合は表の上につける。他の文献から図版を引用する場合には、キャプションの末尾に出典を必ず明示する。出典の記載法は、引用文献の場合に準ずる(引用は公正な慣行に従い、引用の目的上正当な範囲内に限ること)。

表記例) 番号、タイトル、出典(頁数を含む)

図版のキャプション(番号、タイトル、出典を含む一覧)は、一括して原稿の最後(つまり文献一覧後)にまとめ、番号順に記載する。

(6)参考文献

(この参考文献という言葉を用いる。参考文献、引用文献、文献等は不可。)

参考文献一覧は論文末に一括して作成する。参考文献とは、本文中または注において引用などの形で使用したもの(文献、ウェブサイトなど)を指す。マンガ作品を別の一覧にする。

- ①文献の配列は著者姓名のアルファベット順か、五十音順とする。
外国人についても姓名とする。

例: Berndt, Jaquelineまたは
ベルト、ジャクリーヌ[ベルト・ジャクリーヌは不可]

- ②記載は以下のようにする。
外国語の雑誌および単行本は題名をイタリックとする。

- a)雑誌論文の場合、著者名(改行)、年号、「論文名」、「誌名」、巻(号)、頁数の順とする。

馬淵東一
1935「高砂族の系譜」『民族学研究』1(1),pp.1-16。
HOWELL, Signe
1985FormalSpeechActasOneDiscourse.In:Man, 21(1),pp.79-101.

- b)論文集に掲載されている論文の場合、
著者名(改行)、年号、「論題」、「論文集名」、編者名、出版社、頁数(最初～最終)の順とする。

蒲生正男
1949「奄美の民俗・社会」『日本民族学大系』12、大間知篤三、岡正雄、桜田勝徳、関敬吾、最上孝敬編、平凡社、pp.7-21。
MEAD, Margaret
1955ImplicationofInsight-II.In:ChildhoodinContemporary Cultures.Margaret MEADandMarthaWOLFENSTEIN,eds,pp.449-461. UniversityofChicagoPress.

- c)単行本の場合、著者名(改行)、年号、「書名」、出版社の順とする。

岩渕功一
2001『トランスナショナル・ジャパン』岩波書店
IWABUCHIKoichi
2002RecenteringGlobalization:PopularCultureandJapanese Transnationalism,DukeUniversityPress

- d)マンガ作品の場合、マンガ家または原作者・作者、「題名」『連載雑誌名』(初出年号)、論文に使用した単行本版の出版社、出版年の順とする。

二ノ宮和子「のだめカンタービレ」『KISS』(2001-2010)、全25巻、講談社(コミックスKiss)、2002年-2010年

様式見本

様式1 学位申請書(最終題目届)見本

_____年____月____日

京都精華大学大学院
_____研究科長 殿

学位申請書
(修士論文・修士作品最終題目届)

研究科: _____ 専攻: _____ 分野(領域): _____
入学年月日: _____年4月 修了予定年月日: _____年3月
学籍番号: _____ 氏名: _____ 印

修士論文・修士作品題目
「 _____ 」

概略(作品にあっては、その解説も記入すること)

学位審査委員:
_____ 印 _____ 印 _____ 印 _____ 印
(主となる指導教員名を記入)
※学位審査委員は2名以上の専任教員(専任准拠教員を含む)とし、それ以外に研究科委員会が必要と認められた場合、当該研究科に所属しない者(学外者等)を審査委員とすることができる(原則1名)。

様式2 論文・作品題名(表紙)見本

論文・作品題名

京都精華大学大学院 研究科 専攻 分野(領域)

提出日付: _____
学籍番号: _____
氏名: _____ 印
研究指導教員名: _____ 印

様式3 要旨・(表紙)見本

修士論文・作品要旨

論文・作品題名

京都精華大学大学院 研究科 専攻 分野(領域)

提出日付: _____
学籍番号: _____
氏名: _____ 印

様式4 本文見本

※Title,Chapter,etcの区切り当たる場合の上端余白は、
和文では3.5cm
英文では、5.0cmを目安とする。

(ページ番号)

※約2.5cm

※約2.5cm

※約2.5cm

博士後期課程

博士後期課程について

京都精華大学大学院・博士後期課程では、芸術、デザイン、マンガといったさまざまな領域で展開される表現を対象に、各自の研究テーマを深く追求するための課程です。各々の研究領域において新たな展開を生み出すこと、また制作者と理論研究者が互いの思考を獲得しあうことを目的に、制作と理論の指導研究員による合同指導体制をとっています。

博士後期課程 博士論文提出までの流れ

年次	時期	芸術研究科	マンガ研究科
1年	4月	「研究指導教員グループ申請書」提出	「研究指導教員グループ申請書」提出
	5月		
	6月		
	7月	「研究計画書」提出	「研究計画書」提出 ◆研究計画に関する報告会開催 「研究計画書－修正版－」提出
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		「1年次公開報告会のための要旨」提出
	1月	「1年次公開報告会のための要旨」提出	
	2月	公開報告会実施	◆公開報告会
	2年	4月	
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			◆博士後期課程中間報告会(業績&研究)
11月		「学位審査予備審査申請書」提出	
12月		「学位審査予備審査論文」提出	
1月			
2月		予備審査会	
3年		4月	
	5月		
	6月		
	7月		「学位審査予備審査申請書」提出 「学位審査予備審査論文」提出
	8月		
	9月		
	10月		◆予備審査会 ◆業績審査会
	11月	「学位申請書」を提出(*予備審査合格者対象)	「学位申請書」を提出(*予備審査合格者対象)
	12月	「学位請求論文」提出	
	1月		「学位請求論文」提出
	2月	学位審査会	◆学位審査会

※報告会・審査・試験の日程は変更の可能性があります。変更する場合はメール等で通知します。

芸術研究科 博士後期課程カリキュラム

(1) 開講科目および修了要件

「表現研究計画演習」(1年次/前期/2単位/担当:理論担当教員)

授業の概要および目的	各々の研究範囲とその研究テーマに応じて、指導教員との面談を重ねながら、博士後期課程3年間における研究計画を立案する。総合的な芸術表現の視点を獲得するため、研究方法に対する理解を深め、制作と理論のバランスがとれた調和ある研究計画の設定を行う。
授業計画	週1回、博士後期課程1年次全員が集まり、理論的な文献の講読、自らの作品の分析、あるいは研究に関する発表等を行い、各々にふさわしい理論的支持を行う。状況に応じてレポートを課すこともある。研究計画の立案が必須となり、「研究計画書」を提出する。7月中旬に主指導教員、副指導教員を交えて学生の3年間の研究計画に関する面談を行う。その後、研究計画書を作成し、メールへの添付ファイルの形で主指導教員・副指導教員・教務チームへ提出する。
成績評価	授業への参加度

「表現総合研究1」(1年次/通年/4単位/担当:主指導教員)

授業の概要および目的	主指導教員1名と副指導教員3名が、学生の研究領域のテーマに応じて分担または合同で研究指導を行う。次年度に設定される「表現総合研究2」の指導の前提となる研究である。
授業計画	各院生の研究テーマを考慮した上、決定する。
成績評価	授業への参加度(出席、意見や質問の積極度、授業活性化への貢献など) 授業中の口頭発表

「表現総合研究2」(2年次/通年/4単位/担当:主指導教員)

授業の概要および目的	主指導教員の指導を中心としながら、各自の制作・研究を徹底的に進めて行く。前期・後期を通じて、学位審査予備審査論文の作成を指導する。
授業計画	各自の制作・研究を深めていくため、主指導教員の指導を中心としながら、同時に幅広く思考していくように、主指導教員のコーディネートによる副指導教員等の指導・関わりを設ける。実施内容、実施時間、実施場所は主指導教員との話し合いにより決定、進行していく。「表現総合研究2」において主指導教員・副指導教員・その他から指導、助言を受けるごとに、その主題・議論の題目・内容、日時を記録しておくため、学生は研究記録書を作成し、学期末に教務チームへ提出する。指導、助言はメールや電話などを含む。
成績評価	授業への参加度(出席、意見や質問の積極度、授業活性化への貢献など)、 授業中の口頭発表、予備審査論文の内容および予備審査会での口述質問の内容。

マンガ研究科 博士後期課程カリキュラム

(1)カリキュラム構成と修了要件について

「マンガ研究計画演習」(1年次／前期／2単位／担当:理論担当教員)

授業の概要および目的	各々の研究範囲とその研究テーマに応じて、指導教員との面談を重ねながら、博士後期課程3年間における研究計画を立案する。総合的なマンガ表現の視点を獲得するため、研究方法に対する理解を深め、制作と理論のバランスがとれた調和ある研究計画の設定を行う。
授業計画	週1回、博士後期課程1年次全員が集まり、理論的な文献の講読、自らの作品の分析、あるいは研究に関する発表等を行い、各々にふさわしい理論的サポートを行う。状況に応じてレポートを課すこともある。研究計画の立案が必須となり、「研究計画書」を提出する。7月中旬に主指導教員、副指導教員を交えて学生の3年間の研究計画に関する報告会を開催する。その後、報告会を踏まえた上で、研究計画書を作成し直し、メールへの添付ファイルの形で主指導教員・副指導教員・教務チームへ提出する。
成績評価	出席・積極的参加 30% 研究計画書の内容 30% 報告会の発表内容 40%

「マンガ総合研究1」(1年次／通年／4単位／担当:主指導教員)

①授業の概要および目的	主指導教員1名と副指導教員3名が、学生の研究領域のテーマに応じて分担または合同で研究指導を行う。これは、次年度に設定される「マンガ総合研究2」の指導の前提となる研究である。
授業計画	各自の制作・研究を深めていくため、主指導教員の指導を中心としながら、同時に幅広く考えていけるように、主指導教員のコーディネートによる副指導教員等の指導・関わりを設ける。実施内容、実施時間、実施場所は主指導教員との話し合いにより決定、進行していく。「マンガ計画演習」「マンガ総合研究1」において主指導教員・副指導教員・その他から指導、助言を受ける毎に、その主題・議論の題目・内容、日時を記録しておくため、学生は研究記録書を作成し、学期末に教務チームへ提出する。指導、助言はメールや電話等を含む。また、後期に公開シンポジウム形式の研究計画報告会を開催し、自身の研究計画についてプレゼンテーションを行う。
成績評価	授業への参加度(出席、意見や質問の積極度、授業活性化への貢献など) 50% 授業中の口頭発表 50%

「マンガ総合研究2」(2年次／通年／4単位／担当:主指導教員)

授業の概要および目的	主指導教員の指導を中心としながら、各自の制作・研究を徹底的に進めて行く。博士論文資格試験のための予習も行う。
授業計画	各自の制作・研究を深めていくため、主指導教員の指導を中心としながら、同時に幅広く考えていけるように、主指導教員のコーディネートによる副指導教員等の指導・関わりを設ける。実施内容、実施時間、実施場所は主指導教員との話し合いにより決定、進行していく。7月には、予備審査の受審資格を問う「博士論文資格試験」を実施する。10月にこれまでの業績について報告する「業績報告会」を開催する。「マンガ総合研究2」において主指導教員・副指導教員・その他から指導、助言を受けるごとに、その主題・議論の題目・内容、日時を記録しておくため、学生は研究記録書を作成し、学期末に教務チームへ提出する。
成績評価	授業への参加度(出席、意見や質問の積極度、授業活性化への貢献など) 50% 授業中の口頭発表、予備審査論文の内容および予備審査会での口述質問の内容 50%

「表現総合研究3」(3年次／通年／4単位／担当:主指導教員)

授業の概要および目的	主指導教員・副指導教員を中心に「表現総合研究1」・「表現総合研究2」における研究の成果を踏まえ、各学生の制作・研究の集大成を目的に指導にあたる。これは学位(博士)申請に関わる論文と作品の審査に直結し、学生の修了要件として単位化される。
授業計画	各自の制作・研究を深めていくため、主指導教員の指導を中心としながら、同時に幅広く考えていけるように、主指導教員のコーディネートによる副指導教員等の指導・関わりを設ける。実施内容、実施時間、実施場所は主指導教員との話し合いにより決定、進行していく。「表現総合研究3」において主指導教員・副指導教員・その他から指導、助言を受けるごとに、その主題・議論の題目・内容、日時を記録しておくため、学生は研究記録書を作成し、学期末に教務チームへ提出する。指導、助言はメールや電話などを含む。
成績評価	授業への参加度(出席、意見や質問の積極度、授業活性化への貢献など)、授業中の口頭発表、学位請求論文の内容および学位審査会の口述質問の内容。

修了要件

「芸術研究計画演習」2単位および「芸術総合研究1～3」12単位(4単位×3科目)、合わせて14単位以上修得し、かつ博士論文を提出し、審査および試験に合格すること。

※修了要件を充足した者に、博士(芸術)の学位を授与する。

(2)研究指導体制について

①指導教員

指導を受けられる教員については、4月のオリエンテーション時にお知らせします。

②指導体制

主指導教員1名 + 副指導教員(理論)1名 + 副指導教員(領域不問)2名 = 計4名の指導体制

③論文指導チューター

週に1日、博士後期課程共同研究室に論文指導チューターが在室し、研究に必要な資料の探し方、論文の構成、また留学生の場合には日本語の添削などを補助します。

在室日程:原則的に毎週木曜日14:00～19:00 場所:博士後期課程共同研究室

(3)各種書類 提出物について

1年次

①「研究指導教員グループ申請書」 提出締切: 4月予定 提出先: 教務チーム

※日程詳細はオリエンテーションにて案内します。

②「研究計画書」 提出締切:7月予定 提出先:教務チーム

提出先:メールにファイルを添付し、主指導教員、副指導教員、教務チームへ提出

③「研究記録書」 提出締切: 前期分>7月予定 後期分>1月予定 提出先:教務チーム

④「1年次公開報告会のための要旨」 提出締切: 12月予定 提出先: 教務チーム

2年次

①「研究記録書」 提出締切: 前期分>7月予定 提出締切: 後期分>1月予定 提出先: 教務チーム

②「学位審査予備審査申請書」 提出締切: 11月予定 提出先: 教務チーム

③「学位申請予備審査論文」 提出締切: 1月予定 提出先: 教務チーム

3年次

①「研究記録書」 提出締切: 前期分>7月予定 提出締切: 後期分>1月予定 提出先: 教務チーム

②「学位申請書」 (予備審査合格者対象) 提出締切: 11月 提出先: 教務チーム

③「学位請求論文」 提出締切: 1月予定 提出先: 教務チーム

(4)博士前期課程科目の履修について

希望により、博士前期課程に開設される基礎理論関係科目及び学部開設される専門講義科目の履修を認める。

履修に関しては教務チームと相談のうえ、科目登録を行う。

「マンガ総合研究3」(3年次／通年／4単位／担当:主指導教員)

授業の概要および目的	主指導教員・副指導教員を中心に「マンガ総合研究1」・「マンガ総合研究2」における研究の成果を踏まえ、各学生の制作・研究の集大成を目的に指導にあたる。これは学位(博士)申請に関わる論文と作品の審査に直結し、学生の修了要件として単位化される。
授業計画	各自の制作・研究を深めていくため、主指導教員の指導を中心としながら、同時に幅広く思考していくように、主指導教員のコーディネートによる副指導教員等の指導・関わりを設ける。実施内容、実施時間、実施場所は主指導教員との話し合いにより決定、進行していく。10月上旬には学位請求論文の提出要件を満たしているかどうかを審査する「業績審査会」を開催する。また、「予備審査」を経て「学位審査」を行う。「マンガ総合研究3」において主指導教員・副指導教員・その他から指導、助言を受けるごとに、その主題・議論の題目・内容、日時を記録しておくため、学生は研究記録書を作成し、学期末に教務チームへ提出する。
成績評価	授業への参加度(出席、意見や質問の積極度、授業活性化への貢献など) 50% 授業中の口頭発表、学位請求論文の内容および学位審査会の口述諮問の内容 50%

修了要件

「マンガ研究計画演習」2単位および「マンガ総合研究1～3」12単位(4単位×3科目)、合わせて14単位以上修得し、かつ博士論文を提出し、審査および試験に合格すること。

※修了要件を充足した者に、博士(芸術)の学位を授与する。

(2) 研究指導体制について

① 指導教員

指導を受けられる教員については、4月のオリエンテーション時にお知らせします。

② 指導体制

主指導教員1名 + 副指導教員1名 + 副指導教員1名 + 副指導教員1名 = 計4名の指導体制

③ 論文指導チューター

週に1日、博士後期課程共同研究室に論文指導チューターが在室し、研究に必要な資料の探し方、論文の構成、また留学生の場合には日本語の添削などを補助します。

在室日程:原則的に毎週木曜日14:00～19:00 場所:博士後期課程共同研究室

(3) 各種書類 提出物について

1年次

①「研究指導教員グループ申請書」 提出締切:4月予定 提出先: 教務チーム

※日程詳細はオリエンテーションにて案内します。

②「研究計画書」【1回目提出】 提出締切: 7月予定 提出先: 教務チーム

【2回目-修正版-提出】 提出締切: 7月予定 提出先: メールにファイルを添付し、主指導教員、副指導教員、教務チームへ提出

③「研究記録書」 提出締切: 前期分>7月予定 後期分>1月予定 提出先: 教務チーム

④「1年次公開報告会のための要旨」 提出締切: 12月予定 提出先: 教務チーム

2年次

①「研究記録書」 提出締切: 前期分>7月予定 提出締切: 後期分>1月予定 提出先: 教務チーム

3年次

①「研究記録書」 提出締切: 前期分>7月予定 提出締切: 後期分>1月予定 提出先: 教務チーム

③「学位審査予備審査申請書」 提出締切: 7月 提出先: 教務チーム

④「学位申請予備審査論文」 提出締切: 7月 提出先: 教務チーム

⑤「学位申請書」(予備審査合格者対象) 提出締切: 4月、11月 提出先: 教務チーム

⑥「学位請求論文」 提出締切: 6月、1月 提出先: 教務チーム

(4) 博士前期課程科目の履修について

希望により、博士前期課程に開設される基礎理論関係科目及び学部開設される専門講義科目の履修を認める。

履修に関しては教務チームと相談のうえ、科目登録を行う。

資格課程

QUALIFICATION COURSE



資格課程の概要

1. 京都精華大学で取得できる資格

ここでは、定められた授業科目を履修することで取得できる資格について説明します。取得できる資格は入学年度、所属学部・学科・コースによって異なります。建築士（一級、二級、木造）の受験資格については、P.136以降のライフクリエイションコース、建築コース、人間環境デザインプログラムのページで確認してください。教職、博物館学芸員、図書館司書の課程については「資格課程ハンドブック（「セイカ・ポータル」掲載）」も読んでください。

国際文化学部生が取得できる資格

学部	学科	専攻	教職					博物館学芸員	図書館司書
			中一種免許		高一種免許				
			国語	社会	国語	公民	地理歴史		
国際文化	人文	文学	○	-	○	-	-	○	○
		歴史	-	○	-	-	○	○	○
		社会	-	○	-	○	○	○	○
		日本文化	○	○	○	○	-	○	○
グローバルスタディーズ	全専攻	-	○	-	○	-	○	○	

※日本文化専攻にて教員免許を希望する場合、また文学、歴史、社会専攻にて所属専攻に○のない教員免許種を希望する場合は負担が大きく、必ず教務チーム（資格課程）に相談してください。

メディア表現学部生が取得できる資格

学部	学科	専攻	教職		博物館学芸員	図書館司書
			高一種免許			
メディア表現	メディア表現	全専攻	※		○	○

※メディア表現学科の教職課程については2022年度の認可に向けて申請中です。

芸術・デザイン・マンガ学部生が取得できる資格

学部	学科	コース	教職			博物館学芸員	図書館司書	一級建築士 (受験資格)	二級・木造建築士 (受験資格)
			中一種免許	高一種免許					
			美術	美術	工芸				
芸術	造形	造形	○	○	○	○	○	-	-
デザイン	イラスト	イラスト	○	○	-	○	○	-	-
		グラフィックデザイン	○	○	-	○	○	-	-
	ビジュアルデザイン	デジタルクリエイション	-	-	-	○	○	-	-
		デジタルクリエイション	-	-	-	○	○	-	-
	プロダクトデザイン	プロダクトコミュニケーション	○	○	○	○	○	-	-
プロダクトデザイン	ライフクリエイション	○	○	○	○	○	-	○	
マンガ	建築	建築	-	-	-	-	-	○	○
		人間環境デザインプログラム	-	-	-	-	-	○	○
	マンガ	マンガ	カートゥーン	○	○	-	○	○	-
ストーリーマンガ			○	○	-	○	○	-	-
新世代マンガ			○	○	-	○	○	-	-
キャラクターデザイン			○	○	-	○	○	-	-
アニメーション	アニメーション	○	○	-	○	○	-	-	

※デザイン学部プロダクトデザイン学科ファッションコースは、博物館学芸員および図書館司書の資格を取得することができます。

2. 課程登録について

資格を取得するためには2年次に必ず課程登録をしてください。課程登録手続きは次の通りです。

- 1) 教務チーム窓口で登録カードをもらい必要事項を記入する。
- 2) 証明書自動発行機で所定の課程登録料を納付する。
- 3) 登録カードに顔写真を貼付のうえ登録料納付書を添えて教務チーム窓口へ提出する。

課程名	登録料	登録時期
教職課程	30,000円	2年次の4月中
博物館学芸員課程	20,000円	
図書館司書課程	10,000円	

必ず課程登録をもらう理由について

資格課程受講に際して授業以外に実習や諸団体への届出等さまざまな手続きが必要です。卒業時に無事資格を取得できるように資格課程担当は希望者を把握しておかなければなりません。登録料は課程を運営する中で必要となる授業や授業以外の諸活動の費用の一部としています。

教職課程

1. 履修の心得

教職課程は中学校、高等学校教員として働くのに必要な免許状を取得するために設置された課程です。

人間の発達段階において、中学生、高校生の時期は感性や豊かな人間性を養う重要な時期であると言えます。

本学の教職課程では、そのような重要な時期を担う中学校、高等学校で教職に就く人財として、京都精華大学の教育目標とも共通する「人間を尊重し多様な価値観・文化を受容し」「広い視野と論理的思考に基づき」「多様な人々と共生・協働」できる教師を育成することをめざします。これら方針を理解したうえで、下に記すような熱意ある学生の履修を望みます。

- 教育に関心があり、教員になりたいと思っている人
- 人と関わる仕事がしたいと思っている人
- 粘り強く、継続して学び続ける姿勢を持っている人
- 芸術、文化を通して、地域や社会に役立ちたいと思っている人

2. 教職課程の4年間の流れ

年次	時期	事項
1年	4月 初旬	教職に関する科目(前期)履修開始/教科に関する科目(前期)履修開始
	10月 初旬	教職に関する科目(後期)履修開始/教科に関する科目(後期)履修開始
2年	3月 下旬	資格課程ガイダンス
	4月 中旬	課程登録手続き(～5月初旬) ※登録料が必要
	9月 下旬	介護等体験事前指導実施(中学校一種希望者のみ)
3年	10月 初旬	介護等体験先府県決定
	4月 初旬	資格課程ガイダンス/教育実習予定校へ訪問、内諾依頼(～9月)
	5月	介護等体験(前期)開始(～8月)
4年	10月	介護等体験(後期)開始(～3月)
	4月 初旬	資格課程ガイダンス/教育実習受入依頼書の発送(教務チームから発送)
	5月	教育実習(前期)開始
	10月 中旬	教育実習(後期)開始 教員免許状申請説明会(第1回)開催
	11月 下旬	教員免許状申請説明会(第2回)開催
3月 下旬	教育職員免許状取得	

教職課程を履修しようかどうか悩んでいる場合、1年生の間は検討期間になります。教職に関する科目の中で1年次から履修できる科目を履修してみて、自分に向いているか、4年生まで続けられそうか、考えてみましょう。

2年生の4月に「課程登録」手続きを行います。この手続きによって、「教職課程を履修する」という正式な意思表示をすることになります。

教育実習は、中学校一種免許希望者は3週間以上、高校一種免許のみ希望者は2週間以上行います。

3. [2021年度入学生] 教員免許状を取得するために必要な要件

教職課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム(教育課程)とはまったく別のカリキュラムとなります。
教員免許状を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、教職課程の専門科目の単位を修得する必要があります。

(1) [2021年度入学生] 教職に関する科目一覧(全学部共通)

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
関する科目 基礎的理解に	CQT500130	教職論		★	★	講義	2		○	○		※下記参照
	CQT501110	教育原論		★	★	講義	2	○				
	CQT502110	教育心理学		★	★	講義	2	○	○			
	CQT503110	教育制度論		★	★	講義	2	○	○			
	CQT504120	教育課程論		★	★	講義	2	○	○			
	CQT503520	特別支援教育論		★	★	講義	1	○	○			
教育相談に関する科目 道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、	CQT510120	道徳教育論		★		講義	2	○	○			
	CQT511120	特別活動論		★	★	講義	2	○	○			
	CQT512120	教育方法論		★	★	講義	2	○	○			
	CQT513120	生徒・進路指導論		★	★	講義	1	○	○			
	CQT514120	教育相談		★	★	講義	2	○	○			
	CQT510520	総合的な学習の時間の指導論		★	★	講義	1	○	○			
教科及び教科の指導法に関する科目	CQT5031301	美術科教育法I	(1)/(2)	★	★	講義	2			○		指定されたクラスを受講すること
	CQT5052301	美術科教育法II	(1)/(2)	★	★	講義	2			○		
	CQT5061301	美術科・工芸科教育法I		★	★	講義	2			○		
	CQT5062301	美術科・工芸科教育法II		★	★	講義	2			○		
	CQT5041301	社会科公民科教育法I		★	★	講義	1			○	社会科、公民科、希望者	
	CQT5092301	社会科公民科教育法II		★	★	講義	2			○	社会科、公民科、希望者	
	CQT5091301	社会科地歴科教育法I		★	★	講義	2		○		社会科、地理歴史科希望者	
	CQT5092301	社会科地歴科教育法II		★	★	講義	2		○		社会科、地理歴史科希望者	
	CQT5071201	国語科教育法I		★	★	講義	2		○		国語科希望者	
	CQT5072201	国語科教育法II		★	★	講義	2		○		国語科希望者	
CQT5073301	国語科教育法III		★	★	講義	2			○	国語科希望者		
CQT5074301	国語科教育法IV		★	★	講義	2			○	国語科希望者		
関する科目 教育実践に	CQT600140	事前・事後指導		★	★	演習	1			○		指定されたクラスを受講すること
	CQT900140	教育実習I		★	★	学外実習	2			○		
	CQT900240	教育実習II		★	●	学外実習	2			○		
	CQT521140	教職実践演習		★	★	演習	2			○		

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

※教職論について
国際文化学部生は2年次前期に「教職論A」を、その他の学部生は3年次前期に「教職論B」を履修してください。

[介護等体験] 中学校教諭一種免許状希望者のみ対象(2年次6月下旬に対象者に案内します)

科目区分	科目ナンバリングコード	事項名	クラス	★印参加必須		授業形態	単位数	実施年次				担当者名	専任/兼任	実施時期	曜日	講時	先着科目	備考
				中	高			1年	2年	3年	4年							
	-	介護等体験事前指導		★	-	講義	なし		○			特別講師	-	9月下旬	-	-		
	-	介護等体験(学校2日間・施設5日間)		★	-	講義	なし		○			各体験先	-	前期/後期	-	-		

「教科に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」については、所属学科・コース、取得を希望する免許教科ごとに異なるため、P.192以降の各学科・コースの科目一覧を参照してください。

【履修上の注意】

3年次終了までに以下の科目を修得済みでないと、4年次に「教育実習」「教職実践演習」を履修することはできません。

対象科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育制度論」、「教育課程論」、「教科教育法」、「道徳教育論」(中学校のみ)、「特別活動論」、「教育方法論」、「生徒・進路指導論」、「教育相談」

- ※1 取得を希望する免許教科、所属コースに応じた「教科教育法」を履修してください。
詳細は「(1) [2021年度入学生] 教職に関する科目一覧(全学部共通)」を参照してください。
- ※2 教育実習3週間以上の場合のみ「教育実習II」も履修。

4. [2021年度入学生]学部・学科・コース別 教科に関する科目一覧

国際文化学部 人文学科(国語免許)

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				国語	国語							
教科に関する科目	Cgg12211	日本語学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Khu23021	日本語学特講		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl231210	古文書解読		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl23061	古典文法		★	★	講義	2		○	○	○	
	Cgg12221	言語学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Kgl23091	日本文学史		★	★	講義	2		○	○	○	
	Khu22001	文学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl23051	口承文化論		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl23071	書誌学		★	★	講義	2		○	○	○	
	Khu22011	日本文学研究1		★	★	講義	2		○	○	○	
	Khu22012	日本文学研究2		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl23041	漢文学		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl230810	書道		★		講義	2		○	○	○	
	大学が独自に設定する科目	CQT5301201	人権教育論		★	★	講義	2	○	○	○	○
CQT5305101		障がい者理解		★	★	講義	2	○	○	○	○	
CQT5307101		学校安全論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
CQT6001201		学校ボランティア		★	★	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cl13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cl13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cl13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○				
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○				
	Cl13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

国際文化学部 人文学科(社会・地歴・公民免許)

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業形態	単位数	配当年次				備考	
				中	高	社会			1年	2年	3年	4年		
				地歴	公民									
教科に関する科目	Kgl23131	日本史		★	★		講義	2		○	○	○		
	Kgl23201	西洋史		★	★		講義	2		○	○	○		
	Kgl23211	東洋史		★	★		講義	2		○	○	○		
	Khu22031	日本史研究1		★	★		講義	2		○	○	○		
	Khu12112	日本史研究2		★	★		講義	2		○	○	○		
	Khu22021	歴史学概論		★	★		講義	2		○	○	○		
	Kgl23171	日本地域史			★		講義	2		○	○	○		
	Khu13002	日本思想史			★		講義	2		○	○	○		
	Kgl23191	日本・アジア関係史			★		講義	2		○	○	○		
	Kgl23271	自然地理学		★	★		講義	2		○	○	○		
	Kgl231410	歴史地理学		★	★		講義	2		○	○	○		
	Khu23121	日本の風土		★	★		講義	2		○	○	○		
	Cl13091	法学		★		★	講義	2	○	○	○	○		
	Cl13081	政治学		★		★	講義	2	○	○	○	○		
	Khu22052	社会研究2		★		★	講義	2		○	○	○		
	Kgl23221	社会学		★		★	講義	2		○	○	○		
	Kgl23261	経済学		★		★	講義	2		○	○	○		
	Khu22041	現代社会論		★		★	講義	2		○	○	○		
	Khu22051	社会研究1		★		★	講義	2		○	○	○		
	Kgl23361	国際開発論				★	講義			○	○	○		
	Kgl130010	哲学概論		★		★	講義	2	○	○	○	○		
	Kgl13011	倫理学		★		★	講義	2	○	○	○	○		
	Kgl13031	宗教学		★		★	講義	2		○	○	○		
	Kgl24571	世界の宗教				★	講義			○	○	○		
	大学が独自に設定する科目	CQT5301201	人権教育論		★	★	★	講義	2	○	○	○	○	
		CQT5305101	障がい者理解		★	★	★	講義	2	○	○	○	○	
		CQT5307101	学校安全論		★	★	★	講義	2	○	○	○	○	
		CQT6001201	学校ボランティア		★	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	第66条の6に定める科目	Cl13101	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
		Cl13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	
Cl13262		スポーツ実習2	K1/K2	★	★	★	実習	1	○	○	○	○		
Cgg12011		英語1		★	★	★	演習	1	○					
Cgg12012		英語2		★	★	★	演習	1	○					
Cl13201		教職コンピューター入門		★	★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科(社会・公民免許)

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				社会	公民							
教科に関する科目	Kgl231310	日本史		★		講義	2		○	○	○	
	Kgl23201	西洋史		★		講義	2		○	○	○	
	Kgl23211	東洋史		★		講義	2		○	○	○	
	Kgl23271	自然地理学		★		講義	2		○	○	○	
	Kgl231410	歴史地理学		★		講義	2		○	○	○	
	Cla13091	法学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cla13081	政治学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Kgl23221	社会学		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl23261	経済学		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgs23041	社会運動論		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgs23091	比較社会学		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl233610	国際開発論		★	★	講義	2		○	○	○	
	Kgl130010	哲学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Kgl130110	倫理学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
Kgl130310	宗教学		★	★	講義	2		○	○	○		
Kgl24571	世界の宗教			★	講義	2		○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5301201	人権教育論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CQT5305101	障がい者理解		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CQT5307101	学校安全論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CQT6001201	学校ボランティア		★	★	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○				
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○				
	Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

芸術学部 造形学科

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業形態	単位数	配当年次				備考		
				中	高	美術			美術	工芸	1年	2年		3年	4年
				美術	美術										
教科に関する科目	Afa10001	芸術基礎実習1		★	●		実習	2	○						
	Afa23083	映像メディア表現3		●	●		演習	1		○	○	○	1単位以上 選択必修		
	Afa23084	映像メディア表現4		●	★		演習	1		○	○	○			
	Afa10003	芸術基礎実習3		★	★	★	実習	2	○						
	Afa10004	芸術基礎実習4		★	●		実習	2	○						
	Afa23081	映像メディア表現1		●	●		演習	1		○	○	○	1単位以上 選択必修		
	Afa23082	映像メディア表現2		●			演習	1		○	○	○			
	Afa10002	芸術基礎実習2		★		★	実習	2	○						
	Afa23051	工芸1		●		●	演習	1		○	○	○	2単位以上 選択必修		
	Afa23052	工芸2		●		●	演習	1		○	○	○			
	Afa23053	工芸3		●		●	演習	1		○	○	○			
	Afa23054	工芸4		●		●	演習	1		○	○	○			
	Afa23061	図法製図1				★	実習	1		○	○	○			
	Afa23062	図法製図2				★	★	実習	1		○	○	○		
	Cet11051	美学概論			★	★		講義	2	○	○	○	○		
	Cet11071	美術史			★	★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Afa32091	アートマネジメント1			★	★	★	講義	1			○	○		
	Cet11081	日本美術史			★	★		講義	2	○	○	○	○		
	Cet11091	東洋美術史			★	★		講義	2	○	○	○	○		
	Cet11111	西洋美術史			★	★		講義	2	○	○	○	○		
Cet11041	芸術学			★	★		講義	2	○	○	○	○			
Cet11131	デザイン論			★		★	講義	2	○	○	○	○			
Cet11121	工芸概論					★	講義	2	○	○	○	○			
Cmi27031	京都の伝統工芸講座1					★	講義	2		○	○	○			
Cmi27032	京都の伝統工芸講座2					★	講義	2		○	○	○			
Afa22011	美術工芸史1					★	講義	2		○	○	○			
Afa22012	美術工芸史2					★	講義	2		○	○	○			
Cet11141	素材論				●	★	講義	1	○	○	○	○			
大学が独自に設定する科目	CQT5307101	学校安全論		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	6単位以上 選択必修		
	CQT5301201	人権教育論		●	●	●	講義	2		○	○	○			
	CQT5303101	現代学校論		●	●	●	講義	2	○	○	○	○			
	CQT5305101	障がい者理解		●	●	●	講義	2	○	○	○	○			
	CQT6001201	学校ボランティア		●	★	●	講義	2	○	○	○	○			
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること		
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	★	実習	1	○	○	○	○			
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	★	実習	1	○	○	○	○			
	Cgg12011	英語1		★	★	★	演習	1	○						
	Cgg12012	英語2		★	★	★	演習	1	○						
	Cla13201	教職コンピューター入門		★		★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講		

デザイン学部 イラストコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考	
				中	高			1年	2年	3年	4年		
				美術	美術								
教科に関する科目	Dil10001	イラスト基礎実習1		★	★	実習	2	○					
	Dil10002	イラスト基礎実習2		★	★	実習	2	○					
	Dil10003	イラスト基礎実習3		★	★	実習	2	○					
	Dil10004	イラスト基礎実習4		★	★	実習	2	○					
	Dil33021	イラスト応用演習1		★	★	演習	1		○	○			
	Dil33022	イラスト応用演習2		★	★	演習	1		○	○			
	Dil13001	イラスト基礎演習1		★	★	演習	1	○	○	○	○		
	Dil13002	イラスト基礎演習2		★	★	演習	1	○	○	○	○		
	Dil13005	イラスト基礎演習5		★	★	演習	1	○	○	○	○		
	Dil13007	イラスト基礎演習7		★	★	演習	1	○	○	○	○		
	Dil13003	イラスト基礎演習3		●	●	演習	1	○	○	○	○	1単位以上選択必修	
	Dil13004	イラスト基礎演習4		●	●	演習	1	○	○	○	○		
	Dfd23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○		
	Dfd11001	デザイン概論1		★	★	講義	1	○					
	Dfd11002	デザイン概論2		★	★	講義	1	○					
	Dfd11021	デザインリテラシー1		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Dfd11022	デザインリテラシー2		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Dil30013	イラスト応用実習3		★	★	実習	2			○			
	Dil30014	イラスト応用実習4		★	★	実習	2			○			
	Dfd23021	工芸		★		実習	2		○	○	○		
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○		
Afa32091	アートマネジメント論1		★	★	講義	1		○	○				
Cet11061	現代美術概論		★	★	講義	2	○	○	○	○			
独自の科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修	
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○		
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○					
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○					
Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○		2021年度休講	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

デザイン学部 グラフィックデザインコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考		
				中	高			1年	2年	3年	4年			
				美術	美術									
教科に関する科目	Dvd10001	ビジュアルデザイン基礎実習1		★	★	実習	2	○						
	Dvd10002	ビジュアルデザイン基礎実習2		★	★	実習	2	○						
	Dvd10003	ビジュアルデザイン基礎実習3		★	★	実習	2	○						
	Dvd10004	ビジュアルデザイン基礎実習4		★	★	実習	2	○						
	Dfd23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○			
	Dfd11001	デザイン概論1		★	★	講義	1	○						
	Dfd11002	デザイン概論2		★	★	講義	1	○						
	Dfd11021	デザインリテラシー1		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Dfd11022	デザインリテラシー2		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Dvd20012	ビジュアルデザイン応用実習2		★	★	実習	2		○					
	Dvd30013	ビジュアルデザイン応用実習3		★	★	実習	2			○				
	Dfd23021	工芸		★		実習	2		○	○	○			
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○			
	独自の科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修	
		CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○		
	第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
		Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○		
		Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○		
		Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○					
		Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○					
	Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○		2021年度休講	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

デザイン学部 プロダクトコミュニケーションコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業形態	単位数	配当年次				備考	
				中	高				1年	2年	3年	4年		
					美術	美術								工芸
教科に関する科目	Dpd10002	プロダクトデザイン基礎実習2		★	★		実習	2	○					
	Dpd10003	プロダクトデザイン基礎実習3		★	★	★	実習	2	○					
	Dpd23211	プロダクトデザイン応用演習11		★	★	★	演習	1		○	○	○		
	Dpd23212	プロダクトデザイン応用演習12		★	★	★	演習	1		○	○	○		
	Dpd23213	プロダクトデザイン応用演習13		★	★	★	演習	1		○	○	○		
	Dpd23216	プロダクトデザイン応用演習16		★	★	★	演習	1		○	○	○		
	Dpd23229	プロダクトデザイン応用演習19		★	★	★	演習	1		○	○	○		
	Dpd23222	プロダクトデザイン応用演習22		★	★	★	演習	1		○	○	○		
	Dpd10001	プロダクトデザイン基礎実習1		★	★	★	実習	2	○					
	Dpd20005	プロダクトデザイン基礎実習5		★	★	★	実習	2		○	○	○		
	Dpd20006	プロダクトデザイン基礎実習6		★	★	★	実習	2		○	○	○		
	Dpd13101	プロダクトデザイン基礎演習1		★	★	★	演習	1		○	○	○	○	
	Dpd23121	プロダクトデザイン基礎演習2		★	★	★	演習	1		○	○	○	○	
	Dpd23121	プロダクトデザイン基礎演習3		★	★	★	演習	1		○	○	○	○	
	Cet11051	美学概論		★	★		講義	2		○	○	○	○	
	Cet11071	美術史		★	★	★	講義	2		○	○	○	○	
	Cet11081	日本美術史		●	●		講義	2		○	○	○	○	2単位以上選択必修
	Cet11091	東洋美術史		●	●		講義	2		○	○	○	○	
	Cet11111	西洋美術史		●	●		講義	2		○	○	○	○	
	Cet11041	芸術学		●	●		講義	2		○	○	○	○	
Cet11121	工芸概論				★	講義	2		○	○	○	○		
Cet11131	デザイン論				★	講義	2		○	○	○	○		
Cmi27031	京都の伝統工芸講座1				●	講義	2			○	○	○	2単位以上選択必修	
Cmi27032	京都の伝統工芸講座2				●	講義	2			○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	●	講義	2		○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	●	講義	2		○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2		○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	★	実習	1		○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	★	実習	1		○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	★	演習	1		○				
	Cgg12012	英語2		★	★	★	演習	1		○				
	Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	★	演習	2		○				2021年度休講

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

デザイン学部 ライフクリエイションコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業形態	単位数	配当年次				備考	
				中	高				1年	2年	3年	4年		
					美術	美術								工芸
教科に関する科目	Dpd10002	プロダクトデザイン基礎実習2		★	★		実習	3	○					
	Dpd10003	プロダクトデザイン基礎実習3		★	★	★	実習	3	○					
	Dpd23211	プロダクトデザイン応用演習11		★	★	★	演習	3		○	○	○		
	Dpd23212	プロダクトデザイン応用演習12		★	★	★	演習	3		○	○	○		
	Dpd23213	プロダクトデザイン応用演習13		★	★	★	演習	3		○	○	○		
	Dpd23216	プロダクトデザイン応用演習16		★	★	★	演習	3		○	○	○		
	Dpd23229	プロダクトデザイン応用演習19		★	★	★	演習	3		○	○	○		
	Dpd23222	プロダクトデザイン応用演習22		★	★	★	演習	3		○	○	○		
	Dpd10001	プロダクトデザイン基礎実習1		★	★	★	実習	3	○					
	Dpd20005	プロダクトデザイン基礎実習5		★	★	★	実習	3		○				
	Dpd20006	プロダクトデザイン基礎実習6		★	★	★	実習	3		○				
	Dpd13101	プロダクトデザイン基礎演習1		★	★	★	演習	3		○	○	○	○	
	Dpd13102	プロダクトデザイン基礎演習2		★	★	★	演習	2		○	○	○	○	
	Dpd13103	プロダクトデザイン基礎演習3		★	★	★	演習	2		○	○	○	○	
	Cet11051	美学概論		★	★		講義	2		○	○	○	○	
	Cet11071	美術史		★	★	★	講義	2		○	○	○	○	
	Cet11081	日本美術史		●	●		講義	2		○	○	○	○	2単位以上選択必修
	Cet11091	東洋美術史		●	●		講義	2		○	○	○	○	
	Cet11111	西洋美術史		●	●		講義	2		○	○	○	○	
	Cet11041	芸術学		●	●		講義	2		○	○	○	○	
Cet11121	工芸概論				★	講義	2		○	○	○	○		
Cet11131	デザイン論				★	講義	2		○	○	○	○		
Cmi27031	京都の伝統工芸講座1				●	講義	2			○	○	○	2単位以上選択必修	
Cmi27032	京都の伝統工芸講座2				●	講義	2			○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	●	講義	2		○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	●	講義	2		○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2		○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	★	実習	2		○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	★	実習	2		○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	★	演習	1		○				
	Cgg12012	英語2		★	★	★	演習	1		○				
	Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	★	演習	2		○				2021年度休講

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

マンガ学部 カートゥーンコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				美術	美術							
教科に関する科目	Mct10001	マンガ基礎実習1		★	★	実習	2	○				
	Mct10002	マンガ基礎実習2		★	★	実習	2	○				
	Mct10003	マンガ基礎実習3		★	★	実習	2	○				
	Mdm23131	基礎デッサン1		●	●	実習	1		○	○	○	3単位以上選択必修
	Mdm23132	基礎デッサン2		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23133	基礎デッサン3		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23134	基礎デッサン4		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mfm23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○	
	Mdm23061	マンガデザイン1		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23062	マンガデザイン2		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23063	マンガデザイン3		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23064	マンガデザイン4		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mfm23021	工芸		★		実習	2		○	○	○	
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○				
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○				
	Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

マンガ学部 ストーリーマンガコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				美術	美術							
教科に関する科目	Mct10001	マンガ基礎実習1		★	★	実習	2	○				
	Mct10002	マンガ基礎実習2		★	★	実習	2	○				
	Mct10003	マンガ基礎実習3		★	★	実習	2	○				
	Mdm23131	基礎デッサン1		●	●	実習	1		○	○	○	3単位以上選択必修
	Mdm23132	基礎デッサン2		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23133	基礎デッサン3		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23134	基礎デッサン4		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mfm23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○	
	Mdm23061	マンガデザイン1		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23062	マンガデザイン2		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23063	マンガデザイン3		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23064	マンガデザイン4		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mfm23021	工芸		★		実習	2		○	○	○	
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○				
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○				
	Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

マンガ学部 新世代マンガコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				美術	美術							
教科に関する科目	Mct10001	マンガ基礎実習1		★	★	実習	2	○				
	Mct10002	マンガ基礎実習2		★	★	実習	2	○				
	Mct10003	マンガ基礎実習3		★	★	実習	2	○				
	Mdm23131	基礎デッサン1		●	●	実習	1		○	○	○	3単位以上選択必修
	Mdm23132	基礎デッサン2		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23133	基礎デッサン3		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23134	基礎デッサン4		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mfm23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○	
	Mdm23061	マンガデザイン1		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23062	マンガデザイン2		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23063	マンガデザイン3		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23064	マンガデザイン4		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mfm23021	工芸		★		実習	2		○	○	○	
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○				
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○				
Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

マンガ学部 キャラクターデザインコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				美術	美術							
教科に関する科目	Mct10001	マンガ基礎実習1		★	★	実習	2	○				
	Mct10002	マンガ基礎実習2		★	★	実習	2	○				
	Mct10003	マンガ基礎実習3		★	★	実習	2	○				
	Mdm23131	基礎デッサン1		●	●	実習	1		○	○	○	3単位以上選択必修
	Mdm23132	基礎デッサン2		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23133	基礎デッサン3		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mdm23134	基礎デッサン4		●	●	実習	1		○	○	○	
	Mfm23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○	
	Mdm23061	マンガデザイン1		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23062	マンガデザイン2		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23063	マンガデザイン3		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mdm23064	マンガデザイン4		★	★	演習	1		○	○	○	
	Mfm23021	工芸		★		実習	2		○	○	○	
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○		
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に定める科目	Cla13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	Cla13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cla13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○	
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○				
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○				
Cla13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

マンガ学部 アニメーションコース

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考	
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年		
教科に関する科目	Man10001	アニメーション基礎実習1		★	★	実習	2	○					
	Man10002	アニメーション基礎実習2		★	★	実習	2	○					
	Man10003	アニメーション基礎実習3		★	★	実習	2	○					
	Man13011	アクションドローイング基礎1		★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Man13012	アクションドローイング基礎2		★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Man13013	アクションドローイング基礎3		★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Mfm23011	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○		
	Man10004	アニメーション基礎実習4		★	★	実習	2	○					
	Man20005	アニメーション基礎実習5		★	★	実習	2		○				
	Man20006	アニメーション基礎実習6		★	★	実習	2		○				
	Mfm23021	工芸		★	★	実習	2		○	○	○		
	Cet11051	美学概論		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11071	美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○		
	Cet11081	日本美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○		
Cet11091	東洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○			
Cet11111	西洋美術史		★	★	講義	2	○	○	○	○			
Cet11041	芸術学		★	★	講義	2	○	○	○	○			
大学が独自に設定する科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修	
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2	○	○	○	○		
第66条の6に定める科目	Cl13101	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	Cl13261	スポーツ実習1	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Cl13262	スポーツ実習2	K1/K2	★	★	実習	1	○	○	○	○		
	Cgg12011	英語1		★	★	演習	1	○					
	Cgg12012	英語2		★	★	演習	1	○					
Cl13201	教職コンピューター入門		★	★	演習	2	○	○	○	○	2021年度休講		

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

博物館学芸員課程

1. 博物館学芸員課程履修の心得

博物館に基づき、博物館において資料の収集や保管、展示、調査研究をおこなう専門的職員を一般に博物館学芸員といいます。「博物館」と呼ばれるものにも様々な館種があり、歴史・自然科学・民族などの博物館だけでなく、動物園、水族館、植物園などにおいても専門職としての職域が開かれています。本学では『博物館法』に定める科目を取得する中で、博物館学芸員に必要な資質・能力を積極的に身につけたいと考える右記のような熱意ある学生の履修を望みます。

- 博物館に興味があり、博物館学芸員になりたい人
- 一人としてマナーを守り、謙虚な気持ちで博物館実習に臨める人
- 生涯学習に関心がある人

2. 博物館学芸員資格を取得するために必要な条件とは

博物館学芸員課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム(教育課程)とはまったく別のカリキュラムとなります。博物館学芸員資格を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、博物館学芸員課程で定めた科目の単位を修得する必要があります。

博物館学芸員資格を取得するための条件

- (1) 博物館学芸員課程の課程登録を済ませていること(資格課程ハンドブック参照)。
- (2) 学士の学位を有すること(卒業することが条件)。
- (3) 博物館学芸員課程で定めた科目の単位を修得すること。

3. 博物館実習とは

博物館業務の基本は、資料を収集・保管・展示し、そのための調査研究、整理、分類、作品解説等を行うことです。授業科目の「博物館実習」では、博物館活動の基礎知識ならびに初歩的技術を修得するために、博物館施設において本学担当教員および博物館学芸員から実地で指導を受け、博物館実務の理論と実践を学びます。

本学の博物館学芸員課程では、3年次後期に実習先の博物館施設を学生各自が選択し、4年次に館務実習を行います。

(1) 学内実習

学内において、担当教員から収集・保管・資料管理等についての指導を受ける。

(2) 見学実習

担当教員の引率・指導のもと、もしくは学生各自で博物館施設における展示および文化財などの見学(年間を通じて10館程度)を行う。

(3) 館務実習

博物館・美術館において、現職の博物館学芸員から実務指導を受ける。館務実習は原則として、夏期休暇期間中に1週間程度実施する。

4. 博物館学芸員課程の4年間の流れ

4年間の流れ

年次	月	内容
1年	4月	学芸員資格に関する科目履修開始
2年	4月	資格課程ガイダンス(課程登録手続き)
3年	4月	資格課程ガイダンス
	11月	博物館実習予備登録説明会
4年	4月	資格課程ガイダンス
	8月頃	博物館実習
	3月下旬	学芸員資格取得(卒業式)

5. 博物館学芸員課程 履修科目一覧

- 【4年次「博物館実習」履修条件】①「博物館実習」を除くA群必修科目の単位をすべて修得済みであること。
②B群選択科目のうち、B1からB5(B6)までの5(6)系列の中から2系列以上にわたり、2科目4単位以上を修得済みであること。

図書館司書課程

国際文化学部 履修科目一覧

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次				備考
							1年	2年	3年	4年	
A群	CQG5001102	生涯学習概論	B	必修	講義	2	○	○	○		前期Aクラスの代替可
	CQM5001101	博物館概論		必修	講義	2	○	○			
	CQM5011301	博物館経営論		必修	講義	2		○			
	CQM5021301	博物館資料論		必修	講義	2		○			
	CQM5031301	博物館資料保存論		必修	講義	2			○		
	CQM5041201	博物館展示論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5051201	博物館教育論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5061201	博物館情報・メディア論		必修	講義	2		○			
	CQM6001401	博物館実習		必修	実習	3				○	
B1群	HCH3617201	日本文化史		選択	講義	2		○	○		B1～B6までのB群6系列の中から、2系列以上にわたり、2科目4単位以上を選択必修
	HCH3505201	説話・伝承史		選択	講義	2		○	○		
B2群	HCH3621201	日本の美術		選択	講義	2		○	○		
	HCH3623201	アジアの美術		選択	講義	2		○	○		
B3群	HCH3601201	考古学特講		選択	講義	2		○	○		
B4群	HCH3609201	民俗学概論		選択	講義	2		○	○		
B5群	(※1)	自然科学概論	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B6群	(※1)	生物学	A/B	選択	講義	2	○	○	○		

メディア表現・芸術・デザイン・マンガ学部 履修科目一覧

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次				備考
							1年	2年	3年	4年	
A群	CQG5001102	生涯学習概論	B	必修	講義	2	○	○	○		前期Aクラスの代替可
	CQM5001101	博物館概論		必修	講義	2	○	○			
	CQM5011301	博物館経営論		必修	講義	2		○			
	CQM5021301	博物館資料論		必修	講義	2		○			
	CQM5031301	博物館資料保存論		必修	講義	2			○		
	CQM5041201	博物館展示論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5051201	博物館教育論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5061201	博物館情報・メディア論		必修	講義	2		○	○		
	CQM6001401	博物館実習		必修	実習	3				○	
B1群	(※1)	美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		B1～B5までのB群5系列の中から、2系列以上にわたり、2科目4単位以上を選択必修
	(※1)	西洋美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
	(※1)	日本美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
	(※1)	東洋美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B2群	CHU1019101	考古学		選択	講義	2	○	○	○		
B3群	(※1)	民俗学	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B4群	(※1)	自然科学概論	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B5群	(※1)	生物学	A/B	選択	講義	2	○	○	○		

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P61～のカリキュラムページで確認してください。

1. 図書館司書課程履修の心得

図書館とはこれまで生きてきた人びとが積み重ねてきた表現活動資料が蓄積された場です。図書館司書はこのような資料を守り、人びととつなげる役割を果たす人たちのことです。現在の図書館は、情報技術のめざましい発展により、図書館相互のネットワーク機能や館内の検索機能、所蔵品データベースの多機能化、情報の発信などさまざまな機能が向上しています。一方で多様な人びとが利用できるようなサービスの向上などが社会からより一層求められるようになっていきます。

図書館司書となる資格を得るためには『図書館法』第5条第1項および本学が定めた規定に基づく条件を満たす必要がありますが、同時にこのような現在の社会状況を認識し、対応できる人材とならなくてはなりません。

本学図書館司書課程では以下のような熱意ある学生の履修を望みます。

- 生涯学習に関心がある人
- 資料収集・分析に取り組むことができる人
- 粘り強く、継続して学び続ける姿勢を持っている人
- コミュニケーション能力のある人
- 芸術、文化などの面で自らの知識を伸ばし、地域や社会に役立ちたいと思っている人

2. 図書館司書資格を取得するために必要な条件とは

図書館司書課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム(教育課程)とはまったく別のカリキュラムとなります。図書館司書資格を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、図書館司書課程で定めた科目の単位を修得する必要があります。

図書館司書資格を取得するための条件

- (1) 図書館司書課程の課程登録を済ませていること(資格課程ハンドブック参照)。
- (2) 学士の学位を有すること(卒業することが条件)。
- (3) 図書館司書課程で定めた科目の単位を修得すること。

3. 図書館司書課程 履修科目一覧

【履修条件】次の科目には履修順序や履修条件の指定があります。

①情報サービス系

「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は同一学期に履修すること。なお、「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」の履修は、「情報サービス論」の単位修得を前提条件とする。

②情報資源組織系

「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」は同一学期に履修すること。なお、「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」の履修は、「情報資源組織論」の単位修得を前提条件とする。(人文学部生は、3年次前期に「フィールドスタディーズ」を履修するため、情報資源組織系3科目は4年次に履修してください。再履修のチャンスはありません)

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次				備考
							1年	2年	3年	4年	
全学部対象履修科目一覧	CQG5001101	生涯学習概論(生涯学習概論I)	A	必修	講義	2	◎	○	△	△	後期Bクラスの代替履修可
	CQL5000101	図書館概論		必修	講義	2	◎	○	△	△	
	CQL5001301	図書館制度・経営論		必修	講義	2			○	○	
	CQL5011301	図書館情報技術論		必修	講義	2			○	○	
	CQL5021201	図書館サービス概論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL5031201	児童サービス論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL5041201	図書館情報資源概論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL5051201	情報サービス論		必修	講義	2		○	○	○	同一年次に履修すること
	CQL6001201	情報サービス演習1		必修	演習	1		○	○	○	
	CQL6002201	情報サービス演習2		必修	演習	1		○	○	○	
	CQL5061301	情報資源組織論		必修	講義	2			○	○	同一年次に履修すること
	CQL6011301	情報資源組織演習1	A/B	必修	演習	1			○	○	
	CQL6012301	情報資源組織演習2	A/B	必修	演習	1			○	○	
	CQL5101301	図書館サービス特論		選択必修	講義	2			○	○	3科目のうち2科目以上を選択必修
CQL5111301	図書館情報資源特論		選択必修	講義	2			○	○		
CQL5121201	図書・図書館史		選択必修	講義	2		○	○	○		

諸規程

SCHOOL REGULATIONS



※2021年2月末時点の情報です。変更される場合がありますので、最新情報は大学Webサイトで確認してください。

第1章 総則

〔目的〕

第1条　本学は学校教育法および教育基本法の規定するところに従い、大学教育を施し、広く知識を授けるとともに、深い学問芸術を研究・教授し、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

〔自己評価等〕

第2条　本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的および社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表する。

2　前項の点検および評価を行うため、委員会を設ける。

3　委員会に関する規程は、これを別に定める。

4　点検、評価の項目等については、別にこれを定める。

〔学部、学科、入学定員および収容定員〕

第3条　本学に次の学部・学科をおく。

芸術学部
造形学科
デザイン学部
イラスト学科
ビジュアルデザイン学科
プロダクトデザイン学科
建築学科
マンガ学部
マンガ学科
アニメーション学科
メディア表現学部
メディア表現学科
国際文化学部
人文学科
グローバルスタディーズ学科

2　前項の学部・学科の入学定員および収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
芸術学部	造形学科	112人	448人
	イラスト学科	64人	256人
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	64人	256人
	プロダクトデザイン学科	72人	288人
	建築学科	56人	224人
マンガ学部	マンガ学科	232人	928人
	アニメーション学科	80人	320人
メディア表現学部	メディア表現学科	168人	672人
国際文化学部	人文学科	160人	640人
	グローバルスタディーズ学科	90人	360人

〔人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的〕

第3条の2　前条の学部・学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

〔芸術学部〕

人間の多様性を理解した上で、幅広い視野から適切な表現方法を用いてコミュニケーションをとることができ、さらに芸術によって培われる専門性と創造力で人類社会の諸課題に取り組むことができる主体性をもった人間形成を目的とする。

造形学科

伝統的造形芸術の知識技法にとどまらず、多角的な観察と自立した思考力によって新たな表現を創造する能力と造形芸術を開拓できる資質を備えた人材の養成を行う。

〔デザイン学部〕

デザイン領域において高度な技法知識を修得し新たな可能性を探究すること、および自立した思考によってグローバル社会および地域社会に現実的に貢献するデザイナー・プランナーの資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

〔イラスト学科〕

デザインやアートといった多様なフィールドで展開が可能となるイラスト領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

ビジュアルデザイン学科

情報技術の発展によってその目的および手法が飛躍的に拡大した視覚デザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

プロダクトデザイン学科

社会活動や生活に使用される道具、器具、装置などのデザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

建築学科

環境、建築、居住空間などのデザイン・設計の領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

〔マンガ学部〕

マンガ文化の再評価とともに重要視されるマンガやアニメーションの制作と理論について多角的な教育研究を行い新たな可能性を探究すること、およびマンガ文化の継承と発展に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

マンガ学科

マンガの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってマンガ表現の発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

アニメーション学科

アニメーションの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってアニメーションの発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

〔メディア表現学部〕

メディアと情報に関する広範な知識と専門的な表現技能を活用した豊かな人間性を育む文化表現を通して、コンテンツの制作やメディアの活用、新しいビジネスモデルの構想などによって次世代の産業界の発展に貢献する資質を備えた、人間形成を行うことを目的とする。

メディア表現学科

技術革新が進む人類社会において、急激に変化し続けるメディアと産業システムの動向をふまえたうえで、豊かな文化の発展にも寄与し、時代の先端を切り開くコンテンツ、メディア、新たなビジネスモデルを創造できる人材の養成を目的とする。

〔国際文化学部〕

アフリカ・アジアの文化、京都を中心とした日本の歴史や文化、そして世界の相関を理解し、現在の社会が抱える多様な課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人間形成を行うことを目的とする。

人文学科

日本の「文学」、「歴史」、「社会」、「文化」を研究対象とし、日本を基点とした世界の文化と社会を多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

グローバルスタディーズ学科

著しい発展と同時に多様な課題を抱え、世界が目注するアフリカ・アジア地域に学びの場を重点化し、世界の新しい関係性や構造をグローバルな視点で捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

〔大学院〕

第4条　本学に大学院をおく。
2　大学院の学則は、別に定める。

〔修業年限〕

第5条　本学の修業年限は4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。
2　学長が有益と認めるときは、他の大学等における修学期間を修業年限に算入することができる。ただし、修業年限については1年を超えて算入することはできない。

3　前項の規定は、外国の大学における修学期間についても準用する。

第2章 学年・学期および休業日

〔学年〕

第6条　本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
〔学期および授業日数〕
第7条　1学年の授業日数は定期試験の日数を含めて35週、210日を下らないものとし、1学年を分けて次の学期とする。
① 第1クォーター
② 第2クォーター
③ 第3クォーター
④ 第4クォーター
2　第1クォーター、第3クォーターの開始日はそれぞれ4月1日、10月1日とし、第2クォーター・第4クォーターの開始日は、学長が年度ごとに定める。
3　第2クォーター、第4クォーターの終了日はそれぞれ9月30日、3月31日とし、第1クォーター・第3クォーターの終了日は、学長が年度ごとに定める。
4　学長が必要と認めたとときは、クォーターの開始日・終了日を変更することができる。

〔休業日〕

第8条　休業日は次のとおりとする。
① 日曜日
② 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
③ 春季・夏季・秋季・冬季の休業期間は、学長が年度ごとに定める。
2　学長が必要と認めたとときは、臨時に休業日を設け、または休業日を変更することができる。
3　学長が必要と認めたとときは、休業日に授業を行うことができる。

〔授業日〕

第8条　休業日は次のとおりとする。

① 日曜日
② 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
③ 春季・夏季・秋季・冬季の休業期間は、学長が年度ごとに定める。

2　学長が必要と認めたとときは、臨時に休業日を設け、または休業日を変更することができる。

3　学長が必要と認めたとときは、休業日に授業を行うことができる。

第3章 教育課程・単位・教育課程の履修

〔教育課程の編成〕

第9条　本学は、学部および学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

2　教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

〔授業科目および単位数〕

第10条　本学の授業科目および単位数は別表Ⅰ、別表Ⅱ、別表Ⅲ、および別表Ⅳのとおりとする。

2　学長は他学部および他学科が開設する授業科目の中から学部交流科目および学科交流科目を定め、当該学部および学科の卒業に必要な単位とすることができる。

〔授業の方法〕

第10条の2　授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。

2　学長が教育上有益と認めるときは、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で授業を行うことができる。

3　前項により与えることができる単位数は60単位を超えないものとする。

4　第2項の規定により実施する授業科目については、学長が定め学生に通知するものとする。

5　第1項の授業の一部を、本学の校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

〔単位計算方法〕

第11条　各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の各号の基準によって計算する。

(1)講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で定められた時間の授業をもって1単位とする。

(2)実験、実習および実技等の授業については、30時間から45時間までの範囲で定められた時間の授業をもって1単位とする。ただし、個人指導による実技の授業については、相応の時間の授業をもって1単位とする。

2　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業制作、学外学修・個別課題学習等の授業科目および公の技能審査等による認定を受けた者については、これらの学修の成果を評価して適切な単位を授与することができる。

〔教育課程の履修〕

第12条　学生は原則として、別表Ⅰに定める教育課程に従い、各年次に配当された授業科目を履修する。

2　学生が各年次所定の授業科目を履修しない場合、または所定の単位を修得しない場合は、次学年に進級することができない。進級に関する事項は別にこれを定める。

第4章 卒業

3　卒業に必要な単位は、124単位とする。

〔他の大学または短期大学における授業科目の履修等〕

第13条　学長が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学の授業科目を履修することを認める。

2　前項の規定に基づいて学生が履修した単位は60単位を超えない範囲で、本学で修得したものとみなすことができる。

3　前項の規定は、学生が外国の大学に留学する場合に準用する。

4　留学に関する規程は、別にこれを定める。

〔大学以外の教育施設等における学修〕

第14条　学長が本学における教育水準を有し、教育上有益と認めるときは、学生が行う高等専門学校の専攻科における学修、修業年限2年以上の専修学校専門課程における学修、文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修を本学における履修とみなし単位を与えることができる。

2　前項により与えることができる単位数は、前条第2項の規定による単位数とあわせて60単位を超えないものとする。

〔入学前の既修得単位等の認定〕

第15条　学長が教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を本学で修得したものとみなすことができる。

2　学長が教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3　前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第13条第2項および前条第2項の規定による単位数とあわせて60単位を超えないものとする。

〔特別聴講生〕

第16条　他の大学等の学生で、当該他の大学等との協議に基づき、本学において授業科目を履修することを志願する者については特別聴講生として、学長がこれを許可することができる。

2　特別聴講生に関する規程は本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

〔履修登録〕

第17条　学生は履修しようとする授業科目を毎学期始め、所定の期日までに届け出なければならない。

2　学生は当該学部が定める登録上限単位数の範囲内で履修登録しなければならない。

〔資格の取得〕

第18条　学に教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程をおく。本学において教育職員免許状の取得を希望する者は、教育職員免許法および教育免許法施行規則に基づき、本学が別表Ⅱに定める教職および教科に関する専門科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

本学における教育職員免許状の教科および種類は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類(教科)
芸術学部	造形学科	中学校教諭一種免許状(美術) <p>高等学校教諭一種免許状(美術)</p> <p>高等学校教諭一種免許状(工芸)</p>
	イラスト学科	中学校教諭一種免許状(美術) <p>高等学校教諭一種免許状(美術)</p>
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) <p>高等学校教諭一種免許状(美術)</p>
	プロダクトデザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) <p>高等学校教諭一種免許状(美術)</p> <p>高等学校教諭一種免許状(工芸)</p>
マンガ学部	マンガ学科	中学校教諭一種免許状(美術) <p>高等学校教諭一種免許状(美術)</p>
	アニメーション学科	中学校教諭一種免許状(美術) <p>高等学校教諭一種免許状(美術)</p>
国際文化学部	人文学科	中学校教諭一種免許状(国語) <p>中学校教諭一種免許状(社会)</p> <p>高等学校教諭一種免許状(国語)</p> <p>高等学校教諭一種免許状(地理歴史)</p> <p>高等学校教諭一種免許状(公民)</p>
	グローバルスタディーズ学科	中学校教諭一種免許状(社会) <p>高等学校教諭一種免許状(公民)</p>

国際文化学部 学則

デザイン学部 学則

マンガ学部 学則

メディア表現学部 学則

芸術学部 学則

2 図書館司書の資格を取得しようとする者は、図書館法および図書館法施行規則に基づき、本学が別表Ⅲに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。図書館司書課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
	イラスト学科
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

マンガ学部 学則

3 図書館司書の資格を取得しようとする者は、図書館法および図書館法施行規則に基づき、本学が別表Ⅲに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。図書館司書課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
	イラスト学科
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

デザイン学部 学則

マンガ学部 学則

メディア表現学部 学則

芸術学部 学則

第4章 教育課程修了の認定・単位の授与・卒業および称号

【教育課程修了の認定】

第19条 教育課程修了の認定は授業科目の試験、研究報告の成績を審査し、その結果に基づき、教授会の審議を経て学長が行う。

2 成績の評価はS(100点～90点)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、F(59点以下)、K(評価対象外)とし、S、A、B、Cをもって合格とする。

3 成績の評価をせず単位の認定のみを行う場合はN(認定)を用いる。

4 総合成績評価としてGPAを用いる場合は、第2項の成績評価のSを4、Aを3、Bを2、Cを1、FおよびKを0の評点に置き換え、履修科目の単位数で乗じた点数の合計を、総履修科目単位数で除して算出する。なおNの評価を受けた授業科目はGPA算出の対象外とする。

【単位の授与】

第20条 学長は、別表IからⅣに定める授業科目を履修した学生に対し、当該授業科目の試験および研究報告の成績を審査し、その結果に基づき、教授会の審議を経て、相当する数の単位を与える。

【卒業】

第21条 学長は本学の学部で4年以上在学し、第12条に規定する卒業に必要な単位を修得し、かつ学費等納入金について大学への諸債務を滞納していない者について、教授会の審議を経て卒業を認定する。

2 学長は卒業を認定した者に対し、学位記を授与する。

【学位の授与】

第22条 本学の芸術学部、デザイン学部およびマンガ学部を卒業した者に、学士(芸術)の学位を授与する。

2 本学のメディア表現学部を卒業した者に、学士(メディア表現)の学位を授与する。

3 本学の国際文化学部を卒業した者に、学士(文化)の学位を授与する。

国際文化学部 学則

デザイン学部 学則

マンガ学部 学則

メディア表現学部 学則

芸術学部 学則

第5章 入学・編入学・転入学・休学・復学・退学・転学・除籍および再入学

【入学】

第23条 本学の入学は学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、国際文化学部については、外国人留学生・帰国生徒の第3クォーターよりの入学を認めることができる。

【入学資格】

第24条 学の第1年次に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 高等学校を卒業した者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 文部科学大臣の指定した者
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるものと本学が認めた者

【入学志願手続および合否判定】

第25条 入学を志願する者は、本学所定の出願書類に別表Vに定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 提出の方法、時期、同時に提出すべき書類等については別に定める。

3 学長は入学を志願する者に対して入学試験を実施する。

4 学長は入学試験を受験した者に対して、教授会における合否判定の審議を経て、結果を通知する。

【入学手続金の納入および入学許可】

第26条 入学試験に合格した者は、学長が指定する期日までに所定の納付金を納入し、かつ必要書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の規定により所定の納付金を納入し、必要書類を提出した者に対して、入学を許可する。

【編入学】

第27条 本学の第3年次および第2年次に編入学を希望する者については、選考のうち、学長はこれを許可することがある。

2 第3年次に編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 大学を卒業した者、または大学に2年以上在学した者
- 短期大学または高等専門学校を卒業した者
- 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学できる者

3 第2年次に編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 大学に1年以上在学した者
- 短期大学または高等専門学校を卒業した者

4 前2項の規定により入学を許可された者がすでに履修した科目および単位の取扱いについては、別にこれを定める。

【転入学】

第28条 他の大学に1年以上在学してから、本学の学部転入学しようとする者について、選考のうち、既に在学していた大学および履修した授業科目の内容と成績とを考慮して、学長は入学を許可することがある。

2 本条により入学を許可された者の修学年限は、他大学における在学年数が1年であった者は3年、2年以上であった者は2年とし、それぞれ6年、4年を超えて在学することはできない。

3 転入学を許可された者が既に履修した授業科目および単位の取扱いについては、別に定めるところによる。

【転学部、転学科】

第28条の2 転学部および転学科に関する規程は、別にこれを定める。

国際文化学部 学則

デザイン学部 学則

マンガ学部 学則

メディア表現学部 学則

芸術学部 学則

【休学】
第29条 学生が疾病その他の事由によって1ヶ月以上就学することができないときは、保証人と連署のうえ、所定の様式により願い出て、休学することができる。

2 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

3 前項の定めに関わらず、学長が特別な理由があると認めるときは、休学期間を延長することができる。

4 休学の期間は通算して4年を超えることができない。

5 休学の期間は、第5条に定める修業年限および在学年限に算入しない。

6 休学期間中の学費は、1クォーター10,000円、通年40,000円とし、納入等に関する規定は第34条による。

7 休学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【復学】

第30条 休学者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ、所定の様式により願い出て、学長の許可を得たうえ復学することができる。

2 復学は、学期の始めからとする。

3 復学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【退学および転学】

第31条 疾病、その他の事由によって退学または転学しようとする者は、保証人連署のうえ、所定の様式により退学願または転学願を提出しなければならない。

2 退学および転学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

3 懲戒による退学に関する規程は、第50条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【除籍】

第32条 学長は、学生が各号のいずれかに該当するときは、学生を除籍する。

- 第5条に規定する在学年限を超えた者者
- 第29条第2項および第3項に規定する休学年限を超えた者
- 所定の授業料等学費の納付を怠り、その督促を受けてもこれを納付しない者
- 第30条の復学手続きのない者
- 本学での就学の意思のない者
- 本人が死亡したとき
- その他、学長が相当の理由を認めた者

2 除籍に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【再入学】

第33条 退学または除籍となった者が、保証人連署のうえ、所定の様式により再入学を願い出たときは、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することがある。

2 再入学を願い出ることのできる期間は、退学または除籍の日より2年以内とする。

3 再入学は学期の始めからとする。

4 再入学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

国際文化学部 学則

デザイン学部 学則

マンガ学部 学則

メディア表現学部 学則

芸術学部 学則

第1節 入学検定料、入学金および授業料

【学費等納付金および手数料】

第34条 入学検定料、入学金および授業料は、別表Vの①のとおりとする。

2 前項に規定する既納の入学検定料、入学金および授業料等の学費は、原則として返還しない。

3 前項の規定にかかわらず、入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続の取り消しを願い出た者については、入学金またはこれに相当する金額を除く学費を返還する。

4 入学検定料以外の手数料については、別にこれを定める。

5 学費納入等に関する規定は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【奨学金】

第2節 職員組織および教授会

【職員組織】

第35条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他の職員をおく。

2 学長は本学則に定める職務を行い、所属職員を統督する。

3 副学長は、学長の職務を助ける。

4 教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他の職員の職務は、学校教育法、その他の法令および本学諸規程の定めるところによる。

【教授会】

第36条 本学の教育研究に関する事項を審議するために教授会をおく。

2 教授会は、これを分けて全学教授会と学部教授会とする。

3 教授会に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【全学教授会】

第36条の2 全学教授会は、学長、専任の教授・准教授および講師を構成員として、これを組織する。

2 全学教授会は、前項に定める者の他、必要に応じ他の教職員などの出席を求めることができる。

3 全学教授会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 全学に関する重要事項
- 各学部間の連絡調整に関する事項
- 全学共通の教育課程の編成に関する事項
- 全学共通の授業科目の担当に関する事項
- 教員の人事に関する事項
- その他学長が必要と認める事項

【学部教授会】

第36条の3 学部教授会は、各学部に所属する専任の教授・准教授および講師を構成員として、これを組織する。

2 学部教授会は、前項に定める者の他、必要に応じ他の教職員などの出席を求めることができる。

3 学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

- 学生の入学(編入学・転入学を含む)、卒業および課程の修了
- 学位の授与
- 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学部教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長(以下、この項において「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

第3節 聴講生・科目等履修生・委託生・研究生・外国人留学生・帰国生徒および社会人

- [聴講生]
- 第37条** 本学の教職課程科目のうち「教職に関する専門科目」について聴講しようとする者があるときは、本学の教育・研究に支障のない場合に限り教授会の審議を経て、学長がこれを許可する。
- 2 聴講を許可する授業科目は1年度につき12単位とし、在学年限は1年以内とする。
- 3 学長は、特定の授業科目を履修し、その単位を修得した聴講生に対して、単位修得証明書を交付することができる。
- 4 聴講料等の納付金については、別表Vの③に定めるところによる。
- 5 聴講生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [科目等履修生]
- 第38条** 本学の学生以外の者が本学の特定の授業科目を履修しようとするときは、本学の教育・研究に支障がない限り、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することができる。
- 2 履修を許可する授業科目の単位数は、1年度につき12単位とし、在学年限は1年以内とする。
- 3 学長は、特定の授業科目を履修し、その単位を修得した科目等履修生に対し、単位修得証明書を交付することができる。
- 4 科目等履修の納付金については、別表Vの④に定めるところによる。
- 5 科目等履修生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [委託生]
- 第39条** 公共団体その他の機関から本学の特定の学科に修学を委託されたときは、選考のうえこれを受託し、委託の目的に合致する特定の授業科目の履修について、学長がこれを許可することができる。
- 2 前項の特定の授業科目の履修およびその単位は、委託者の希望を考慮し教授会の審議を経て、学長が決定する。
- 3 学長は、特定の授業科目を聴講し、その単位を修得した委託生に対し、単位修得証明書を交付することができる。
- 4 委託生の委託料は、別表Vの①に規定する授業料相当額とする。
- 5 委託生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [研究生]
- 第40条** 本学の専任教員のもとで研究しようとする者があるときは、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することがある。
- 2 研究生の授業料等の学費は、別表Vの⑤に定めるところによる。
- 3 研究生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [外国人留学生]
- 第41条** 勉学の目的をもった外国人で、第24条に定める要件を充足する者が本学への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。
- 2 外国人留学生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [帰国生徒]
- 第42条** 長期間の海外生活を経験した者で、第24条に定める要件を充足する者が本学への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。
- 2 帰国生徒に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [社会人]
- 第43条** 社会的経験を有する者で、第24条に定める要件を充足する者が本学への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。
- 2 社会人に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第4節 公開講座および履修証明プログラム

- [公開講座]
- 第44条** 本学に公開講座をおくことができる。
- 2 公開講座は、一般市民に対し本学の教育を公開し、学問・芸術の研究向上に資することを目的とする。
- 3 公開講座に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

- [履修証明プログラム]
- 第44条の2** 本学に履修証明プログラムをおくことができる。

- 2 履修証明プログラムは、本学および他大学の学生以外の社会人等を対象として、体系的な知識・技術等の習得を目指す課程とする。
- 3 履修証明プログラムに関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第5節 情報館

- [情報館]
- 第45条** 本学に情報館をおき、教育および研究活動に必要な図書、文献、画像、視聴覚資料および研究資料を収集管理し、教職員、学生および一般市民の利用に供する。
- 2 情報館に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第6節 保健施設および学生寮

- [保健施設]
- 第46条** 本学に教職員および学生の保健衛生を管理するために、保健室をおく。
- 2 学生は、毎年定められた時期に健康診断を受けなければならない。
- [学生寮]
- 第47条** 本学に学生寮をおく。
- 2 学生寮に関する規程は、別にこれを定める。

第7節 育英奨学制度

- [育英奨学制度]
- 第48条** 本学に育英奨学制度を設ける。
- 2 育英奨学制度に関する規程は、別にこれを定める。

第8節 賞罰

- [表彰]
- 第49条** 学長は、品行・学業とも優秀で他の模範となる学生に対して、表彰を行うことがある。

- [懲戒]
- 第50条** 学長は学則または規則に違反し、その他学生の本分に背く行為のあった学生に対して、教授会の審議を経て懲戒する。

- 2 懲戒は訓告、停学および退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。
- 品行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - 正当の理由なく、出席が常でない者
 - 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に背く者
- 4 学生の懲戒に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

附則

- (略)
- 第39項** この学則は、2021(令和3)年4月1日から実施する。ただし、第10条の2に規定する授業の方法については、2020(令和2)年4月以前入学者に対しても一斉に適用するものとする。

※別表I～Vは省略

京都精華大学大学院 学則

第1章 総則

- [目的]
- 第1条** 京都精華大学大学院(以下「本大学院」という。)は、学術の理論および応用を研究・教授し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とする。

- [自己評価等]
- 第2条** 本大学院は、教育研究水準の向上を図り、本大学院の目的および社会的使命を達成するため、本大学院における教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表する。
- 2 前項の点検および評価を行うため、委員会を設ける。
- 3 委員会に関する規程は、これを別に定める。
- 4 点検、評価の項目等については、これを別に定める。
- 5 本大学院は、第1項の点検および評価の結果について、本大学院の教職員以外の者による検証を行うものとする。

- [研究科]
- 第3条** 本大学院に次の研究科をおく。

芸術研究科
デザイン研究科
マンガ研究科
人文学研究科

- [課程]
- 第4条** 本大学院に博士課程および修士課程をおく。
- 2 博士課程は、前期2年の課程(以下「博士前期課程」という。)および後期3年の課程(以下「博士後期課程」という。)に区分する。
- 3 博士前期課程は、修士課程として取り扱うものとする。
- 4 博士前期課程および修士課程は、広い視野にたって精新な学識を修め、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うものとする。
- 5 博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、またはその高度な専門的業務に従事するに必要な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

- [専攻および収容定]
- 第5条** 研究科の専攻ならびにその入学定員および収容定員は、別表第1のとおりとする。
- [人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的]
- 第5条の2** 本大学院の研究科・専攻の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

芸術研究科 芸術専攻 博士前期課程
専門領域にとらわれない多角的視点と柔軟な想像力を養い、芸術表現のさらなる探究を目的とし、新しい芸術文化の発信と高度な専門的技能を有した人材の養成を目的とする。

芸術研究科 芸術専攻 博士後期課程
多種多様な芸術表現のジャンルを整理・融合させながら専門応用能力を養い、制作と理論との調和を軸に、高度に洗練された芸術表現手法と芸術理論の探究を目的とし、新しい芸術文化の発信と活性化に貢献できる人材の養成を目的とする。

デザイン研究科 デザイン専攻 修士課程
デザイン分野の社会動向に広い視野と見識を備え、デザイン受容者の潜在的ニーズの分析・研究を深め、実践的に社会に貢献できる高度な専門的技能を有した人材の養成を目的とする。

デザイン研究科 建築専攻 修士課程
社会動向に広い視野と見識を持ち、建築分野において多様な側面から分析・研究を深め、実践的に社会に貢献できる高度な専門的技能を有した人材の養成を目的とする。

マンガ研究科 マンガ専攻 博士前期課程
国際的にも注目されるマンガ・アニメーション分野において、体系的な学術研究を深め、次代を担う新しい文化の発展に貢献できる高度な専門技能を有した人材の養成を目的とする。

マンガ研究科 マンガ専攻 博士後期課程
国内外の様々な要請に対応可能なマンガ・アニメーション分野について、多角的視点から学術研究を行い、制作および理論に関する特に高度な能力を有した人材の育成を目的とする。

人文学研究科 人文学専攻 修士課程
人文諸科学を総合する学際的なアプローチにて、現代社会が直面する現実課題の探求を体系化し、実践的に社会に貢献できる高度な専門的技能を有した人材の養成を目的とする。

-
- [研究科委員会および博士後期課程委員会]
- 第6条** 本大学院に研究科委員会および博士後期課程委員会をおく。
- 2 研究科委員会は、研究科の授業を担当する教授、准教授、講師および助教をもって組織し、研究科長がこれを招集し、その議長となる。
- 3 研究科の責任者を研究科長とする。ただし、学部長との兼任を妨げない。
- 4 博士後期課程委員会は、当該研究科博士後期課程の担当教員をもって組織し、研究科長がこれを招集し、その議長となる。

- [研究科委員会および博士後期課程委員会の審議事項]
- 第7条** 研究科委員会は、博士前期課程および修士課程に関し、また博士後期課程委員会は博士後期課程に関し、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 学生の入学(転入学を含む)、および課程の修了
- 学位の授与
- 前2号に掲げるもののほか、教育に関する重要な事項で、研究科委員会または博士後期課程委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 研究科委員会は、学長及び研究科長(以下この項において「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- [学費等納付金および手数料]
- 第8条** 入学検定料、入学金および授業料等の学費は、別表第2の通りとする。
- 2 前項に規定する既納の入学検定料、入学金および授業料等の学費は、原則として返還しない。
- 3 前項の規定にかかわらず、入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続の取り消しを願ひ出た者については、入学金またはこれに相当する金額を除く学費を返還する。
- 4 入学検定料以外の手数料については、別にこれを定める。
- 5 学費納入に関する規程は、本条に定めるものの他、別にこれを定める。

第2章 学年・学期・休業日・修業年限等

- [学年]
- 第9条** 大学院の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- [学期および授業日数]
- 第9条の2** 1学年の授業日数は定期試験の日数を含めて35週、210日を下らないものとし、1学年を分けて次の学期とする。

- 前期 4月1日より9月30日まで
- 後期 10月1日より3月31日まで

- [休業日]
- 第9条の3** 休業日は次のとおりとする。
- 日曜日
 - 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - 春季・夏季・冬季の休業期間は、各年度ごとに定める
- 2 学長が必要と認めたときは、臨時に休業日を設け、または休業日を変更することができる。
- 3 学長が必要と認めたときは、休業日に授業を行うことができる。

- [修業年限]
- 第10条** 博士前期課程および修士課程の標準修業年限は、2年とする。
- 2 博士後期課程の標準修業年限は、3年とする。

- [在学年限]
- 第11条** 博士前期課程および修士課程の学生は、4年を超えて在学することができない。
- 2 博士後期課程の学生は、6年を超えて在学することができない。
- 3 学長が有益と認めるときは、他の大学院研究科等における修学期間を修業年限に算入することができる。ただし、他の大学院研究科等における修学期間については1年を超えて算入することはできない。

京都精華大学大学院 学則

第3章 入学・休学・退学等

【入学の時期】

第12条 入学の時期は、学年の始めとする。

【入学資格】

第13条 博士前期課程および修士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- 文部科学大臣の指定した者
- 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 大学に3年以上在学した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- 外国において15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信 教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、または日本において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもので

2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 修士の学位または専門職学位を有する者
- 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- 文部科学大臣の指定した者
- 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- 外国の学校、第6号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験および審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- 大学を卒業した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

【入学者の選考】

第14条 入学志願者に対しては、入学試験を行う。

2 入学試験に関し必要な事項は、別にこれを定める。

【入学許可等】

第15条 入学試験に合格した者は、学長が指定する期日までに所定の納付金を納入し、かつ必要書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の規定により所定の納付金を納入し、かつ必要書類を提出した者に対し、入学を許可する。

【再入学】

第16条 退学した者または除籍となった者が、保証人連署のうえ、所定の様式により再入学を願い出たときは、研究科委員会または博士後期課程委員会の審議を経て、学長はこれを許可することができる。

- 再入学を願い出ることのできる期間は、退学の日または除籍の日より2年以内とする。
- 再入学の時期は学期の始めからとする。
- 再入学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【転入学】

第17条 他の大学院に1年以上在籍した後、本大学院の研究科に転入学しようとする者については、選考のうえ、既に在学した大学院において履修した授業科目の内容と成績等を考慮し、学長は入学を許可することができる。

【休学】

第18条 学生が疾病その他の事由によって3ヶ月以上就学することができないときは、保証人連署のうえ、所定の様式により願い出て、休学することができる。

- 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。
- 休学の期間は通算して、博士前期課程および修士課程にあっては2年、博士後期課程にあっては3年を超えることができない。
- 休学の期間は、第10条および第11条に定める修業年限および在学年限に算入しない。
- 休学期間中の学費は、半期10,000円、通年20,000円とし、納入等に関する規定は第8条による。
- 休学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【復学】

第19条 休学者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ、所定の様式により願い出て、学長の許可を得て復学することができる。

- 復学の時期は学期の始めからとする。
- 復学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【退学】

第20条 疾病、その他の事由によって退学または転学しようとする者は、保証人連署のうえ、所定の様式により願い出なければならない。

- 退学および転学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。
- 懲戒による退学に関する規程は、第37条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【除籍】

第21条 学長は、学生が次の各号のいずれかに該当するときは、研究科委員会または博士後期課程委員会の審議を経て、学生を除籍する。

- 第11条に規定する在学年限を超えた者
- 第18条第2項および第3項に規定する休学年限を超えた者
- 所定の授業料等学費の納付を怠り、その督促を受けてもこれを納入しない者
- 第19条に規定する復学手続きのない者
- 本大学院での就学の意思のない者
- 本人が死亡したとき
- その他、学長が相当の理由を認めたとき

2 除籍に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第4章 授業

【授業科目および単位数】

第22条 本大学院の芸術研究科において開設する授業科目および単位数は、別表第3-1に定める。

- 本大学院のデザイン研究科において開設する授業科目および単位数は、別表第3-2に定める。
- 本大学院のマンガ研究科において開設する授業科目および単位数は、別表第3-3に定める。
- 本大学院の人文学研究科において開設する授業科目および単位数は、別表第3-4に定める。

【学部開設科目等の履修】

第22条の2 学長は、教育研究上の必要に応じて、学生に授業科目を指定して、学部、本大学院の他研究科、他専攻および他課程が開設する授業科目を履修させることができる。

【単位の認定】

第23条 学長は、授業科目を履修した学生に対して、当該授業科目の試験および研究報告の成績を審査し、その結果に基づき、研究科委員会の審議を経て、相当する数の単位を与える。

【他の大学院との交流】

第24条 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学院との協定に基づき、その大学院（以下「交流協定校」という。）との間に学生を交流し、学生に必要な授業科目を履修させ、または研究指導を受けさせることができる。

2 前項の規定に基づいて学生が履修した単位は、10単位を超えない範囲で、本大学院で履修したものとみなすことができる。

3 交流協定校の認定、交流協定校における学生の履修した授業科目の単位の認定、その他、他の大学院との交流に関する重要事項については、研究科委員会の審議を経て学長が決定する。

4 本条第2項の規定は、外国の大学院において授業科目を履修した場合においても準用する。

5 他の大学院との交流に関して実施上必要とされる具体的措置については、別にこれを定める。

【研究指導】

第25条 本大学院に在学する学生は、担当教員による研究指導を受けなければならない。

2 学長が教育上有益と認めるときは、学生は他の大学院または研究所等において必要な研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は、博士前期課程および修士課程の学生にあっては1年を超えないものとする。

【入学前の既修得単位等の認定】

第26条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が本大学院入学前に他大学院において履修した授業科目について修得した単位を本大学院で修得したものとみなすことができる。ただし、学部学生として履修した科目については認めない。

2 前項の規定により修得したものとみなし、博士前期課程および修士課程の修了要件である単位数に算入することのできる単位数は、第24条第2項に定めるものとは別に、10単位を超えないものとする。

第5章 課程の修了および学位

【博士前期課程および修士課程の修了】

第27条 博士前期課程および修士課程に2年以上在学し、修了の要件となる単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文または修士作品についての研究の成果の審査および最終試験に合格し、かつ学費等納入金について大学への諸債務を滞納していない者に対し、研究科委員会の審議を経て、学長が修了を認定する。

2 前項の審査および最終試験については、別にこれを定める。

3 在学期間については、優れた研究業績をあげた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

【博士後期課程の修了】

第27条の2 博士後期課程に3年以上在学し、修了の要件となる単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格し、かつ学費等納入金について大学への諸債務を滞納していない者に対し、博士後期課程委員会の審議を経て、学長が修了を認定する。

2 前項の審査および最終試験については、別にこれを定める。

3 在学期間については、優れた研究業績をあげた者については、博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した場合にあっては、博士後期課程に1年以上、前条第3項の規定による在学期間をもって修了した場合にあっては、博士課程に3年（当該在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

4 前項の規定にかかわらず、第13条第2項第2号から第4号までの規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で優れた研究業績をあげた者の在学期間については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

【学位の授与】

第28条 学長は、博士前期課程および修士課程の修了を認定した者に対して、修士の学位を授与する。

2 学長は、博士後期課程の修了を認定した者に対して、博士の学位を授与する。

3 本学博士後期課程に所定の修業年限以上在籍し、予備審査合格後に所定の単位を修得して退学した者が、第30条に定める研究生として在籍し、かつ退学後5年以内に学位論文の審査に合格した場合、博士の学位を授与することができる。

4 本大学院の行う博士論文の審査に合格し、かつ本学博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有すると認定した者に対して、博士の学位を授与することができる。

5 修士および博士の学位の授与については、学長が定める。

6 本大学院が授与する学位の種類および専攻分野の名称は、次の通りとする。

芸術研究科	-----	博士前期課程 修士(芸術)
	-----	博士後期課程 博士(芸術)
デザイン研究科	-----	修士課程 修士(芸術)
マンガ研究科	-----	博士前期課程 修士(芸術)
	-----	博士後期課程 博士(芸術)
人文学研究科	-----	修士課程 修士(人文学)

7 学位に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第6章 委託生・研究生・特別交流学生・科目等履修生および外国人留学生

【委託生】

第29条 本大学院において研修することについて、国・地方公共団体または他の教育機関から委託された者（外国人留学生を除く。）があるときは、本大学院における教授および研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究科委員会の審議を経て、委託生として学長が入学を許可することができる。

2 委託生の委託料は、別表第2の①に規定する一般学生の授業料相当額とする。

【研究生】

第30条 本大学院の専任教員のもとで研究しようとする者があるときは、研究科委員会の審議を経て、学長がこれを許可することができる。

2 研究生の授業料等の学費は、別表第2の②に定めるところによる。

3 研究生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【特別交流学生】

第31条 第24条に規定する交流協定校の大学院学生が、特別交流学生として特定の授業科目の履修または研究指導を受けることについて、研究科委員会の審議を経て、学長がこれを許可することができる。

2 特別交流学生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【科目等履修生】

第32条 本大学院以外の者で1または複数の授業科目を履修することを希望する者があるときは、本大学院における教育および研究に支障がなく、また、本大学院が指定する科目に限り、学長がこれを許可することができる。

2 履修を許可する授業科目の単位数は、1年度につき8単位以内とし、在学年限は1年以内とする。

3 科目等履修料等の納付金については、別表第2の③に定めるところによる。

4 科目等履修生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【外国人留学生】

第33条 勉学の目的を持った外国人で、第13条の要件を充足する者が、本大学院への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

【教育免許の取得・種類】

第34条 中学校教諭1種免許状および高等学校教諭1種免許状授与の所要資格を有する者で、当該免許状同一教科に係る中学校教諭専修免許状および高等学校教諭専修免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本大学院において当該所要資格を取得できる中学校教諭専修免許状および高等学校教諭専修免許状の免許教科の種類は、中学校教諭専修免許状（美術・社会）および高等学校教諭専修免許状（美術・工芸・公民）とする。

【学芸員資格の取得】

第35条 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法および同法施行規則に定めるところにより、学部において開設する博物館学芸員に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

第7章 賞罰

【表彰】

第36条 学長は、人物、学業ともに優秀な学生に対して、これを表彰する。

【懲戒】

第37条 学長は、本大学院の学則または規程に違反し、その他学生としての本分に反した者で、研究科委員会または博士後期課程委員会の審議を経て懲戒する。

2 学生の懲戒に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第8章 補則

【補則】

第38条 この大学院学則の施行に関して必要な細則は、学長が定める。

附則

（略）

第20項 この学則は、2021（令和3）年4月1日から施行する。

※別表第1～3は省略

【目的】

第1条 この規程は、京都精華大学学則(以下「大学学則」という。)および京都精華大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)の規定に基づき、京都精華大学(以下「本学」という。)が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

【学位の種類】

第2条 本学において授与する学位および付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

- (1) 国際文化学部 ----- 学士(文化)
- (2) メディア表現学部 ----- 学士(メディア表現)
- (3) 芸術学部 ----- 学士(芸術)
- (4) デザイン学部 ----- 学士(芸術)
- (5) マンガ学部 ----- 学士(芸術)
- (6) ポピュラーカルチャー学部 ----- 学士(芸術)
- (7) 人文学部 ----- 学士(人文)
- (8) 人文学研究科 ----- 修士(人文学)
- (9) 芸術研究科 ----- 修士(芸術)
----- 博士(芸術)
- (10) デザイン研究科 ----- 修士(芸術)
- (11) マンガ研究科 ----- 修士(芸術)
----- 博士(芸術)

【学位授与の要件】

第3条 学士の学位は、本大学学則の定めるところにより、本学学部の課程を修了した者に授与する。

2 修士の学位は、本大学院学則の定めるところにより、本大学院博士前期課程および修士課程を修了した者に授与する。

3 博士の学位は、本大学院学則の定めるところにより、本大学院の博士後期課程を修了した者に授与する。

4 前項に定める者のほか、博士の学位は、本大学院学則の規定に基づき、博士論文の審査および試験に合格し、かつ本大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することが認定された者にも授与することができる。

【審査対象】

第4条 本大学院学則に規定する審査を受けるべき博士論文、修士論文、修士作品または特定の課題についての研究の成果は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科・課程	審査対象
芸術研究科博士後期課程	博士論文
芸術研究科博士前期課程	修士論文または修士作品
デザイン研究科修士課程	修士論文または修士作品
マンガ研究科博士後期課程	博士論文
マンガ研究科博士前期課程	修士論文または修士作品
人文学研究科修士課程	修士論文または修士作品

【学位論文等の提出】

第5条 修士の学位を得ようとする者は、所定の学位申請書(別表第1)に修士論文または修士作品(以下、「修士論文等」という。)を添え、研究科長に提出しなければならない。

2 博士の学位を得ようとする者は、所定の学位申請書(別表第1)に博士論文、博士論文の要旨、参考論文のあるときは当該参考論文を添え、研究科長に提出しなければならない。

3 修士論文等または博士論文の提出の時期および試験の期日、方法については、別に定める。

【学位授与の申請】

第6条 第3条第4項により博士の学位論文を提出して学位の授与を申請する者は、学位申請書に、博士論文、博士論文の要旨、参考論文のあるときは当該参考論文、研究業績一覧、履歴書(別表第2)に論文審査料を添えて学長に提出するものとする。

2 本大学院博士課程に所定の修業年限以上在学し所定の単位を修得して退学した者が、大学院学則に定める研究生として在学し、退学後5年以内に博士の学位の授与を申請するときは、前条第2項による学位として取り扱うものとする。

3 前2項における論文審査料については、これを別に定める。

4 提出された博士論文については、博士後期課程委員会の審議を経て、学長が受理する。

5 学長は前項により提出された博士論文の審査を研究科長に付託する。

6 受理した博士論文、博士論文の要旨、参考論文、研究業績一覧、履歴書等および論文審査料は返還しない。

【学位論文等の審査】

第7条 研究科長は修士論文等または博士論文(以下「学位論文等」という。)の提出または付託を受けたときは、研究科委員会または博士後期課程委員会にその審査を依頼する。

2 研究科委員会または博士後期課程委員会は、前項の依頼に基づき、学位論文等の審査を行うものとする。

3 研究科委員会または博士後期課程委員会は、学位論文等を審査するため、学位論文等ごとに審査委員会を設ける。

【審査委員会】

第8条 審査委員会は、提出された学位論文等の内容に関する専門分野の指導教員と、研究科委員会において選出された関連分野の教員2名以上を加えて組織する。

2 提出された学位論文等の審査にあたって、審査委員会は研究科長の承認を得て他の大学院または研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

3 審査委員会は、学位論文等の審査および試験を行うものとし、試験は、学位論文等を中心として口頭試問の方法によって行うものとする。

【審査結果の報告】

第9条 審査委員会は、審査および試験の結果について、文書により研究科長に報告しなければならない。

【課程修了および授与資格の審議】

第10条 研究科長は前条の報告に基づき、博士後期課程委員会または研究科委員会に学位論文等の審査および試験の結果を提案し、博士後期課程委員会または研究科委員会はその課程の修了の可否について審議する。

2 第3条第4項により学位の申請のあった者については、学位授与要件の有無について、審議する。

3 本条第1項および第2項に規定する審議は、構成員の3分の2以上が出席する博士後期課程委員会または研究科委員会において行い、出席者の過半数が審議結果に賛成しなければならない。

【審議結果の認定】

第11条 研究科委員会が前条第1項および第2項の審議を行ったときは、研究科長は速やかに文書により学長に報告し、学長がこれを認定する。

【学位の授与】

第12条 学長は、課程の修了または授与資格を認定した者に学位記を授与する。また、学位を授与できない者には、その旨を通知する。

【学位記の様式】

第13条 学位記の様式は別表第3、別表第4、別表第5および別表第6のとおりとする。

【学位論文、学位作品の保存】

第14条 本大学院で学位を授与された者は、学位論文1部または学位作品写真1部の原本ならびに磁気媒体を本学情報館に提供するものとし、博士の学位を授与された者は、国立国会図書館にも提供しなければならない。

【学位の名称の使用】

第15条 本大学院で学位を授与された者が学位の名称を用いるときは、当該専攻分野の名称を記し、当該学位を授与した本大学院名を付記するものとする。

【学位授与の報告】

第16条 本大学院において博士の学位を授与したときは、学長は、当該博士の学位を授与した日から3か月以内に、学位授与報告書を文部科学大臣に報告するものとする。

【博士論文要旨の公表】

第17条 本学は、博士の学位を授与したときは、「学位規則」(昭和28年4月1日、文部省令第9号)の定めにより、当該博士の学位を授与した日から3か月以内に、当該博士の学位に係る論文の内容の要旨および論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

【博士論文の公表】

第18条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に公表したときは、この限りではない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。

【学位の取消】

第19条 長は本学において学位を授与された者に次の事実があったときは、学位を取り消し、学位簿より削除し、学位記を返付せしめ、かつ、その旨を公表する。

- (1) 不正な方法によって、学位の授与を受けた事実が判明したとき
- (2) 名誉を汚辱する行為があったとき

【雑則】

第20条 本規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

【事務担当部署】

第21条 この規程に関する事務は、教学グループが担当する。

【改廃】

第22条 この規程の改廃は、常務理事会の議を経て、学長が行う。

附 則

(略)

8 この規程は、2021(令和3)年4月1日から適用する。

※別表第1～6は省略

京都精華大学 履修規程

第1章 総則

〔目的〕

第1条 この規程は、京都精華大学学則(以下「大学学則」という。)の規定に基づき、京都精華大学(以下「本学」という。)における入学から卒業までの授業科目(以下「科目」という。)の履修登録、受講、単位修得方法等に関し必要な事項を定める。

第2章 単位の修得

〔科目の開講方法〕

第2条 科目の開講方法は原則クォーター制とするが、一部の科目はセメスター制とする。

2 本規程におけるクォーター制とは、第1クォーター、第2クォーター、第3クォーター、第4クォーターの各学期をもって各科目を完結させる制度のことをいう。

3 本規程におけるセメスター制とは、前期または後期の各学期をもって各科目を完結させる制度のことをいう。

〔授業時間〕

第3条 授業時間は次の表に掲げるとおりとする。

1講時	2講時	3講時	4講時	5講時	6講時
9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

〔単位の修得〕

第4条 当該学期の履修登録を行った科目(以下「履修科目」という。)について単位を修得することができる。

2 履修科目の単位を修得するためには、授業および授業外学修を行い、大学学則第19条の規定に従って60点以上の成績評価を取得しなければならない。

3 単位は、各授業科目のシラバスに基づき、学習意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価し授与されるものとする。

4 原則として、履修科目の授業にはすべて出席しなければならない。

5 代人に受講させる等、授業出席に関して不正行為と判断された場合は、当該科目の成績評価は0点となり、単位を修得できない。

6 学期末試験および授業時間内に実施される中間テストならびに小テスト等の各種試験において、不正行為と判断された場合は、当該科目のみならず、当該学期の全履修科目の成績評価は0点となり、単位を修得できない場合がある。

7 課題レポート・課題作品や卒業論文・卒業制作の作成において、剽竊またはインターネットからのコピー・アンド・ペースト等の不正行為と判断された場合は、当該科目のみならず、当該学期の全履修科目の成績評価は0点となり、単位を修得できない場合がある。

8 前2項における不正行為の判定や成績評価については別に定める。

〔履修登録〕

第5条 履修登録とは、履修する科目を、自らの責任において、大学の指定した方法により登録することをいう。

第6条 履修登録は原則、学期ごとに行い、所定の期間内に完了しなければならない。

2 所定の期間内に履修登録を行わなかった場合は、当該学期における登録はなかったものとし、授業への出席や各種試験受験等の事実に関わらず、単位を修得できない。

3 やむをえない事情により所定の期間内に履修登録を完了できない場合は、あらかじめ教学グループに申し出て許可を得なければならない。

4 履修登録においては、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを、当該年度に開講する授業科目ごとに作成し、公開する。

5 履修登録は、授業外学修に要する学修時間を考慮するとともに、4年間の学修計画を立て、進級、卒業要件等を自ら確認したうえで慎重に行わなければならない。

6 本規程に定めるもののほか、履修に関わる必要な事項は、別途公示する。

7 履修確認後は、登録した科目の変更や追加等は原則として認められない。やむを得ず科目の変更や追加等の必要がある場合は、指定された期間内に、指示された方法で、自らの責任において履修変更等の手続を行わなければならない。

第7条 履修科目の取消は、原則として認められない。やむを得ず取り消す必要がある場合は、指定された期間内に、指示された方法で、自らの責任において履修取消の手続を行わなければならない。

2 履修取消について指示された方法で手続を行った場合でも、卒業要件や履修者数などの理由で取消が認められない場合がある。

3 手続を行わずに放棄した科目の成績評価については、大学学則第19条第3項に定めるGPAの算出時に算入する。

〔履修上限単位〕

第8条 各各学期に履修登録できる単位数は、10単位を限度とする。ただし、次の各号に定める科目等の単位数は、これに算入しない。

- 教職に関する科目
- 博物館学芸員に関する科目
- 図書館司書に関する科目
- 大学コンソーシアム京都等による本学が認めた単位互換科目

2 前項の規定にかかわらず、教務委員会が必要と判断した場合は、各学期の限度となる単位を超えた履修を認めることがある。

〔配当年次〕

第9条 当該科目が履修可能な学年を配当年次という。上級配当年次の科目を、原則として下級年次の学生が履修することはできない。

2 前項の規定にかかわらず、教務委員会が特に教育上有益と判断した場合は、上級配当年次の科目の履修を認めることがある。

〔不開講科目〕

第10条 年度や学期によって開講されない科目がある。

2 授業開講人数基準については、「京都精華大学授業開講基準」に定める。

3 授業開講人数基準によって不開講となった科目において当該科目の履修者が希望する場合には他の科目を相当単位数分、新たに登録することができる。

〔履修者数の制限〕

第11条 科目によって、授業を円滑に開講するために履修者数を制限することがある。

2 前項にもとづき、履修登録を行う前に抽選または選考を行うことがある。

3 抽選または選考が必要な科目について、これを経ないで履修登録を行った場合は、当該科目の登録は無効となる。

〔既修得科目の履修〕

第12条 単位を修得した科目は、再度履修することはできない。

〔同一時限の重複履修〕

第13条 当該学期の同一時限に重複して科目を履修することはできない。

〔再履修〕

第14条 不合格になった科目を再度履修登録することを再履修という。

〔標準修得標準単位数〕

第14条の2 4年間で卒業するための各学年における標準的な修得単位数を標準修得単位数とし、31単位と定める。

〔授業料未納者の扱い〕

第15条 授業料その他納付金の未納者は、当該学期の履修登録は無効となり、授業への出席や各種試験受験等の事実にかかわらず、単位を修得することができない。

〔出席等の取扱〕

第16条 授業への出席に際しては、常時、学生証を携帯しなければならない。

2 学生証の不携帯は、担当教員の判断により欠席として扱われることがある。

〔公欠〕

第17条 当該授業への不参加を欠席として扱わないことを公欠という。当該授業における教授内容(各種の試験やレポートの提出を含む)を免除するものではない。公欠となる欠席の理由については別表第1に定める。

〔長期欠席〕

第18条 1ヶ月を超えて欠席することを長期欠席という。長期欠席をする学生は、授業担当教員に連絡をするとともに、診断書等を教務チームに提出しなければならない。ただし、本規程第17条に定める公欠には該当しない。

〔成績評価〕

第19条 履修科目の成績は、学期末試験、期中のテスト等の試験、レポート、授業への参加度等を総合評価する。具体的な評価方法及び評価基準は、履修科目の担当教員がシラバスにて公示する。

〔成績通知〕

第20条 成績は学期ごとに大学が定める方法によって学生本人および学費支弁者に対して通知する。

〔Grade Point〕

第21条 履修科目に応じて、相応するGrade Pointを付与する。Grade Pointの付与基準は大学学則第19条第3項に定める。

第22条 学生が学修の成果を自ら検証するための指標として、Grade Point Average(以下「GPA」という)を算出する。

2 GPAを算出するための対象科目(以下「GPA対象科目」という)は、原則として卒業要件単位に算入する全科目とする。ただし、単位認定科目等、成績点数の表記がない科目は除外する。

3 履修取消について指示された方法で手続を行い、取消が認められた科目は、GPAの算出から除外する。

〔成績評価〕

第23条 成績評価は、次学期における他の科目の履修可否や留学等学内の諸制度の選考における判定基準として利用される。

2 GPAの算出対象科目は、過年度の不合格科目も含めた卒業要件の対象となる全履修科目とする。

3 一旦不合格になった科目を次学期以降に再履修した場合は、当該科目の成績が更新される。

〔進級、留年、成績不良による退学勧告〕

第23条の2 大学学則第12条第2項に定める進級とは、当該学年での学修を修了し、次学年での学修を開始することをいう。進級するためには、各学年において次の各項の進級要件を充足しなければならない。ただし、本学が派遣する1年以上の長期留学参加者はこの限りではない。

2 1年次生が2年次へ進級するための要件は、別表第2の1に定める。

3 2年次生が3年次へ進級するための要件は、別表第2の2に定める。

4 3年次生が4年次へ進級するための要件は、別表第2の3に定める。

第23条の3 前条に定める進級要件を充足できない者は、大学学則第12条第2項に基づき当該年次に留年となる。

2 留年者に対して当該学部は教員が面談指導を行う。面談結果とGPA等を勘案し成業の見込みないと判断した場合は、当該学部運営会議の議を経て、学部長は当該学生に休学及び退学勧奨を行うことができる。

3 面談指導には、学費支弁者等を同伴させることができる。

〔編入学〕

第24条 大学学則第27条に定める編入学を許可された者が入学する前の大学等において修得した単位のうち、入学する年次において以下の通り定めた範囲で本学において履修し、修得したものとみなすことができる。

2年次編入学者 30単位 3年次編入学者 62単位

第25条 単位認定の手続は、入学までに、次の各号に定める書類を添付して、指定した期日までに本学へ申請しなければならない。

- 出身大学、短期大学、高等専門学校または専修学校の既修得単位を証明する成績証明書または単位修得証明書
- 既修得科目のシラバス

第26条 認定対象科目は、本学科目の中から教務委員会が適当と認める科目とする。

第27条 単位の認定は、申請手続時に提出された成績証明書、講義概要等により判断する。

2 次の各号のいずれかに該当する場合は、単位を認定しないことがある。

- 既修得科目の授業時間数および単位計算方法が本学の基準に準じたものではない場合
- 成績評価が低い場合

第28条 編入学生の修業年限は以下の通りとする。

2年次編入学生 3年 3年次編入学生 2年

第29条 編入学生の在学年限は以下に定める期限を越えることはできない。

2年次編入学生 6年 3年次編入学生 4年

第30条 大学学則第18条第1項から第3項に定める資格においては、本規程第29条に定める修業年限の期間の範囲内で修得できないことがある。

〔転入学〕

第31条 転入学については大学学則第28条に定める。

〔転学部、転学科〕

第32条 転学部および転学科に関する規程は、別にこれを定める。

〔入学前の既修得単位認定の取扱〕

第33条 単位認定の手続は、入学後、指定した期日までに教学グループへ次の各号に定める書類を添えて申請しなければならない。

- 出身大学、短期大学、高等専門学校または専修学校の既修得単位を証明する成績証明書または単位修得証明書
- 既修得科目のシラバス

第34条 認定対象科目は、大学学則第15条の規定にもとづき、大学又は短期大学における既修得単位の認定にあたって、本学が指定する科目とする。

第35条 既修得単位の認定は、60単位を超えない範囲で行う。

第36条 単位の認定は、申請手続時に提出された成績証明書、シラバス等により教務委員会からこれを委託された教務部長がこれを判断する。

2 次の各号のいずれかに該当する場合は、単位を認定しないことがある。

- 既修得科目の授業時間数および単位計算方法が本学の基準に準じたものでない場合
- 成績評価が低い場合

3 教務委員会が必要と判断した科目は、試験等を課すことがある。

〔文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修により認定できる単位〕

第37条 大学学則第14条により次の各号のいずれかに該当する資格試験(以下「試験」という。)で、次項に定める成績基準を満たした場合、本学における全学共通教育科目として開講する授業科目の一部を履修したものとみなし、単位を与えることができるものとする。

- 実用英語技能検定試験(以下「英検」という。)
- TOEFL(Test of English as a Foreign Language)
- TOEIC(Test of English for International Communication)
- IELTS(International English Language Testing System)
- JLPT(日本語能力試験)
- JPT(日本語能力試験)

2 前項に規定する試験での単位認定の成績基準、授業科目及び認定単位数は、別表第3に定める。ただし、認定時において、当該授業科目の単位を既に修得している場合は、その単位数を控除して認定する。

3 上記第1項による単位認定の手続は、入学後、指定した期日までに教学グループへ次の各号に定める書類を添えて申請しなければならない。

- 当該資格試験に関する認定(合格)通知書又は成績証明書(ただし、原本に限る。)
- 本学が定める所定の単位認定申込書

4 教務委員会は、当該授業科目にあたる「英語」並びに「日本語」について、上記第3項によって申し出があった場合、単位認定にあたり、必要に応じて申請者と面談の上、その適切性を判断する場合がある。

〔暴風警報、特別警報、交通機関運休による休校、休講措置〕

第38条 次の各号のいずれかに該当する場合は、休校・休講措置をとることとする。その場合の条件は別表第4の1および別表第4の2に基づく。

- 気象庁が発表する気象警報において、「京都府南部」(もしくはその細分区域である「南丹・京丹波」、「京都・亀岡」、「山城中部」、「山城南部」のいずれかの地域)に暴風警報、もしくは特別警報が発令されたとき。
- JR在来線(米原～神戸)、叡山電鉄(鞍馬線)、京都市営地下鉄、および京阪電鉄(本線)、阪急電鉄(京都線)、近畿日本鉄道(京都線)のいずれかが運休になり、なおかつバス等の代替手段がないとき。

2 第1項の規定には、大雨洪水警報ないし大雪警報は含まれない。

3 第1項の規定にかかわらず、災害その他特別の事由がある場合は、学長の判断により臨時に休講の措置を講ずることがある。

〔雑則〕

第39条 本規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

〔事務担当部署〕

第40条 この規程に関する事務は、教学グループが担当する。

〔改廃〕

第41条 この規程の改廃は、常務理事会の議を経て、学長が行う。

附則

(略)

6 2020年11月16日に改定し、2021年4月1日から施行する。
ただし、第8条の規定にかかわらず、2020年度以前入学者のセメスターにおける各学期に履修登録できる単位数は、24単位を限度とする。また、第23条の2の規定にかかわらず、2020年度以前入学者の進級要件は、以下のとおりとする。

1年次生が2年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
芸術学部 造形学科	基礎ゼミ 絵画基礎 工芸基礎 彫刻基礎 デザイン基礎 計14単位
デザイン学部 イラスト学科	イメージ表現1 イメージ表現2 計6単位
デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 (全コース)	ビジュアルデザイン基礎1 ビジュアルデザイン基礎2 ビジュアルデザイン基礎3 ビジュアルデザイン基礎4 ビジュアルデザイン基礎5 ビジュアルデザイン基礎6 計12単位 および デザインスキル1 デザインスキル2 デザインスキル3 デザインスキル4 上記より4単位以上
デザイン学部 プロダクトデザイン学科 (全コース)	工芸1 工芸2 基礎デザイン1 絵画基礎 立体構成 デザインテクノロジー1 京都デザイン 計20単位
デザイン学部 建築学科	設計基礎1 設計基礎2 計6単位
マンガ学部 マンガ学科 カートゥーンコース	デッサン1 デッサン2 絵画技法1 絵画技法2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 ストーリーマンガコース	マンガデッサン1 マンガデッサン2 絵画技法1 絵画技法2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 キャラクターデザインコース	デザイン1 デザイン2 絵画技法1 絵画技法2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 新世代マンガコース	ネームドリル実習1 ネームドリル実習2 絵画技法1 絵画技法2 計12単位
マンガ学部 アニメーション学科	アニメーションモーション基礎演習1 アニメーションモーション基礎演習2 アニメーション基礎研究1 アニメーション基礎研究2 アニメーション造形基礎実習1 アニメーション造形基礎実習2 アニメーションCG演習1 アニメーションCG演習2 上記より6科目以上
ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科 (全コース)	基礎実習1 基礎実習2 基礎実習3 基礎実習4 計12単位
人文学部 総合人文学科	進級要件は定めていない

2年次生が3年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
芸術学部 造形学科	造形基礎1 造形基礎2 造形基礎3 造形基礎4 計16単位
デザイン学部 イラスト学科	イメージ表現3 イメージ表現4 計6単位
デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 グラフィックデザインコース	グラフィックデザイン1 グラフィックデザイン2 グラフィックデザイン3 グラフィックデザイン4 グラフィックデザイン5 グラフィックデザイン6 計18単位
デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 デジタルクリエイションコース	クリエイション1 クリエイション2 クリエイション3 クリエイション4 クリエイション5 クリエイション6 計18単位
デザイン学部 プロダクトデザイン学科 (全コース)	基礎デザイン2 基礎デザイン3 立体造形1 立体造形2 計12単位 および デザインマテリアル1 デザインマテリアル2 デザインマテリアル3 デザインマテリアル4 上記より6単位以上
デザイン学部 建築学科	設計基礎3 設計基礎4 計6単位
マンガ学部 マンガ学科 カートゥーンコース	クロッキー1 クロッキー2 風刺画1 風刺画2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 ストーリーマンガコース	表現技法1 表現技法2 脚本実習1 脚本実習2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 キャラクターデザインコース	表現技法1 表現技法2 キャラクター造形実習1 キャラクター造形実習2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 新世代マンガコース	脚本実習1 脚本実習2 制作実習1 制作実習2 計12単位
マンガ学部 アニメーション学科	アニメーションモーション基礎演習1 アニメーションモーション基礎演習2 アニメーション基礎研究1 アニメーション基礎研究2 アニメーション造形基礎実習1 アニメーション造形基礎実習2 アニメーションCG演習1 アニメーションCG演習2 アニメーション演出論1 アニメーション演出論2 アニメーション分析演習1 アニメーション分析演習2 上記より10科目以上
ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科 (全コース)	制作実習1 制作実習2 制作実習3 制作実習4 計12単位

3年次生が4年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
人文学部 総合人文学科	ことば演習 発展ことば演習 英語1 英語2 (留学生は「日本語1」「日本語2」) その他2年次前期開講語学科目(1科目) 哲学概論1 哲学概論2 人文学概論1 人文学概論2 初年次演習1 初年次演習2 フィールドワーク概論 地域学 現場学 社会創造演習 計30単位 文学専攻においては、 文学概論 日本文学研究 文学専門演習1 文学専門演習2 歴史専攻においては、 歴史学概論 日本史研究 歴史専門演習1 歴史専門演習2 社会専攻においては、 社会研究概論 社会研究 社会専門演習1 社会専門演習2 それぞれ 計8単位

3年次生が4年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
芸術学部 造形学科	造形実習1 造形実習2 造形実習3 造形実習4 計16単位
デザイン学部 イラスト学科	イラストレーション1 イラストレーション2 イラストレーション3 イラストレーション4 絵本1 絵本2 ビジュアルアート1 ビジュアルアート2 ビジュアルデザイン1 ビジュアルデザイン2 ビジュアルデザイン3 ビジュアルデザイン4 上記より12単位以上
デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 (全コース)	プロジェクト1 プロジェクト2 プロジェクト3 プロジェクト4 プロジェクト5 プロジェクト6 計14単位
デザイン学部 プロダクトデザイン学科 プロダクトコミュニケーションコース	プロダクトコミュニケーション1 プロダクトコミュニケーション2 プロダクトコミュニケーション3 プロダクトコミュニケーション4 プロダクトコミュニケーション5 プロダクトコミュニケーション6 プロダクトコミュニケーション7 プロダクトコミュニケーション8 プロダクトデザイン1 プロダクトデザイン2 上記より12単位以上
デザイン学部 プロダクトデザイン学科 ライフクリエイションコース	ライフクリエイション1 ライフクリエイション2 ライフクリエイション3 ライフクリエイション4 ライフクリエイション5 ライフクリエイション6 ライフクリエイション7 ライフクリエイション8 プロダクトデザイン1 プロダクトデザイン2 上記より12単位以上
デザイン学部 建築学科	設計1 設計2 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 カートゥーンコース	カートゥーン1 カートゥーン2 計6単位
マンガ学部 マンガ学科 ストーリーマンガコース	表現技法3 表現技法4 脚本実習3 脚本実習4 計12単位
マンガ学部 マンガ学科 キャラクターデザインコース	キャラクター造形実習3 キャラクター造形実習4 計6単位
マンガ学部 マンガ学科 新世代マンガコース	表現技法1 表現技法2 計6単位
マンガ学部 アニメーション学科	アニメーションモーション基礎演習1 アニメーションモーション基礎演習2 アニメーション基礎研究1 アニメーション基礎研究2 アニメーション造形基礎実習1 アニメーション造形基礎実習2 アニメーションCG演習1 アニメーションCG演習2 アニメーション演出論1 アニメーション演出論2 アニメーション分析演習1 アニメーション分析演習2 上記より必修12科目かつ選択必修2科目以上
ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科 (全コース)	応用実習1 応用実習2 応用実習3 応用実習4 上記より半期3単位以上、通年で計6単位以上
人文学部 総合人文学科	進級要件は定めない

7 2021年1月18日に改定し、2021年4月1日から施行する。
ただし、第37条第2項の規定にかかわらず、2020年度以前入学者の単位認定の成績基準、授業科目及び認定単位数は、以下のとおりとする。

文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修により認定できる単位			
成績基準(スコア/級)	授業科目及び認定単位数		
TOEIC 650点以上	「英語1」、「英語2」、「英語3」に加え、「英語4」すなわち8単位を認定する		
TOEFL(PBT) 520点以上			
(CBT) 190点以上			
(iBT) 68点以上			
英検 準1級以上			
IELTS 6点以上	「英語1」、「英語2」に加え、「英語3」すなわち6単位を認定する		
TOEIC 600点以上			
TOEFL(PBT) 500点以上			
(CBT) 173点以上			
(iBT) 61点以上			
IELTS 5.5点以上	「英語1」に加え、「英語2」すなわち4単位を認定する		
TOEIC 550点以上			
TOEFL(PBT) 480点以上			
(CBT) 157点以上			
(iBT) 54点以上			
IELTS 5以上	「英語1」すなわち2単位を認定する		
TOEIC 500点以上			
TOEFL(PBT) 470点以上			
(CBT) 150点以上			
(iBT) 32点以上			
IELTS 4.5点以上	その他の資格試験 申請があった場合、教務委員会で審議の上、学長に提案し、学長が適切と認めた場合、相当数の科目並びに単位を認定する。		
日本語科目	日本語能力試験 N1以上	「日本語1」、「日本語2」すなわち4単位を認定する	

注) TOEFLにおける「CBT」はコンピューター方式のテスト、「PBT」はペーパー方式のテスト、「iBT」はインターネット方式のテストを示す。

8 2021年2月15日に改定し、2021年4月1日から施行する。

事由	要件	日数
忌引	1親等の血族または配偶者	7日
	2親等の直系血族	3日
	1親等の姻族	3日
	上記以外の3親等以内の血族	1日
	2親等以内の姻族	1日
通学経路の交通機関が事故などにより不通になった場合		当該事由が解消されるまで
教育実習、博物館実習、介護等体験、学外実習		当該実習期間
学校感染症	学校保健安全法に定める感染症を罹患した場合	学校保健安全法施行規則に定められた期間
外国人留学生の在留申請等手続き		1日(入国管理局出頭当日)
裁判員制度による裁判への参加		制度により定められた期間

別表第2の1(第23条の2関係)
1年次生が2年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
全学部全学科	1年次終了時に総修得単位数(卒業要件に含まない資格課程の単位を除く)が10単位以上に達していること

別表第2の2(第23条の2関係)
2年次生が3年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
国際文化学部、メディア表現学部を除くすべての学部・学科	・全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること ・学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること
国際文化学部人文学科	・全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること ・学部専門の1・2年次必修科目の28単位をすべて修得していること
国際文化学部 グローバルスタディーズ学科	・全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること ・学部専門の1・2年次必修科目の30単位をすべて修得していること
メディア表現学部 メディア表現学科	・全学共通の1年次必修科目の18単位をすべて修得していること ・「プログラミング1」、「プログラミング2」、「プログラミング3」、「プログラミング4」を修得していること ・学部専門の1・2年次必修科目の20単位をすべて修得していること

別表第2の3(第23条の2関係)
3年次生が4年次へ進級するための要件

学部・学科・コース	要件
国際文化学部、メディア表現学部を除くすべての学部・学科	学部専門の3年次必修科目の12単位をすべて修得していること
国際文化学部人文学科	学部専門の3年次必修科目の16単位をすべて修得していること
国際文化学部 グローバルスタディーズ学科	学部専門の3年次必修科目の20単位をすべて修得していること
メディア表現学部 メディア表現学科	・「インターンシップ1」、「インターンシップ2」から1科目を修得していること ・学部専門の3年次必修科目の12単位をすべて修得していること

別表第3(第37条関係)
文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修により認定できる単位

成績基準(スコア/級)	授業科目及び認定単位数		
TOEIC 550点以上	「英語1」、「英語2」、「英語3」に加え、「英語4」すなわち4単位を認定する		
TOEFL(PBT) 480点以上			
(CBT) 157点以上			
(iBT) 54点以上			
IELTS 5以上			
TOEIC 500点以上	「英語1」に加え、「英語2」すなわち2単位を認定する		
TOEFL(PBT) 470点以上			
(CBT) 150点以上			
(iBT) 32点以上			
IELTS 4.5点以上			
その他の資格試験	申請があった場合、教務委員会で審議の上、学長に提案し、学長が適切と認めた場合、相当数の科目並びに単位を認定する。		
日本語科目	日本語能力試験 JLPT N1以上 JPT 660点以上	「日本語1」、「日本語2」、「日本語3」、「日本語4」すなわち4単位を認定する	

注) TOEFLにおける「CBT」はコンピューター方式のテスト、「PBT」はペーパー方式のテスト、「iBT」はインターネット方式のテストを示す。

別表第4の1(第38条関係)
休校・休講の判断基準(気象警報)

基準時刻	条件	休校・休講の措置
午前7時	警報が解除されている	平常授業実施
	警報が解除されていない	午前中休講
午前9時	警報が解除されている	3講時より平常授業実施
	警報が解除されていない	終日休校

9時よりも後に警報発令となった場合は、その時点から休講とする。

別表第4の2(第38条関係)
休校・休講の判断基準(交通機関運行の状況)

基準時刻	条件	休校・休講の措置
午前7時	運行が再開されている	平常授業実施
	運行が再開されていない	午前中休講
午前9時	運行が再開されている	3講時より平常授業実施
	運行が再開されていない	終日休校

9時よりも後に警報発令となった場合は、その時点から休講とする。

【目的】

第1条 この規程は、京都精華大学履修規程第4条第8項の規定および京都精華大学大学院学則に基づき、本学の実施する各種試験およびレポート等における不正行為について、判定や成績評価に関する必要な事項を定めることを目的とする。

【定義】

第2条 この規程において「各種試験」とは、学期末試験、追試験、再試験および授業時間内に実施される中間テストや小テストをいう。

2 各種試験における不正行為とは、次に掲げる行為をいう。

- 私語や態度不正を注意しても改めないとき
- 不正に物品や教科書・ノートの貸し借りをしたとき
- 許可された以外のものを参照したとき。
 - また、他人のノートのコピーや、コピーを貼りつけたノートを持ち込んだとき
- 代人受験をしたとき、またはそれをさせたとき
- 答案用紙を他の受験者どすり代えたとき、またはそれに応じたとき
- 他の受験者の答案用紙を見たり解答を聞いたりしたとき、またはそれに応じたとき
- 監督者の指示に従わないとき
- その他、教務委員会において不正と判断されたとき

3 この規程において「レポート等」とは、授業内で指示された課題レポート・課題作品や学期末のレポート試験、卒業論文・卒業制作、修士論文・修士作品、博士論文をいう。

4 レポート等における不正行為とは、次に掲げる行為をいう。

- 他人の著作物を剽窃・流用・コピーしたとき
- インターネット上に掲載されている第三者の著作物を、引用元などの記載をせずにそのまま流用したとき
- その他、教務委員会において不正と判断されたとき

【事案の報告】

第3条 科目担当教員等は、不正と疑われる行為が発生した場合は、当該科目の開講学部長等を通して速やかに教務部長に報告するものとする。

【調査委員会】

第4条 教務部長は、前条の報告の後、速やかに教務委員会の下に調査委員会を設置して、事実の確認および当該学生に対する事情聴取を行い、不正行為の判定と成績評価を決定する。

2 調査委員会は、教務部長が委員長となり、当該学生が所属する学部等の教務委員を含む教務部長が指名した4名以上の教員で構成する。また、教学担当副学長は必要に応じて陪席することができる。

3 不正行為と判定した場合、成績評価は行為の重大性や悪質性により、当該科目の成績評価を0点とするか、当該学期の全履修科目の成績評価を0点とするか等を決定する。

【当該学生への通知】

第5条 教務部長は、不正行為の判定や成績評価が決定した場合は、速やかに当該学生に通知するものとする。

【不服申立て】

第6条 当該学生は、不服申立てする場合は7日以内に理由を記した文書を教務部長に提出することができる。

2 教務部長は、不服申立てがあった場合は、再度調査委員会を開催して審議しなければならない。なお、この再度の調査結果に対する不服申し立ては認めない。

【事務担当部署】

第7条 この規程に関する事務は、教学グループが担当する。

【改廃】

第8条 この規程の改廃は、常務理事会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2020年10月19日に制定し、同日から施行する。

2 2021年2月15日改定・施行

京都精華大学大学院 博士前期課程および修士課程 学位審査規則

【目的】

第1条 本規則は「京都精華大学大学院学則」および「京都精華大学院学位規程」に基づき、京都精華大学(以下、「本学」という。)大学院博士前期課程および修士課程に在籍する学生の修了および修士論文、または修士作品の審査について必要な事項を定めるものである。

【学位取得の要件】

第2条 修士の学位を得ようとする者は、課程に2年以上在学し、かつ修了の要件となる単位を修得しなければならない。

2 修士の学位を得ようとする者は、修了予定学年の指定された期日までに、修士論文あるいは修士作品の審査を受けなければならない。

3 第2項の修士論文あるいは修士作品の審査を受けようとする者は、審査に先立ち、学会、報告会、展覧会等により自らの研究成果を学内外に発表しなければならない。

【最終題目届の提出】

第3条 修士論文あるいは修士作品の審査を受けようとする者は、各研究科が別に定める「修士論文・修士作品提出要領」に基づき、指定された期日までに専任指導教員が署名・捺印の上、研究科長宛に「修士論文・修士作品最終題目届」を提出しなければならない。

【修士論文・修士作品の提出】

第4条 修士論文あるいは修士作品は、各研究科が別に定める「修士論文・修士作品提出要領」に基づき、修士論文要旨、修士作品要旨を添付の上、指定された期日までに研究科長あてに提出しなければならない。

【学位審査委員会】

第5条 研究科長は、研究科委員会の議を経て、学位審査委員会を設置する。

【学位審査委員会の構成】

第6条 学位審査委員会は、第3条の「修士論文・修士作品最終題目届」の内容に沿い、当該学生の専任指導教員と研究科委員会において認められた2名以上の専任教員により構成する。

2 学位審査委員会は、研究科委員会が必要と認めた場合、他学部教員、他大学教員、他研究機関研究員、作家等、当該研究科に所属しない者(以下、「学外者」という。)を審査委員とすることができる。ただし学外者の審査委員は原則1名までとする。

【学位審査基準】

第7条 学位審査は以下の基準により厳正に行うものとする。

(1) 修士論文の学位審査基準

- 当該論文が学術的、社会的意義において価値を持ち、関連分野での貢献が期待できる内容であること
- 当該論文がテーマ、問題設定、研究内容について独創的であり、明確な結論を導き出していること
- 当該論文がテーマに応じた研究・分析・手法や資料により論述が展開されていること

(2) 修士作品の学位審査基準

- 当該作品が独創的または普遍的な表現領域の可能性を探求し、社会に対して自らの深い思考が具体化されていること
- 当該作品が表現方法・内容において社会に対して明確なコンセプトを持ち、それに沿ったテーマと素材、技法を選択し、制作されていること
- 当該作品が多角的視点と想像力に基づき、柔軟で応用力のある制作技術や高度な作法を用い、十分な完成度が認められること

【学位審査方法】

第8条 学位審査委員会は、修士論文あるいは修士作品を提出した者に対して、口述試問または筆記試験により審査を行う。

【審査結果の報告と修了の審議】

第9条 学位審査委員会は審査の可否結果を研究科長あてに報告する。研究科長は第2条の学位取得の要件を満たし、かつ第8条の審査に合格した者を研究科委員会に諮り、課程修了の審議を行う。

【位の授与】

第10条 研究科長は、第9条の研究科委員会において課程修了の審議を受けた者について学長に報告し、学長がこれを認定する。

2 学長は前項の認定者に対して学位を授与する。

京都精華大学大学院芸術研究科

学位審査委員会による審査

京都精華大学大学院芸術研究科

【目的】

第1条 この規則は、「京都精華大学学位規程」(以下「学位規程」という。)**第3条****第3項**に基づく博士の学位(以下「課程博士」という。)**の審査について定めるものである。**

【学位審査予備審査】

第2条 京都精華大学大学院芸術研究科博士後期課程(以下「後期課程」という。)に在籍し、学位請求論文を提出しようとするものは、事前に学位審査予備審査に合格しなければならない。

2 予備審査を受けようとする者は博士後期課程委員会が指定する期日までに**第3項**に定める書類を提出しなければならない。

3 予備審査に際し提出する書類およびその書式は、以下に定めるものとする。

(1) 学位審査予備審査申請書(様式第1号) 1部

(2) 研究業績一覧(様式任意) 1部

(3) 学位申請予備審査論文(以下「予備審査論文」という。) 5部

① 予備審査論文の使用言語は、日本語とする。ただし、指導教員(主査1名・副査3名)ならびに博士後期課程委員会が認めた場合に限り、英語での予備審査論文の提出を可とする。

② 予備審査論文は、「はじめに(序論)」、「本論」、「おわりに(結論)」などの章節およびそれらの題目、すなわち学位請求論文の構成を明確にする目次を記すこと。

③ 予備審査論文は、使用言語を日本語とする場合は、400字詰め原稿用紙25枚以上(引用・資料を除く。)、またはPCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)で、10,000字以上(10.5ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)とすること。

使用言語を英語とする場合は、原則PCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)でダブルスペースにより5,500words以上(1ページ:25行、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、引用・資料を除く。)とすること。

④ 予備審査論文の使用言語を英語とする場合は、予備審査論文とともに日本語の論文要旨を提出すること。日本語の論文要旨は、原則PCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全文3,000字以上(10.5ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)とし、各章(各節)ごとに記すこと。

⑤ 予備審査論文には、それぞれの部分(章・節などについて)の概略を簡潔に記すこと。

⑥ 予備審査論文は、中央下にページ番号を記すこと。

【学位審査予備審査会】

第3条 学位審査予備審査会の構成は、以下に掲げる者とする。

(1) 博士後期課程委員会委員長

(2) 当該年度におけるすべての指導教員

(3) 上記の他に、博士後期課程委員会委員長が必要と認めたときは、研究科長と協議のうえ、研究科に所属する教員若干名を構成員とすることができる。

2 学位審査予備審査会委員長は博士後期課程委員会委員長とする。

【審査基準】

第4条 学位審査予備審査(以下「予備審査」という。)における審査は、以下の基準に基づいて厳正に行うものとする。

(1) 本学博士後期課程の修了要件単位の取得(またはその見込み)の確認

(2) 当該予備審査論文が、本学が授与する博士の学位を授与するにふさわしいものとして完成する見込みの有無

(3) 当該予備審査論文の属する研究領域において、独創性ある展開の可能性の有無

(4) 当該予備審査論文の属する研究領域の発展に貢献する可能性の有無

(6) 当該予備審査論文に、他の研究領域を含む学際性ある展開の可能性の有無

【可否の判定】

第5条 予備審査における可否の判定は、学位審査予備審査会構成員の3分の2以上が出席(4週間以上の出張者・欠勤者、休職者および学外研究員を定足数から除外する。)し、かつ、出席者の過半数が賛成しなければならない。

【審査結果の通知】

第6条 学位審査予備審査における審査結果については、博士後期課程委員会委員長が当該学生に文書によって通知するものとする。

【博士論文の審査】

第7条 博士論文の審査については、「学位規程」第7条の規定に基づく。

【学位審査会】

第8条 学位審査会は学位請求論文発表会と口頭試問により行うものとする。

2 課程博士の学位を申請することのできる者は、以下に掲げる者とする。

(1) 後期課程に在籍し所定の単位を取得および取得見込みの者で、予備審査において学位請求論文の提出を認められた者

(2) 「京都精華大学大学院芸術研究科特別研究生規程」第2条に定めるところの特別研究生に在籍し、かつ退学後5年以内である者

3 前項第1号および第2号に規定する者が課程博士の学位を申請しようとするときは、以下の書類を研究科長に提出しなければならない。

(1) 学位申請書(様式第2号) 1部

(2) 研究業績一覧(様式任意) 1部

(3) 学位請求論文 表紙(様式第3号)をつけ、レポートファイルに綴じこんだ状態のもの 5部

① 学位請求論文の使用言語は、日本語とする。ただし、指導教員(主査1名・副査3名)ならびに博士後期課程委員会が認めた場合に限り、英語での予備審査論文の提出を可とする。

② 学位請求論文は、「はじめに(序論)」、「本論」、「おわりに(結論)」などの章節およびそれらの題目、すなわち学位請求論文の構成を明確にする目次を記すこと。

③ 学位請求論文の使用言語を日本語とする場合は、400字詰め原稿用紙100枚以上(引用・資料を除く。)、またはPCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)で、40,000字以上(10.5ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)とすること。

使用言語を英語とする場合は、原則PCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)でダブルスペースにより22,000words以上(1ページ:25行、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、引用・資料を除く。)とすること。

④ 学位請求論文は、レポートファイルに、内扉、目次、本文、引用・資料の順に綴り込むこと。

⑤ 学位請求論文は、中央下にページ番号を記すこと。

(4) 論文の要旨(様式任意) 5部

要旨は、学位請求論文の使用言語によって、それぞれ次の要領にて作成、提出すること。

【学位請求論文の使用言語を日本語とする場合】

・要旨はPCを使用し、日本語でA4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全体の概略を1枚、各章ごとに1枚ずつ(ともに1,000字以上、10.5ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)にて作成すること。

・上記、全体の概略を記した要旨(1枚)については、英文(A4用紙横書き550words以上、余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、ダブルスペースにより要約したもの)をあわせて作成、添付すること。

・中央にページ番号を記し、レポートファイルに綴り込むこと。

【学位請求論文の使用言語を英語とする場合】

・要旨はPCを使用し、日本語と英語、それぞれにて作成・提出すること。

日本語においてはA4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全体の概略を1枚、各章ごとに1枚ずつ(ともに1,000字以上、10.5ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)にて作成すること。

英語においてはA4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全体の概略を1枚、各章ごとに1枚ずつ(ともに550words以上、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、ダブルスペースにより要約したもの)を作成すること。

・中央にページ番号を記し、レポートファイルに綴り込むこと。

(5) 研究業績として出版した論文があるときは当該論文の写し 5部

① 参考論文の写しは、ファイルに綴り込み、参考論文の写しごとに見出しをつけること。

② ファイルの表には、参考論文の写しであることを明記するとともに、学籍番号、氏名を記すこと。

(6) 学位請求論文および要旨のデータ

(7) その他、後期課程委員会が必要とする書類

4 (削除)

5

5 最終学位審査は、学位論文発表会終了後に、学位請求論文の属する研究領域およびその関連する分野に関する知見について、口頭試問によって行うものとする。

6

6 前項の試験を経て学位審査に合格した者は、指定された期日までに、長期保存に耐えるハードカバー製本を施した学位論文を3部提出するものとする。

7

【学位審査委員会】

第9条 学位審査委員会の構成については、「京都精華大学学位規程」第8条の規定に基づく。

2 審査委員会に委員長を置き、委員長は、博士後期課程委員会の互選によるものとする。

【審査基準】

第10条 学位審査は、以下の基準に基づいて厳正に行うものとする。

(1) 当該博士論文が、当該申請者の研究業績をふまえた内容であること

(2) 当該博士論文の属する研究領域において、独創性が認められること

(3) 当該博士論文の属する研究領域の発展に資するものであると認められること

(4) 当該博士論文に、他の研究領域を含む学際性が認められること

(5) 本学大学院が授与する博士の学位にふさわしいと認められるものであること

【審査結果の報告】

第11条 博士論文審査結果および試験結果については、「京都精華大学学位規程」第9条の規定に基づく。

【可否の審議】

第12条 研究科長は、前条の報告に基づき、後期課程委員会において可否を審議する。

2 前項に規定する可否の審議には、博士後期課程委員会構成員の3分の2以上が出席(4週間以上の出張者・欠勤者、休職者および学外研究員を定足数から除外する。)し、かつ、出席者の過半数が審議結果に賛成しなければならない。

【審議結果の認定】

第13条 審議結果の認定については、「京都精華大学学位規程」第11条の規定に基づく。

【雑則】

第14条 本規則に定めるもの他、必要な事項は別に定める。

【事務担当部署】

第15条 この規則に関する事務は、教学グループが担当する。

【改廃】

第16条 この規則の改廃は、常務理事会が行う。

附則

(略)

6 2019年2月18日改定・施行

※様式第1～4号は省略

京都精華大学大学院マンガ研究科

学位審査委員会による審査

京都精華大学大学院マンガ研究科

【目的】

第1条 この規則は、「京都精華大学学位規程」(以下「学位規程」という。)第3条**第3項**に基づく博士の学位(以下「課程博士」という。)の審査について定めるものである。

【学位審査予備審査】

第2条 京都精華大学大学院マンガ研究科博士後期課程(以下「後期課程」という。)に在籍し、学位請求論文を提出しようとするものは、事前に学位審査予備審査に合格しなければならない。

2 博士後期課程委員会が指定する期日までに**第3項**に定める書類を提出しなければならない。

3 予備審査に際し提出する書類およびその書式は、以下に定めるものとする。

(1) 学位審査予備審査申請書(様式第1号) 1部

(2) 研究業績一覧(様式任意) 1部

(3) 学位申請予備審査論文(以下「予備審査論文」という。) 5部

① 学位申請予備審査論文の使用言語は、日本語とする。ただし、指導教員4名(主査1名・副査3名)、ならびに博士後期課程委員会が認めた場合に限り、英語での学位申請予備審査論文の提出を可とする。

② 予備審査論文には、学位請求論文の構成を明確にする目次を付すこと。

③ 予備審査論文は、原則としてA4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)で16,000字以上(11ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)とすること。

使用言語を英語とする場合は、原則PCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)にダブルスペースにより、9,000words以上(1ページ:25行、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、引用・資料を除く。)とすること。

④ 予備審査論文には、800字程度の論文要旨を付すること。

⑤ 予備審査論文の使用言語を英語とする場合は、日本語の論文要旨を提出すること。日本語の論文要旨は、原則PCを使用し、A4用紙横書き(余白：上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全文3,000字以上(11ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)とし、各章(各節)ごとに記すこと。

⑥ 予備審査論文は、中央下にページ番号を記すこと。

【学位審査予備審査会】

第3条 学位審査予備審査会の構成は、以下に掲げる者とする。

(1) 博士後期課程委員会委員長

(2) 当該年度におけるすべての指導教員

(3) 上記の他に、博士後期課程委員会委員長が必要と認めたときは、研究科長と協議のうえ、研究科に所属する教員若干名を構成員とすることができる。

2 学位審査予備審査会委員長は博士後期課程委員会委員長とする。

【審査基準】

第4条 学位審査予備審査(以下「予備審査」という。)は、以下の基準にて厳正に行うものとする。

(1) 本学博士後期課程の修了要件単位の取得(またはその見込み)の確認

(2) 当該予備審査論文が、本学が授与する博士の学位を授与するにふさわしいものとして完成する見込みの有無

(3) 当該予備審査論文の属する研究領域において、独創性ある展開の可能性の有無

(4) 当該予備審査論文の属する研究領域の発展に貢献する可能性の有無

(5) 当該予備審査論文に、他の研究領域を含む学際性ある展開の可能性の有無

【可否の判定】

第5条 予備審査における可否の判定は、学位審査予備審査会構成員の3分の2以上が出席(4週間以上の出張者・欠勤者、休職者および学外研究員を定足数から除外する。)し、かつ、出席者の過半数が賛成しなければならない。

【審査結果の通知】

第6条 学位審査予備審査の審査結果については、博士後期課程委員会委員長が当該学生に文書によって通知するものとする。

【博士論文の審査】

第7条 博士論文の審査については、「学位規程」第7条の規定に基づく。

【学位審査会】

第8条 学位審査会は学位請求者による学位論文発表会と口頭試問により行うものとする。

2 課程博士の学位を申請することのできる者は、以下に掲げる者とする。

(1) 後期課程に在籍し所定の単位を取得および取得見込みの者で、予備審査において学位請求論文の提出を認められた者

(2) (2)[京都精華大学大学院マンガ研究科特別研究生規程]第2条の定める特別研究生として在籍し、かつ退学後5年以内である者

3 前項第1号および第2号に規定する者が課程博士の学位を申請しようとするときは、以下の書類を研究科長に提出しなければならない。

(1) 学位申請書(様式第2号) 1部

(2) 研究業績一覧(様式任意) 1部

(3) 学位請求論文表紙(様式第3号)をつけたもの 5部

① 学位請求論文の使用言語は、日本語とする。ただし、指導教員4名(主査1名・副査3名)、ならびに博士後期課程委員会が認めた場合に限り、英語での学位請求論文の提出を可とする。

② 学位請求論文は、使用言語を日本語とする場合は、原則としてA4用紙横書き(余白:上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)で40,000字以上11ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)とすること。

使用言語を英語とする場合は、原則PCを使用し、A4用紙横書き(余白:上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)にダブルスペースにより22,000words以上(1ページ:25行、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、引用・資料を除く。)とすること。

③ 学位請求論文は、レポートファイルに、内扉、目次、本文、引用・資料の順に綴り込むこと。

④ 学位請求論文は、中央にページ番号を記すこと。

(4) 論文の要旨(様式任意) 5部

① 要旨は、学位請求論文の使用言語によって、それぞれ次の要領にて作成、提出すること。

【学位請求論文の使用言語を日本語とする場合】

・要旨はPCを使用し、日本語でA4用紙横書き(余白:上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全体の概略を1枚、各章ごとに1枚ずつ(ともに1,000字以上、11ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)にて作成すること。また中央にページ番号を記し、レポートファイルに綴り込むこと。

・上記、全体の概略を記した要旨(1枚)については、英文(A4用紙横書きに550words以上、余白:上30mm・下30mm・左35mm・右30mm、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、ダブルスペースにより要約したもの)をあわせて作成、添付すること。

・中央にページ番号を記し、レポートファイルに綴り込むこと。

【学位請求論文の使用言語を英語とする場合】

・要旨はPCを使用し、日本語と英語、それぞれにて作成・提出すること。

日本語においてはA4用紙横書き(余白:上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全体の概略を1枚、各章ごとに1枚ずつ(ともに1,000字以上、11ポイント、1行40字、40行、引用・資料を除く。)にて作成すること。

英語においてはA4用紙横書き(余白:上30mm・下30mm・左35mm・右30mm)に全体の概略を1枚、各章ごとに1枚ずつ(ともに550words以上、フォント:タイムズニューローマン、11ポイント、ダブルスペースにより要約したもの)を作成すること。

・中央にページ番号を記し、レポートファイルに綴り込むこと。

(5) 研究業績として出版した論文のある場合は当該論文の写し 5

① 論文の写しは、ファイルに綴り込み、論文の写しごとに見出しをつけること。

② ファイルの表には、論文の写しであることを明記するとともに、学籍番号、氏名を記すこと。

(6) 学位請求論文および要旨のデータ

4 最終学位審査は、学位論文発表会終了後に、学位請求論文の属する研究領域およびその関連する分野に関する知見について、口頭試問によって行うものとする

5 学位審査に合格した者は、指定された期日までに、長期保存に耐えるハードカバー製本を施した学位論文を3部提出するものとする。

【学位審査委員会】

第9条 位審査委員会の構成については、「学位規程」第8条の規定に基づく。

2 審査委員会に委員長を置き、委員長は、博士後期課程委員会の互選によるものとする。

【審査基準】

第10条 学位審査は、以下の基準に基づいて厳正に行うものとする。

(1) 当該博士論文が、当該申請者の研究業績をふまえた内容であること

(2) 当該博士論文の属する研究領域において、獨創性が認められること

(3) 当該博士論文の属する研究領域の発展に資するものであると認められること

(4) 当該博士論文に、他の研究領域を含む学際性が認められること

(5) 本学大学院が授与する博士の学位にふさわしいと認められるものであること

【審査結果の報告】

第11条 博士論文審査結果については、「学位規程」第9条の規定に基づく。

【合否の審議】

第12条 研究科長は、前条の報告に基づき、後期課程委員会において合否を審議する。

2 前項に規定する合否の審議には、博士後期課程委員会構成員の3分の2以上が出席(4週間以上の出張者・欠勤者、休職者および学外研究員を定足数から除外する。)し、かつ、出席者の過半数が審議結果に賛成しなければならない。

【審議結果の認定】

第13条 審議結果の認定については、「学位規程」第11条の規定に基づく。

【雑則】

第14条 本規則に定めるものの他、必要な事項は別に定める。

【事務担当部署】

第15条 この規則に関する事務は、教学グループが担当する。

【改廃】

第16条 この規則の改廃は、常務理事会が行う。

附則

(略)

5 2020年11月30日改定・施行

※様式第1号～4号 省略

施設

CAMPUS MAP >

※2021年2月末時点の情報です。変更される場合があります。

キャンパスマップ



- Q 究明館** きゅうめいかん
建築工房
- F 風光館** ふうこうかん
陶芸専攻 イラストコース
プロダクトコミュニケーションコース
ライフクリエイションコース
建築コース 全学共通写真スタジオ
- 7 7号館** ななごうかん
洋画専攻 立体造形専攻
プロダクトコミュニケーションコース
- 5 5号館** ごごうかん
日本画専攻
建築コース
人間環境デザインプログラム
- K 光彩館** こうさいかん
テキスタイル専攻
- R 流溪館** りゅうけいかん
教員研究室
人文学部
講義室
- U 悠々館** ゆうゆうかん
学生食堂
喫茶アルス
コンビニ
- J 情報館** じょうほうかん
ライブラリー
メディアセンター

- E 遠友館** えんゆうかん
クラブボックス
大学祭実行委員室
- G 体育館** たいいくかん
体育館
トレーニングルーム
- Y 友愛館** ゆうあいかん
agora (多目的ホール)
音楽コース
ファッションコース

- Z 自在館** じざいかん
ストーリーマンガコース
テキスタイル専攻
- T 対峰館** たいほうかん
版画専攻
映像専攻
カートゥーンコース
新世代マンガコース
アニメーションコース
グラフィックデザインコース
デジタルクリエイションコース
- S 春秋館** しゅんじゅうかん
講義室
コンビニ
- H 本館** ほんかん
キャラクターデザインコース
大学事務局
保健室
講義室
購買部 画箋堂
ギャラリー
- C 清風館** せいふうかん
新世代マンガコース
講義室
- L 黎明館** れいめいかん
講義室
CALL教室

教室の使用申請方法

(1) 講義室の使用

授業以外で講義室を使用する場合は、学生支援チームにある「教室使用台帳」で空き状況を確認し、「施設使用願」を提出してください。

使用可能校舎
黎明館・春秋館

使用可能時間
月～土 9:00～22:00
日・祝日 9:00～17:00

(2) 実習室の使用

芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・ポピュラーカルチャー学部の実習室は、授業期間中の9:00から20:00(日曜除く)は、届出不要で利用することができます。その他の時間帯、特別な機材のある実習室については以下の表に従って、必要な「施設使用願」を提出するか、教員・スタッフに開錠を依頼してください。

手続きの流れ

- ① 学生支援チームで「施設使用願」をもらう
- ② 「施設使用願」に記入し、担当教職員の押印を受ける
- ③ 「施設使用願」を警備棟に提出する

利用時間・利用方法

通常の実習室

授業期間中	期間		提出物
	月～土	9:00～20:00	届出不要
日・祝日	20:00～22:00	担当教員 押印済みの 「施設使用願」	
	9:00～17:00	学生支援チーム 担当職員 押印済みの 「施設使用願」	
長期休暇期間中	全曜日	9:00～17:00	学生支援チーム 担当職員 押印済みの 「施設使用願」

特別な機材のある実習室

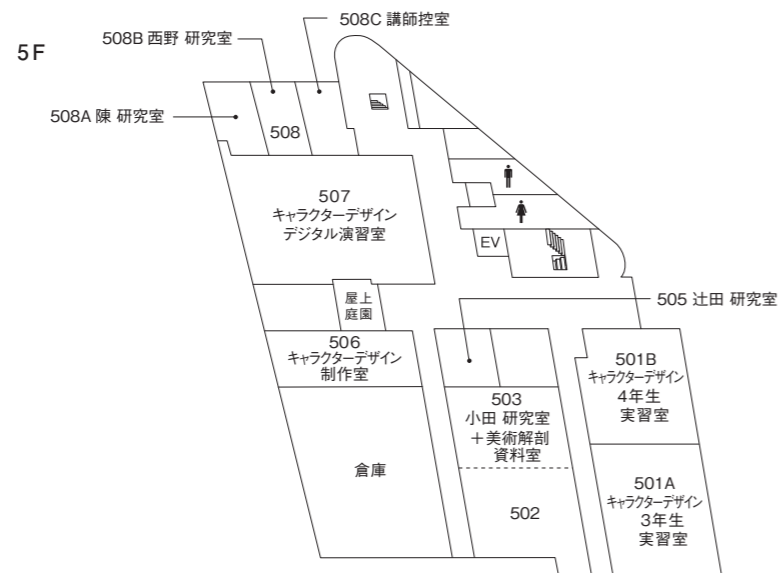
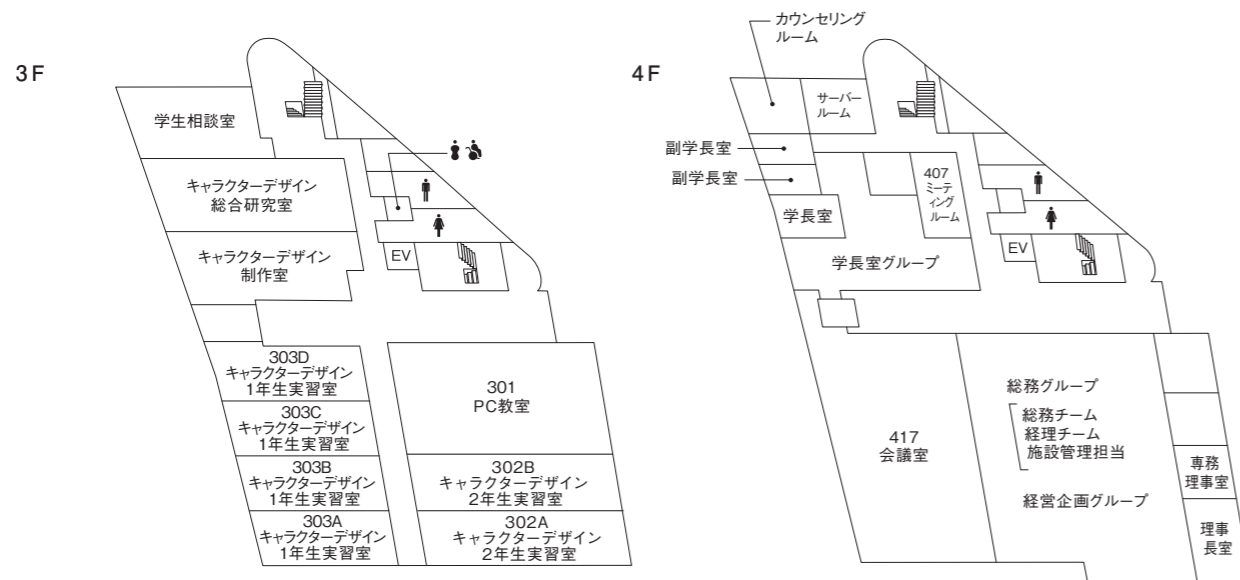
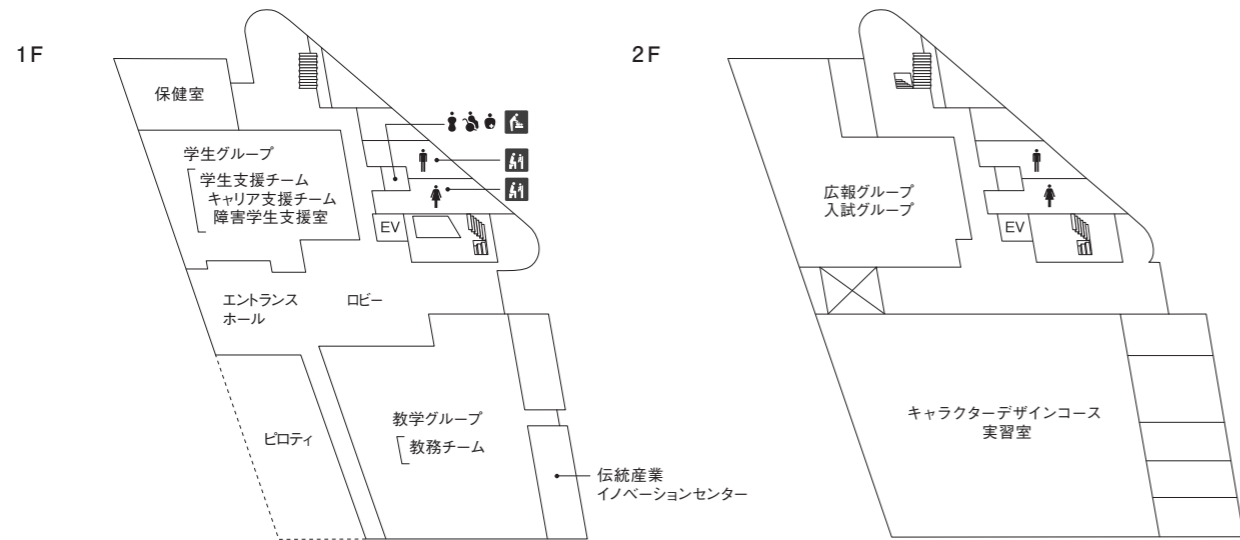
教員・スタッフに開錠を依頼する。あるいは担当教員押印済みの「施設使用願」を提出してください。

※教室区分等の詳細については学生支援チームまでお問い合わせください。
※やむを得ない事情で上記の時間外に実習室を利用する場合は、「特別延長願」の提出と担当教員による付き添いが必要となります。

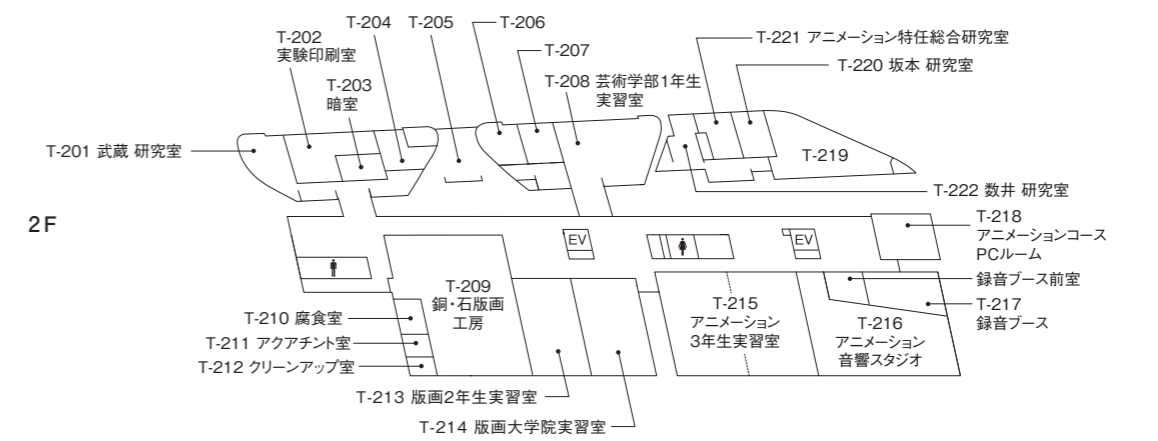
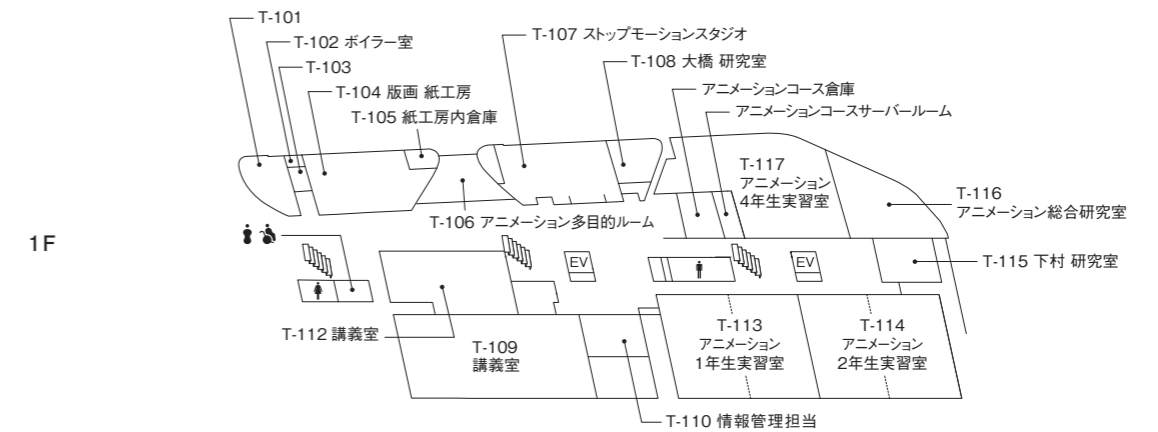
そのほか、全学共通写真スタジオ、春秋館ギャラリーなど、利用申請により使用可能な施設があります。詳細については、大学Webサイトの「在学生ページ」を確認してください。

- AED** AED(自動体外式除細動器)設置場所
- ベビーシート設置場所
- ベビーチェア設置場所
- 特定屋外喫煙場所

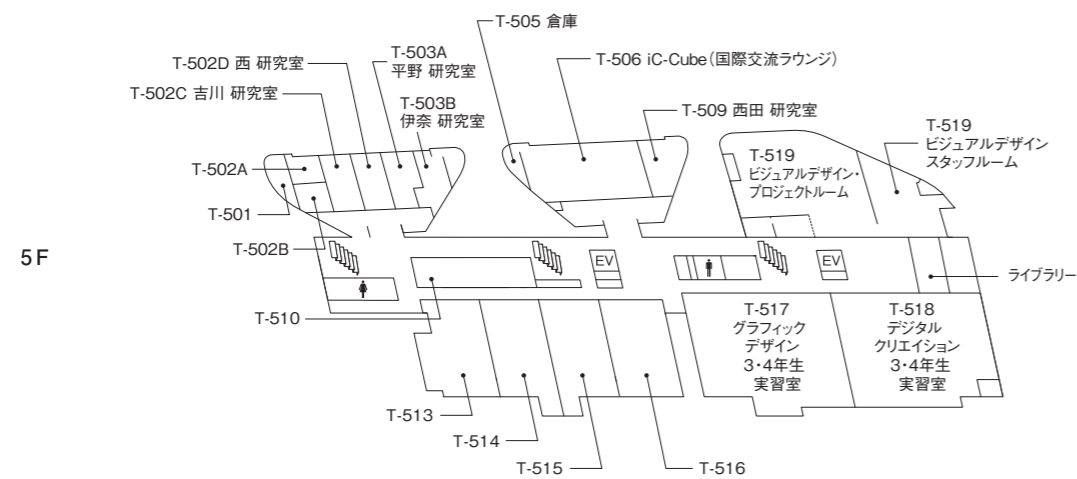
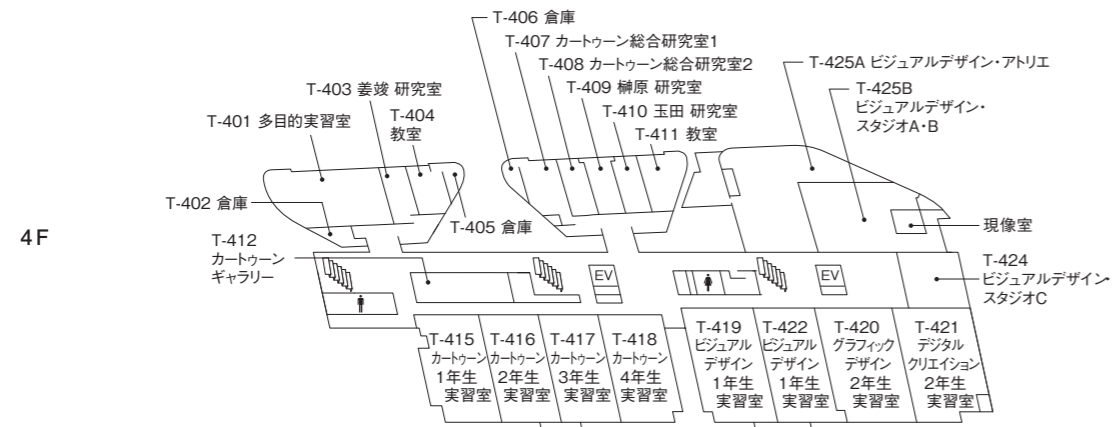
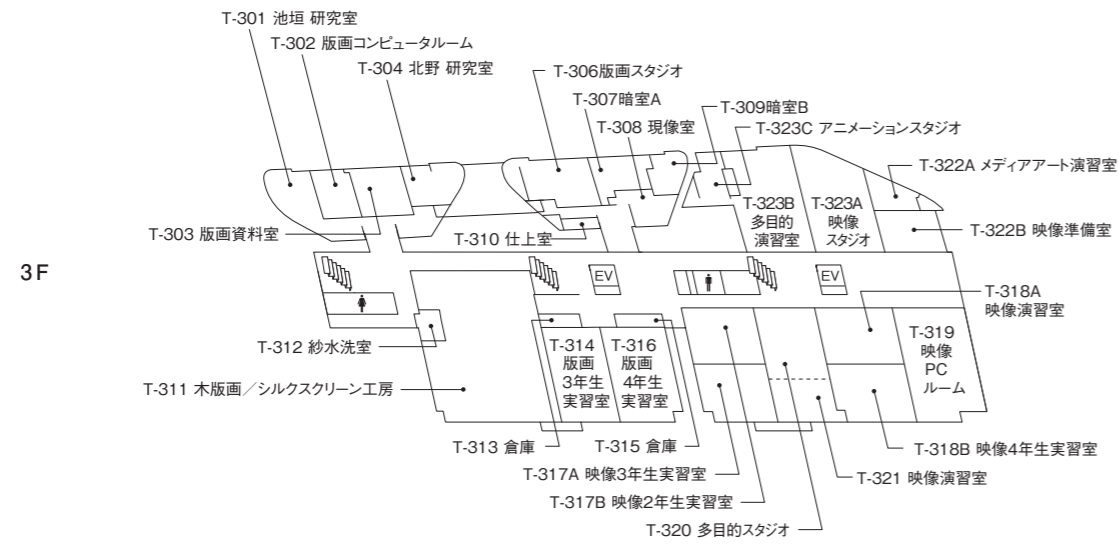
H 本館



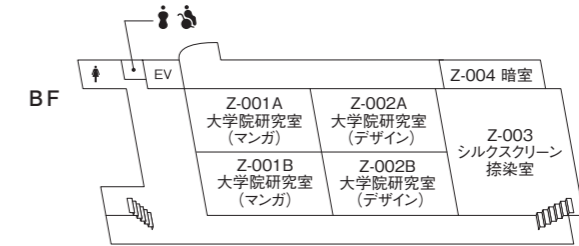
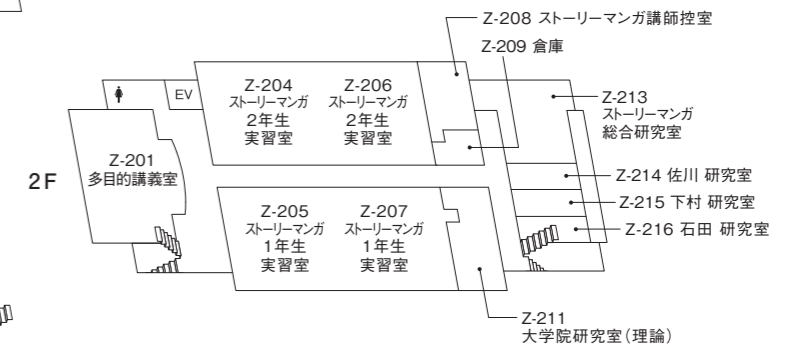
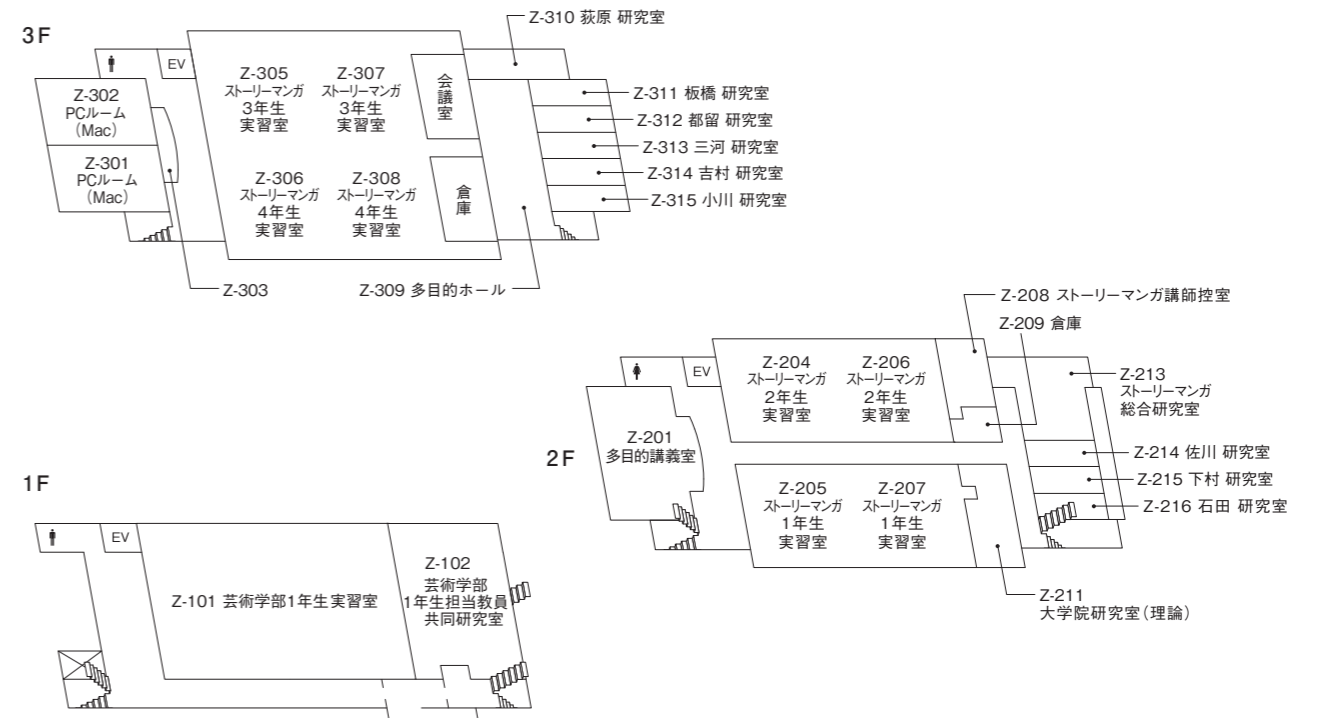
T 対峰館



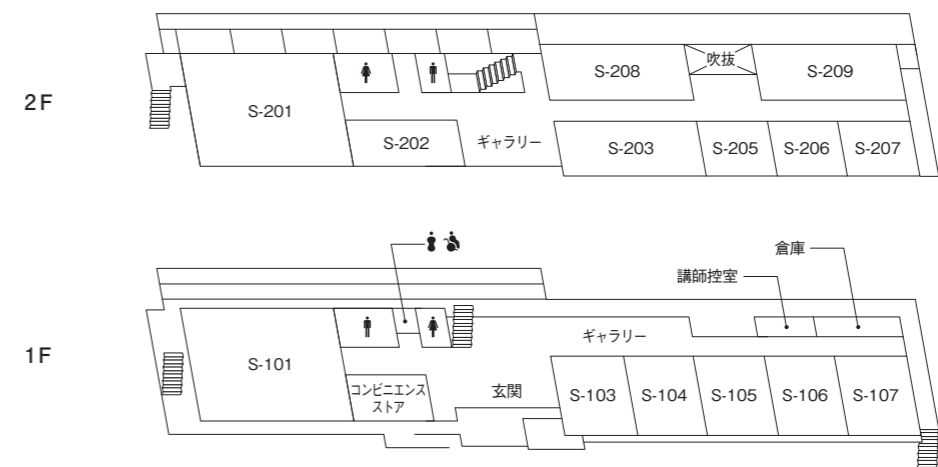
T 対峰館



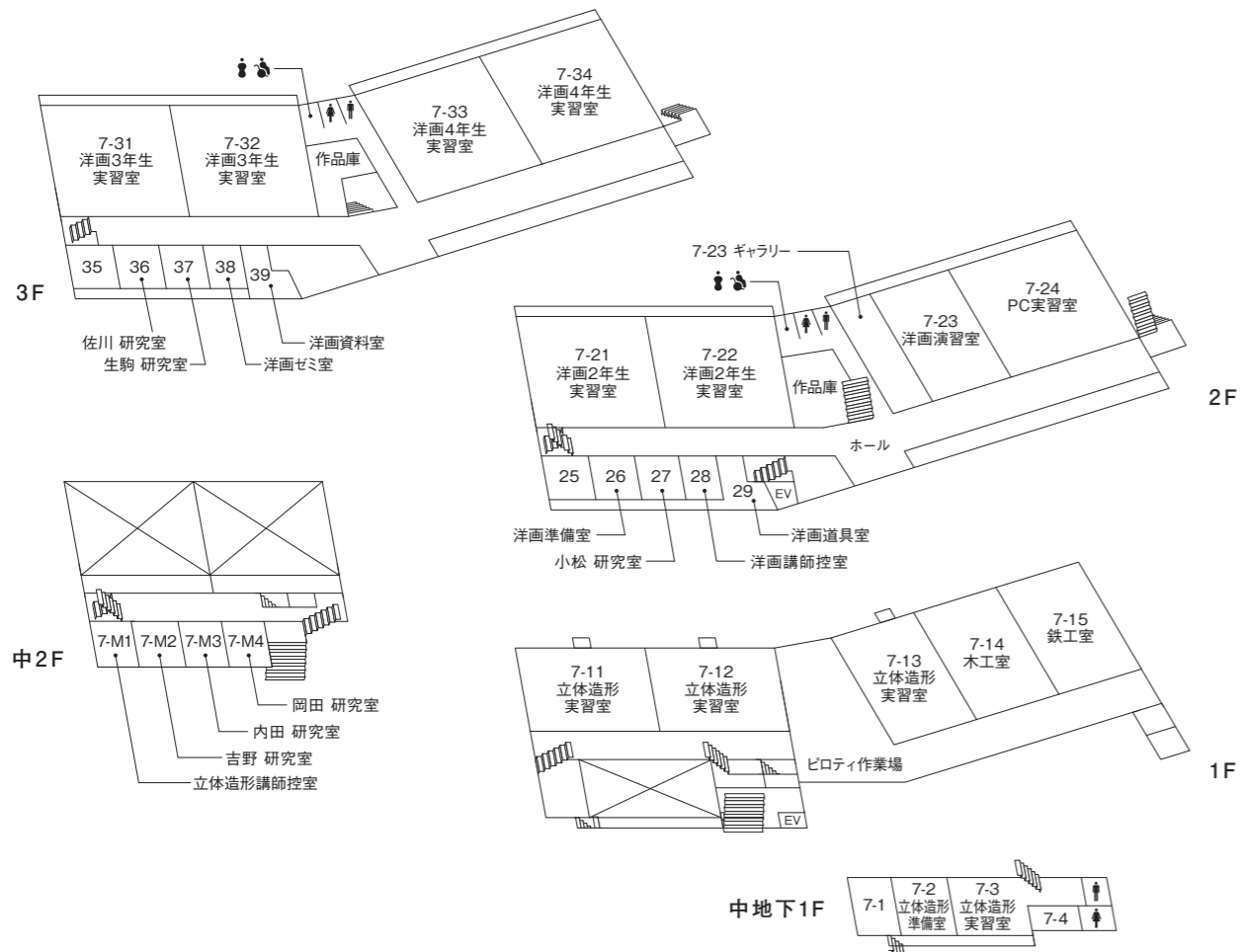
Z 自在館



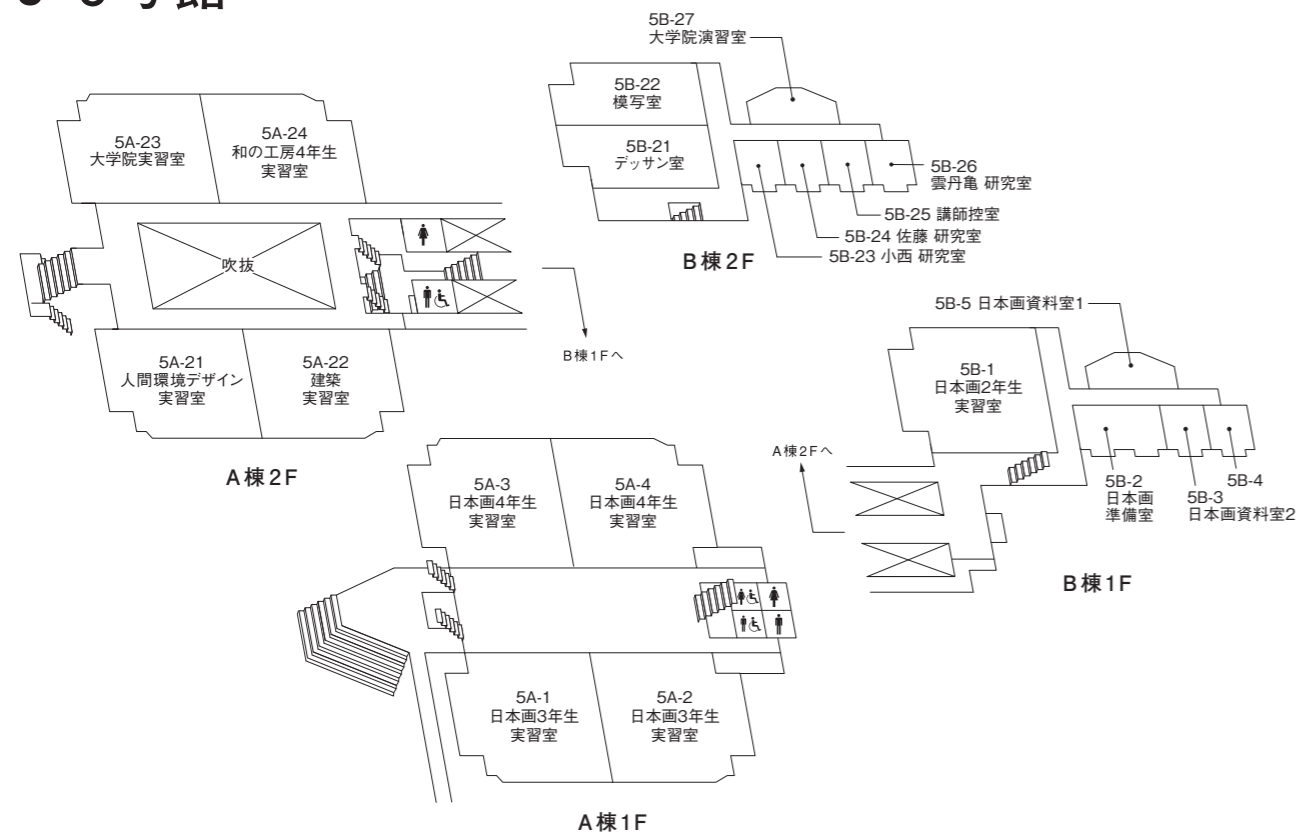
S 春秋館



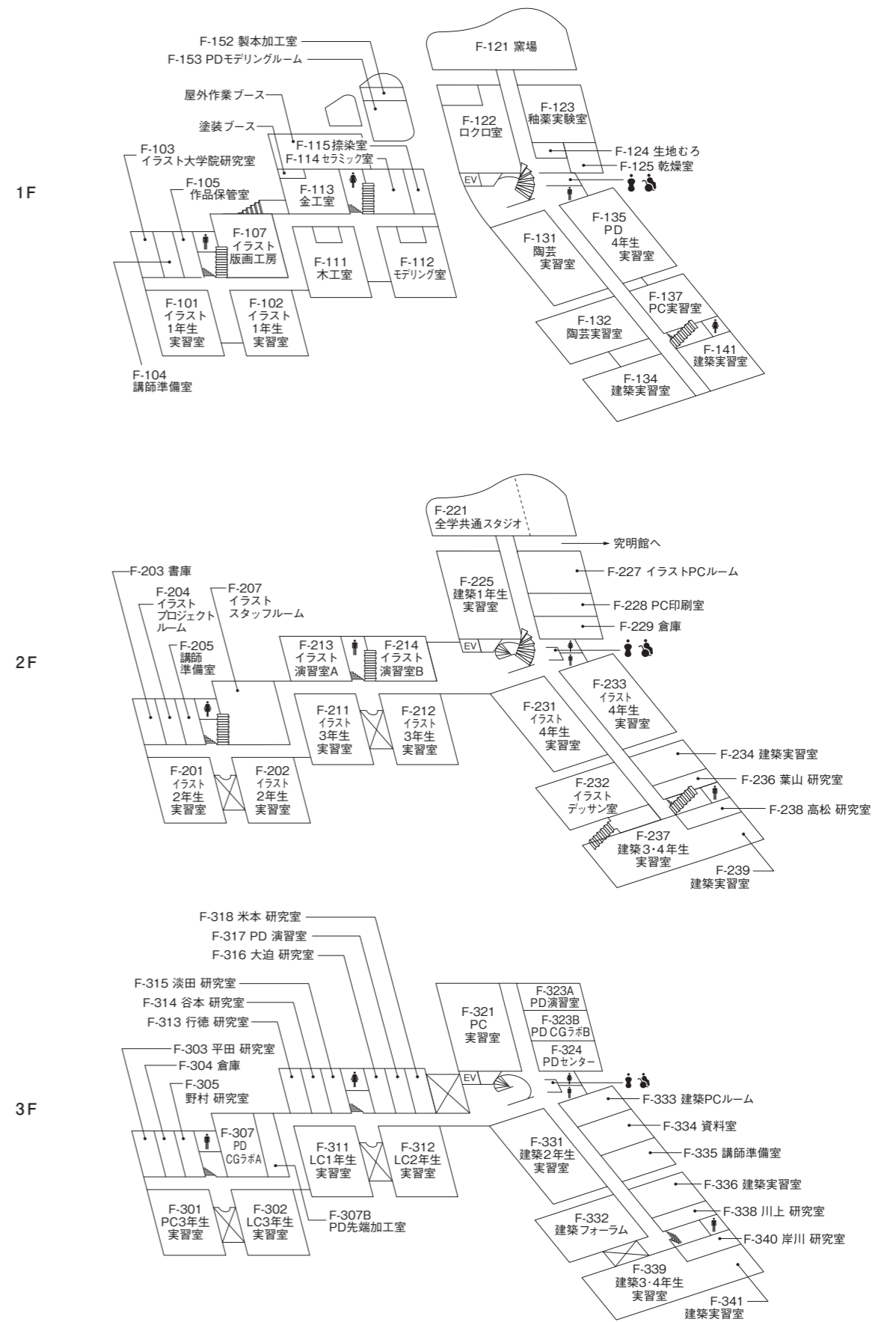
7 7号館



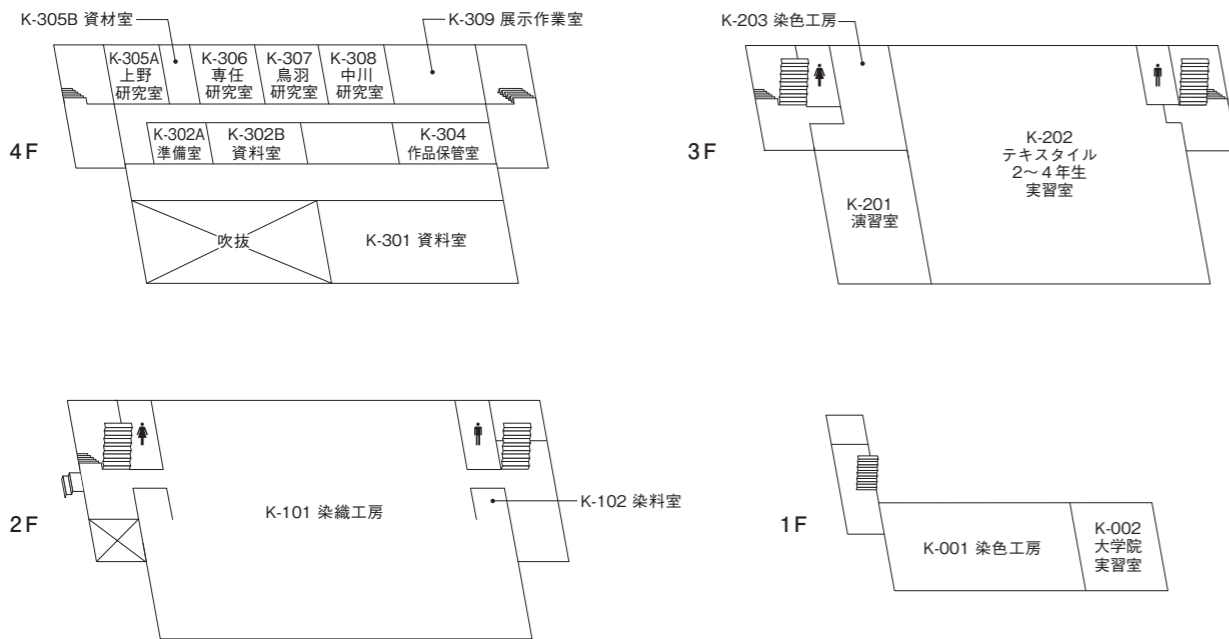
5 5号館



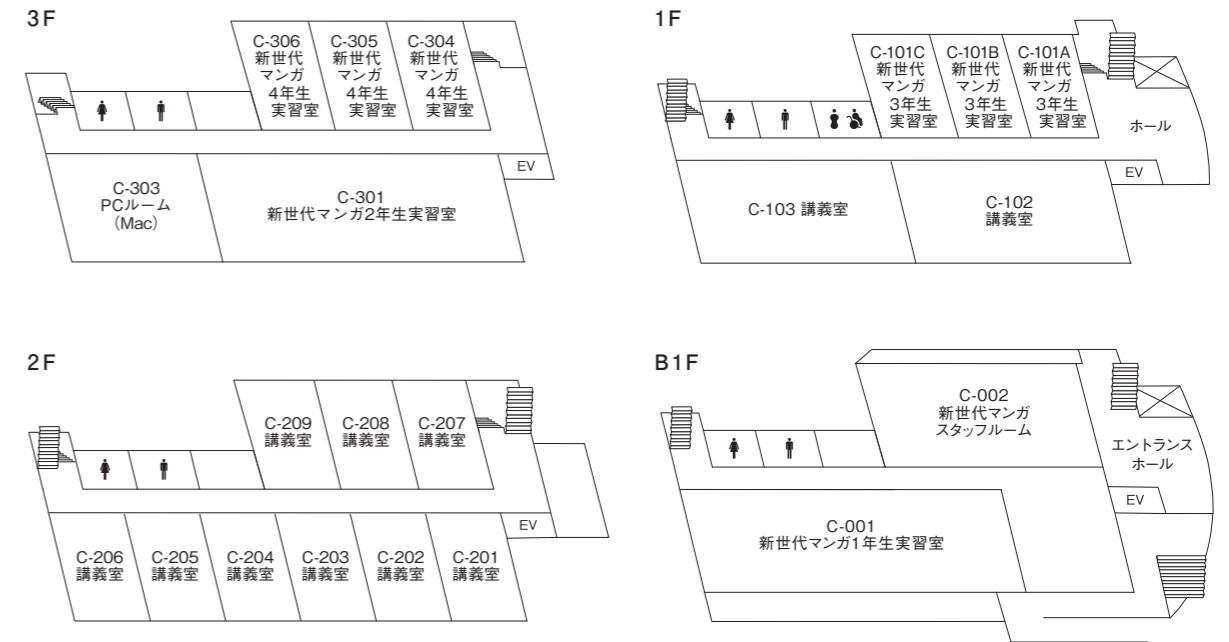
F 風光館



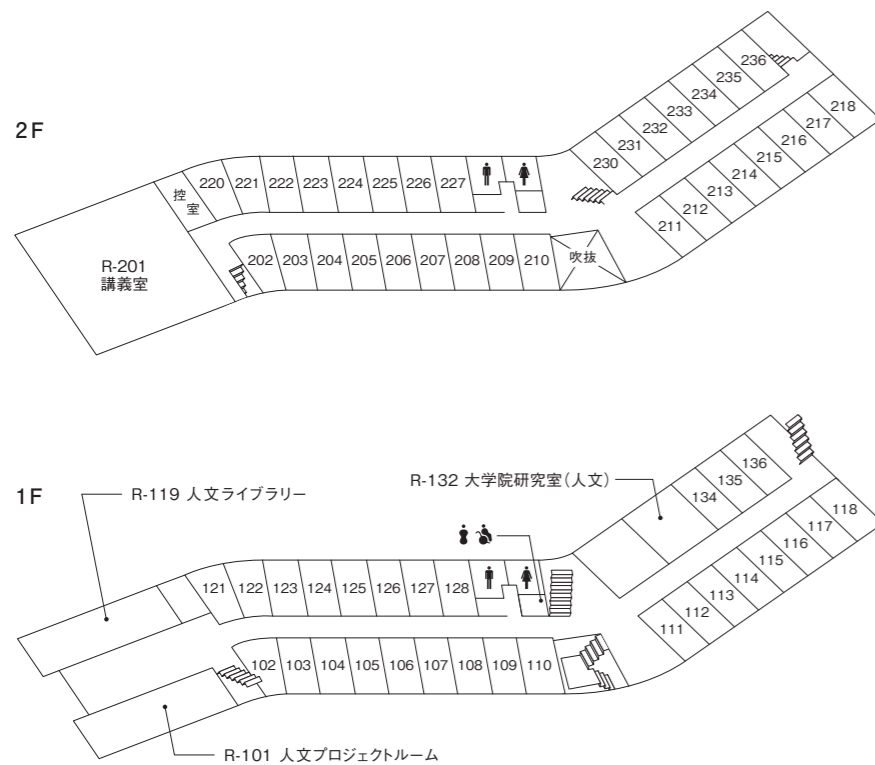
K 光彩館



C 清風館



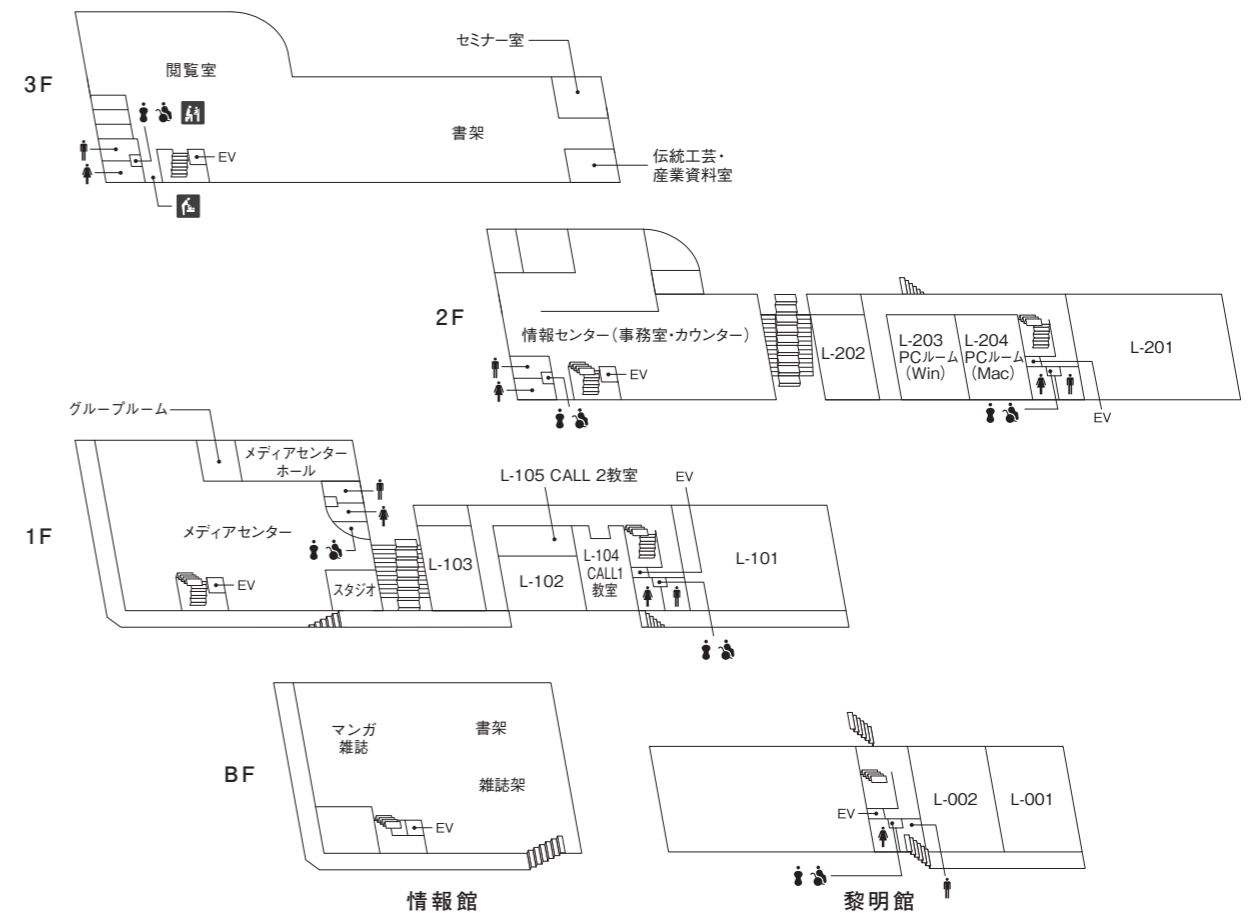
R 流溪館



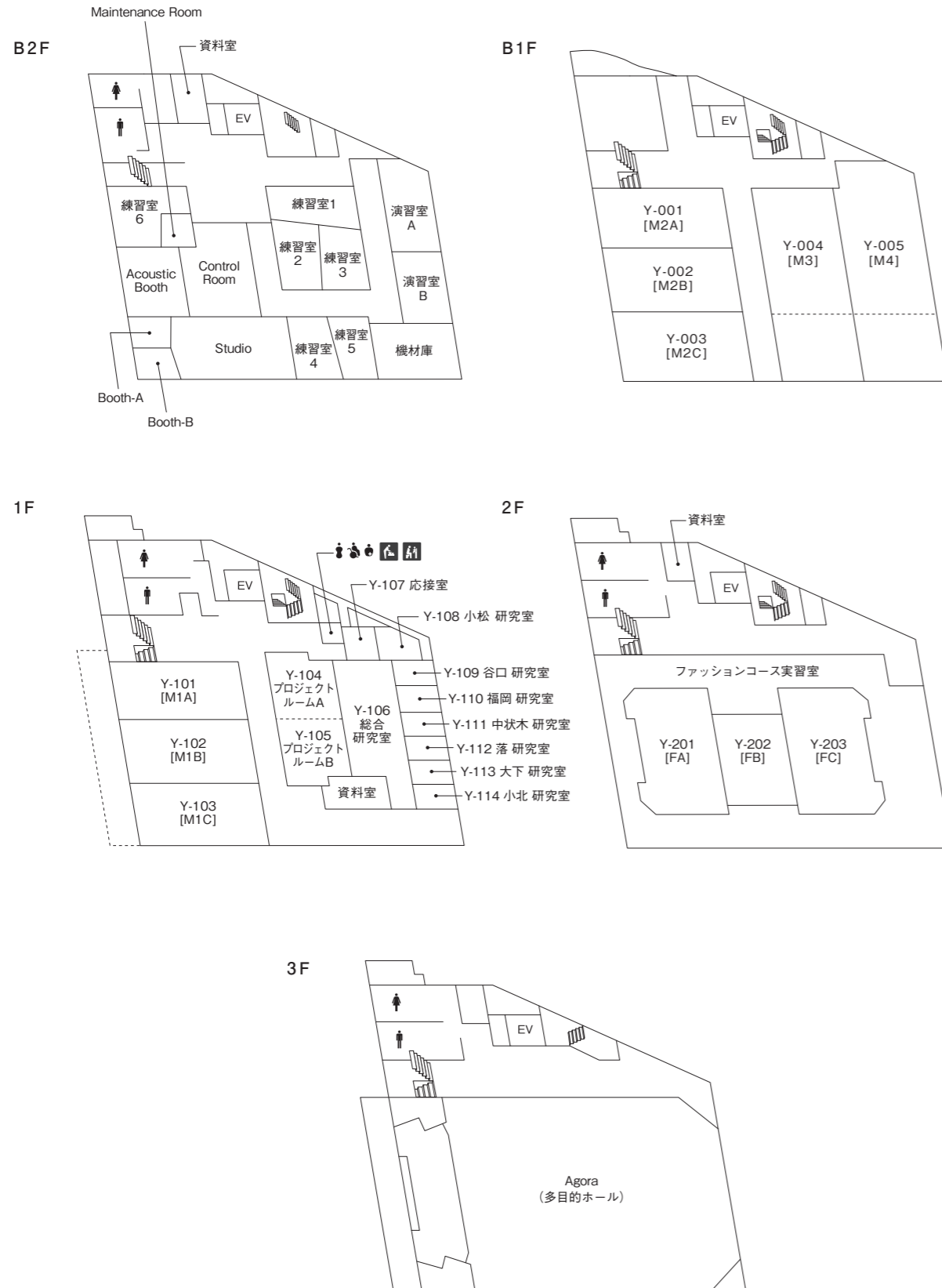
- 2F**
- | | |
|---------------|----------------|
| 202 申 研究室 | 220 VD学科資料室 |
| 203 柳田 研究室 | 221 藤枝 研究室 |
| 204 白井 研究室 | 222 藤田 研究室 |
| 205 杉本 研究室 | 223 齋藤(光) 研究室 |
| 206 杉本 研究室 | 224 山名 研究室 |
| 207 稲賀 研究室 | 225 是澤 研究室 |
| 208 中岡 研究室 | 226 堤 研究室 |
| 209 住友 研究室 | 227 |
| 210 澤田 研究室 | 230 緒方 研究室 |
| 211 中尾 研究室 | 231 佐々木(美) 研究室 |
| 212 水田 研究室 | 232 小椋 研究室 |
| 213 中尾 研究室 | 233 木川田 研究室 |
| 214 ユー/伊藤 研究室 | 234 遊佐 研究室 |
| 215 ティーター 研究室 | 235 恵坂 研究室 |
| 216 住田 研究室 | 236 住田 研究室 |
| 217 恩地 研究室 | |
| 218 恩地 研究室 | |

- 1F**
- | | |
|---------------|----------------|
| 102 南 研究室 | 121 佐々木(中) 研究室 |
| 103 磯辺 研究室 | 122 前田 研究室 |
| 104 小泉 研究室 | 123 末次 研究室 |
| 105 久留島 研究室 | 124 藪内 研究室 |
| 106 西野(厚) 研究室 | 125 岩本 研究室 |
| 107 堀井 研究室 | 126 吉元 研究室 |
| 108 高橋(伸) 研究室 | 127 吉永 研究室 |
| 109 阿毛 研究室 | 128 安田 研究室 |
| 110 吉岡 研究室 | 134 服部 研究室 |
| 111 渡辺 研究室 | 135 川辺 研究室 |
| 112 米原 研究室 | 136 清水 研究室 |
| 113 田村 研究室 | |
| 114 サコ 研究室 | |
| 115 ソーン 研究室 | |
| 116 三上 研究室 | |

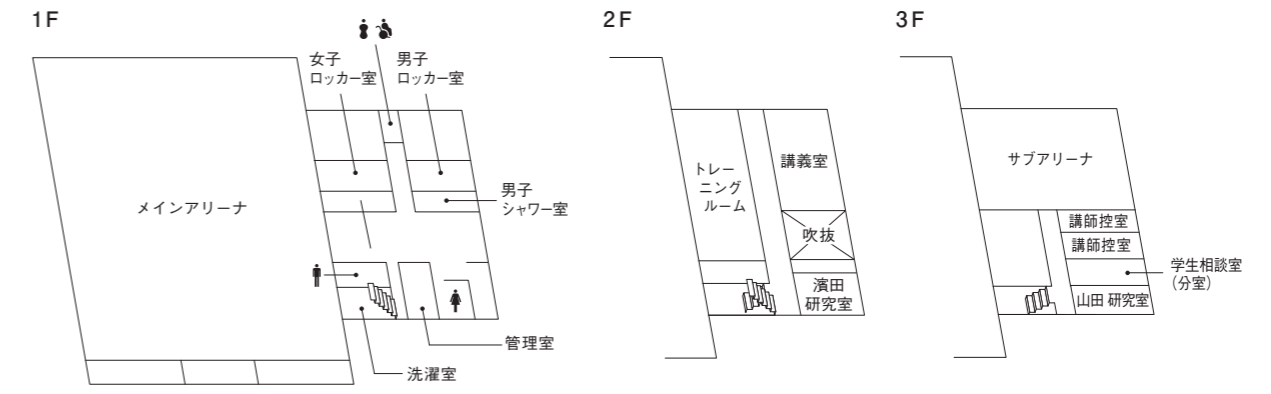
L 黎明館 J 情報館



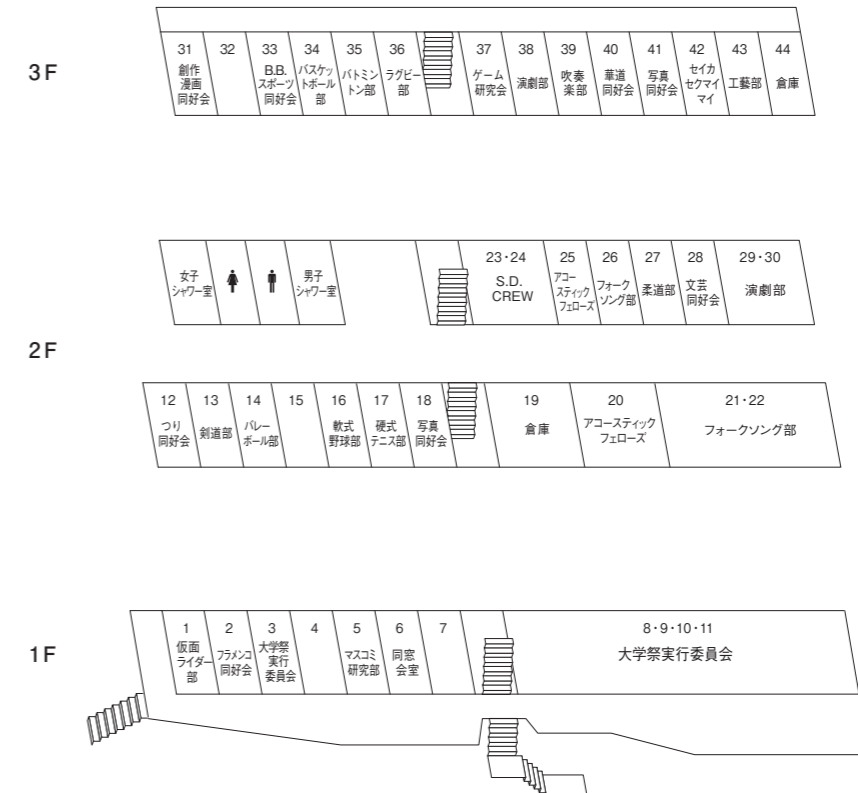
Y 友愛館



G 体育館



E 遠友館



学外施設利用について

学外施設利用について

(1) 京都国際マンガミュージアム

京都精華大学と京都市の共同事業として運営されており、本学在学学生は学生証の提示で入館料が無料となります。「マンガ」の収集・保存・保管・展示およびマンガ文化に関する調査研究及び事業を行うことを目的とした博物館機能と図書館機能を併せもった文化施設です。明治の雑誌や戦後の貸本などの貴重な歴史資料、現在の人気作品や海外の作品まで約30万点を所蔵し、そのうち約5万冊のマンガ単行本が閲覧可能です。

京都国際マンガミュージアム

京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校)
TEL: 075-254-7414 FAX: 075-254-7424
営業時間: 10:00~18:00(最終入館時刻17:30)
休館日: 水曜日、年末年始、メンテナンス期間

(2) 京都精華大学サテライトスペース kara-S(カラス)

四条烏丸にある京都精華大学のサテライトスペース。展覧会やワークショップ、イベントなどを行う「ギャラリー」と、アートグッズの販売を行う「ショップ」の2つのスペースをもち、クリエイティブな活動によって生みだされるアイデアや作品を発信しています。展覧会やワークショップの実施、作品の委託販売ができます。使用については、社会連携センターで確認してください。

京都精華大学サテライトスペース kara-S

京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地
COCON KARASUMA 3F
TEL&FAX: 075-352-0844
営業時間: 11:00~20:00
最寄り駅: 地下鉄烏丸線「四条駅」
2番出口より四条烏丸西直結

(3) 丹後学舎(海の家)・朽木学舎(山の家)

在学学生は丹後学舎(海の家)と朽木学舎(山の家)を利用することができ、申し込みは利用日の1ヵ月前から受け付けます(先着順)。予約する際は、学生支援チーム(本館1F)のカウンターにて申込書を記入して予約手続きを行った後、経理チーム(本館4F)にて使用料の支払いをおこなってください。なお、丹後学舎の夏期の使用については申込多数のため抽選を行います。詳細は6月下旬頃に「セイカ・ポータル」等でお知らせします。

丹後学舎

京都府京丹後市丹後町上野894
TEL: 0772-76-0624

朽木学舎

滋賀県高島市朽木古屋472
TEL: 0740-38-5118

利用料金(一人あたり/自炊)

	在 学 生	在 学 生 の 家 族	宿 泊 可 能 日 数
通常期 (10~6月)	1泊500円 /1人	1泊500円 /1人	4泊5日まで
繁忙期 (7~9月)	1泊1,000円 /1人	1泊1,000円 /1人	2泊3日まで
正課授業 での利用	無 料	—	授業 スケジュールに 準ずる

※在学生の家族は、同居もしくは同一生計世帯の家族の方に限ります。

(小学生は半額、未就学児は無料)

※チェックインは13:00以降17:00まで、チェックアウトは9:00以降13:00までに行うこと。それ以外の時間に利用を希望する場合は、事前に申込を行い、一泊分の利用料金を追加で支払うこと。

※キャンセルによる返金、人数変更の受付は、利用日の10日前まで受け付けます。

2021年度版

学修のてびき2021

2021年度入学生向け

2021年4月発行

京都精華大学

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

<http://www.kyoto-seika.ac.jp>